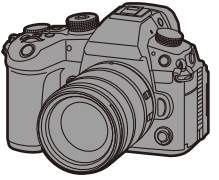
Panasonic

取扱説明書　詳細ガイド
デジタルカメラ

品番　DC-GH6

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（16～24ページ）を必ずお読みください。**
- パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。詳しくは、768ページをご覧ください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
https://panasonic.jp/support/dsc/

パナソニック株式会社　アプライアンス社
〒525-8520　滋賀県草津市野路東 2 丁目 3 番 1-1 号

© Panasonic Corporation 2022

DVQP2437ZA
F0222AJ0

取扱説明書について

本書は、カメラのすべての機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 詳細ガイド」です。

❖ 本書で使用する記号について

黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

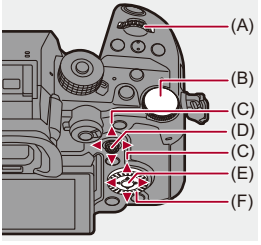
例：

写真・動画

撮影モード iA P A S M

操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。



(A) :
前ダイヤル

(B) :
後ダイヤル

(C) ▲▼◀▶:
カーソルボタンの上下左右
または
ジョイスティックの上下左右

(D) :
ジョイスティックの中央押し

(E) :
[MENU/SET]ボタン

(F) :
コントロールダイヤル

- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。
  例）写真メニュー（画質）の[写真画質]を[STD.]に設定する

  MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [写真画質] ➡ [STD.]を選ぶ

お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。

:機能を使う前にご確認いただきたいこと

:上手に使うためのヒントや撮影のポイント

:仕様に関するお知らせや補足事項

:関連する機能や情報

- 本書の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 本書では交換レンズ（H-ES12060）を用いて説明しています。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（16～24ページ）

取扱説明書について 2

安全上のご注意（必ずお守りください） 16

はじめに 25

ご使用の前に 26
同梱品 29
使用できるレンズ 33
使用できるメモリーカード 34
各部の名前 37
カメラ 37
同梱レンズ 45
ファインダー／モニターの表示 46

準備 48

ショルダーストラップの取り付け 49
バッテリーの充電 51
チャージャーを使った充電 52
バッテリーの挿入 54
カメラにバッテリーを入れて充電する 56
電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電） 59
充電／給電についてのお知らせ 61
エコモード 63
カード（別売）の挿入 65

レンズの取り付け 69
レンズフードの取り付け 72
モニターの向きと角度の調整 74
時計の設定（初めて電源を入れるとき） 76

基本操作 79

カメラの構え方 80
撮影モードの選択 82
カメラの設定操作 83
モニター／ファインダーの表示設定 89
ファインダーの設定 89
モニターとファインダーの切り換え 90
情報表示の切り換え 92
クイックメニュー 95
コントロールパネル 97
メニューの操作方法 99
設定リセット 104
文字の入力 105
インテリジェントオートモード 106
タッチ撮影 113
タッチ AF／タッチシャッター 113
タッチ AE 115

写真の撮影 117

写真を撮る 118
画像横縦比 120
画像サイズ 121
写真画質 123

動画の撮影 125

動画を撮る 126
システム周波数 132
記録ファイル方式 134
動画画質 135
動画撮影範囲 149

フォーカス／ズーム 151

フォーカスモードの選択 152
AFを使う 154
AFカスタム設定（写真） 158
フォーカスリミッター 160
AF補助光 162
1点AF枠の移動速度 163
AFモードの選択 164
自動認識 167
追尾 170
フルエリア 172
ゾーン（横・縦）／ゾーン 175
1点＋補助／1点 178
ピンポイント 180
AFエリアの移動操作 183
タッチでのAFエリアの移動操作 186
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作 188
縦/横位置フォーカス切換 190
MFで撮る 191
ピーキング 197
ズームを使って撮る 198
EXテレコン（写真） 200

パワーズームレンズ 201

ドライブ／シャッター／手ブレ補正 202

ドライブモードの選択 203
連写する 205
ハイレゾモード 211
インターバル撮影 216
コマ撮りアニメ撮影 222
インターバル／コマ撮りアニメの動画 225
セルフタイマー撮影 227
ブラケット撮影 230
サイレントモード 237
シャッター方式 239
長秒ノイズ除去 242
下限シャッター速度 243
シャッターディレイ 244
手ブレ補正 245
手ブレ補正の設定 247

測光／露出／ISO感度 251

測光モード 252
プログラムAEモード 254
プログラムシフト 256
絞り優先AEモード 258
シャッター優先AEモード 261
マニュアル露出モード 264
設定可能なシャッタースピード（秒） 266
B（バルブ） 267
プレビューモード 268

露出補正 270
周辺光量補正 273
回折補正 274
ピントや露出の固定（AF ／ AE ロック） 275
ISO 感度 277
ISO 感度設定（写真） 281

ホワイトバランス／画質 282

ホワイトバランス（WB） 283
ホワイトバランスの調整 288
フォトスタイル 290
フィルター設定 297
フィルターなし同時記録 301

フラッシュ 302

外部フラッシュ（別売）を使う 303
ホットシューカバーの取り外し 304
フラッシュの設定 307
フラッシュモード 308
発光モード、マニュアル発光量設定 310
フラッシュ光量調整 312
フラッシュシンクロ 313
露出補正連動 314
ワイヤレスフラッシュ撮影 315

動画の設定 321

クリエイティブ動画モード 322
動画撮影に適した表示 323
クリエイティブ動画で撮る 324
クリエイティブ動画の設定値 327

AFを使う(動画) 328
AF連続動作 328
AFカスタム設定(動画) 330
動画ライブビュー拡大表示 331
動画の明るさ、色合い 333
輝度レベル設定 333
マスターペデスタル 334
白飛びを抑えて撮影する(ニー) 335
ISO感度設定(動画) 337
ダイナミックレンジブースト 338
音声の設定 339
録音レベル表示 340
音声入力ミュート 340
録音ゲイン切換 341
録音レベル設定 342
録音音質 343
録音レベルリミッター 344
風音キャンセラー 344
レンズ動作音低減 345
オーディオ情報表示 346
外部マイク(別売) 347
収音範囲の設定(別売:DMW-MS2) 349
風雑音の低減 349
XLRマイクロホンアダプター(別売) 350
4chマイク入力 352
ヘッドホン 353
音声モニタチャンネル 354
タイムコード 356
タイムコードを設定する 356
外部機器とタイムコードを同期する 359
タイムコード同期の準備 360

本機のタイムコードに外部機器を同期させる（TC OUT）..... 362
外部機器のタイムコードに本機を同期させる（TC IN）..... 364
主なアシスト機能.....367
フリッカー軽減（動画）..... 368
SS/ゲイン操作..... 369
WFM/ ベクトルスコープ表示 371
スポット輝度メーター..... 375
ゼブラパターン表示..... 376
フレーム表示 378
カラーバー／テストトーン..... 380

特殊な動画撮影 382

バリアブルフレームレート 383
ハイフレームレート動画.....388
フォーカストランジション 392
Log撮影する 396
V-Logビューアシスト 398
HLG動画 400
HLGビューアシスト..... 402
アナモフィック撮影 403
アナモフィック デスクイーズ表示..... 405
シンクロスキャン 407
ループ記録（動画）.....409
動画分割記録 411
特殊な動画を撮影できる動画画質一覧 412

HDMI出力（動画） 420

HDMI機器と接続する 421
ケーブルホルダーを取り付ける..... 422

HDMI出力の画質 425
HDMI出力する映像 425
ダウンコンバート設定 427
HDMI出力の設定 432
カメラの情報表示をHDMI出力する 432
外部レコーダーに制御情報を出力する 433
音声をHDMI 出力する 434
HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示 434

画像の再生／編集 435

写真の再生 436
動画の再生 438
動画のリピート再生 441
写真の切り出し 443
動画分割 444
表示方法の切り換え 446
拡大表示 446
サムネイル表示 448
カレンダー表示 450
グループ画像 451
画像の消去 453
RAW現像 455
再生メニュー 461
再生メニューでの画像の選び方 461
再生メニュー（表示方法） 463
再生メニュー（画像の加工） 466
再生メニュー（情報の付与･削除） 467
再生メニュー（画像の編集） 468
再生メニュー（その他） 471

カメラのカスタマイズ 472

Fnボタン 473
Fnボタンへの機能の登録 476
Fnボタンを使う 485
ダイヤル動作切換 486
ダイヤルへの機能の登録 486
ダイヤルの動作を一時的に変更する 488
クイックメニューのカスタマイズ 489
クイックメニューへの登録 489
カスタムモード 495
カスタムモードへの登録 495
カスタムモードを使う 498
設定内容の呼び出し 499
カスタムメニュー 500
カスタムメニュー（画質） 501
カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ） 505
カスタムメニュー（操作） 511
カスタムメニュー（モニター/表示（写真）） 518
カスタムメニュー（モニター/表示（動画）） 528
カスタムメニュー（IN/OUT） 532
カスタムメニュー（レンズ/その他） 534
セットアップメニュー 537
セットアップメニュー（カード/ファイル） 537
セットアップメニュー（モニター/表示） 546
セットアップメニュー（IN/OUT） 550
セットアップメニュー（設定） 555
セットアップメニュー（その他） 557
マイメニュー 560
マイメニューへの登録 560
マイメニューの編集 561

メニュー一覧 562

写真メニュー.....563
動画メニュー.....565
カスタムメニュー.....568
セットアップメニュー.....572
マイメニュー.....574
再生メニュー.....575

Wi-Fi／Bluetooth 576

スマートフォンと接続する.....578
「LUMIX Sync」のインストール.....579
スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）.....580
スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続）.....585
カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る.....590
スマートフォンでカメラを操作する.....592
リモート撮影.....594
シャッターリモコン.....596
画像取り込み.....599
自動画像転送.....601
位置情報記録.....604
リモート起動.....605
自動時刻合わせ.....606
カメラ設定コピー.....607
カメラから画像を送る.....608
パソコン.....611
プリンター.....614
Wi-Fi接続.....615
ネットワーク経由.....616
直接接続.....620

以前と同じ設定でWi-Fi接続する 621
送信設定、画像の選択 623
画像の送信設定 623
画像の選択 624
Wi-Fi設定メニュー 625

他機器との接続 627

接続する 628
テレビで見る 630
パソコンに画像を取り込む 634
パソコンに画像をコピーする 635
ソフトウェアのインストール 639
レコーダーにダビングする 640
テザー撮影 641
ソフトウェアのインストール 641
パソコンからカメラを操作する 643
プリントする 644

資料 648

別売品のご紹介 649
別売品を使う 651
シャッターリモコン（別売） 652
トライポッドグリップ（別売） 653
ACアダプター（別売）／DCカプラー（別売） 654
海外旅行先で使う 655
モニター／ファインダーの表示 658
撮影画面 658
再生画面 673
メッセージ表示 678

Q&A　故障かな？と思ったら.....682
電源、バッテリー.....683
撮影.....684
動画.....687
再生.....688
モニター／ファインダー.....689
フラッシュ.....690
Wi-Fi機能.....691
テレビ、パソコン、プリンター.....693
その他.....694
使用上のお願い.....695
無線LAN使用上のお願い.....705
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間.....708
カードの写真撮影枚数、動画記録時間.....712
初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧.....719
各撮影モードで設定できる機能一覧.....741
仕様.....747
商標、ライセンス.....759
保証とアフターサービス（よくお読みください）.....764

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(* 以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- 落下や衝撃を与えない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャー*は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

(* 以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーの充電は、本機専用のチャージャーまたは本体を使用する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体やチャージャー、ACアダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

ACアダプターは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

	指定したACアダプター、USB接続ケーブルを使用する 指定以外のACアダプターやUSB接続ケーブルを使用すると発熱により、火災・感電・やけどの原因になります。
分解禁止	**分解、改造をしない** 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
	内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。 • 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 • 特にお子様にはご注意ください。
	可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない 火災や爆発の原因になります。 • 粉じんの発生する場所でも使わない
接触禁止	**雷が鳴ったら、触れない** 感電の原因になります。 • 本体やチャージャー、ACアダプターには、金属部があります。
	乗り物の運転中に使わない 事故の誘発につながります。 • 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する
	運転者などに向けて外部フラッシュを発光しない 事故の誘発につながります。

	メモリーカード、ホットシューカバー、フラッシュシンクロ端子キャップ、アイカップは乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 • 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。
	ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない 誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。
	ショルダーストラップは肩に掛けて使う けがや事故の原因になります。 • 首に掛けての使用はしない
	電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない 本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。 • 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

!	**航空機内ではBluetooth機能を停止させる** **航空機内では電源を切る*** 運航の安全に支障をきたすおそれがあります。 • Bluetooth機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。Bluetooth機能を停止させるためには、次の順で選択してください。 **1** セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]を選ぶ **2** Bluetoothメニューから[Bluetooth]を選ぶ **3** ▲▼で[OFF]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す * やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。
!	**満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る** 本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
!	**心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から15 cm以上離す** 本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
!	**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る** 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
!	**病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る** 本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

	ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 注意	
	外部フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない 誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。
	外部フラッシュを人の目に近づけて発光しない 視力障害などの原因になることがあります。 • 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。
	外部フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない やけどの原因になることがあります。 発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。 • 発光直後は、しばらく触らないでください。
	次のような場所に放置しない 火災や感電の原因になることがあります。 • 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など） • 油煙や湯気の当たるところ • 湿気やほこりの多いところ
	次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す 通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。 • 長期間使わないとき • お手入れのとき

	本機、ACアダプターの放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。 • 本棚やラックの中など狭い空間に設置しない • 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない • 本機の吸気口、排気口をふさがない
	レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。
	ヘッドホン接続前に、音量を下げる 音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を痛める原因になることがあります。 • 音量は少しずつ上げてご使用ください。
	低温下で長時間、直接触れて使用しない 寒冷地(スキー場などの0 ℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。 • 長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。
	メモリーカード取り出し時に、カードの高温に関する注意がモニターやファインダーなどに表示されたら、カードに触らない メモリーカードが高温になっているため、やけどの原因となったり、取り出すときに落下させて破損するおそれがあります。

はじめに

本章では、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

- ご使用の前に: 26
- 同梱品: 29
- 使用できるレンズ: 33
- 使用できるメモリーカード: 34
- 各部の名前: 37

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。お買い上げのカメラ／レンズのファームウェアが最新のバージョンになっているかご確認ください。最新のファームウェアバージョンでのご使用をお勧めします。

- カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー（その他）の[バージョン表示]でご確認ください。
  [バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。（➔ バージョン表示: 559）
- **ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。**
  https://panasonic.jp/support/dsc/download/index.html

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラおよびレンズの故障や破損の原因になります。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

– タッチ操作が誤認識される場合があります。

低温（–10 ℃～0 ℃）で使用する場合

– 推奨使用温度が–10 ℃までに対応した当社製レンズを取り付けてお使いください。

カメラのマウント内に手を入れないでください。
センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF中にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

❖ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

– 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
– カメラの扉部や端子キャップなどは、しっかりと閉じてください。
– レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
– 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

❖ 露付き（レンズやファインダー、モニターが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 使用上のお願いも、併せてお読みください（➔ 使用上のお願い：695）

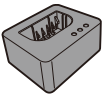
同梱品

デジタルカメラボディ
（本書では**カメラ**と表記します）

付属品をご確認ください。（品番は2022年1月現在）

バッテリーパック
DMW-BLK22
（本書では**バッテリー**と表記します）
• 充電してからお使いください。

バッテリーチャージャー[*1]
DVLC1005Z
（本書では**チャージャー**と表記します）

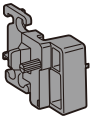


ACアダプター
VSK0815J
• 充電や電力の供給に使用します。

USB接続ケーブル
K1HY24YY0026

BNC変換ケーブル（TC IN/OUT専用）
K1TYYYY00286

ケーブルホルダー
1QB1MC501Z



ショルダーストラップ
DVPW1028Z

ボディキャップ*2
VKF4971

アイカップ*2
1YE1MC501Z

ホットシューカバー*2
DVYE1121Z

フラッシュシンクロ端子キャップ*2
VKF5108

*1 バッテリーチャージャーには、ACアダプター、電源コードおよびUSB接続ケーブル付きの別売品（DMW-BTC15）があります。
*2 お買い上げ時はカメラに装着されています。

DC-GH6L（レンズキット商品）に同梱

交換レンズ
H-ES12060 (LEICA DG VARIO-ELMARIT 12-60mm/F2.8-4.0 ASPH./POWER O.I.S.)

- 防じん防滴対応
- 推奨使用温度－10℃～40℃

レンズフード
1ZE4Z260Z

レンズキャップ*3
SYF0083

レンズリアキャップ[*3]
VFC4605

*3 お買い上げ時はレンズに装着されています。

- **メモリーカードは別売です。**
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
https://ec-plus.panasonic.jp/

使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ（マイクロフォーサーズマウント）を使うことができます。

MICRO™ MICRO FOURTHIRDS™

また、Mマウントアダプター（別売：DMW-MA2M）を装着することで、ライカMマウント規格のレンズを使用できます。

❖ レンズと機能について

お使いのレンズによっては、フォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

- **本機に対応するレンズの情報は、カタログ／ホームページをご覧ください。**
  https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html

- マイクロフォーサーズのレンズに表記されている焦点距離は、35 mm フィルムカメラで換算すると2倍に相当します。
  （50 mm レンズを使用した場合は、35 mm 換算で100 mm レンズ相当になります）

使用できるメモリーカード

本機は、CFexpressカードおよびSDメモリーカードを使用できます。
使用できるメモリーカードは下記のとおりです。（2022年1月現在）

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称を**SDカード**と表記します。
- CFexpressカードとSDカードを区別しないときは、**カード**と表記します。
- **動作確認済みメモリーカードについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。**
  https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html

カードスロット1：CFexpressカード

CFexpressカード（CFexpress Ver.2.0 TypeB）（64 GB～512 GB）

カードスロット2：SDメモリーカード

SDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカード（最大256 GB）

- 本機はUHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3規格およびUHS-II Video Speed Class 90規格のSDカードに対応しています。

❖ 本機で使用できるSDカード

以下の機能を使う場合は、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

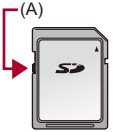
- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するためのSDカードの規格です。

動画撮影

動画画質のビットレート	スピードクラス	表示の例
72 Mbps以下	Class 10	CLASS 10 10
	UHS Speed Class 1以上	1
	Video Speed Class 10以上	V10
200 Mbps以下	UHS Speed Class 3	3
	Video Speed Class 30 以上	V30
400 Mbps以下	Video Speed Class 60 以上	V60
600 Mbps以下	Video Speed Class 90	V90

- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
  - 解像度が4K以上の[Apple ProRes] の動画
  - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
  - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリアブルフレームレート動画

- SDカードの書き込み禁止スイッチ(A)を「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。

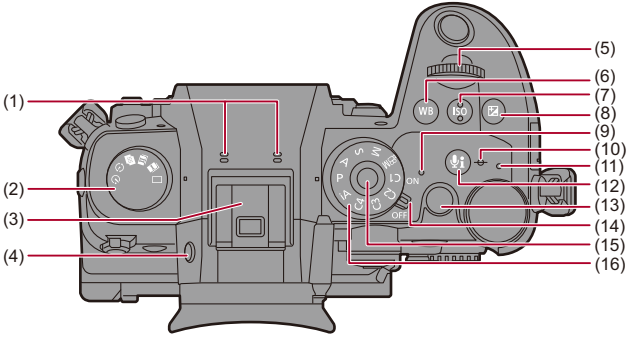


- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

各部の名前

- カメラ: 37
- 同梱レンズ: 45
- ファインダー／モニターの表示: 46

カメラ



(1) ステレオマイク（➔ 音声の設定: 339）
- マイクを指で塞がないでください。音声が記録されにくくなります。

(2) ドライブモードダイヤル（➔ ドライブモードの選択: 203）

(3) ホットシュー（ホットシューカバー）（➔ ホットシューカバーの取り外し: 304）

(4) [LVF] ボタン（➔ モニターとファインダーの切り換え: 90）

(5) 前ダイヤル（➔ 前ダイヤル／後ダイヤル: 84）

(6) [WB]（ホワイトバランス）ボタン（➔ ホワイトバランス（WB）: 283）

(7) [ISO]（ISO感度）ボタン（➔ ISO感度: 277）

(8) [ ]（露出補正）ボタン（➔ 露出補正: 270）

(9) 電源表示ランプ（➔ 時計の設定（初めて電源を入れるとき）: 76）

(10) [ ]（撮影距離基準マーク）（➔ MFアシスト画面での操作: 194）

(11) 充電ランプ（➔ 充電ランプの表示: 57）／
NETWORK接続ランプ（➔ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 577）

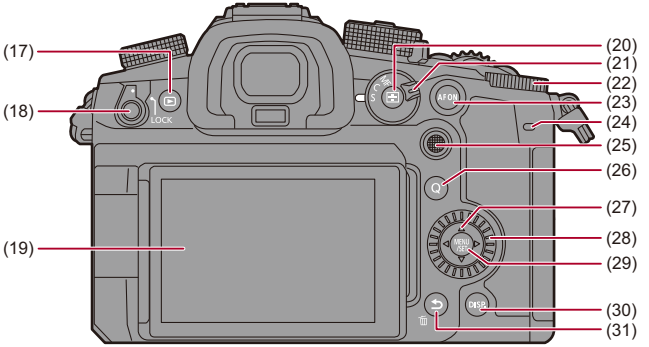
(12) [ ]（オーディオ情報表示）ボタン（➔ オーディオ情報表示: 346）

(13) 動画記録ボタン（➔ 動画を撮る: 126）

(14) 電源スイッチ（➔ 時計の設定（初めて電源を入れるとき）: 76）

(15) モードダイヤルロックボタン（➔ 撮影モードの選択: 82）

(16) モードダイヤル（➔ 撮影モードの選択: 82）



(17) [▶](再生)ボタン(➔画像の再生／編集:435)

(18) 操作ロックレバー(➔操作ロックレバー:88)

(19) モニター(➔ファインダー／モニターの表示:46、モニター／ファインダーの表示:658)／
タッチパネル(➔タッチパネル:87)

(20) [⊞](AFモード)ボタン(➔AFモードの選択:164)

(21) フォーカスモードレバー(➔フォーカスモードの選択:152、AFを使う:154、MFで撮る:191)

(22) 後ダイヤル(➔前ダイヤル／後ダイヤル:84)

(23) [AF ON]ボタン(➔[AF ON]ボタン:156)

(24) リアタリーランプ(➔動画を撮る:126)

(25) ジョイスティック(➔ジョイスティック:86)／
Fnボタン(➔Fnボタン:473)
中央:Fn9、▲:Fn10、▶:Fn11、▼:Fn12、◀:Fn13

(26) [Q](クイックメニュー)ボタン(➔ クイックメニュー: 95)

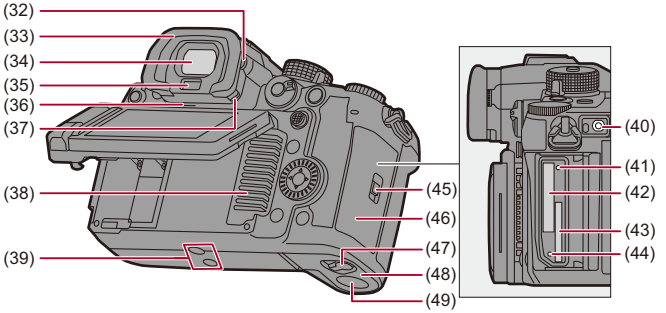
(27) カーソルボタン(➔ カーソルボタン: 85)／
Fnボタン(➔Fnボタン: 473)
▲:Fn14、▶:Fn15、▼:Fn16、◀:Fn17

(28) コントロールダイヤル(➔ コントロールダイヤル: 84)

(29) [MENU/SET]ボタン(➔[MENU/SET]ボタン: 85、メニューの操作方法: 99)

(30) [DISP.]ボタン(➔ 情報表示の切り換え: 92)

(31) [↩](戻る)ボタン(➔ メニューの操作方法: 99)／
[🗑](消去)ボタン(➔ 画像の消去: 453)／
Fnボタン(Fn1)(➔Fnボタン: 473)



(32) 視度調整ダイヤル(➔ ファインダーの視度の調整:89)

(33) アイカップ(➔ ファインダーのお手入れについて:698)

(34) ファインダー(➔ ファインダー/モニターの表示:46、モニターとファインダーの切り換え:90、モニター/ファインダーの表示:658)

(35) アイセンサー(➔ モニターとファインダーの切り換え:90)

(36) スピーカー(➔ 電子音:550)

(37) アイカップロックレバー(➔ ファインダーのお手入れについて:698)

(38) 吸気口(➔ ファン動作モード:533)
- 冷却用ファンの吸気口です。
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の吸気口を塞がないでください。

(39) 三脚取り付け部(➔ 三脚:703)
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。

(40) [REMOTE]端子(➔ シャッターリモコン(別売):652)

(41) カードアクセスランプ1(➔ カードアクセス中の表示:66)

(42) カードスロット1(➔ カード(別売)の挿入:65)

(43) カードスロット2(➔カード(別売)の挿入:65)

(44) カードアクセスランプ2(➔カードアクセス中の表示:66)

(45) カード扉ロックレバー(➔カード(別売)の挿入:65)

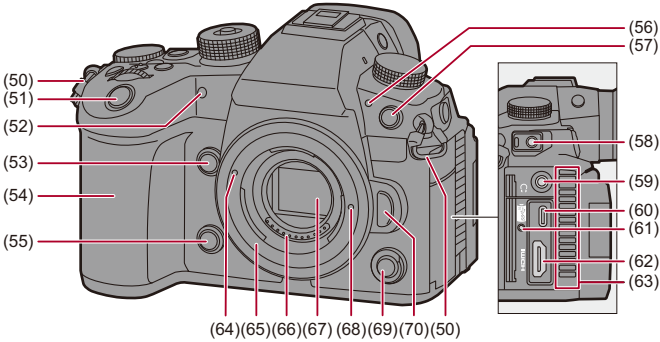
(46) カード扉(➔カード(別売)の挿入:65)

(47) バッテリー扉開閉レバー(➔バッテリーの挿入:54)

(48) バッテリー扉(➔バッテリーの挿入:54)

(49) DCカプラー扉(➔ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売):654)

- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC17)を使用してください。



(50) ショルダーストラップ取り付け部(➔ショルダーストラップの取り付け: 49)

(51) シャッターボタン(➔写真を撮る: 118)

(52) セルフタイマーランプ(➔セルフタイマー撮影: 227)／
AF補助光ランプ(➔AF補助光: 162)

(53) 動画ライブビュー拡大表示ボタン(➔動画ライブビュー拡大表示: 331)／
Fnボタン(Fn2)(➔Fnボタン: 473)

(54) グリップ

(55) プレビューボタン(➔プレビューモード: 268)／
Fnボタン(Fn3)(➔Fnボタン: 473)

(56) フロントタリーランプ(➔動画を撮る: 126)

(57) フラッシュシンクロ端子(フラッシュシンクロ端子キャップ)(➔フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する: 305)
- シンクロ電圧が250 V以下のフラッシュをご使用ください。
- 外部機器とタイムコードを同期する場合、付属のBNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)を接続します。(➔外部機器とタイムコードを同期する: 359)

(58) [MIC]端子(➔外部マイク(別売):347)

(59) ヘッドホン端子(➔ヘッドホン:353)

(60) USB端子(➔カメラにバッテリーを入れて充電する:56、USB端子:629)

(61) ケーブルホルダー取り付け部(➔ケーブルホルダーを取り付ける:422)

(62) HDMI端子(➔HDMI機器と接続する:421、HDMI端子:628)

(63) 排気口(➔ファン動作モード:533)
- 冷却用ファンの排気口です。
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の排気口を塞がないでください。

(64) レンズ取り付けマーク(➔レンズの取り付け:69)

(65) マウント

(66) 接点

(67) センサー

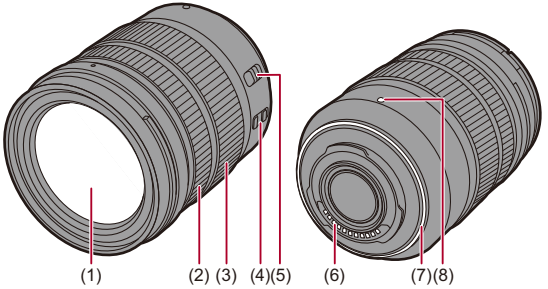
(68) レンズロックピン

(69) サブ動画記録ボタン(➔動画を撮る:126)

(70) レンズ取り外しボタン(➔レンズの取り外し:70)

同梱レンズ

H-ES12060



(1) レンズ面

(2) フォーカスリング（➔MFで撮る：191）

(3) ズームリング（➔ ズームを使って撮る：198）

(4) O.I.S.スイッチ（➔ 手ブレ補正：245）

(5) AF／MFスイッチ（➔AFを使う：154、MFで撮る：191）

- AFとMFを切り換えます。レンズ側か、カメラ側のどちらかが[MF]になっていれば、MF動作になります。

(6) 接点

(7) レンズマウントトラバー

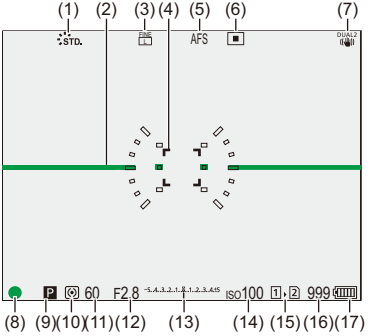
(8) レンズ取り付けマーク（➔ レンズの取り付け：69）

ファインダー／モニターの表示

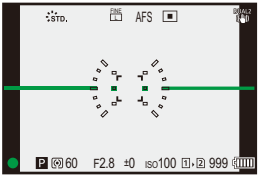
お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。

- ここに記載している以外のアイコンについて（➔ モニター／ファインダーの表示: 658）

ファインダー



モニター



(1) フォトスタイル(➔フォトスタイル: 290)

(2) 水準器(➔水準器表示: 526)

(3) 写真画質(➔写真画質: 123)／
画像サイズ(➔画像サイズ: 121)

(4) AFエリア(➔AFエリアの移動操作: 183)

(5) フォーカスモード(➔フォーカスモードの選択: 152、AFを使う: 154、MFで撮る: 191)

(6) AFモード(➔AFモードの選択: 164)

(7) 手ブレ補正(➔手ブレ補正: 245)

(8) フォーカス(緑点灯)(➔写真を撮る: 118、AFを使う: 154)／
記録動作表示(赤点灯)(➔動画を撮る: 126、ハイレゾモード: 211)

(9) 撮影モード(➔撮影モードの選択: 82)

(10) 測光モード(➔測光モード: 252)

(11) シャッタースピード(➔写真を撮る: 118、シャッター優先AEモード: 261)

(12) 絞り値(➔写真を撮る: 118、絞り優先AEモード: 258)

(13) 露出補正値(➔露出補正: 270)／
マニュアル露出アシスト(➔マニュアル露出アシスト: 265)

(14) ISO感度(➔ISO感度: 277)

(15) カードスロット(➔カード(別売)の挿入: 65)／
ダブルスロット機能(➔ダブルスロット機能: 539)

(16) 写真撮影枚数(➔カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 712)／
連続撮影可能枚数(➔連続撮影可能枚数: 208)

(17) バッテリー残量(➔電源に関する表示: 61)

- [⮌]ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。

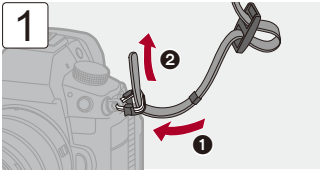
準備

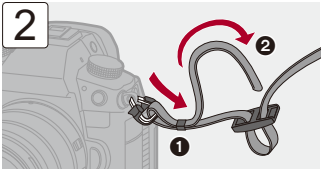
撮影前に、本章を読んでカメラを準備してください。

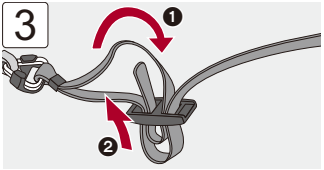
- ショルダーストラップの取り付け: 49
- バッテリーの充電: 51
- カード（別売）の挿入: 65
- レンズの取り付け: 69
- モニターの向きと角度の調整: 74
- 時計の設定（初めて電源を入れるとき）: 76

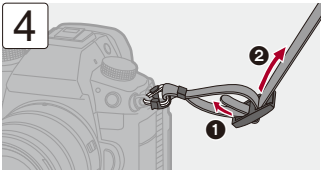
ショルダーストラップの取り付け

落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。









- ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認してください。
- 反対側も、同じ手順で取り付けてください。

バッテリーの充電

- チャージャーを使った充電: 52
- バッテリーの挿入: 54
- カメラにバッテリーを入れて充電する: 56
- 電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電）: 59
- 充電／給電についてのお知らせ: 61
- エコモード: 63

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給（給電）することもできます。
別売のバッテリーチャージャー（DMW-BTC15）も使用できます。

- 本機で使うことができるバッテリーはDMW-BLK22です。（2022年1月現在）

別売のバッテリーDMW-BLF19について

DMW-BLF19（別売）もお使いいただけますが、以下の制約があります。

- 以下の機能は使用できません。
  - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  - フレームレートが60 fpsを超える[バリアブルフレームレート]
- バッテリー容量が少ないため、撮影可能枚数や撮影可能時間が減少します。
- バッテリーの残量表示の目盛りが4つになります。

DMW-BLK22（付属／別売）をお使いいただくことをお勧めします。

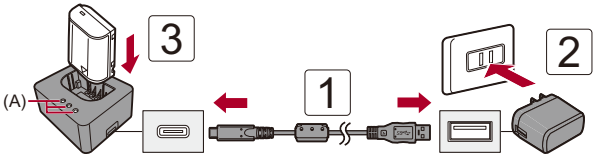
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

チャージャーを使った充電

充電時間：約230分

- 付属のチャージャーおよびACアダプターを使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

- **充電には本機の付属品をお使いください。**
- チャージャーは屋内で使用してください。



1 チャージャーとACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります）

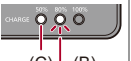
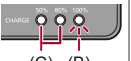
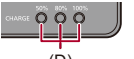
2 ACアダプターを電源コンセントに差し込む

3 バッテリーを差し込む

- 充電ランプ（[CHARGE]）(A)が点滅し、充電が始まります。

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。

❖ 充電ランプの表示

充電状態	0 %～49 %	50 %～79 %	80 %～99 %	100 %
充電ランプ	(B)	 (C) (B)	 (C) (B)	 (D)

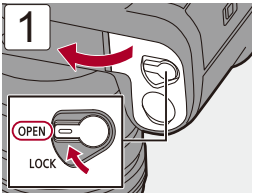
(B) 点滅
(C) 点灯
(D) 消灯

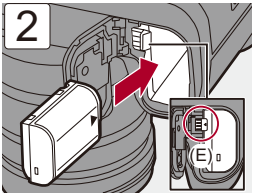
- チャージャーを電源に接続していないときにバッテリーを差し込むと、充電ランプが一定時間点灯してバッテリー残量を確認できます。

- 充電完了後は、電源との接続を解除して、バッテリーを取り外してください。
- [50%]のランプが速く点滅するときは、充電できていません。
  – バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電してください。
  – チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。電源との接続を解除してから、汚れを乾いた布でふき取ってください。

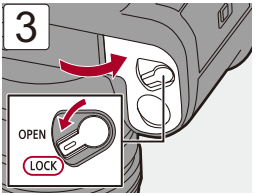
バッテリーの挿入

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。





- バッテリーに(E)のレバーがかかっていることを確認してください。



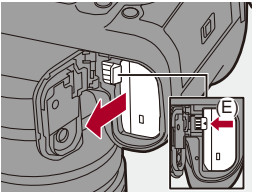
❖ バッテリーの取り出し

1 電源スイッチを[OFF]にする

2 バッテリー扉を開く

3 (E)のレバーを矢印の方向に押して、バッテリーを取り出す

- カードアクセスランプの消灯を確認してからバッテリーを取り出してください。(➔ カードアクセス中の表示: 66)



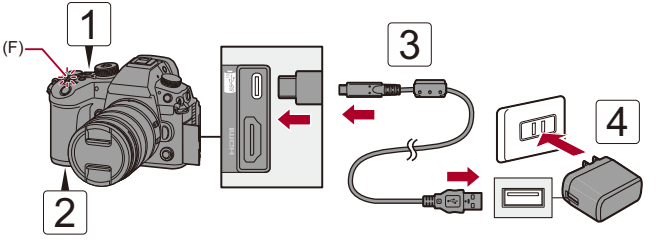
- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する

充電時間：約220分

- カメラ本体と付属のACアダプターを使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

- **充電には本機の付属品をお使いください。**



1 **電源スイッチを[OFF]にする**

2 **カメラにバッテリーを入れる**

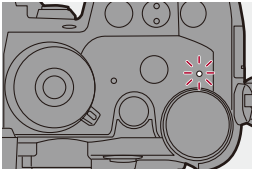
3 **カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ**

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります）

4 **ACアダプターを電源コンセントに差し込む**

- 充電ランプ(F)が赤色点灯し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示



充電ランプ(赤色)

点灯:充電中

消灯:充電完了

点滅:充電エラー

- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも充電できます。この場合、充電時間が長くなる場合があります。

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- 充電ランプが赤く点滅するときは、充電できていません。
  – バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電してください。
  – バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

❖ 電力の供給（給電）

カメラにバッテリーを入れて充電しているときに電源をオンにすると、電力を供給（給電）しながら撮影できます。

- 給電時は、画面に[ ]が表示されます。

- USB機器（パソコンなど）とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも給電できます。

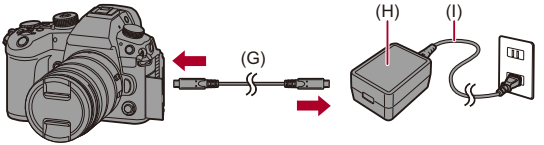
- 給電中はバッテリーの充電はできません。
- ACアダプターを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。
- **高温表示について（**➔ 高温表示について：130**）**

電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電）

本機と、別売のバッテリーチャージャー（DMW-BTC15）の付属品は、USB PD（USB Power Delivery）に対応しているため、電力を供給（給電）しながら充電できます。
バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC15）のUSB 接続ケーブル、AC アダプター、電源コードとカメラを接続してください。

充電時間：約170分

- カメラ本体とバッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC15）に付属のACアダプターを使用。カメラの電源がオフの状態。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



(G) USB接続ケーブル
(H) ACアダプター
(I) 電源コード

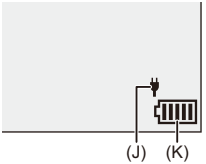
- カメラにバッテリーを挿入してください。
- バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC15）のUSB接続ケーブルで接続してください。
- 電源オン中の充電は、電源オフ中よりも充電時間が長くなります。

- USB PD対応のすべての機器との動作を保証するものではありません。
- USB PD非対応の機器（パソコンなど）と接続してカメラの電源をオンにした場合は、給電だけが行われます。
- 電源プラグを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。

充電／給電についてのお知らせ

❖ 電源に関する表示

モニター表示



(J) USB接続ケーブルから電源供給中
(K) バッテリー残量

	80 %以上
	60 %～79 %
	40 %～59 %
	20 %～39 %
	19 %以下
赤色点滅	残量不足（電源表示ランプも点滅します） • バッテリーを充電または交換してください。

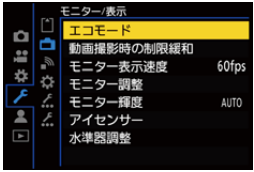
• 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

- **パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。**
  純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。
  ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- ACアダプターおよびUSB接続ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
- ACアダプターは海外でも使用できます。（➔ 海外旅行先で使う：655）
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電／給電が中止されることがあります。
- 充電が完了してもバッテリー残量表示が[ ]にならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。
  該当バッテリーのご使用はお控えください。

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📷] ➡ [エコモード]を選ぶ



スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。	
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi切断後、15分でスリープするように設定します。	
LVF/モニター自動OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファインダー撮影	ファインダー／モニター自動切換で、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。	
	スリープするまでの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	スリープが働く画面を設定します。 **[コントロールパネルのみ]**:コントロールパネル(➔ コントロールパネル: 97)を表示しているときだけスリープします。 **[撮影待機中]**:撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。

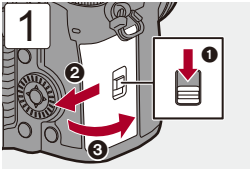
- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
  – シャッターボタンを半押しする
  – 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

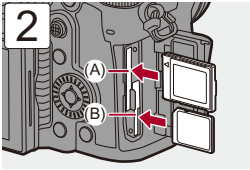
- 以下の場合は、[エコモード]が働きません。
  – パソコンまたはプリンター接続中
  – 動画撮影／動画再生中
  – インターバル撮影中
  – コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
  – [フォーカストランジション]撮影時
  – スライドショー中
  – HDMI出力して撮影中

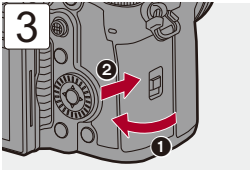
カード(別売)の挿入

- 使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。(➔ フォーマット: 538)

本機はダブルスロット機能に対応しています。カードを2枚使用すると、リレー記録やバックアップ記録、振り分け記録ができます。







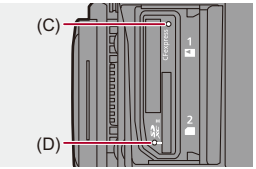
(A) カードスロット1:CFexpressカード
(B) カードスロット2:SDカード

- カードの向きを図に合わせて、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

- カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定できます:
  (➔ ダブルスロット機能: 539)
- DCIMフォルダー内の画像を保存するフォルダーとファイル名を設定できます:
  (➔ フォルダー/ファイル設定: 543)
- カードに動画を保存するときのファイル名をシネスタイルに切り換えることができます(保存先フォルダーも切り換わります):
  (➔ 動画ファイル名: 540)
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、カードのボリュームラベルを設定できます:
  (➔ シネスタイルファイル設定: 542)

❖ カードアクセス中の表示

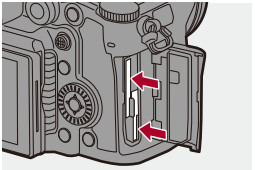
カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。



(C) カードスロット1のカードアクセスランプ
(D) カードスロット2のカードアクセスランプ

- **アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。**
  – 電源を切る
  – バッテリーやカード、電源プラグを抜く
  – カメラに振動や衝撃、静電気を与える

❖ カードの取り出し

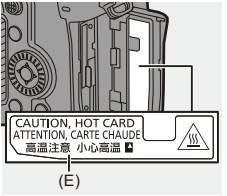


1 カード扉を開く

2 「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜く
- カードアクセスランプの消灯を確認してから、カードを取り出してください。

高温注意

- カード扉内側に表示されているとおり、カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はお気をつけください。画面に高温注意のメッセージが表示されたときは、すぐにカードを取り出さず、温度が下がってメッセージが消えるまでお待ちください。



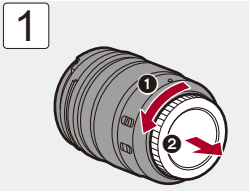
(E)高温注意

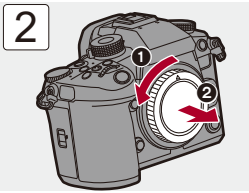
レンズの取り付け

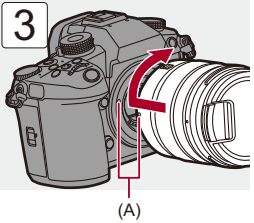
● レンズフードの取り付け: 72

本機は、マイクロフォーサーズ™ システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。
使用できるレンズについて(➔ 使用できるレンズ: 33)

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合(➔ 撮像素子のごみの付着について: 697)
- レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。



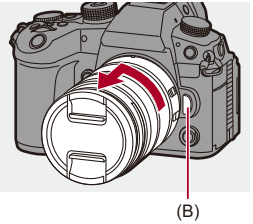




(A) レンズ取り付けマーク

❖ レンズの取り外し

- レンズ取り外しボタン(B)を押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外してください。



- 本機との通信機能がないレンズを取り付けた場合は、電源を入れたときにレンズ情報の確認メッセージが表示されます。[はい]を選ぶとレンズの焦点距離などを登録できます。(➔ レンズ情報: 250)
- 確認メッセージを非表示にできます:
  (➔ レンズ情報確認表示: 536)
- レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようとすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。
- レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。

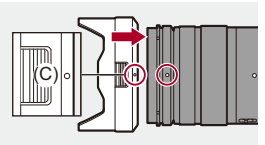
レンズフードの取り付け

強い逆光下の撮影で、レンズ内部で光の乱反射が生じて光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

交換レンズに付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合

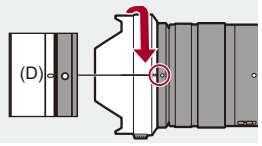
- 図のように、指を添えてレンズフードを持ってください
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

1 レンズフードの指標(C)(○)とレンズ先端の指標を合わせる



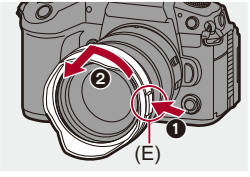
2 レンズフードを矢印の方向に回し、レンズフードの指標(D)(⬭)と、レンズ先端の指標を合わせる

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。



❖ レンズフードの取り外し

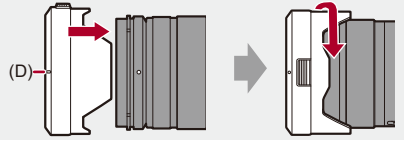
レンズフードのボタン(E)を押しながら、矢印の方向に回して取り外す



- 持ち運ぶときに、レンズフードを逆向きに取り付けることができます。

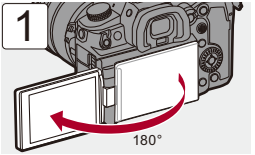
1 レンズフードの指標(D)(⬭)と、レンズ先端の指標を合わせる

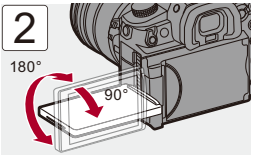
2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して取り付ける

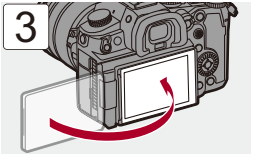


モニターの向きと角度の調整

本機のモニターは、フリーアングルとチルトを組み合わせて、向きと角度を自由に調整できます。
お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。

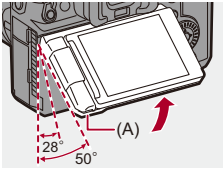






❖ チルト

(A)に指をかけて、矢印の方向にモニターを押し上げてください。



- 本機のモニターは、2段階にチルトできます。
- 28°にチルトした状態でも、モニターを開くことができます。

- 調整できる角度は目安です。
- モニターに指を挟まないようにお気をつけください。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。

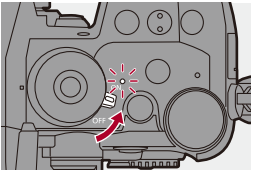
- 撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます：
  （➔ LVF/モニター表示設定：522）

時計の設定（初めて電源を入れるとき）

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。
正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを[ON]にする

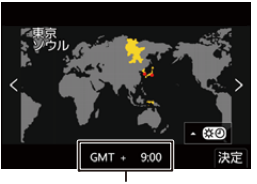
- 電源表示ランプが点灯します。



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、MENU/SET または を押す

3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶でタイムゾーンを選び、MENU/SET または を押します。
- サマータイム[▲☀]（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。（時計が1時間進みます）元に戻すには、もう一度▲を押してください。



(A)

(A) GMT（グリニッジ標準時）との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、MENU/SET または ◎ を押す

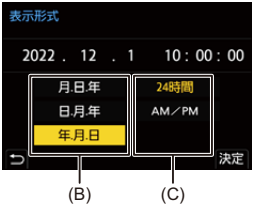
5 時計を設定する

◀▶：項目（年・月・日・時・分・秒）の選択

▲▼：数値の選択

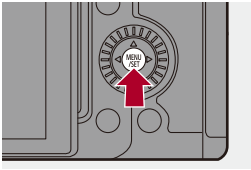
表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ◀▶ で [表示形式] を選び、MENU/SET または ◎ を押すと、表示順(B)・時刻表示形式(C)の設定画面が表示されます。



6 決定する

- MENU/SET または を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、MENU/SET または を押す

- 時計の設定をしないでカメラを使うと、2022年1月1日 0:00:00に設定されます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。（内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください）

- [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
（➔ タイムゾーン：557、時計設定：557）
- 電源表示ランプが点灯しないように設定できます：
（➔ 電源／NETWORKランプ：554）

基本操作

カメラの基本的な操作方法や、すぐに撮影してみたいときに便利なインテリジェントオートモードについて説明しています。

- カメラの構え方: 80
- 撮影モードの選択: 82
- カメラの設定操作: 83
- モニター／ファインダーの表示設定: 89
- クイックメニュー: 95
- コントロールパネル: 97
- メニューの操作方法: 99
- 文字の入力: 105
- インテリジェントオートモード: 106
- タッチ撮影: 113

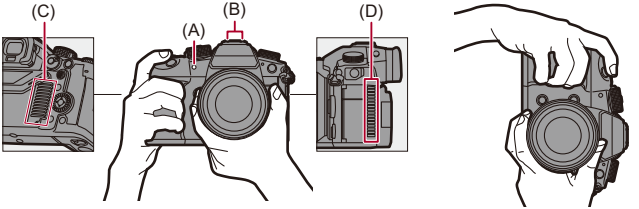
カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。

- AF補助光ランプ(A)およびマイク(B)を指などで塞がないでください。
- 冷却用ファンの吸気口(C)および排気口(D)を手などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。
初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。

- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(➔ 縦位置自動回転: 464)

- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。

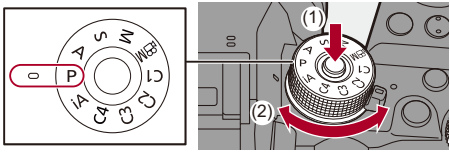
- 動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます:
(➔ 動画の縦位置情報: 536)

撮影モードの選択

1 モードダイヤルロックボタンを押して(1)、ロックを解除する

- モードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック／ロックの解除が切り換わります。

2 モードダイヤルを回して(2)、撮影モードを合わせる



iA

インテリジェントオートモード(➔ インテリジェントオートモード: 106)

P

プログラムAEモード(➔ プログラムAEモード: 254)

A

絞り優先AEモード(➔ 絞り優先AEモード: 258)

S

シャッター優先AEモード(➔ シャッター優先AEモード: 261)

M

マニュアル露出モード(➔ マニュアル露出モード: 264)

M

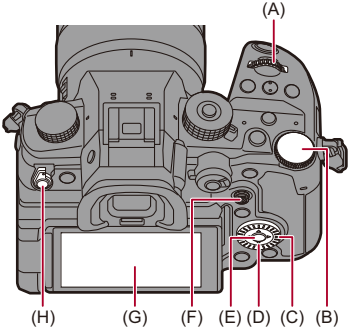
クリエイティブ動画モード(➔ クリエイティブ動画モード: 322)

C1／C2／C3／C4

カスタムモード(➔ カスタムモード: 495)

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。
誤操作を防ぐために、操作ロックレバーで操作を無効にできます。



(A) 前ダイヤル( )(➔前ダイヤル／後ダイヤル: 84)

(B) 後ダイヤル( )(➔前ダイヤル／後ダイヤル: 84)

(C) コントロールダイヤル( )(➔コントロールダイヤル: 84)

(D) カーソルボタン(▲▼◀▶)(➔カーソルボタン: 85)

(E) [MENU/SET]ボタン( )(➔[MENU/SET]ボタン: 85)

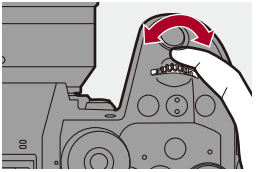
(F) ジョイスティック(▲▼◀▶／)(➔ジョイスティック: 86)

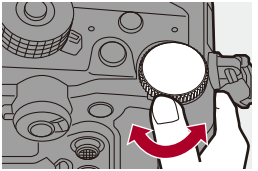
(G) タッチパネル(➔タッチパネル: 87)

(H) 操作ロックレバー(➔操作ロックレバー: 88)

❖ 前ダイヤル／後ダイヤル

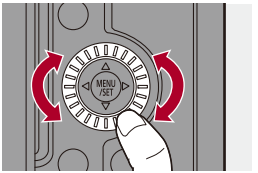
回す：項目や数値を選択します。





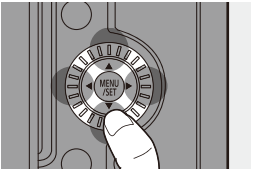
❖ コントロールダイヤル

回す：項目や数値を選択します。



❖ カーソルボタン

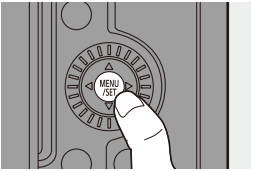
押す：項目や数値を選択します。



❖ [MENU/SET]ボタン

押す：設定内容を決定します。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。



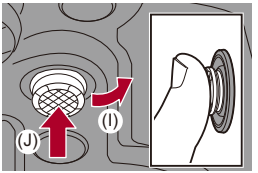
❖ ジョイスティック

ジョイスティックは、上下左右斜めに傾ける8方向操作と、中央部分を押し込む操作ができます。

(I) **傾ける**：項目、数値の選択や、位置の移動をします。

- ジョイスティックの中央に指を当てて傾けます。側面から押すと正しく動作しない場合があります。

(J) **押す**：設定内容を決定します。

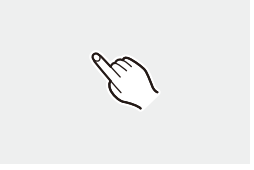


❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

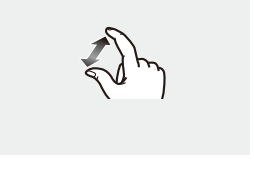


ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。

ピンチする(広げる・縮める)

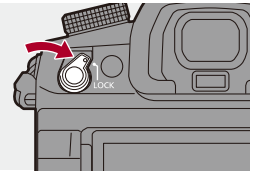
タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。



- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります）

- タッチ操作を無効にできます：
（➔ タッチ設定：511）

❖ 操作ロックレバー



操作ロックレバーを[LOCK]に合わせると、カスタムメニュー（操作）の[ロックレバー設定]で設定した操作部を無効にできます。（➔ ロックレバー設定：512）

モニター／ファインダーの表示設定

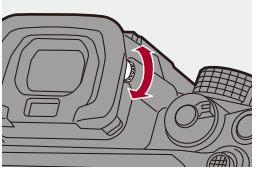
- ファインダーの設定: 89
- モニターとファインダーの切り換え: 90
- 情報表示の切り換え: 92

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

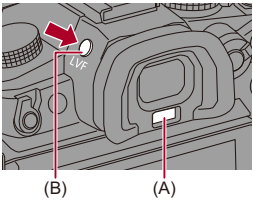
- ファインダー内の文字がはっきり見えるまで調整してください。

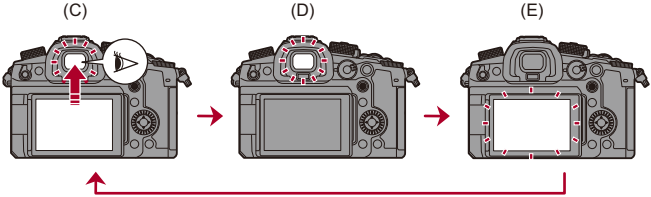


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。
ファインダーをのぞくとアイセンサー(A)が働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。
[LVF]ボタン(B)で、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF]ボタンを押す

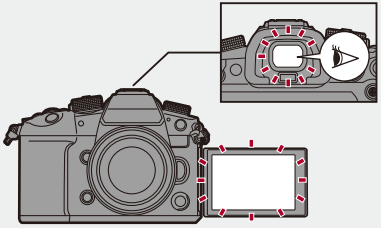




(C) ファインダー／モニター自動切換
(D) ファインダー表示
(E) モニター表示

❖ モニターとファインダーの同時表示

ファインダー／モニター自動切換(C)時、モニターをレンズ方向に向けると、ファインダーをのぞいたときに撮影画面がモニターにも表示されます。



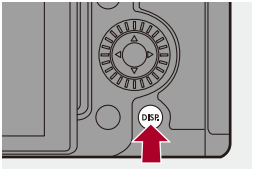
- モニターをチルトした状態では、アイセンサーは働きません。
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切換が働きません。

- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：
  （➔ アイセンサーAF: 509）
- アイセンサーの感度を変更できます：
  （➔ アイセンサー: 549）
- 写真撮影時におけるモニターのライブビュー表示速度を設定できます：
  （➔ モニター表示速度: 548）
- モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整できます：
  （➔ モニター調整／LVF 調整: 548）
- モニター／ファインダーの輝度を調整できます：
  （➔ モニター輝度／LVF 輝度: 548）

情報表示の切り換え

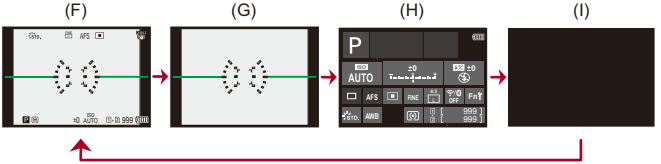
[DISP.] ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。



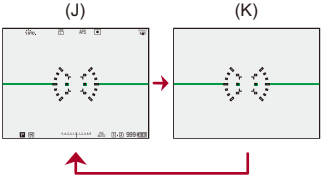
❖ 撮影画面

モニター



(F) 情報あり
(G) 情報なし
(H) コントロールパネル
(I) 消灯

ファインダー

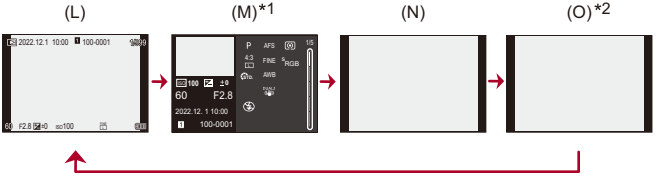


(J) 情報あり
(K) 情報なし

- [↩]ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。[水準器表示]（➔ 水準器表示: 526）でも設定できます。

- コントロールパネルの操作（➔ コントロールパネル: 97）
- コントロールパネル、消灯画面を非表示にできます：
（➔ 撮影画面の遷移（モニター）: 527）
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます：
（➔ LVF/モニター表示設定: 522）
- ライブビューの境界線を表示できます：
（➔ ライブビュー境界線表示: 526）

❖ 再生画面



(L) 情報あり
(M) 詳細情報表示
(N) 情報なし
(O) ハイライト表示なし

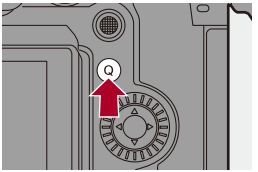
*1 ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。(➔ 詳細情報表示: 676)
*2 カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(➔ ハイライト表示: 524)

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

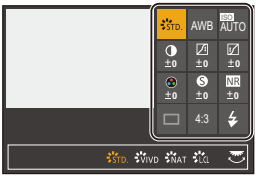
1 クイックメニューを表示する

- [Q]ボタンを押します。



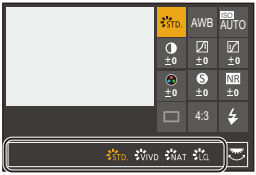
2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。
- ⊛を回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



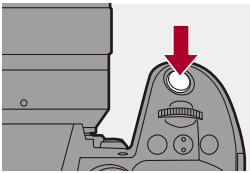
3 設定項目を選ぶ

- または を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q]ボタンを押しても終了できます。



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

- クイックメニューのカスタマイズができます：
（➔ クイックメニューのカスタマイズ: 489）

コントロールパネル

現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。
[🎥M]モード(クリエイティブ動画モード)では、動画専用の表示に変わります。

- 画面表示について(➔ コントロールパネル:666、コントロールパネル(クリエイティブ動画モード):669)

1 コントロールパネルを表示する

- [DISP.]ボタンを数回押します。

2 項目をタッチする

- それぞれの項目の設定画面が表示されます。

3 設定を変更する

例)AFモードの変更

- 設定項目をタッチします。

- 設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。

4 [決定]をタッチする

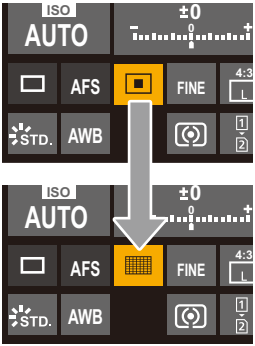
❖ ダイヤルを使った直接変更

手順**2**～**4**は以下の操作でも変更できます。

1 ▲▼◀▶のいずれかを押して、項目を選択可能な状態にする
- 選択中の項目が黄色で表示されます。

2 ▲▼◀▶を押して、項目を選ぶ
- または を回しても選択できます。

3 を回して、設定を変更する



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

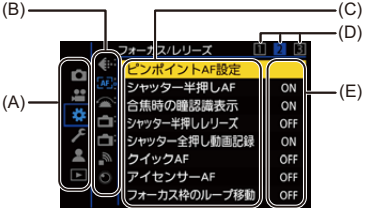
メニューの操作方法

● 設定リセット: 104

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。
メニューの操作はカーソル、ジョイスティック、ダイヤル、タッチのどれでも可能です。

メニューの構成と操作部

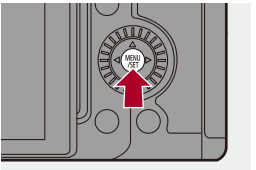
メニュー画面を ◀▶ で移動することで、メニューを操作できます。
また、メインタブ、サブタブ、ページタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。
• アイコンやメニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。



(A) メインタブ([Q] ボタン)
(B) サブタブ( )
(C) メニュー項目( )
(D) ページタブ( )
(E) 設定項目

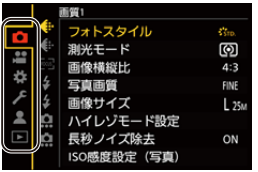
1 メニューを表示する

- MENU/SET を押します。



2 メインタブを選ぶ

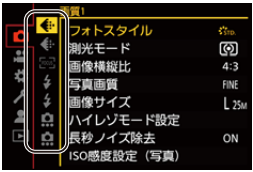
- ▲▼でメインタブを選び、▶を押します。
- を回してメインタブを選び、MENU/SET または を押しても同じ操作ができます。



3 サブタブを選ぶ

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- ◎を回してサブタブを選び、MENU/SET または ◎ を押しても同じ操作ができます。

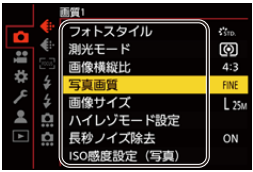
- ページタブがある場合は、ページタブ(D)が順に切り換わったあとに、次のサブタブに切り換わります。



(D)

4 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- ◎を回してメニュー項目を選び、MENU/SET または ◎ を押しても同じ操作ができます。

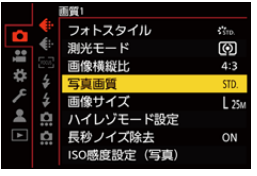


5 設定項目を選び決定する

- ▲▼で設定項目を選び、MENU/SET または ⊛ を押します。
- ◎ を回して設定項目を選び、MENU/SET または ⊛ を押しても同じ操作ができます。

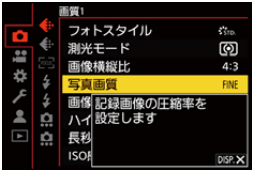
6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [↩]ボタンを数回押しても終了できます。



❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

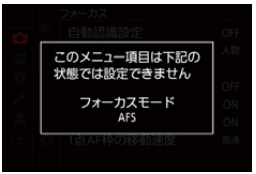
メニュー項目や設定項目を選択中に[DISP.]ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。



❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。
グレーのメニュー項目を選択中に MENU または を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。

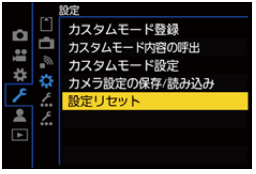


設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定（[Wi-Fi設定]、[Bluetooth]の設定内容）
- セットアップ／カスタム設定（[Wi-Fi設定]、[Bluetooth]以外）

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [⚙] ➡ [設定リセット]を選ぶ



- セットアップ／カスタム設定をリセットすると、再生メニューもリセットされます。
- 写真メニュー（その他（写真））／動画メニュー（その他（動画））の[手ブレ補正]の[レンズ情報]は、セットアップ／カスタム設定をリセットすると初期設定に戻ります。
- フォルダー番号、時計はリセットされません。

- 初期設定とリセット対象の一覧（➔ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧：719）

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで MENU/SET または を押します。(繰り返す)

- 続けて同じ文字を入力したい場合は、 または を右側に回して入力位置を移動してください。
- 項目を選んで MENU/SET または を押すと、以下の操作ができます。
  - [切換]:かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換え
  - [␣]:空白を入力
  - [消去]:文字を消去
  - [<]:入力位置を左に移動
  - [>]:入力位置を右に移動
- パスワードを入力するときは、入力した文字数/入力できる文字数(A)が表示されます。

2 入力を終了する

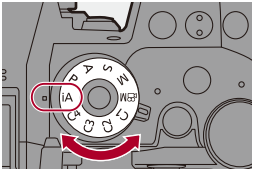
- [決定]を選び、MENU/SET または を押します。

インテリジェントオートモード

[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。
被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 撮影モードを[iA]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)



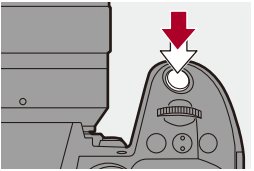
2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)

3 ピントを合わせる

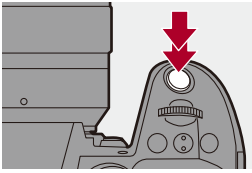
- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカスアイコンが点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)

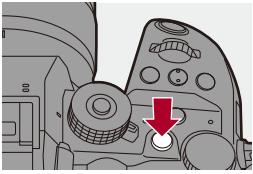
• AFモードの[ ]が働き、人物に合わせてAFエリアが表示されます。

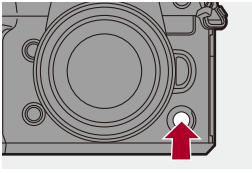


4 撮影する

- 写真を撮影するには、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するには、動画記録ボタンまたはサブ動画記録ボタンを押します。







- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

		写真撮影時	動画撮影時
	i人物*1	✓	✓
	i人物 & 動物*2	✓	✓
	i風景	✓	✓
	iマクロ	✓	✓
	i夜景 & 人物*3	✓	
	i夜景	✓	
	i料理	✓	
	i夕焼け	✓	
	iローライト		✓
iA	iA	✓	✓

*1 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]を[人物]、[顔・瞳]にしているときに判別されます。

*2 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]を[動物+人物]にしているときに判別されます。

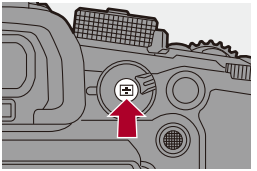
*3 外部フラッシュ使用時に判別されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [⊞]ボタンを押すごとに、AFモードが切り換わります。
- 画面をタッチする、またはジョイスティックを長押しして切り換えることもできます。
- [自動認識設定]は[ON]に固定されます。
- [自動認識の対象]は、[iA]モード以外の撮影モードでの設定を引き継ぎます。(➔ 自動認識: 167)



フルエリア

人の顔、目、体（全身または上半身）、動物の体を認識してピントを合わせます。

- 白色のAFエリアをタッチする、またはジョイスティックの▲▼◀▶で、ピントを合わせる人や動物、目を切り換えることができます。

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする

- シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。

- AFモードについて（➔ 自動認識: 167、追尾: 170）

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。
スローシンクロ（[⚡§]、[⚡S]）のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。

• 外部フラッシュについて（➔ 外部フラッシュ（別売）を使う：303）

タッチ撮影

● タッチ AF／タッチシャッター: 113
● タッチ AE: 115

タッチ AF／タッチシャッター

iA P A S M

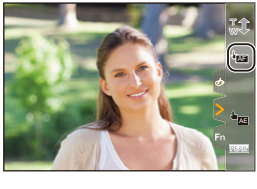
タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。（➔ タッチ設定: 511）

1 [ ]をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



(タッチAF)
タッチした位置にピントを合わせます。

(タッチシャッター)
タッチした位置にピントを合わせて撮影します。

(OFF)

3 (OFF以外に設定した場合)被写体をタッチする

- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤色になったあと消えます。

- AFエリアの操作方法について(➔AFエリアの移動画面での操作: 179)
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます:
(➔タッチでのAFエリアの移動操作: 186)

タッチAE

iA P A S M

タッチした位置に明るさを合わせます。
人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。（➔タッチ設定: 511）

1 [ ]をタッチする

2 [ ]をタッチする

- タッチAEの設定画面が表示されます。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。

4 [決定]をタッチする

❖ タッチAEの解除方法

[OFF AE]をタッチする

- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます（このとき、タッチAEは使用できません）：
（➔ タッチした位置にピントと明るさを合わせる（[AF+AE]）: 187）

写真の撮影

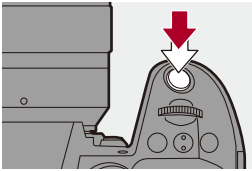
写真を撮影するための基本的な操作と設定です。

- 写真を撮る: 118
- 画像横縦比: 120
- 画像サイズ: 121
- 写真画質: 123

写真を撮る

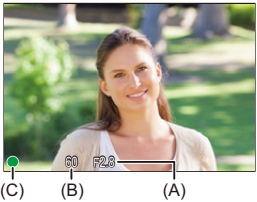
1 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押し(軽く押す)します。



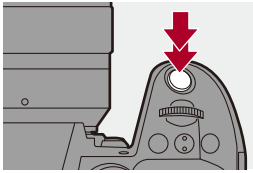
- 絞り値(A)とシャッタースピード(B)が表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカスアイコン(C)が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)

• [AF ON] ボタンを押しても同じ操作ができます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(➔オートレビュー: 518)

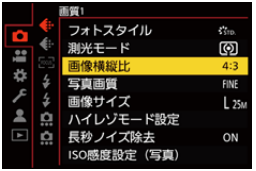
- **初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。**
  カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[フォーカス/レリーズ優先]を[バランス]または[レリーズ]にすると、ピントが合っていなくても撮影できます。(➔ フォーカス/レリーズ優先: 505)

画像横縦比

iA P A S M

画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [画像横縦比]を選ぶ



4:3

4:3モニターの横縦比

3:2

一般のフィルムカメラの横縦比

16:9

16:9テレビの横縦比

1:1

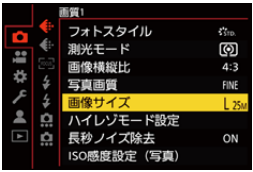
正方形横縦比

画像サイズ

iA P A S M

写真の画像サイズを設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [画像サイズ] を選ぶ



画像横縦比	画像サイズ	
4:3	L(25M)	5776×4336
	M(12.5M)	4096×3072
	S(6.5M)	2944×2208
3:2	L(22M)	5776×3848
	M(11M)	4096×2728
	S(5.5M)	2944×1960
16:9	L(18.5M)	5776×3248
	M(9.5M)	4096×2304
	S(5M)	2944×1656
1:1	L(19M)	4336×4336
	M(9.5M)	3072×3072
	S(5M)	2208×2208

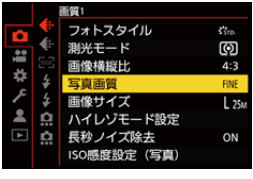
• [EXテレコン(写真)]設定時は、[M]、[S]の画像サイズに[EX]が表示されます。

- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
  – [写真画質]の[RAW]
  – ハイレゾモード

写真画質

写真を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [写真画質]を選ぶ



FINE

画質を優先したJPEG画像です。

ファイル形式：JPEG

STD.

標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。

ファイル形式：JPEG

RAW+FINE／RAW+STD.

RAW画像とJPEG画像（[FINE]または[STD.]）を同時に記録します。

ファイル形式：RAW+JPEG

RAW

RAW画像を記録します。

ファイル形式：RAW

RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(➔ RAW現像: 455)
- パソコンでRAWファイルの現像、編集をする場合は、ソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(➔SILKYPIX Developer Studio SE: 639)

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3]の[L]サイズで記録されます。
- [RAW+FINE]、[RAW+STD.]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[写真画質]は設定できません。
  – ハイレゾモード

- 1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影する機能をFnボタンに登録できます:(➔ ワンショット RAW+JPG: 478)
- 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます:(➔ 色空間: 503)

動画の撮影

動画を撮影するための基本的な操作と設定です。

- 動画撮影についてさらに詳しく知るには、以下の章もお読みください。
  - 動画の設定: 321
  - 特殊な動画撮影: 382
  - HDMI出力(動画): 420

- 動画を撮る: 126
- システム周波数: 132
- 記録ファイル方式: 134
- 動画画質: 135
- 動画撮影範囲: 149

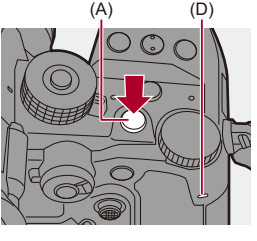
動画を撮る

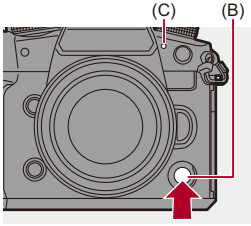
本機は、最大5.8K（5760×4320）解像度の動画撮影が可能です。また、システム周波数の切り換えや、MP4／MOV／Apple ProResの3種類の記録ファイル方式に対応しています。
動画撮影専用の[M]モード（クリエイティブ動画モード）では、すべての動画機能が使用できます。

1 撮影を開始する

- 動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。

- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、フロントタリーランプ(C)およびリアタリーランプ(D)が点灯します。





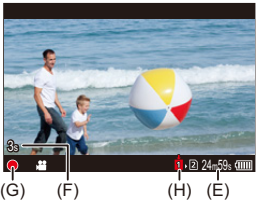
2 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。

❖ 動画撮影中の画面表示

ライブビューの画角が動画撮影用に変わり、動画記録時間(E)と記録経過時間(F)が表示されます。(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画の記録中は、記録動作表示(G)とカードアクセス表示(H)が赤く点灯します。



- AFで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度
iA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。(➔自動シーン判別の種類: 109)
P／A／S／M	カスタムメニュー(画質)の[P/A/S/M動画の露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。(➔P/A/S/M動画の露出自動制御: 503) **[ON]**:カメラが自動で設定した値で撮影します。 **[OFF]**:[P]／[A]／[S]／[M]モードで設定した値で撮影します。
🎥M	手動で設定した値で撮影します。

❖ ファイル分割

連続記録時間、またはファイルサイズが以下の条件を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

記録ファイル方式	動画画質	ビットレート	使用カード	ファイル分割	
				連続記録時間	ファイルサイズ
MP4	FHD	すべて	(A)	30分	4 GB
			(B)		
			(C)		
	4K		(A)	3時間4分	96 GB
			(B)		
			(C)	30分	4 GB
MOV	すべて	600 Mbps以下	(A)	3時間4分	192 GB
			(B)		
			(C)	30分	4 GB
		800 Mbps以上	(A)	3時間4分	640 GB
			(B)		
			(C)		
Apple ProRes	5.7K	すべて	(A)	3時間4分	640 GB
			(B)		
			(C)		

(A) CFexpressカード使用時
(B) SDXCメモリーカード使用時
(C) SDHCメモリーカード使用時

- 動画撮影中にバッテリーやカードの残量が少なくなると、タリーランプが長い間隔で点滅します。バッテリーやカードの残量がなくなると、動画撮影を停止し、タリーランプが短い間隔で点滅します。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズの動作音（AFや手ブレ補正）が動画に記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画記録ボタンやサブ動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
  - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー（画像の編集）の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
  - シャッターリモコン（別売：DMW-RS2）を使って撮影する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
  - インターバル撮影
  - コマ撮りアニメ
- **高温表示について**

  カメラやカードの温度が上がると、画面に[ ]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力が停止します。カメラやカードの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。

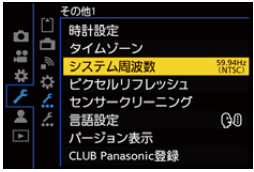
- 動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定できます：
  （➔ 動画撮影時の制限緩和：547）
- 撮影画面の表示を、[M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えることができます：
  （➔ 動画優先表示：531）
- タリーランプの点灯／消灯を設定できます。タリーランプの明るさを変更することもできます：
  （➔ タリーランプ：533）
- 撮影画面に動画記録中であることを示す赤色の枠を表示できます：
  （➔ 動画記録中の赤枠表示：531）

システム周波数

iA P A S M

本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。
初期設定では、お買い上げの地域のテレビ放送方式に合ったシステム周波数が設定されています。

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [🔧] ➡ [システム周波数] を選ぶ



59.94Hz(NTSC)

放送方式がNTSCの地域向けのシステム周波数

50.00Hz(PAL)

放送方式がPALの地域向けのシステム周波数

24.00Hz(CINEMA)

映画制作用のシステム周波数

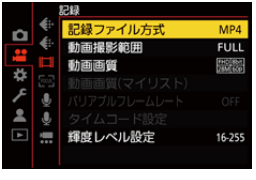
- 設定変更後は、カメラの電源を入れ直してください。
- お住まいの地域の放送方式と異なるシステム周波数で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方や、映画用の動画制作をしない方は、お買い上げ時の設定で使用することをお勧めします。
- 設定を変更したあとは、別のカードに入れ替え、本機でフォーマットすることをお勧めします。
  – [システム周波数]の設定は、撮影時と再生時で同じ設定にしてください。

記録ファイル方式

iA P A S M

撮影する動画の記録ファイル方式を設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式]を選ぶ



MP4

パソコンでの再生に適したデータ形式です。

MOV

映像編集に適したデータ形式です。

Apple ProRes

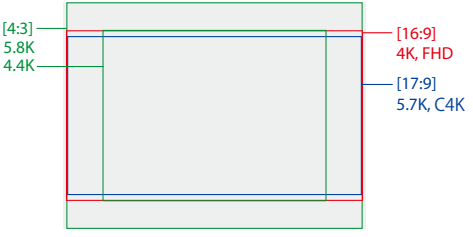
Apple ProResコーデックで記録します。映像編集に適したデータ形式です。

- [M]モード時に設定できます。

- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
  - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
  - 解像度が4K以上の[Apple ProRes]の動画
  - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリアブルフレームレート動画

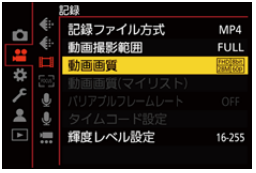
動画画質

撮影する動画の画質を設定します。選択できる画質は、撮影モード、[システム周波数]、[記録ファイル方式]の設定によって異なります。[動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。[動画画質]の設定には、条件に合う項目だけを表示する[絞り込み]（➔ 絞り込み：146）や、よく使う動画画質を登録する[マイリスト登録]（➔ マイリスト登録：147）も利用できます。



- 上記は使用できる動画画質の一部です。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎞] ➡ [動画画質]を選ぶ



- ビットレートが72 Mbps以上の動画を撮影するには、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。
- ビットレートが800 Mbps以上の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 解像度が4K以上の[Apple ProRes]の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 使用できるカードについて(➔ 本機で使用できるSDカード: 35)

❖ 記録ファイル方式：[MP4]

- YUV、ビット数、映像圧縮
  - **[10bit]**の動画画質：4:2:0、10 bit、Long GOP
  - **[8bit]**の動画画質：4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット：AAC（2ch）

(A) 記録フレームレート
(B) ビットレート（Mbps）
(C) ビデオ圧縮方式（**HEVC**：H.265/HEVC、**AVC**：H.264/MPEG-4 AVC）

システム周波数：[59.94Hz(NTSC)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/60p	✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	100	HEVC
4K/10bit/72M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	72	HEVC
4K/8bit/100M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/10bit/72M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	72	HEVC
4K/8bit/100M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/8bit/20M/30p	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	20	AVC
FHD/8bit/24M/24p	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/50p	✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	100	HEVC
4K/10bit/72M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	72	HEVC
4K/8bit/100M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/8bit/20M/25p	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	20	AVC

❖ 記録ファイル方式：[MOV]

- YUV、ビット数、映像圧縮
  - **[422/10-I]**の動画画質：4:2:2、10 bit、ALL-Intra
  - **[422/10-L]**の動画画質：4:2:2、10 bit、Long GOP
  - **[420/10-L]**の動画画質：4:2:0、10 bit、Long GOP
- 音声フォーマット：LPCM（4ch）[*1]

🎥M：クリエイティブ動画モード時に設定できます。
(A) 記録フレームレート
(B) ビットレート（Mbps）
(C) ビデオ圧縮方式（**HEVC**：H.265/HEVC、**AVC**：H.264/MPEG-4 AVC）

システム周波数：[59.94Hz(NTSC)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.8K/30p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	29.97p	200	HEVC
5.8K/24p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	23.98p	200	HEVC
5.7K/60p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	59.94p	300	HEVC
5.7K/48p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	47.95p	300	HEVC
5.7K/30p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	200	HEVC
5.7K/24p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	200	HEVC
4.4K/60p/420/10-L	✓	✓		4352×3264	4:3	59.94p	300	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓	✓		4352×3264	4:3	47.95p	300	HEVC
C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	119.88p	300	HEVC
C4K/60p/422/10-I(H) [*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	800	AVC
C4K/60p/422/10-I(L) [*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	600	AVC
C4K/60p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	AVC
C4K/60p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	HEVC
C4K/48p/422/10-I(H) [*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	800	AVC
C4K/48p/422/10-I(L) [*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	600	AVC
C4K/48p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	AVC
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	HEVC
C4K/30p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	400	AVC

C4K/30p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	AVC
C4K/30p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	HEVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	HEVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	119.88p	300	HEVC
4K/60p/422/10-I(H)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	800	AVC
4K/60p/422/10-I(L)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	600	AVC
4K/60p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	AVC
4K/60p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	HEVC
4K/48p/422/10-I(H)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	800	AVC
4K/48p/422/10-I(L)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	600	AVC
4K/48p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	AVC
4K/48p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	HEVC
4K/30p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	400	AVC
4K/30p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	AVC
4K/30p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	HEVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	HEVC
FHD/240p/422/10-I	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	800	AVC
FHD/240p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	AVC
FHD/240p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	HEVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	HEVC
FHD/60p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	200	AVC
FHD/60p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	HEVC
FHD/60i/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	100	AVC
FHD/60i/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	50	AVC

FHD/48p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	200	AVC
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	AVC
FHD/48p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	HEVC
FHD/30p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	200	AVC
FHD/30p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/30p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	HEVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	HEVC

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL/PIXEL					
5.8K/25p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	25.00p	200	HEVC
5.7K/50p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	50.00p	300	HEVC
5.7K/25p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	200	HEVC
4.4K/50p/420/10-L	✓	✓		4352×3264	4:3	50.00p	300	HEVC
C4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	100.00p	300	HEVC
C4K/50p/422/10-I(H)[*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	800	AVC
C4K/50p/422/10-I(L)[*2]		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	600	AVC
C4K/50p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	AVC
C4K/50p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	HEVC
C4K/25p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	400	AVC
C4K/25p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	AVC
C4K/25p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	HEVC
4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	100.00p	300	HEVC
4K/50p/422/10-I(H)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	800	AVC
4K/50p/422/10-I(L)[*2]		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	600	AVC
4K/50p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	AVC
4K/50p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	HEVC
4K/25p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	400	AVC
4K/25p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	AVC
4K/25p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	HEVC
FHD/200p/422/10-I	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	800	AVC
FHD/200p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	AVC
FHD/200p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	HEVC
FHD/100p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	400	AVC
FHD/100p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	AVC
FHD/100p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	HEVC
FHD/50p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	200	AVC
FHD/50p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC

FHD/50p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	HEVC
FHD/50i/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	100	AVC
FHD/50i/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	50	AVC
FHD/25p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	200	AVC
FHD/25p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/25p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	HEVC

システム周波数：[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.8K/24p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	24.00p	200	HEVC
5.7K/48p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	48.00p	300	HEVC
5.7K/24p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	200	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓	✓		4352×3264	4:3	48.00p	300	HEVC
C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	120.00p	300	HEVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	HEVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	120.00p	300	HEVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	HEVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	HEVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	HEVC

*1 [4chマイク入力]を[OFF]に設定していても、動画の音声トラックは4チャンネルで記録されます。

*2 [動画画質]の[(H)]はビットレートが800 Mbps、[(L)]は600 Mbpsを示します。[(H)]の動画はSDカードに記録できません。

❖ 記録ファイル方式：[Apple ProRes]

• 音声フォーマット：LPCM（4ch）*

🎥M：クリエイティブ動画モード時に設定できます。
(A) 記録フレームレート
(B) ビットレート（Gbps）
(C) ビデオ圧縮方式（**422 HQ**：Apple ProRes 422 HQ、**422**：Apple ProRes 422）

システム周波数：[59.94Hz(NTSC)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL/PIXEL					
5.7K/30p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	1.9	422 HQ
5.7K/30p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	1.3	422
5.7K/24p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	1.5	422 HQ
5.7K/24p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	1.0	422

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL/PIXEL					
5.7K/25p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	1.6	422 HQ
5.7K/25p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	1.1	422

システム周波数：[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質	🎥M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL/PIXEL					
5.7K/24p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	1.5	422 HQ
5.7K/24p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	1.0	422

* [4chマイク入力]を[OFF]に設定していても、動画の音声トラックは4チャンネルで記録されます。

- 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。
  - 5.8K（5760×4320）の動画：**5.8K動画**
  - 5.7K（5728×3024）の動画：**5.7K動画**
  - 4.4K（4352×3264）の動画：**4.4K動画**
  - C4K（4096×2160）の動画：**C4K動画**
  - 4K（3840×2160）の動画：**4K動画**
  - フルハイビジョン（1920×1080）の動画：**FHD動画**

- 本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ALL-Intraの動画や4:2:2、10 bitの動画、[記録ファイル方式]が[Apple ProRes]の動画は、映像制作用のパソコン編集を前提とした動画です。

- [システム周波数]、[記録ファイル方式]、[動画撮影範囲]、[動画画質]の設定の組み合わせをマイリストに登録できます。（➔ マイリスト登録：147）

❖ 絞り込み

[記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、フレームレート、画素数(解像度)、圧縮形式(YUV、ビット数、映像圧縮)などを指定して、条件に合う動画画質だけを表示できます。

1 [動画画質]の設定画面で[DISP.]ボタンを押す

2 ▲▼で項目を選び、MENU/SET または を押す
- 設定: [フレームレート]/[画素数]/[圧縮形式]/[バリアブルフレームレート]

3 ▲▼で絞り込む条件を選び、MENU/SET または を押す

4 [DISP.]ボタンを押して決定する
- [動画画質]の設定画面に戻ります。

絞り込みの解除方法

手順3で、[すべて]を選ぶ

- 以下の操作をした場合も、絞り込みが解除されます。
  - [記録ファイル方式]の変更
  - [システム周波数]の変更
  - [動画画質(マイリスト)]から動画画質を選択

- 絞り込みを使って動画画質を変更すると、現在の絞り込み条件を記憶します。

❖ マイリスト登録

動画画質を選んでマイリストに登録します。登録した動画画質は[動画画質(マイリスト)]から設定できます。

[動画画質]の設定画面で[Q]ボタンを押す

- 以下の設定も同時に登録されます。
  - [システム周波数]
  - [記録ファイル方式]
  - [動画撮影範囲]

マイリストから設定する、消去する

1 [動画画質(マイリスト)]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画画質(マイリスト)]

2 ▲▼で項目を選び、MENU/SET または を押す

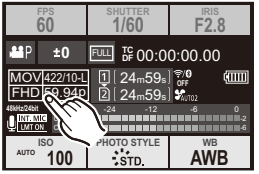
- システム周波数の異なる設定項目は選択できません。
- マイリストから消去するには、項目を選んで[Q]ボタンを押してください。

コントロールパネルから設定する

[🎥M] モード時、または[動画優先表示]設定時、コントロールパネルから、動画画質のマイリストを表示できます。

動画画質の項目をタッチする

- マイリストに登録済みの場合は、[動画画質(マイリスト)]の設定画面が表示されます。未登録の場合は、[動画画質]の設定画面が表示されます。
- [DISP.] ボタンを押すごとに、[動画画質(マイリスト)]と[動画画質]が切り換わります。
- 次に設定画面を表示するときは、最後に使用した画面が表示されます。



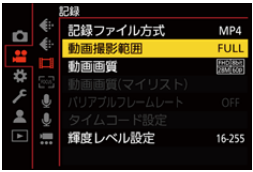
- 登録できる動画画質は12種類までです。

動画撮影範囲

iA P A S M

動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。
撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画撮影範囲]を選ぶ



FULL

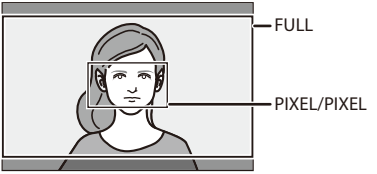
マイクロフォーサーズ用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。
画角:広い
望遠効果:なし

PIXEL/PIXEL

センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](➔ 動画画質: 135)の解像度に応じた範囲で撮影します。
画角:狭い
望遠効果:あり

- [動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。(➔ 動画画質: 135)

撮影範囲（例：FHD動画）



フォーカス／ズーム

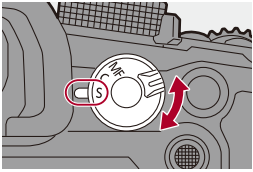
撮影状況や被写体に適したフォーカスモードとAFモードを選ぶと、より快適なピント合わせができます。

- フォーカスモードの選択: 152
- AFを使う: 154
- AFモードの選択: 164
- AFエリアの移動操作: 183
- MFで撮る: 191
- ズームを使って撮る: 198

フォーカスモードの選択

被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法（フォーカスモード）を選択できます。
[AFC] ではAF追尾動作の特性をカスタマイズすることも可能です。（➔ AFカスタム設定（写真）: 158）

フォーカスモードレバーを合わせる



S（AFS）
静止している被写体の撮影に適しています。
シャッターボタンを半押しすると、1回だけピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間はピントが固定されます。

C（AFC）
動いている被写体の撮影に適しています。
シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。
• 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。（動体予測）

MF
手動でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。（➔MFで撮る: 191）

- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
  - [M]モード
  - 動画撮影中
  - 低照度時
- 以下の機能を使用中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
  - SH連写
  - ハイレゾモード

AFを使う

- AFカスタム設定（写真）: 158
- フォーカスリミッター: 160
- AF補助光: 162
- 1点AF枠の移動速度: 163

iA P A S M

AF（オートフォーカス）とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

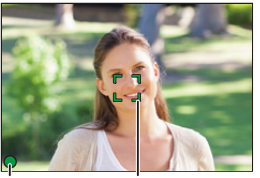
- フォーカスモードレバーを合わせます。（➔ フォーカスモードの選択: 152）

2 AFモードを選ぶ

- [ ]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示し、MENU/SET または で決定します。（➔AFモードの選択: 164）
- [iA]モードでは、[ ]を押すごとに[ ]と[ ]が切り換わります。（➔AFモード: 110）

3 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。



	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン(A)	点灯	点滅
AFエリア(B)	緑	赤
合焦音	ピピッ	―

低照度AF

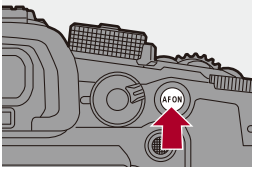
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[LOW●]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[STAR●]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。



- **AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境**
  - 動きの速い被写体
  - 非常に明るい被写体
  - 濃淡のない被写体
  - ガラス越しにある被写体
  - 光るものの近くにある被写体
  - 非常に暗い場所にある被写体
  - 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき

- [AFC]で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
  - W端からT端にズームする
  - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。

- AFの作動範囲を制限できます：
  （➔ フォーカスリミッター: 160）
- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
  （➔ クイックAF: 509）
- シャッターボタン半押し時にAFが働かないように設定を変更できます：
  （➔ シャッター半押しレリーズ: 508）
- 合焦音の音量や音色を変更できます：
  （➔ 電子音: 550）
- 近くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です：
  （➔ AF-ON：近側: 479）
- 遠くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です：
  （➔ AF-ON：遠側: 479）

AFカスタム設定(写真)

iA P A S M

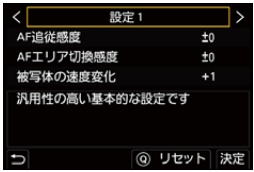
[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。
各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 フォーカスモードを[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(➔ フォーカスモードの選択:152)

2 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [AFカスタム設定(写真)]



設定1
汎用性の高い基本的な設定

設定2
被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定

設定3
被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定

設定4
被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定

❖ AFカスタム設定の調整

1 ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ

2 ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する

- [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。
- 初期設定に戻すには、[Q] ボタンを押してください。

3 MENU/SET または ⊛ を押す

AF追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
	–	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。
AFエリア切換感度	被写体の動きに合わせてAFエリアを切り換える感度を設定します。（AFモードをフルエリアに設定しているとき）	
	+	被写体がAFエリアから外れたとき、すぐにAFエリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
	–	AFエリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
被写体の速度変化	被写体の動きの速度変化に対して、追従する方式を設定します。 • 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
	+1	被写体の速度が変化する被写体に適しています。
	+2	被写体の速度が変化する被写体に適しています。

フォーカスリミッター

iA P A S M

AFの作動範囲を制限できます。
AFの作動範囲を制限すると、AFの合焦スピードが速くなります。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(➔ フォーカスモードの選択: 152)

2 [フォーカスリミッター]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [フォーカスリミッター]

ON

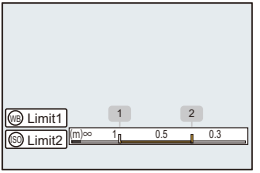
下記の設定を有効にします。

OFF

下記の設定を無効にします。

設定

1 MF（➔MFで撮る: 191）と同じ操作でピントを確認し、[WB]または[ISO]を押してAFの作動範囲を設定する
- [Limit1]／[Limit2]をタッチしても設定できます。
- [Limit1]／[Limit2]はどちらからでも設定できます。



2 MENU/SET または を押して決定する
- [DISP.]ボタンを押すと、作動範囲を初期設定に戻します。

- フォーカスリングまたはフォーカスレバーのあるレンズ使用時に設定できます。
- レンズのフォーカススイッチで作動範囲を制限しているときは設定できません。
- レンズを交換すると設定値はリセットされます。
- [フォーカスリミッター]作動中は[AFS]／[AFC]が画面に表示されます。

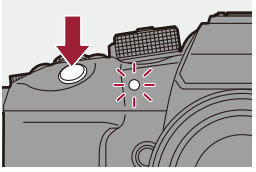
AF補助光

iA P A S M

暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。

MENU/SET ➡ [ ] ／ [ ] ➡ [ ] ➡ [AF補助光]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]



- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
  – 交換レンズ（H-ES12060）使用、W端時：約1.0 m～約3.5 m
- レンズフードは外してください。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。

1点AF枠の移動速度

iA P A S M

1点のAFエリアを移動させるときの速度を設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ／ [ ] ➡ [ ] ➡ [1点AF枠の移動速度]を選ぶ

設定: [高速] ／ [標準]

AFモードの選択

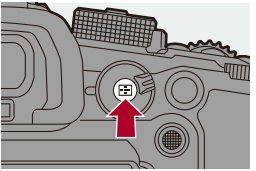
- 自動認識: 167
- 追尾: 170
- フルエリア: 172
- ゾーン（横･縦）／ゾーン: 175
- 1点+補助／1点: 178
- ピンポイント: 180

iA P A S M

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。ピンポイント以外のAFモードでは、人物や動物を認識して、自動でピントを合わせることもできます。

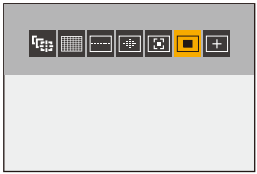
1 [ ]ボタンを押す

- AFモードの選択画面が表示されます。



2 AFモードを選ぶ

- ◀▶で項目を選び、MENU/SET または を押します。
- [ ]ボタンを押しても選択できます。



追尾
（➔追尾：170）

フルエリア
（➔フルエリア：172）

ゾーン（横・縦）
（➔ゾーン（横・縦）：175）

ゾーン
（➔ゾーン：176）

1点＋補助
（➔1点＋補助：178）

1点
（➔1点：178）

ピンポイント
（➔ピンポイント：180）

- インターバル撮影では[ ]は使用できません。

- AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定できます：
（➔ AFモード表示の制限：507）

自動認識

自動認識を有効にすると、人物や動物を認識して自動でピントを合わせます。
認識する対象を設定することもできます。

1 [自動認識設定]を[ON]にする

- MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [自動認識設定] ➡ [ON]

- AFモードの選択画面で▲を押して、自動認識の[ON]／[OFF]を切り換えることもできます。

2 [自動認識の対象]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [自動認識の対象]

- AFモード選択画面で[DISP.]ボタンを押して選択することもできます。

人物

人物の顔･瞳･体を認識します。
- AFモードアイコンに[ ]が表示されます。

顔･瞳

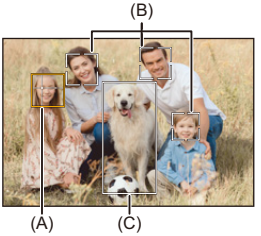
人物の顔･瞳だけを認識します。
- AFモードアイコンに[ ]が表示されます。

動物+人物

人物と動物を認識します。
認識できる動物は、鳥、イヌ科（オオカミなどを含む）、ネコ科（ライオンなどを含む）です。
- AFモードアイコンに[ ]が表示されます。

❖ [▦]のとき

カメラが人の顔(A)、(B)や体、動物の体(C)を認識すると、AFエリアが表示されます。複数の被写体を認識した場合は、AFエリアも複数表示され、その中からピントを合わせる被写体を選択できます。



黄色

ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。

- 瞳認識は黄色の枠内の目(A)に対して働きます。

白色

複数の被写体を認識すると表示されます。

❖ [ ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]のとき

人物や動物がAFエリア内に一部でも入ると自動認識してピントを合わせます。

- AFエリア内で瞳を認識すると瞳認識(D)が働きます。ピントを合わせる瞳の切り換えはできません。

(D)

- [自動認識設定]は[ ]を除くすべてのAFモードに適用されます。
- 人の目を認識した場合、カメラに近い側の目にピントを合わせます。
  露出は顔に合わせます。([測光モード]を[ ]に設定時)
- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。
- カメラが認識できる人の体および動物の体は、合わせて最大3つまでです。
- カメラの設定によっては、自動認識が使用できない場合があります。

- 自動認識が働いたときに、自動露出の測光範囲が顔・瞳を優先しないようにできます:
  (➔ マルチ測光時の顔優先: 502)
- 顔・瞳認識の十字線を非表示にできます:
  (➔ 合焦時の瞳認識表示: 508)

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。

- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色で点滅します。
- [AFS]のときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は働きません。

- [M]モード時および動画撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、MENU/SET または を押す、または[AF OFF]をタッチしてください。また、[AFS]でも追尾できます。

- 自動認識が働いているときは認識した被写体を追尾します。
- [測光モード]を[◎]にすると、露出も合わせ続けます。
- 以下の場合、[ ]は[■]の動作になります。
  - [フォトスタイル]の[モノクローム]／[L.モノクローム]／[L.モノクローム D]／[L.モノクローム S]
  - [フィルター設定]の[セピア]
- カメラの設定によっては、[ ]が使用できない場合があります。

❖ AFエリアの移動

1 [ ]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

2 [ ]を選び、▼を押す

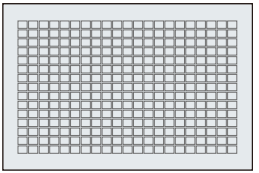
3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- タッチしてもAFエリアを移動できます。
- 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。

4 MENU/SET を押す

フルエリア

315点からカメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。
複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。
フォーカスモードを[AFC]にしているときは、フルエリアのエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。



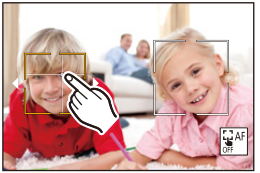
❖ ピントを合わせる人や動物、目の指定

自動認識を[ON]にしているときは、複数の被写体が認識されます。
ピントを合わせたい人や動物に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● **タッチ操作**

白色のAFエリアが表示されている人や動物、目をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- AFエリア以外をタッチすると、AFエリアの設定画面が表示されます。[決定]をタッチすると、タッチした位置に[■]のAFエリアが設定されます。
- 指定を解除するには、[AF OFF]をタッチしてください。



● **ジョイスティック操作**

ジョイスティックを▲▼◀▶に傾ける

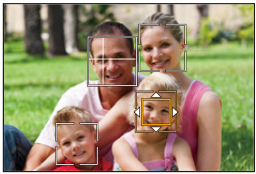
- ▲▼◀▶に傾けるごとに、ピントを合わせる人や動物、目が切り換わります。
- ジョイスティックを長押しすると、画面の中央に[■]のAFエリアが設定されます。もう一度ジョイスティックを長押しすると、自動認識に戻ります。
- 指定を解除するには、MENU/SET を押してください。

●ボタン操作

1 [ ]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

2 [ ]、[ ]または[ ]を選び▼を押す

3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する



4 白色のAFエリアが黄色に変わったら、MENU/SET を押す

- 人や動物のAFエリア以外の位置で MENU/SET を押すと、[■]のAFエリアが設定されます。
- 指定を解除するには、MENU/SET を押してください。

❖ 任意の位置にAFエリアを設定する

[自動認識設定]が[OFF]のとき、[■]のAFエリアを任意の位置に設定できます。

●タッチ操作

撮影画面の任意の位置をタッチして、[決定]をタッチする

- [■]のAFエリアが設定されます。
- [AF OFF]をタッチすると、[ ]に戻ります。

●ジョイスティック操作

ジョイスティックを長押しする

- 画面中央に[■]のAFエリアが設定されます。
- もう一度ジョイスティックを長押しするか、MENU/SET を押すと[ ]に戻ります。

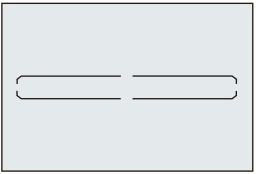
- 設定したAFエリアは、移動したり大きさを変更したりできます。(➔AFエリアの移動画面での操作: 179)

ゾーン（横・縦）／ゾーン

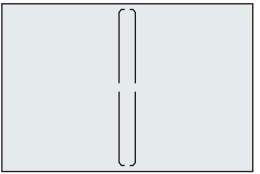
ゾーン（横・縦）

フルエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向

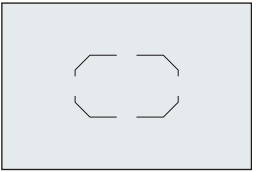


縦方向



ゾーン

フルエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。



- 以下の場合、[ ]は[ ]に切り換わります：
  - 動画撮影中
  - [M]モード時

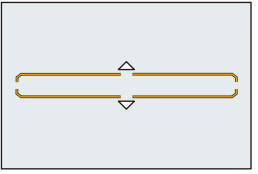
❖ AFエリアの移動と大きさの変更

1 [ ]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

2 [ ]または[ ]を選び、▼を押す

3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する

- タッチしてもAFエリアを移動できます。



[ ]選択中

- ▲▼を押すと、横方向のAFエリアに切り換わります。
- ◀▶を押すと、縦方向のAFエリアに切り換わります。
- [DISP.]ボタンを押すと、AFエリアの位置を中央に戻します。

[ ]選択中

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

4 [ ]選択中

、 または を回してAFエリアの大きさを変更する

- AFエリアをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

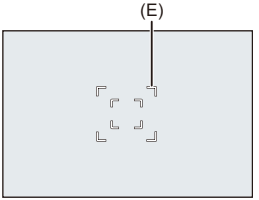
5 MENU/SET を押す

1点+補助／1点

1点+補助

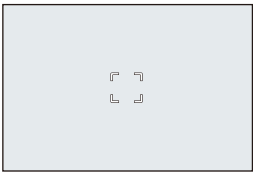
1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア(E)内でピントを合わせます。

- [■]では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときに有効です。



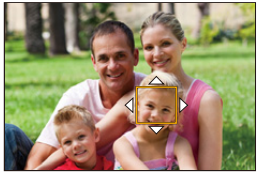
1点

ピント位置を指定します。



❖ AFエリアの移動と大きさの変更

1 [ ]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
2 [ ]または[ ]を選び、▼を押す
3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する



4 、 または を回してAFエリアの大きさを変更する
5 MENU/SET を押す

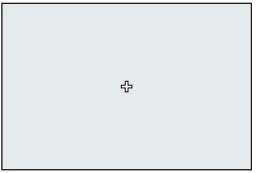
AFエリアの移動画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AFエリアの移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
／ ／	ピンチアウト／ピンチイン	AFエリアを拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	1回目：AFエリアの位置を中央に戻す 2回目：AFエリアの大きさを初期設定に戻す

• 1点のAFエリアの移動速度を変更できます：
（➔ 1点AF枠の移動速度：163）

⊞ ピンポイント

小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。



- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[⊞]は使用できません。
- [⊞]では、自動認識は働きません。

- 以下の機能を使用中は、[⊞]が[■]に切り換わります。
  - 動画撮影中
  - [M]モード時

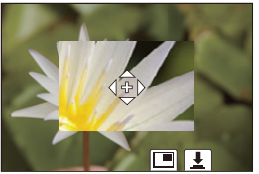
❖ AFエリアの移動

1 [⊞]ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

2 [+]を選び、▼を押す

3 ▲▼◀▶で[+]の位置を決め、MENU/SET または ◉ を押す
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 選んだ位置が拡大表示されます。
- 画面の端にはAFエリアを移動できません。

4 ▲▼◀▶で[+]の位置を微調整する



5 MENU/SET または ◉ を押す

拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+]の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ー	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え（画面の一部／画面全体）
[DISP.]	[リセット]	1回目：手順**3**の画面に戻す 2回目：AFエリアの位置を中央に戻す

• 約3倍～6倍に拡大できます。
• [ ]をタッチして写真を撮影できます。

• 拡大画面の表示方法を変更できます：
（➔ ピンポイントAF設定: 508）

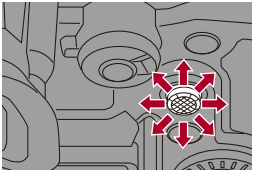
AFエリアの移動操作

- タッチでのAFエリアの移動操作: 186
- タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 188
- 縦/横位置フォーカス切換: 190

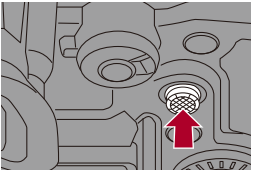
初期設定では撮影時にジョイスティックで直接AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 AFエリアを移動する

- 撮影画面でジョイスティックを傾けます。



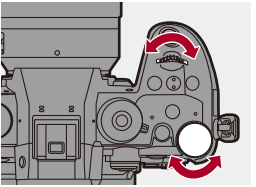
- を押すと、AFエリアの位置を初期設定の位置と設定した位置で交互に切り換えます。
  [+]では、拡大画面を表示します。



2 AFエリアの大きさを変更する

- 、 または を回します。

- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。
- 撮影画面に戻ります。

- [測光モード]が[⊙]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
- [⊞]、[⋯]、[+]では、AFエリアの大きさは変更できません。

- AFエリアのループ移動を設定できます：
  （➔ フォーカス枠のループ移動：509）
- AFエリア／MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
  （➔ フォーカスエリア選択：479）

タッチでのAFエリアの移動操作

モニターをタッチした位置にAFエリアを移動できます。AFエリアの大きさの変更もできます。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [〰] ➡ [タッチ設定] ➡ [タッチAF]を選ぶ

AF

タッチした被写体にピントを合わせます。

AF+AE

タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。

- 初期設定は[AF]に設定されています。

❖ タッチした位置にピントを合わせる([AF])

1 被写体をタッチする
- タッチした位置にAFエリアが移動します。

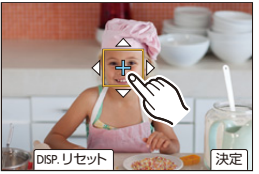
2 ピンチアウト／ピンチインしてAFエリアの大きさを変更する
- [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

3 [決定]をタッチする
- [+]では、[終了]をタッチしてください。
- [▦]では、撮影画面で[AF OFF]をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。

❖ タッチした位置にピントと明るさを合わせる（[AF+AE]）

1 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。



2 ピンチアウト／ピンチインしてAFエリアの大きさを変更する

- [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

3 [決定]をタッチする

- 撮影画面で[AF OFF AE]（[⊡]、[■]設定時は[AF OFF AE]）をタッチすると、[AF+AE]の設定が解除されます。

タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

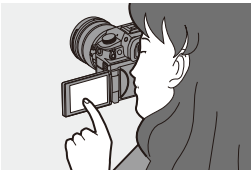
ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 [タッチパッドAF]を設定する

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [ ] ➡ [タッチ設定] ➡ [タッチパッドAF] ➡ [絶対位置]／[相対位置1]～[相対位置7]

2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。



3 AFエリアの大きさを変更する

- 、 または を回します。
- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

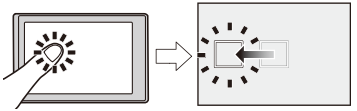
4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目（タッチパッドAF）

絶対位置

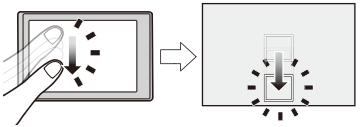
タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。



相対位置1（全域）／**相対位置2**（右半分）／**相対位置3**（右上）／**相対位置4**（右下）／**相対位置5**（左半分）／**相対位置6**（左上）／**相対位置7**（左下）

タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。

ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。



OFF

縦/横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [AF] ➡ [縦/横位置フォーカス切換]を選ぶ

ON

縦位置と横位置を別々に記憶します。

OFF

縦位置と横位置を同じ設定にします。

- MF時は、MFアシストの位置を記憶します。

MFで撮る

● ピーキング: 197

iA P A S M

MF（マニュアルフォーカス）とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

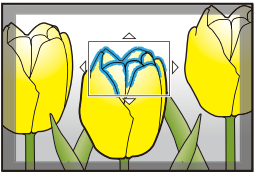
1 フォーカスモードを[MF]にする

● フォーカスモードレバーを合わせます。（➔ フォーカスモードの選択: 152）

2 ピント位置を選ぶ

● ジョイスティックを傾けてピント位置を選びます。

• ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。



3 決定する

- を押します。
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。

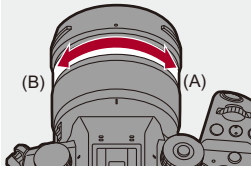
4 ピントを合わせる

- 手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングがある交換レンズをお使いの場合

(A)側に回す：近くにピントを合わせる

(B)側に回す：遠くにピントを合わせる

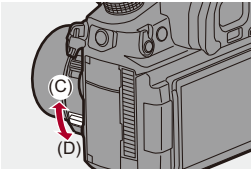


フォーカスレバーがある交換レンズをお使いの場合

(C)側に動かす：近くにピントを合わせる

(D)側に動かす：遠くにピントを合わせる

- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。

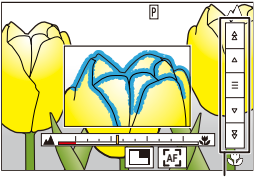


フォーカスリングがない交換レンズをお使いの場合

▶ を押す：近くにピントを合わせる

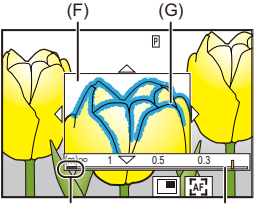
◀ を押す：遠くにピントを合わせる

- ◀▶ を押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバー(E)をドラッグすることでも、ピント合わせができます。
- ▼ を押すと、拡大表示位置の移動ができます。



(E)

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）
- 撮影距離の目安が表示されます。（MFガイド）



(F) MFアシスト（拡大画面）

(G) ピーキング

(H) MFガイド

(I) ∞（無限）を示す目安

5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

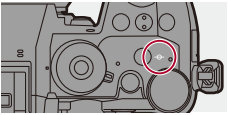
❖ MFアシスト画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶*	ドラッグ	拡大表示位置の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え（画面の一部／画面全体）
[DISP.]*	[リセット]*	1回目：MFアシストの位置を中央に戻す 2回目：MFアシストの拡大倍率を初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

* フォーカスリングがない交換レンズをお使いの場合、▼を押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

- 約3倍～6倍に拡大できます。

- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。
  フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- [⊞]ボタンを押しても、MFアシスト画面を表示できます。
- 使用するレンズによって、MFアシストやMFガイドが表示されない場合があります。MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが働きます。
- MFアシスト画面は動画撮影中にも表示できます。
- 撮影距離基準マークは、撮像面の位置を示しています。撮影距離を実測するときの基準になります。



- MFガイドの距離指標はレンズやズーム位置によって異なります。
- レンズが距離指標の表示に対応していない場合は、MFガイドに目盛りだけ表示します。
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、MFアシスト画面を表示できません。
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  - [バリアブルフレームレート]

- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
  （➔ ピーキング：197）
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
  （➔ 縦/横位置フォーカス切換：190）
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
  （➔ MFアシスト：506）
- MFガイドの表示単位を変更できます：
  （➔ MFガイド：507）
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
  （➔ フォーカスリングロック：507）
- MFアシストのループ移動を設定できます：
  （➔ フォーカス枠のループ移動：509）
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
  （➔ レンズ位置メモリー：534）
- ピントの移動量を設定できます：
  （➔ フォーカスリング制御：535）
- AFエリア／MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
  （➔ フォーカスエリア選択：479）

ピーキング

MF動作中に、ピントが合っている部分（画面上で輪郭がはっきりした部分）に色を付けて表示します。

MENU/SET ➡ [📷]／[🎥] ➡ [FOCUS] ➡ [ピーキング]を選ぶ

ON	ピーキング表示を行います。	
OFF	—	
設定	**ピーキング感度**	マイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。
	表示色	ピントが合っている部分に表示する色を設定できます。
	AFS時の表示	[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときにも、ピーキング表示ができます。
	MF時の表示	**[ライブビュー時の表示]**：撮影画面でピーキング表示します。 **[ライブビュー拡大時の表示]**：MFアシスト画面、動画ライブビュー拡大表示画面でピーキング表示します。 **[シャッター操作時の表示]**：[OFF]にすると、シャッターを押したときにピーキングを非表示にします。

- タッチタブを表示すると（➔ タッチ設定：511）、[<]の[PEAK]をタッチして[ON]／[OFF]を切り換えることができます。
- [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は働きません。

ズームを使って撮る

- EXテレコン（写真）: 200
- パワーズームレンズ: 201

iA P A S M

レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズーミングします。
写真撮影時は、[EXテレコン（写真）]を使って、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。動画撮影時は、[動画撮影範囲]を使うと[EXテレコン（写真）]と同様の望遠効果を得ることができます。

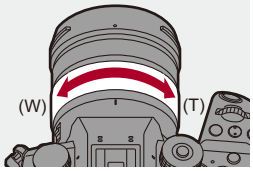
- [動画撮影範囲]について（➔ 動画撮影範囲: 149）

ズームリングがある交換レンズ

ズームリングを回す

(T)側：望遠

(W)側：広角

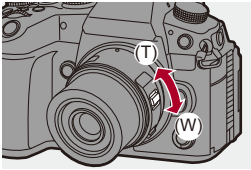


パワーズーム（電動式ズーム）に対応した交換レンズ

ズームレバーを動かす

（動かす幅によって、ズーム速度が変わります）

- Fnボタンに[ズーム操作]を割り当てると、◀▶でゆっくり、▲▼で速く、光学ズーム操作ができます。（➔Fnボタン：473）



ズームに対応していない交換レンズ

光学ズームはできません。

● 焦点距離が撮影画面に表示されます。

➔

- 焦点距離を非表示にできます：
（➔ 焦点距離：524）

EXテレコン（写真）

iA P A S M

[EXテレコン（写真）]を使うと、画質を劣化させることなく光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。

- [EXテレコン（写真）]の最大倍率は、写真メニュー（画質）の[画像サイズ]によって異なります。
  - [EX M]に設定：1.4倍
  - [EX S]に設定：2.0倍

1 [画像サイズ]を[M]または[S]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [画像サイズ] ➡ [M]／[S]

2 [EXテレコン（写真）]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [EXテレコン（写真）]

TELE CONV.

ズーム倍率を最大に固定します。

OFF

- Fnボタンで[EXテレコン（写真）]の設定画面を表示しているときに、[DISP.]ボタンを押すと[画像サイズ]の設定を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、[EXテレコン（写真）]は使用できません。
  - [写真画質]の[RAW]
  - ハイレゾモード

パワーズームレンズ

パワーズーム (電動式ズーム) 対応レンズ使用時のズーム動作を設定します。

- 対応交換レンズをお使いの場合に選択できます。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [◎] ➡ [パワーズームレンズ] を選ぶ

ステップズーム	[ON] に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 • 動画撮影時には働きません。	
ズーム速度	ズーム操作時のズーム速度を設定できます。 • [ステップズーム] を [ON] に設定すると、ズーム速度は変わりません。	
	写真	**[H](高速)、[M](中速)、[L](低速)**
	動画	**[H](高速)、[M](中速)、[L](低速)**
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応レンズを装着しているときに選択できます。[OFF] に設定すると、誤操作を防止するため、ズームリングでの操作を無効にできます。	

ドライブ／シャッター／手ブレ補正

本章では、ドライブモードで撮影できる機能や、手ブレ補正機能について説明しています。

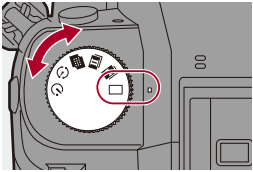
- ドライブモードの選択: 203
- 連写する: 205
- ハイレゾモード: 211
- インターバル撮影: 216
- コマ撮りアニメ撮影: 222
- インターバル／コマ撮りアニメの動画: 225
- セルフタイマー撮影: 227
- ブラケット撮影: 230
- サイレントモード: 237
- シャッター方式: 239
- 手ブレ補正: 245

ドライブモードの選択

iA P A S M

撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



単写
シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。

I／II 連写（➔ 連写する：205）
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

ハイレゾモード（➔ ハイレゾモード：211）
複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。

インターバル / コマ撮り撮影（➔ インターバル撮影：216、コマ撮りアニメ撮影：222）
インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

セルフタイマー（➔ セルフタイマー撮影：227）
シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

- ドライブモードごとの詳細設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：
  [⚙] ➡ [⛰] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [ドライブモード設定]

連写する

iA P A S M

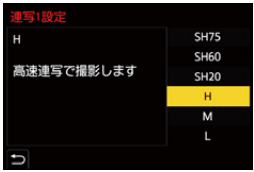
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
高画質で連写ができる[H]、[M]、[L]と、電子シャッターで超高速連写するSH連写から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

1 ドライブモードを[I]（連写1）または[II]（連写2）にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。（➔ ドライブモードの選択: 203）
- [I]と[II]のそれぞれに連写設定ができます。

2 連写速度を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [連写設定] ➡ [連写1設定]／[連写2設定]
- 初期設定では[I]に[H]が、[II]に[SH75]が設定されています。



[SH75]

電子シャッターで75コマ/秒の超高速連写をします。

[SH60]

電子シャッターで60コマ/秒の超高速連写をします。

[SH20]

電子シャッターで20コマ/秒の超高速連写をします。

[H]

高速で連写します。

[M]

中速で連写します。

[L]

低速で連写します。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。

❖ 連写速度

	メカシャッター 電子先幕	電子シャッター	連写中のライブビュー
[SH75]	—	75 コマ/秒	なし
[SH60]	—	60 コマ/秒	なし
[SH20]	—	20 コマ/秒	なし
[H]（高速）	14 コマ/秒（AFS、MF） 8 コマ/秒（AFC）	14 コマ/秒（AFS、MF） 7 コマ/秒（AFC）	なし（AFS、MF） あり（AFC）
[M]（中速）	6 コマ/秒（AFS、MF） 5 コマ/秒（AFC）		あり
[L]（低速）	2 コマ/秒		あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	写真画質		
	[FINE]、[STD.]	**[RAW+FINE]、[RAW+STD.]**	**[RAW]**
[SH75]	200 コマ*1		
[SH60]			
[SH20]			
[H]（高速）	95 コマ以上*2, 3／ 90 コマ以上*2, 4	40 コマ以上*2	65 コマ以上*2, 3／ 50 コマ以上*2, 4
[M]（中速）			
[L]（低速）			

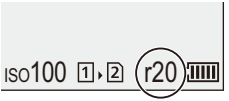
- 当社測定条件による撮影時。
  撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。

*1 最大撮影コマ数まで撮影すると、撮影が停止します。
*2 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
*3 CFexpress Type Bカード使用時
*4 UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面に表示されます。

例）20枚のとき：[r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
  – [H]／[M]／[L]連写のとき：[r0]と表示されると、連写速度が低下します。
  – SH連写のとき：[r0]と表示されると、連写が停止します。
- 撮影画面に[r99+]と表示されているときは、100枚以上の連写ができます。

❖ 連写時のピント

<table>
<tr><th>フォーカスモード</th><th>フォーカス/レリーズ優先（➔ フォーカス/レリーズ優先: 505）</th><th>[SH75]／[SH60]／[SH20]</th><th>[H]</th><th>[M]／[L]</th></tr>
<tr><td rowspan="3">AFS</td><td>フォーカス</td><td colspan="3" rowspan="3">1コマ目のピントに固定</td></tr>
<tr><td>バランス</td></tr>
<tr><td>レリーズ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">AFC</td><td>フォーカス</td><td rowspan="3">—</td><td>予測ピント</td><td>常時ピント</td></tr>
<tr><td>バランス</td><td colspan="2" rowspan="2">予測ピント</td></tr>
<tr><td>レリーズ</td></tr>
<tr><td>MF</td><td>—</td><td colspan="3">マニュアルで設定したフォーカス</td></tr>
</table>

- [AFC] で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。

❖ 連写時の露出

<table>
<tr><th>フォーカスモード</th><th>[SH75]／[SH60]／[SH20]</th><th>[H]</th><th>[M]／[L]</th></tr>
<tr><td>AFS</td><td colspan="2">1コマ目の露出に固定</td><td rowspan="3">1コマごとに露出を調整</td></tr>
<tr><td>AFC</td><td>—</td><td>1コマごとに露出を調整</td></tr>
<tr><td>MF</td><td colspan="2">1コマ目の露出に固定</td></tr>
</table>

- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- **高温表示について（**➔ 高温表示について：130**）**

SH連写について

- フォーカスモードの[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- [シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- SH連写中は、設定できるシャッタースピードに制限があります。
  - [SH75]：下限1/80まで
  - [SH60]：下限1/60まで
  - [SH20]：下限1/20まで
- 連写撮影中、絞りは固定されます。
- [オートレビュー]は使用できません。
- 撮影した画像は、1つの連写グループとして記録されます。（➔ グループ画像：451）

ハイレゾモード

iA P A S M

複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。動きのない被写体の撮影に適しています。[手持ち撮影]をオンにすると、三脚を使わなくても解像度を高めた写真を撮影できます。
合成後の写真は、RAWまたはJPEG形式で保存できます。

- **[手持ち撮影]を[OFF]にして撮影するときは、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。**

1 ドライブモードを[ ](ハイレゾ)にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(➔ ドライブモードの選択: 203)

2 撮影の設定をする

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ハイレゾモード設定]

手持ち撮影

三脚を使わずに撮影できます。手ブレ補正機能をオンにしてください。

- [OFF]のときは、手ブレ補正機能は使用できません。

写真画質

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[連動]／[FINE]／[RAW+FINE]／[RAW]

- [連動]に設定しているときは、写真メニュー（画質）の[写真画質]と同じ設定で撮影します。（ただし、[STD.]は[FINE]に変わります）

画像サイズ

合成後の画像サイズを設定します。

画像横縦比：[4:3]のとき

XL(100M)：11552×8672

LL(50.5M)：8192×6144

画像横縦比：[3:2]のとき

XL(89M)：11552×7696

LL(44.5M)：8192×5464

画像横縦比：[16:9]のとき

XL(75M)：11552×6496

LL(37.5M)：8192×4608

画像横縦比：[1:1]のとき

XL(75M)：8672×8672

LL(37.5M)：6144×6144

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3]（11552×8672）で記録されます。

通常撮影同時記録

[ON]にすると、合成前の写真を同時に撮影できます。1枚目の写真を[画像サイズ]の[L]で保存します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[30秒]／[15秒]／[8秒]／[4秒]／[2秒]／[1秒]／[1/2秒]／[1/4秒]／[1/8秒]／[OFF]

被写体ブレの処理

被写体が動いた場合の補正方法を設定します。

[MODE1]：ハイレゾモードの効果を優先するため、被写体ブレが残像のように見えます。

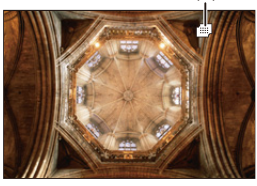
[MODE2]：被写体ブレの残像を抑えますが、補正した範囲ではハイレゾモードの効果は得られません。

- [手持ち撮影]が[ON]のときは、[MODE2]に固定されます。

3 構図を決めて、カメラを固定する

- ブレを検知すると、ハイレゾモードアイコン(A)が点滅します。
- [手持ち撮影]を[ON]にすると、アイコンが[ ]に変わります。

(A)



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

- 初期設定では[シャッターディレイ]が働くため、シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでに間が空きます。
- 撮影中は画面が黒くなります。
- 記録動作表示（赤）(B)が点滅します。点滅中は、カメラを動かさないでください。
- 撮影後の合成処理が終わると続けて撮影できます。

- ハイレゾモードでは、以下の設定で撮影されます。
  - シャッター方式：[電子シャッター]に固定
  - 最小絞り値：F11
  - シャッタースピード：1秒～1/32000秒
  - ISO感度：上限1600
  - フォーカスモード：[AFS]／[MF]
- 手持ち撮影中は、カメラがブレないようにしっかりと構えてください。ブレが大きいと撮影に失敗する場合があります。
- 手持ち撮影では、画像の合成に時間がかかることがあります。
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 本機以外では、ハイレゾモードで撮影した画像を再生できない場合があります。

- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます：
  （➔ 手ブレ状態スコープ: 525）

インターバル撮影

iA P A S M

設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。(➔ グループ画像: 451)

- 時計が正しく設定されているか確認してください。(➔ 時計の設定（初めて電源を入れるとき): 76)
- 撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー（レンズ/その他）の[レンズ位置メモリー]を[ON]に設定することをお勧めします。

1 ドライブモードを[ ]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(➔ ドライブモードの選択: 203)

2 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [インターバル / コマ撮り撮影] ➡ [撮影方法] ➡ [インターバル撮影]

3 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

撮影間隔設定

[ON]：次の撮影までの間隔を設定できます。
[OFF]：撮影間隔を空けずに連続で撮影します。

開始時刻

[即時開始]：シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。
[2秒後開始]：シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影が始まります。
[開始時刻設定]：設定した時刻から、撮影が始まります。

撮影枚数／撮影間隔

撮影枚数と撮影間隔を設定します。
撮影枚数と撮影間隔を自動で計算して設定できます。（➔ インターバル撮影の設定アシスト：219）

- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が使用できません。

露出平滑化

連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。

撮影開始時のフォルダー作成

[新規フォルダー作成]：[ON]にすると、インターバル撮影を開始するごとにフォルダーを新規作成します。
[ファイル番号リセット]：[ON]にすると、フォルダーを新規作成するごとにファイル番号をリセットします。

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 撮影を開始する

● シャッターボタンを全押しします。

- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。

6 動画を作成する（➔ インターバル／コマ撮りアニメの動画: 225）

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
  [いいえ]を選んだときは、再生メニュー（画像の加工）の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。（➔ インターバル動画作成: 466）

❖ インターバル撮影の設定アシスト

[撮影枚数]／[撮影間隔]の設定画面で[DISP.]を押すと、作成する動画のフレームレートや時間、撮影所要時間から、[撮影枚数]と[撮影間隔]を自動で計算して設定できます。

1 ▲▼で項目を選び、MENU/SET または を押す

作成動画フレームレート

作成する動画のフレームレートを設定します。1 fps～99 fpsの範囲で設定できます。

作成動画時間

作成する動画の再生時間を設定します。00m01s～99m59sの範囲で設定できます。

インターバル撮影時間

インターバル撮影の所要時間を設定します。00h00m01s～99h59m59sの範囲で設定できます。

2 [DISP.]ボタンを押して決定する

- [はい]を選ぶと設定を反映します。

- [撮影枚数]は1枚～9999枚の範囲で設定できます。
- [撮影間隔]は00m01s～99m59sの範囲で設定されます。割り切れないときは、小数点以下を切り捨てます。
- 撮影できない設定の場合は、[撮影枚数]または[撮影間隔]が赤字で表示されます。
- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、インターバル撮影設定の自動計算はできません。

❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続

撮影に戻ります。(撮影中のみ)

一時停止

撮影を中断します。(撮影中のみ)

再開

撮影を再開します。(一時停止中のみ)

- シャッターボタンを押しても再開できます。

終了

インターバル撮影を終了します。

- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- 標準露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
    電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。（ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます）
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。

コマ撮りアニメ撮影

iA P A S M

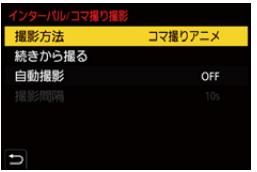
被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。（➔ グループ画像: 451）

1 ドライブモードを[ ]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。（➔ ドライブモードの選択: 203）

2 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡[インターバル / コマ撮り撮影] ➡ [撮影方法] ➡ [コマ撮りアニメ]



3 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

続きから撮る

撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。

- 画像を選択したあと、手順 **5** へ進んでください。

自動撮影

[ON]：設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。

[OFF]：1 コマずつ手動で写真を撮影します。

撮影間隔

[自動撮影]の撮影間隔を設定します。

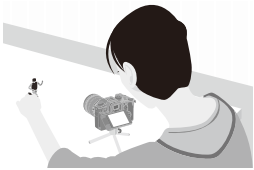
4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 撮影を開始する

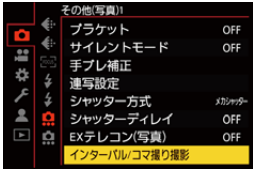
- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



6 撮影を終了する

- MENU を押し、写真メニューから[インターバル / コマ撮り撮影]を選んで終了します。



7 動画を作成する（➔ インターバル／コマ撮りアニメの動画: 225）

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
  [いいえ]を選んだときは、再生メニュー（画像の加工）の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。（➔ コマ撮りアニメ作成: 466）

- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 標準露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

インターバル／コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

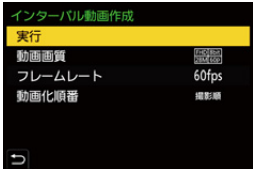
- 撮影については、以下をお読みください。
  - インターバル撮影: 216
  - コマ撮りアニメ撮影: 222
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](➔ インターバル動画作成: 466)、[コマ撮りアニメ作成](➔ コマ撮りアニメ作成: 466)からでも可能です。

1 撮影後に表示される確認画面で、[はい]を選ぶ

2 動画の作成方法を設定する

3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル方式で動画が作成されます。



実行

動画を作成します。

動画画質

動画の画質を設定します。

フレームレート

1秒当たりのコマ数を設定します。

数字が大きいほど滑らかな動画になります。

動画化順番

[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。

[逆順]: 撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定すると、動画は作成できません。
- 記録時間が30分を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
  - SDHCメモリーカードを使用し、4Kの[動画画質]に設定
  - FHDの[動画画質]に設定

セルフタイマー撮影

iA P A S M

1 ドライブモードを[⏲]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(➔ ドライブモードの選択: 203)

2 セルフタイマーの時間を設定する(➔ セルフタイマーの時間を設定する: 229)

- 動画撮影時は、動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]に設定してください。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

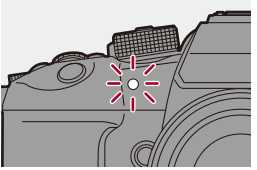
4 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。

- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。

5 撮影する

- シャッターボタン、動画記録ボタンまたはサブ動画記録ボタンを押します。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影または動画記録を開始します。



❖ セルフタイマーの時間を設定する

写真：MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [セルフタイマー]を選ぶ

動画：MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [セルフタイマー設定] ➡ [セルフタイマー]を選ぶ*

* 動画メニュー（その他（動画））の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]にすると設定できます。

10	10秒後に撮影します。	
10	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。（動画撮影時は[10]と同じ動作になります）	
2	2秒後に撮影します。 • シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。	
2C～10C **（カスタム）**	[カスタムの時間]で選んだ時間経過後に撮影します。	
設定	**カスタムの時間**	撮影までの時間を設定します。 **[10秒]／[9秒]／[8秒]／[7秒]／[6秒]／[5秒]／[4秒]／[3秒]／[2秒]**
	カウントダウン表示	セルフタイマーがカスタムのとき、撮影画面にカウントダウンを表示します。

• セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。

• 写真メニュー（その他）の[セルフタイマー]と、[セルフタイマー設定]（動画メニュー（その他））の[セルフタイマー]は連動しています。
• 以下の機能を使用中は、[10]は使用できません。
– [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
– [ブラケット]

ブラケット撮影

iA P A S M

シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス（調整値または色温度）の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。

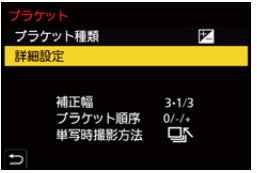
- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
  - [A]モード
  - [M]モード（ISO感度を[AUTO]に設定したとき）
- ホワイトバランス（色温度）ブラケットは、ホワイトバランスを[K1]、[K2]、[K3]、[K4]に設定したときに選択できます。

1 [ブラケット種類]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ブラケット] ➡ [ブラケット種類]

2 [詳細設定]を設定する

- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 ピントを合わせて撮影する

❖ 設定項目（ブラケット種類）

露出ブラケット
シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。（➔ 詳細設定（露出ブラケット）: 234）

絞りブラケット
シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。（➔ 詳細設定（絞りブラケット）: 234）

FOCUS フォーカスブラケット
シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。（➔ 詳細設定（フォーカスブラケット）: 235）

WB ホワイトバランスブラケット
1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。（➔ 詳細設定（ホワイトバランスブラケット）: 236）

WB ホワイトバランス（色温度）ブラケット
1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。（➔ 詳細設定（ホワイトバランス（色温度）ブラケット）: 236）

OFF

❖ ブラケットの解除方法

手順 1 で［OFF］に設定する

- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス（色温度）ブラケットは使用できません。
  - [iA]モード
  - 連写
  - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
  - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
  - SH連写
  - インターバル撮影
  - コマ撮りアニメ（[自動撮影]設定時）
  - ハイレゾモード

❖ 詳細設定（露出ブラケット）

補正幅

撮影枚数と露出補正幅を設定します。

[3•1/3]（3枚撮影･1/3 EV幅）～**[7•1]**（7枚撮影･1 EV幅）

ブラケット順序

画像の撮影順を設定します。

単写時撮影方法

[□]：シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。

[□̲]：1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

- 設定枚数分がすべて撮影されるまで[BKT]アイコンが点滅します。

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

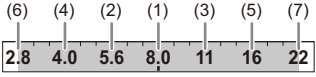
❖ 詳細設定（絞りブラケット）

撮影枚数

[3]／**[5]**：開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。

[ALL]：すべての絞り値で撮影。

開始位置をF8.0に設定しているときの例



(1) 1枚目、(2) 2枚目、(3) 3枚目･･･(7) 7枚目

❖ 詳細設定（フォーカスブラケット）

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置が近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

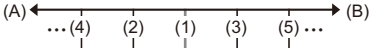
- 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。

ブラケット順序

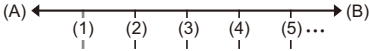
[0/–/+]：開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。

[0/+]：開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

[ブラケット順序]：[0/–/+]設定時の例



[ブラケット順序]：[0/+]設定時の例



(A) フォーカス：近い

(B) フォーカス：遠い

(1) 1枚目、(2) 2枚目・・・(5) 5枚目・・・

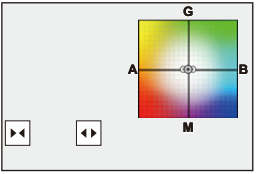
- [フォーカスリミッター]を設定しているときは、設定したAFの作動範囲内で撮影します。
- フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。（➔ グループ画像：451）

❖ 詳細設定（ホワイトバランスブラケット）

、 または を回して補正幅を設定し、 または を押す

右回し：横方向（[A]～[B]）
左回し：縦方向（[G]～[M]）

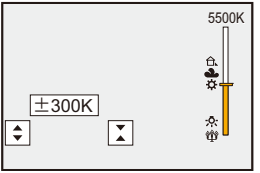
• [ ]／[ ]／[ ]／[ ]をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定（ホワイトバランス（色温度）ブラケット）

、 または を回して補正幅を設定し、 または を押す

• [ ]／[ ]をタッチしても補正幅を設定できます。



サイレントモード

iA P A S M

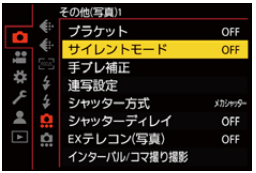
カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。
スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
  - [フラッシュモード]:[ ](発光禁止)
  - [AF補助光]:[OFF]
  - [シャッター方式]:[電子シャッター]
  - [前方タリーランプ]:[OFF]
  - [後方タリーランプ]:[OFF]
  - [電子音音量]:[ ](OFF)
  - [合焦音音量]:[ ](OFF)
  - [電子シャッター音音量]:[ ](OFF)

写真: MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [サイレントモード]を選ぶ

動画: MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [サイレントモード]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]



- [ON]に設定していても、以下の機能は点灯／点滅します。
  - 電源表示ランプ
  - 充電ランプ／NETWORK接続ランプ
  - カードアクセスランプ
  - セルフタイマーランプ
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

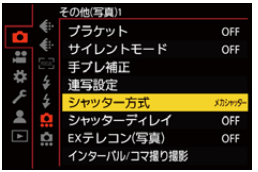
シャッター方式

- 長秒ノイズ除去: 242
- 下限シャッター速度: 243
- シャッターディレイ: 244

iA P A S M

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [シャッター方式] を選ぶ



自動切換
撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。

メカシャッター
メカシャッター方式で撮影します。

電子先幕
電子先幕方式で撮影します。

電子シャッター
電子シャッター方式で撮影します。

電子シャッター＋NR
電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	✓	—
シャッタースピード	B（バルブ、最大約30分間）*1、60秒～1/8000秒	B（バルブ、最大約30分間）*1、60秒～1/2000秒	B（バルブ、最大約60秒間）*1、60秒～1/32000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音*2

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー（IN/OUT）の[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。（➔ 電子音：550）

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないため、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。

- シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます：
  （➔ シャッターディレイ：244）

- 画面に[E]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しまが記録されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

長秒ノイズ除去

iA P A S M

遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [長秒ノイズ除去]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

- ノイズ除去中は撮影できません。
- 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は働きません。
  - 動画撮影、SH連写
  - 電子シャッター（[電子シャッター＋NR]使用時を除く）、[サイレントモード]
  - ハイレゾモード

下限シャッター速度

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [下限シャッター速度]を選ぶ

AUTO

シャッタースピードの下限をカメラが自動で設定します。

1/32000～1/1

- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

シャッターディレイ

iA P A S M

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [シャッターディレイ]を選ぶ

設定：[8秒]／[4秒]／[2秒]／[1秒]／[OFF]

- 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。
  - 動画撮影、SH連写
  - ハイレゾモード

手ブレ補正

● 手ブレ補正の設定: 247

iA P A S M

本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.2方式に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

レンズと手ブレ補正の組み合わせ（2022年1月現在）

装着するレンズによって、使用できる手ブレ補正は異なります。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	アイコンの例
Dual I.S. 方式に対応した当社製レンズ（マイクロフォーサーズ規格準拠）*	**ボディ+レンズ**（Dual I.S.／Dual I.S.2）	DUAL／DUAL2
手ブレ補正機能に対応したレンズ（マイクロフォーサーズ規格準拠）	**ボディ**または**レンズ**	
手ブレ補正機能がないレンズ	**ボディ**	
本機との通信機能がないレンズ	**ボディ**	

* 対応レンズを使用しても撮影画面のアイコンに[DUAL]や[DUAL2]が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。（➔ カメラ／レンズのファームウェアについて: 26）

- 5軸ハイブリッド手ブレ補正（➔ 電子補正（動画）: 247）は、どのレンズでも使用できます。

❖ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、レンズ側でスイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合は、カメラの電源を入れたときに、レンズ情報の確認メッセージが表示されます。
  手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(➔ レンズ情報: 250)

- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン[ ]が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使用することをお勧めします。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。

- 手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。
- 以下の機能を使用中は、5軸ハイブリッド手ブレ補正機能は使用できません。
  – [バリアブルフレームレート]

- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合、電源を入れたときに表示されるレンズ情報の確認メッセージを非表示にできます:
  (➔ レンズ情報確認表示: 536)
- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます:
  (➔ 手ブレ状態スコープ: 525)

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

写真：MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [手ブレ補正]を選ぶ

動画：MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [手ブレ補正]を選ぶ

動作設定

撮影手法（通常、流し撮り）に合わせて、補正する動き（ブレ）を設定します。（➔ 動作設定: 248）

電子補正（動画）

動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせて補正します。（5軸ハイブリッド手ブレ補正）

- [電子補正（動画）]が働いているときは、撮影画面の[ ]が[ ]に切り換わります。
- [ON]に設定すると、画角が狭くなる場合があります。

手ブレ補正ブースト（動画）

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。（➔ 手ブレ補正ブースト（動画）: 249）

アナモフィック（動画）

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。（➔ アナモフィック（動画）: 249）

レンズ情報

本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズの情報を登録します。（➔ レンズ情報: 250）

- 以下の機能を使用中は、[電子補正（動画）]は使用できません。
  – [バリアブルフレームレート]

❖ 動作設定

撮影手法（通常、流し撮り）に合わせて、補正する動き（ブレ）を設定します。

通常

上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。通常の撮影に適しています。

流し撮り（左右）

上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。

流し撮り（上下）

左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。

OFF

手ブレ補正機能をOFFにします。

- 使用するレンズにより、使用できる動作設定は異なります。
- 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用しているときは、[動作設定]は[ ]（通常）に固定されます。
- O.I.S.スイッチのあるレンズ使用時は、カメラの動作設定で[OFF]に設定できません。レンズ側でスイッチを[OFF]にしてください。
- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[ ]（通常）に切り換わります。
  - [ ]モード
  - 動画撮影

❖ 手ブレ補正ブースト（動画）

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。

設定：[ON]／[OFF]

- [手ブレ補正ブースト（動画）]が働いているときは、撮影画面に[ ]が表示されます。
- 撮影中に構図を変える場合は、設定を[OFF]にしてからカメラを動かしてください。撮影中に[OFF]に切り換えるには、Fnボタンをお使いください。（➔Fnボタン：473）
- 焦点距離が大きくなるほど、補正効果は弱くなります。

❖ アナモフィック（動画）

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。

設定：
[A2.0]（2.0×）／[A1.8]（1.8×）／[A1.5]（1.5×）／[A1.33]（1.33×）／[A1.30]（1.30×）／[OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて、設定してください。
- [アナモフィック（動画）]が働いているときは、[A2.0]や[A2.0]のように、設定した倍率が撮影画面の手ブレ補正アイコンに表示されます。

- [手ブレ補正ブースト（動画）]設定時は、[手ブレ補正ブースト（動画）]が優先されます。
- レンズの手ブレ補正機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、レンズの手ブレ補正機能をオフにしてください。

❖ レンズ情報

本機との通信機能がないレンズの情報を登録します。
登録したレンズ情報に応じて、ボディ内手ブレ補正が動作します。

▲▼で使用するレンズ情報を選び、MENU/SET または ◎ を押す

- 初期設定では、焦点距離24 mmから135 mmの6本のレンズ情報が登録されています。レンズ情報は12本まで登録できます。

レンズ情報の登録、変更、消去

1 ▲▼でレンズ情報を選び、[DISP.]ボタンを押す
- 未登録のレンズ情報を選択した場合は、MENU/SET または ◎ を押して手順**3**に進んでください。

2 ▲▼で[編集]、[並べ換え]または[消去]を選び、MENU/SET または ◎ を押す
- [並べ換え]を選ぶと、レンズ情報の表示順を変更できます。
- [消去]を選ぶと、レンズ情報が消去されます。
- 使用中のレンズ情報は消去できません。

3 レンズ情報を入力する
- 登録済みのレンズ情報の場合は、レンズ情報が変更されます。

4 （未登録のレンズ情報選択時）[DISP.]ボタンを押して、レンズ情報を登録する

焦点距離

焦点距離を入力します。
- ⁓ を回すと、ライブビュー映像を拡大表示できます。

レンズ名

レンズ名を登録します。
- 文字の入力方法について（➔ 文字の入力: 105）
- 入力できる文字数は最大30文字です。

測光／露出／ISO感度

本章では、露出を決定するための撮影モードやISO感度について説明しています。

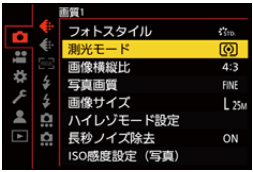
- 測光モード: 252
- プログラムAEモード: 254
- 絞り優先AEモード: 258
- シャッター優先AEモード: 261
- マニュアル露出モード: 264
- プレビューモード: 268
- 露出補正: 270
- ピントや露出の固定（AF／AEロック）: 275
- ISO感度: 277

測光モード

iA P A S M

明るさを測る方式を切り換えることができます。

MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [測光モード]を選ぶ



（マルチ測光）

画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。

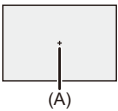
（中央重点）

画面中央部に重点を置いて測光する方式です。

（スポット）

スポット測光ターゲット(A)周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。

- AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。



（ハイライト重点）

白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。

- 標準露出の基準値を調整できます：
  （➔ 基準露出レベル調節：502）
- 1回だけ測光モードを[⊡]（スポット）にして撮影できる機能をFnボタンに登録できます：
  （➔ ワンショット スポット測光：478）

プログラムAEモード

● プログラムシフト: 256

iA P A S M

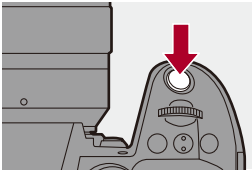
[P]モード（プログラムAEモード）では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままでシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 撮影モードを[P]にする

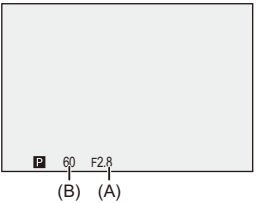
● モードダイヤルを合わせます。（➔ 撮影モードの選択: 82）

2 シャッターボタンを半押しする

● 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値(A)とシャッタースピード(B)の数値が赤色で点滅します。



3 撮影する

プログラムシフト

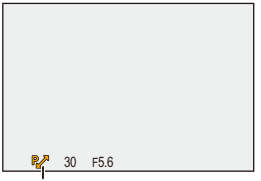
カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。
より背景をぼかす（絞り値を小さくする）、動きを表現する（シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。（約10秒間）

2 数値が表示されている間に、 または を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコン(C)が表示されます。



(C)

3 撮影する

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、 または を回す

- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
  – フラッシュ

- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
  （➔ ダイヤル設定: 515）
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
  （➔ 露出メーター: 524）

絞り優先AEモード

iA P A S M

[A]モード（絞り優先AEモード）では、絞り値を設定して撮影できます。
シャッタースピードはカメラが自動で設定します。

絞り値が小さい
背景をぼかしやすくなります。

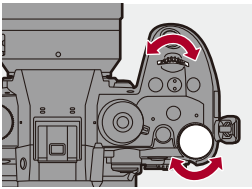
絞り値が大きい
背景までピントが合った状態にしやすくなります。

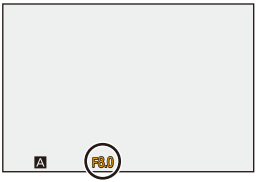
1 撮影モードを[A]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 絞り値を設定する

- または を回します。





3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い(狭い) 例:背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例:背景までピントを合わせて撮りたいとき

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。（➔ プレビューモード: 268）
  [A] モードで常に絞り効果のプレビューを働かせ、被写界深度を確認しながら撮影できます：
  （➔ 常時プレビュー: 518）
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を [A] 以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。

- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
  （➔ ダイヤル設定: 515）
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
  （➔ 露出メーター: 524）
- 絞りリングのあるレンズを使用しているとき、絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます：
  （➔ 絞りリング設定: 535）

シャッター優先AEモード

iA P A S M

[S]モード（シャッター優先AEモード）では、シャッタースピードを設定して撮影できます。
絞り値はカメラが自動で設定します。

シャッタースピードが遅い
動きを表現しやすくなります。

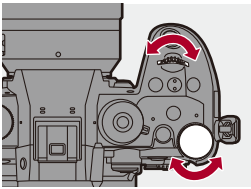
シャッタースピードが速い
動きを止めやすくなります。

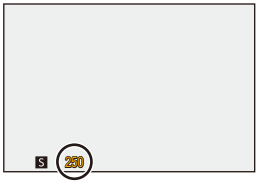
1 撮影モードを[S]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 シャッタースピードを設定する

- または を回します。





3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。（➔ プレビューモード: 268）
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。（➔ フラッシュモード別のシャッタースピード: 309）

- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
（➔ ダイヤル設定: 515）
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
（➔ 露出メーター: 524）

マニュアル露出モード

● 設定可能なシャッタースピード（秒）: 266
● B（バルブ）: 267

iA P A S M

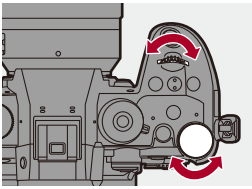
[M] モード（マニュアル露出モード）では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。
初期設定では、ISO感度が [AUTO] に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度 [AUTO] 設定時は露出補正も使用できます。

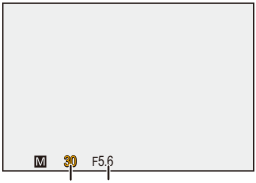
1 撮影モードを [M] にする

● モードダイヤルを合わせます。（➔ 撮影モードの選択: 82）

2 絞り値とシャッタースピードを設定する

- を回して絞り値(A)を、 を回してシャッタースピード(B)を設定します。





3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例: MM+1)が撮影画面に表示されます。
現在の露出値と、カメラが測光した標準露出(±0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

設定可能なシャッタースピード（秒）

- **メカシャッター：**
  B（バルブ、最大約30分間）、60～1/8000
- **電子先幕：**
  B（バルブ、最大約30分間）、60～1/2000
- **電子シャッター：**
  B（バルブ、最大約60秒間）、60～1/32000

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。（➔ プレビューモード: 268）
  [M] モードで常に絞り効果、シャッタースピード効果のプレビューを働かせ、被写界深度や被写体の動きを確認しながら撮影できます：
  （➔ 常時プレビュー: 518）
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を [A] 以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。（➔ フラッシュモード別のシャッタースピード: 309）

- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
  （➔ ダイヤル設定: 515）
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
  （➔ 露出メーター: 524）

B(バルブ)

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)
シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。

- バルブ撮影中は、三脚やシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去](➔ 長秒ノイズ除去: 242)を[ON]にして撮影することをお勧めします。

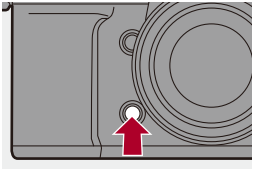
- 以下の機能を使用中は、バルブは使用できません。
  – SH連写
  – インターバル撮影
  – コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
  – ハイレゾモード
  – [ブラケット]

プレビューモード

実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。
また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

- [プレビュー]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)

プレビューボタンを押す



- ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。

絞り効果：OFF
シャッタースピード効果：OFF
⬇
絞り効果：ON
シャッタースピード効果：OFF
⬇
絞り効果：ON
シャッタースピード効果：ON

- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/32000秒です。
- [常時プレビュー]の設定によっては、表示されない確認画面があります。

- [A]／[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます：
  （➔ 常時プレビュー: 518）
- ボタンを押している間だけ絞り効果を確認できる機能をFnボタンに登録できます：
  （➔ プレビュー（絞りのみ）: 481）

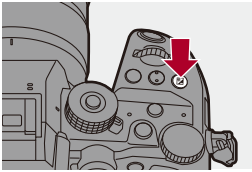
露出補正

- 周辺光量補正: 273
- 回折補正: 274

iA P A S M

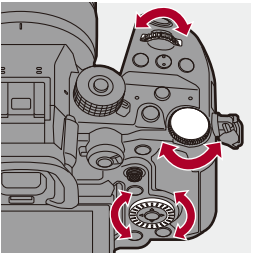
カメラが決めた標準露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。
露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、±5 EVです。動画撮影では±3 EVの範囲になります。

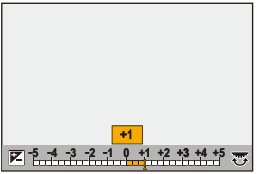
1 [ ]ボタンを押す



2 露出を補正する

- 、 または を回します。





3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- 露出補正値が±3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正値は、電源を切っても記憶しています。

- 標準露出の基準値を調整できます：
  （➔ 基準露出レベル調節: 502）
- 電源を切ると露出補正値をリセットするように設定できます：
  （➔ 露出補正リセット: 503）
- [ ]ボタンの動作を変更できます：
  （➔ WB/ISO/露出補正ボタン: 514）
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
  （➔ 露出補正画面の操作: 515）
- 絞り値やシャッタースピードを標準露出に合わせる機能をFnボタンに登録できます：
  （➔ ワンプッシュAE: 478）

周辺光量補正

iA P A S M

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。

MENU/SET ➡ [ ] ／ [ ] ➡ [ ] ➡ [周辺光量補正]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。
- 以下の機能を使用中は、写真メニュー（画質）の[周辺光量補正]は使用できません。
  – [EXテレコン（写真）]
- 以下の機能を使用中は、動画メニュー（画質）の[周辺光量補正]は使用できません。
  – [動画撮影範囲]の[PIXEL/PIXEL]
  – [バリアブルフレームレート]

回折補正

iA P A S M

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU/SET ➡ [ ] ／ [ ] ➡ [ ] ➡ [回折補正] を選ぶ

設定：[AUTO] ／ [OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

ピントや露出の固定（AF／AEロック）

iA P A S M

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fnボタンに［AE LOCK］、［AF LOCK］または［AF/AE LOCK］を登録する（➔Fnボタン：473）

- ［Fn4］～［Fn8］には登録できません。

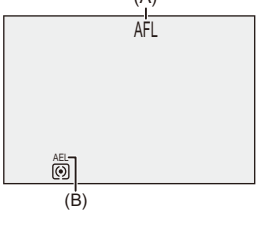
AE LOCK
露出を固定します。

AF LOCK
ピントを固定します。

AF/AE LOCK
ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fnボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコン（A）が表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコン（B）が表示されます。



3 Fnボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

- AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。

- Fnボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようにできます：
  （➔ AF/AEロック維持: 505）
- AFロック中に手動でピントを微調整できます：
  （➔ AF+MF: 506）

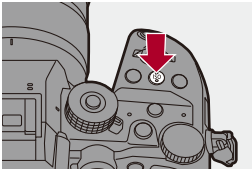
ISO感度

● ISO感度設定（写真）: 281

iA P A S M

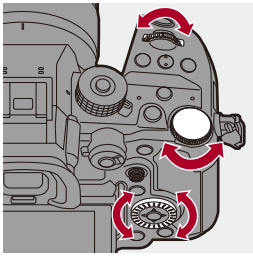
光に対する感度（ISO感度）を設定できます。初期設定では、1/3 EVごとに100～25600（[M]モード時は100～12800）の範囲で設定できます。

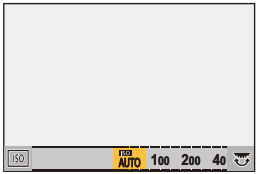
1 [ISO]ボタンを押す



2 ISO感度を選ぶ

- 、 または を回します。
- [ISO] ボタンを押しても選択できます。





3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

ISO感度の性質

ISO感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目（ISO感度）

AUTO

明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。

- 写真撮影時：最大3200[*1]
- 動画撮影時：最大6400[*2]

100～25600

（[🎥M]モード時：100～12800）

それぞれのISO感度に固定します。

- カスタムメニュー（画質）の[拡張ISO感度]（➔ 拡張ISO感度：502）を[ON]にすると、下限値50までISO感度を拡張できます。

*1　初期設定。[ISO感度設定（写真）]によって上限を変更できます。
*2　初期設定。[ISO感度設定（動画）]によって上限を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
  – ハイレゾモード：上限1600まで
  – [ダイナミックレンジブースト]：下限800まで
  – [フィルター設定]：上限3200まで
  – [フォトスタイル]の[709ライク]：下限100まで
  – [フォトスタイル]の[V-Log]：下限250（[拡張ISO感度]設定時：下限125、[ダイナミックレンジブースト]設定時：下限2000）まで
  – [フォトスタイル]の[ハイブリッドログガンマ]：下限250（[ダイナミックレンジブースト]設定時：下限2000）まで

- ISOオートの上限と下限を設定できます：
  （➔ ISO感度設定（写真）：281、ISO感度設定（動画）：337）
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます：
  （➔ ISO感度ステップ：502）
- 設定できるISO感度の範囲を拡張できます：
  （➔ 拡張ISO感度：502）
- ISOオート時のシャッタースピードの下限を設定できます：
  （➔ 下限シャッター速度：243）
- [ISO]ボタンの動作を変更できます：
  （➔ WB/ISO/露出補正ボタン：514）
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます：
  （➔ ISO感度画面の操作：514）
- 動画撮影時の感度の単位をdBに切り換えることができます：
  （➔ SS/ゲイン操作：369）

ISO感度設定（写真）

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ISO感度設定（写真）]を選ぶ

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- 100 ～ 12800の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- AUTO、200～ 25600の範囲で設定できます。

ホワイトバランス／画質

本章では、ホワイトバランスやフォトスタイルなど、イメージどおりの画像を撮影するための機能について説明しています。

- ホワイトバランス（WB）: 283
- フォトスタイル: 290
- フィルター設定: 297

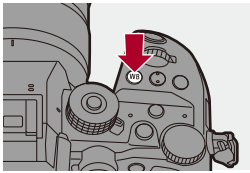
ホワイトバランス（WB）

● ホワイトバランスの調整：288

iA P A S M

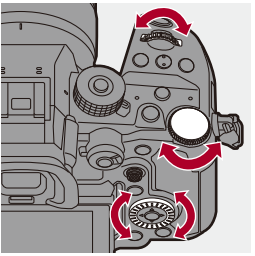
ホワイトバランス（WB）は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。
通常はオート（[AWB]、[AWBc]または[AWBw]）で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気を表現したいときに設定してください。

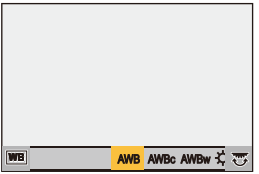
1 [WB]ボタンを押す



2 ホワイトバランスを選ぶ

- 、 または を回します。
- [WB] ボタンを押しても選択できます。





3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目（ホワイトバランス）

AWB

オート

AWBc

オート（白熱電球下で赤みを抑えます）

AWBw

オート（白熱電球下で赤みを残します）

☼

晴天

曇天

晴天の日陰

白熱灯

WB*

フラッシュ

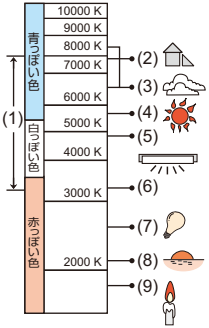
1 ～ 4

セットモード1～4（➔ ホワイトセット登録: 287）

K1 ～ K4

色温度1～4（➔ 色温度設定: 287）

* 動画撮影では[AWB]と同じ動作をします。



(1) [AWB]が働く範囲
(2) 日陰
(3) 曇り空
(4) 太陽光
(5) 白色蛍光灯
(6) ハロゲン電球
(7) 白熱電球
(8) 日の出･日の入り前
(9) ろうそく

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[1]～[4]をご使用ください。

- [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

- [WB]ボタンの動作を変更できます：
（➔ WB/ISO/露出補正ボタン：514）

❖ ホワイトセット登録

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

1 [WB] ボタンを押し、[1]～[4]のいずれかを選ぶ

2 ▲を押す

3 画面中央の枠内に白いものを映し、MENU/SET または を押す
- ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度設定

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

1 [WB] ボタンを押し、[K1]～[K4]のいずれかを選ぶ

2 ▲を押す
- 色温度の設定画面が表示されます。

3 ▲▼で色温度を選び、MENU/SET または を押す
- 、 または を回すと、ホワイトバランス（色温度）ブラケットの設定ができます。（➔ 詳細設定（ホワイトバランス（色温度）ブラケット）: 236）

- 2500K～10000Kまで設定できます。
- [M] モード時、またはカスタムメニュー（モニター/表示（動画））の [動画優先表示] を [ON] に設定したときは、撮影画面にケルビン値が表示されます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB] ボタンを押す

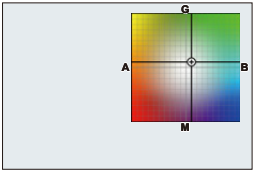
2 ホワイトバランスを選び、▼ を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

◀：[A]（アンバー：オレンジ系）
▲：[G]（グリーン：緑系）
▶：[B]（ブルー：青系）
▼：[M]（マゼンタ：赤系）

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも調整できます。
- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
- 、 または を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。（➔ 詳細設定（ホワイトバランスブラケット）：236）



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

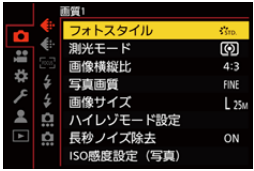
- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G方向に調整すると[+]が、M方向に調整すると[–]が表示されます。

フォトスタイル

iA P A S M

被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フォトスタイルごとに画質調整ができます。

MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [フォトスタイル] を選ぶ



STD. スタンダード
標準的な設定

VIVD ヴィヴィッド
彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定

NAT ナチュラル
コントラストが低めの柔らかな設定

L.CLASN L.クラシックネオ
ノスタルジックで優しい色合いのフィルム風の設定

FLAT フラット
彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定

LAND 風景
青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定

PORT 人物
健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定

MONO モノクローム
色味を抜いた単色の設定

L.MONO L.モノクローム
階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定

L.MONOD L.モノクロームD
ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定

L.MONOS L.モノクロームS
ポートレートに適した柔らかな印象のモノクロ設定

CNED2 シネライク D2
ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定
- 動画編集時の処理に適しています。

CNEV2 シネライク V2
コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

709L 709ライク
Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮（ニー）して白飛びを抑える設定
（➔ 白飛びを抑えて撮影する（ニー）: 335）
- Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。

V-Log V-Log
ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定（➔Log撮影する: 396）
- ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

HLG ハイブリッドログガンマ[*1]
HLG方式の動画を撮影するための設定（➔HLG動画: 400）

MY MY PHOTO STYLE 1[*2]～MY PHOTO STYLE 10[*2]
フォトスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフォトスタイルとして登録できます。（➔ 設定をマイフォトスタイルに登録する: 296）

*1 [🎥M]モードで10 bitの[動画画質]に設定しているときだけ選択できます。(➔ 動画画質: 135)
*2 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。[フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。(➔ フォトスタイル設定: 501)

- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
  – [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
  – 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
  – 画質調整できません。
- [フォトスタイル]を以下に設定したときは、使用できるISO感度の範囲が変化します。(➔ 設定項目(ISO感度): 279)
  – [709ライク]、[V-Log]、[ハイブリッドログガンマ]
- [709ライク]ではニーモードを設定できます。(➔ 白飛びを抑えて撮影する(ニー): 335)
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。

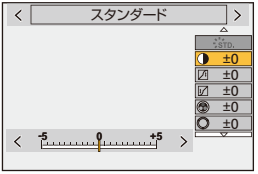
- フォトスタイルの詳細な設定ができます:
  (➔ マイフォトスタイル設定: 501)

❖ 画質調整

1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する

- 調整した項目に[*]が表示されます。



3 MENU/SET または ◉ を押す

- 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。

設定項目（画質調整）

◑ コントラスト
画像の明暗差を調整します。

ハイライト
明部の明るさを調整します。

シャドウ
暗部の明るさを調整します。

彩度
色の鮮やかさを調整します。

色調
青み、黄色みを調整します。

色相
赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。

フィルター効果

黄：コントラストを強調します。（効果：弱）青空をくっきりと撮影できます。
オレンジ：コントラストを強調します。（効果：中）青空を色濃く撮影できます。
赤：コントラストを強調します。（効果：強）青空をさらに色濃く撮影できます。
緑：人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
OFF

粒状

弱／**中**／**強**：粒状感の強弱を設定します。
OFF

色ノイズ

ON：粒状感に色味を追加します。
OFF

シャープネス

画像の輪郭を調整します。

ノイズリダクション

ノイズリダクションの効果を調整します。
• 効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。

ISO感度*

ISO感度を設定します。（➔ISO感度：277）

ホワイトバランス*

ホワイトバランスを設定します。（➔ ホワイトバランス（WB）：283）
• [WB] 選択中に [ ] ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度 [ ] ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

* [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10] 選択中に、以下を設定すると使用できます。
[ ] ➡ [ ] ➡ [フォトスタイル設定] ➡ [マイフォトスタイル設定] ➡ [調整項目の追加] ➡ [ISO感度]／[ホワイトバランス] ➡ [ON]

• フォトスタイルの種類により、画質を調整できる項目は変わります。

	STD. VIVD NAT FLAT LAND PORT CNED2 CNEV2 STD.HLG	L.CLASSIC	MONO L.MONO L.MONO.D L.MONO.S	709L HLG	V-Log
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
（彩度）	✓	✓		✓	
（色調）			✓		
	✓	✓		✓	
			✓		
		✓	✓		
		✓*			
S	✓	✓	✓	✓	✓
NR	✓	✓	✓	✓	✓

* [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

• [粒状]と[色ノイズ]の効果は、撮影画面では確認できません。
• 以下の機能を使用中は、[粒状]と[色ノイズ]は使用できません。
– 動画撮影
– SH連写

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する

iA P A S M

1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

2 画質を調整する

- マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。

3 [DISP.] ボタンを押す

4 （[MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10] 選択時）
▲▼ で [現在の設定を登録] を選び、MENU/SET または を押す

5 ▲▼ で登録先の番号を選び、MENU/SET または を押す

- 確認画面が表示されます。
  確認画面で [DISP.] ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。
  入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
  文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

1 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10] のいずれかを選ぶ

2 [DISP.] ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出
現在の設定を登録
名称変更
デフォルトに戻す

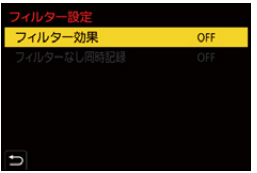
フィルター設定

● フィルターなし同時記録: 301

画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。
フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

1 [フィルター効果]を設定する

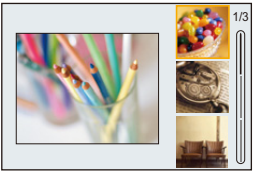
● MENU/SET ➡ [ ]／[ ] ➡ [ ] ➡ [フィルター設定] ➡ [フィルター効果] ➡ [設定]



2 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、MENU/SET または を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。

- [DISP.]ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

1 フィルターを選ぶ

2 撮影画面で[WB]ボタンを押す

3 、 または を回して設定する

- 撮影画面に戻るには、もう一度[WB]ボタンを押してください。
- フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに[∗]が表示されます。

フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
クロスプロセス	色合い
ブリーチバイパス	コントラスト

❖ タッチ操作でフィルターを設定する

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。（➔ タッチ設定: 511）

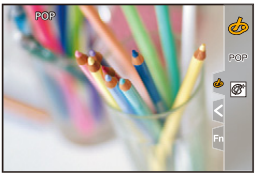
1 [ ]をタッチする

2 設定する項目をタッチする

[ ]：フィルターの入／切

[POP]：フィルター

[ ]：フィルター効果の調整



- ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[⊛](発光禁止)に固定されます。
- ISO感度の上限は3200になります。
- フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フィルター効果]は使用できません。
  – ハイレゾモード

- Fnボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP.]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

フィルターなし同時記録

iA P A S M

フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

MENU/SET ➡ [ ] ／ [ ] ➡ [ ] ➡ [フィルター設定] ➡ [フィルターなし同時記録] を選ぶ

設定：[ON] ／ [OFF]

- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録] は使用できません。
  - 連写
  - インターバル撮影
  - コマ撮りアニメ
  - [写真画質] の [RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
  - [ブラケット]

フラッシュ

ホットシューにフラッシュライト（別売：DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L）を装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用することもできます。また、ワイヤレスフラッシュ撮影に対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。

- フラッシュライトの取扱説明書もお読みください。

- 外部フラッシュ（別売）を使う：303
- フラッシュの設定：307
- ワイヤレスフラッシュ撮影：315

外部フラッシュ(別売)を使う

● ホットシューカバーの取り外し: 304

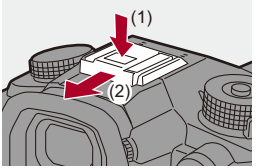
iA P A S M

- ケラレを防止するために、レンズフードを取り外してください。
- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
  - 電子シャッター、[サイレントモード]
  - ハイレゾモード
  - [フィルター設定]
  - SH連写

ホットシューカバーの取り外し

フラッシュライト(別売)を取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。
フラッシュライトの取り付け方について詳しくは、フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印(1)の方向に押しながら、矢印(2)の方向に引いて取り外す

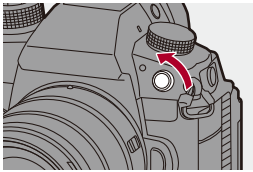


❖ フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する

フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用できます。

- シンクロ電圧が250 V以下の外部フラッシュをご使用ください。
- シンクロケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

1 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す
- フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。



2 シンクロケーブルをフラッシュシンクロ端子に接続する
- 端子には、ケーブルの抜け落ちを防止するロックねじが付いています。
- 接続については、シンクロケーブルの取扱説明書をお読みください。

- フラッシュシンクロ端子に極性はありません。シンクロケーブルの極性と関係なく、そのまま使用できます。
- [🎥M]モードでは、フラッシュシンクロ端子を外部機器とのタイムコード同期に使用します。(➔ 外部機器とタイムコードを同期する: 359)[🎥M]モードに設定したときは、フラッシュシンクロ端子に外部フラッシュを接続しないでください。本機の故障の原因になります。

❖ フラッシュ撮影時のお知らせ

- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの設定

- フラッシュモード: 308
- 発光モード、マニュアル発光量設定: 310
- フラッシュ光量調整: 312
- フラッシュシンクロ: 313
- 露出補正連動: 314

iA P A S M

カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [フラッシュモード]を選ぶ

⚡（強制発光）／ ⚡👁（赤目軽減強制発光）
フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。

⚡S（スローシンクロ）／ ⚡S👁（赤目軽減スローシンクロ）
フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。
- シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

（発光禁止）
フラッシュは発光しません。

- フラッシュは2回発光します。特に[⚡👁]、[⚡S👁]設定時は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- 以下を設定しているときは、[⚡👁]、[⚡S👁]は使用できません。
  – [発光モード]：[マニュアル]
  – [フラッシュシンクロ]：[後幕]
  – [ワイヤレスモード]：[ON]
- 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(✓: 設定可、—: 設定不可)

撮影モード	⚡	⚡👁	⚡S	⚡S👁	⊛
P／A	✓	✓	✓	✓	✓
S／M	✓	✓	—	—	✓

- [iA] モード時は、[¡⚡A] または [⊛] に設定できます。[¡⚡A] では、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

⚡／⚡👁：1/60秒* ～1/250秒

⚡S／⚡S👁：1秒～1/250秒

* [S] モード時は60秒、[M] モード時はB(バルブ)になります。

発光モード、マニュアル発光量設定

フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

- 一部の他社製フラッシュライト装着時に、設定した内容が有効になります。フラッシュライト（別売：DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L）装着時は、フラッシュ側で設定してください。

1 発光モードを設定する

- MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [発光モード]

TTL

フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。

マニュアル

フラッシュの発光量を手動で設定します。

- [TTL] では発光量が大きくなりがちな暗いシーンでも、意図どおりの撮影ができます。
- 撮影画面のフラッシュアイコンに発光量（[1/1] など）が表示されます。

2 （[マニュアル] 設定時）[マニュアル発光量設定] を選び、MENU/SET または ⊛ を押す

3 ◀▶ で発光量を設定し、MENU/SET または ⊛ を押す

- [1/1]（フル発光）～[1/128]の範囲で、1/3段ごとに設定できます。

フラッシュ光量調整

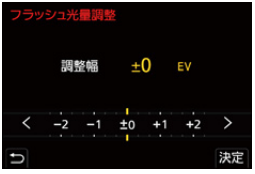
TTLの発光モードでフラッシュ撮影するときに、フラッシュの発光量を調整できます。

1 [フラッシュ光量調整]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [フラッシュ光量調整]

2 ◀▶ で発光量を調整し、MENU/SET または ◎ を押す

- –3 EV～+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面に[⚡]が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整について(➔ フラッシュ光量調整: 319)
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ光量調整]は使用できません。
  – [発光モード]:[マニュアル]
  – [ワイヤレスモード]:[ON]

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [フラッシュシンクロ]を選ぶ

先幕

一般的なフラッシュ撮影の方法です。

後幕

被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。

- [後幕]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定しているときは、[先幕]に固定されます。
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(➔ 露出補正: 270)に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [露出補正連動]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]

ワイヤレスフラッシュ撮影

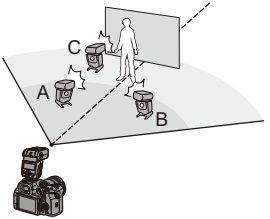
別売のフラッシュライト（DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L）を使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

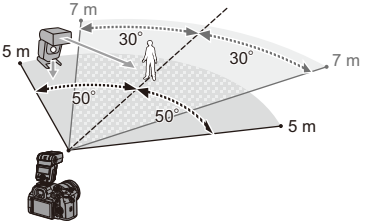
設置例

発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合



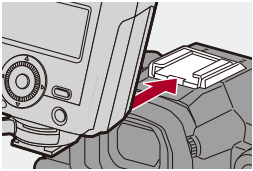
設置範囲

DMW-FL360L装着時



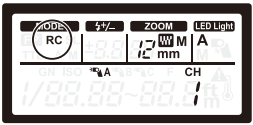
- 設置範囲はカメラを横に構えて撮影する場合の目安です。範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(➔ ワイヤレス通信光量: 320)

1 カメラに外部フラッシュを取り付ける(➔ ホットシューカバーの取り外し: 304)



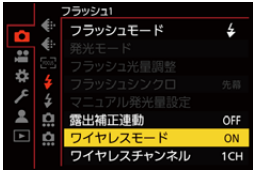
2 ワイヤレスフラッシュの設定を[RC]モードにして配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。



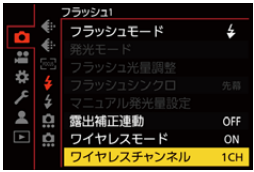
3 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ワイヤレスモード] ➡ [ON]



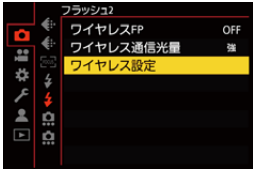
4 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



5 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



- [ワイヤレスモード]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。

❖ 設定項目（ワイヤレス設定）

• テスト発光するには、[DISP.] ボタンを押してください。

外部フラッシュ *1	**発光モード**	**[TTL]**：カメラが自動で発光量を設定します。 **[AUTO]** *2：外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 **[マニュアル]**：外部フラッシュの発光量を手動で設定します。 **[OFF]**：外部フラッシュは通信発光だけ行います。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。 • [1/1]（フル発光）～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

A グループ／B グループ／C グループ	**発光モード**	**[TTL]**：カメラが自動で発光量を設定します。 **[AUTO]**[*1]：ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 **[マニュアル]**：ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で設定します。 **[OFF]**：設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。 • [1/1]（フル発光）～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

*1 [ワイヤレスFP]を設定したときは選択できません。
*2 フラッシュライト（別売：DMW-FL200L）使用時は設定できません。

❖ ワイヤレスFP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光（フラッシュが高速で発光を繰り返すこと）し、速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [ワイヤレスFP]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

MENU/SET ➡ [📷] ➡ [⚡] ➡ [ワイヤレス通信光量]を選ぶ

設定：[強]／[中]／[弱]

動画の設定

動画専用の撮影モードであるクリエイティブ動画モードや、動画を撮影するときの設定について説明しています。

- クリエイティブ動画モード: 322
- AFを使う（動画）: 328
- 動画の明るさ、色合い: 333
- 音声の設定: 339
- 外部マイク（別売）: 347
- XLRマイクロホンアダプター（別売）: 350
- ヘッドホン: 353
- タイムコード: 356
- 外部機器とタイムコードを同期する: 359
- 主なアシスト機能: 367

クリエイティブ動画モード

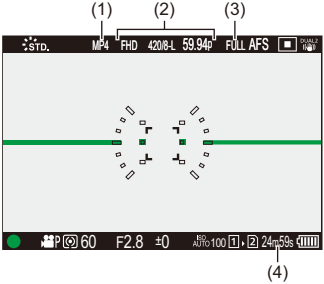
- 動画撮影に適した表示: 323
- クリエイティブ動画で撮る: 324
- クリエイティブ動画の設定値: 327

iA P A S M

[M]モード(クリエイティブ動画モード)は、すべての動画機能が使用できる、動画撮影専用の撮影モードです。[M]モードでは、撮影画面が動画撮影に適した表示に切り換わります。シャッターボタンで動画撮影の開始と終了ができます。露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。露出やホワイトバランスなどを、写真撮影時と分けて設定できます。

動画撮影に適した表示

撮影画面の以下の部分が、動画撮影に適した表示に切り換わります。



(1) 記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式: 134）

(2) 動画画質（➔ 動画画質: 135）

(3) 動画撮影範囲（➔ 動画撮影範囲: 149）

(4) 動画記録時間（➔ 動画記録時間（h:時間、m:分、s:秒）: 713）

- お買い上げ時の表示例です。ここに記載している以外のアイコンについて（➔ モニター／ファインダーの表示: 658）

- [iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モードでも、[🎥M]モードと同じように、動画撮影に適した表示に切り換えることができます：
（➔ 動画優先表示: 531）

クリエイティブ動画で撮る

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 露出モードを設定する

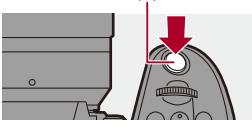
- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画露出設定] ➡ [P]／[A]／[S]／[M]
- [P]／[A]／[S]／[M]モードと同じ露出操作ができます。

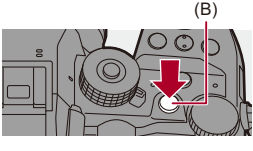
3 メニューを終了する

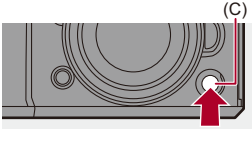
- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影を開始する

- シャッターボタン(A)、動画記録ボタン(B)、またはサブ動画記録ボタン(C)を押します。







5 撮影を終了する

- もう一度シャッターボタン、動画記録ボタン、またはサブ動画記録ボタンを押します。

- シャッターボタンを使用した記録開始／終了操作を無効にできます：（➔ シャッター全押し動画記録：508）
- [🎥M]モード時にだけ動画撮影を開始／停止する機能をFnボタンに登録できます：（➔ 動画撮影（クリエイティブ動画時）：481）

❖ 動画撮影中の操作

露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。（➔ タッチ設定：511）

1 [🎥]をタッチする

2 アイコンをタッチする

T W	ズーム
F	絞り値
SS	シャッタースピード
	露出補正
ISO／GAIN	ISO感度／ゲイン（dB）
dB	録音レベル設定 （➔ 録音レベル設定: 342）

3 スライドバーをドラッグして設定する

[▼]／[▲]：ゆっくり設定を変える

[▼▼]／[▲▲]：速く設定を変える

- アイコン(D)をタッチすると手順**2**の画面に戻ります。

(D)

クリエイティブ動画の設定値

iA P A S M

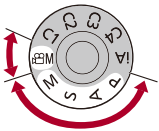
初期設定では[M]モードで変更した露出やホワイトバランスなどの設定は、[P]／[A]／[S]／[M]モードでの写真撮影にも反映されます。[クリエイティブ動画の設定値]メニューで、動画撮影時と写真撮影時の設定を分けることができます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [クリエイティブ動画の設定値]を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正／ホワイトバランス／フォトスタイル／測光モード／AFモード：

[ ]：撮影モード間で撮影設定が連動します。

[ ]：[M]モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードで撮影設定を分けることができます。



- [iA]モードはカメラが自動で最適な撮影設定をするため、本機能の設定にかかわらず、独立した撮影設定になります。

AFを使う(動画)

- AF連続動作: 328
- AFカスタム設定(動画): 330
- 動画ライブビュー拡大表示: 331

AF連続動作

iA P A S M

動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [AF連続動作]を選ぶ

MODE1

撮影中だけ自動でピントを合わせ続けます。

MODE2

撮影待機中と撮影中にピントを合わせ続けます。

- [M]モード時に設定できます。

OFF

撮影開始時のピント位置に固定されます。

- [iA]モードでは、[AF連続動作]の設定にかかわらず、撮影待機中に自動でピントを合わせます。
- 撮影環境や使用しているレンズによっては、動画撮影中にAFの動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を[OFF]に設定して撮影してください。
- 動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- [M]モード時にHDMI出力すると、[MODE1]は[MODE2]に切り換わります。
- 以下の場合、撮影待機中に[MODE2]は働きません。
  – 低照度時

AFカスタム設定(動画)

iA P A S M

[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [AFカスタム設定(動画)]を選ぶ

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	**AF駆動速度**	**[+]側**:速いスピードでピントを合わせます。 **[−]側**:緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	**[+]側**:被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 **[−]側**:被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

• [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。

動画ライブビュー拡大表示

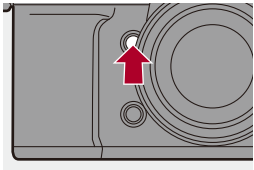
iA P A S M

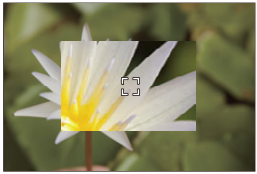
AFモードが[ ]、[ ]、[ ]のとき、またはMFで撮影中に、ピント位置を拡大表示します。(AFモードが[ ]、[ ]のときは、画面中央が拡大表示されます)
動画撮影中にもピント位置を拡大して確認できます。

- [動画ライブビュー拡大表示]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)

動画ライブビュー拡大表示ボタンを押して、ピント位置を拡大表示する

- 拡大表示画面の操作は、MFアシスト画面の操作と同じです。(➔MFアシスト画面での操作: 194)





- 使用するレンズによって、動画ライブビュー拡大表示画面が表示されない場合があります。
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  - [バリアブルフレームレート]
- フォーカスリングがない交換レンズ装着時、以下の機能を使用中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
  - [バリアブルフレームレート]

- 拡大表示画面の表示方法を変更できます:
  (➔ 動画ライブビュー拡大表示設定: 510)
- HDMI接続した外部機器に拡大表示を出力するか設定できます:
  (➔HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 434)

動画の明るさ、色合い

- 輝度レベル設定: 333
- マスターペデスタル: 334
- 白飛びを抑えて撮影する(ニー): 335
- ISO感度設定(動画): 337
- ダイナミックレンジブースト: 338

輝度レベル設定

iA P A S M

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。
動画の基準である[16-235]や[16-255]、写真と同様に輝度の全域を使用する[0-255]を設定できます。

MENU ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [輝度レベル設定]を選ぶ

設定: [0-255]／[16-235]／[16-255]

- 10 bitの[動画画質]に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、[0-255]([0-1023])に固定されます。
- [フォトスタイル]を[ハイブリッドログガンマ]に設定しているときは、[64-940]に固定されます。

マスターペデスタル

iA P A S M

映像の基準となる黒を調整します。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

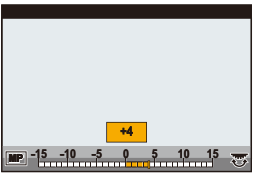
2 [マスターペデスタル]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [マスターペデスタル]

3 マスターペデスタルを調整する

- 、 または を回します。

• –15～+15の範囲で設定できます。



• 以下の機能を使用中は、[マスターペデスタル]は使用できません。
– [フォトスタイル]の[V-Log]

白飛びを抑えて撮影する(ニー)

iA P A S M

[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、ニーを調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

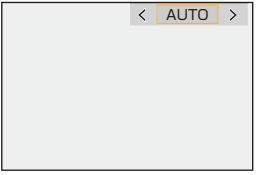
1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [フォトスタイル] ➡ [709ライク]

2 [Q]ボタンを押す

3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶で設定項目を選びます。



AUTO

自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。

MANUAL

圧縮を開始する輝度(ニーマスターポイント)と圧縮の強さ(ニーマスタースロープ)を任意に設定します。

▲▼で項目を選び、◀▶で調整する

[POINT]:ニーマスターポイント
[SLOPE]:ニーマスタースロープ

- を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。
- 以下の範囲で設定できます。
  – ニーマスターポイント:80.0～107.0
  – ニーマスタースロープ:0～99

OFF

4 決定する

- MENU/SET または を押します。

ISO感度設定(動画)

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [ISO感度設定(動画)]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ISO感度設定(動画)]

❖ 設定項目(ISO感度設定(動画))

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- 100 ～ 6400の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- AUTO、200～ 12800の範囲で設定できます。

ダイナミックレンジブースト

iA P A S M

イメージセンサーからダイナミックレンジの広い信号を出力します。
動画をより広いダイナミックレンジで撮影できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [ダイナミックレンジブースト]を[ON]にする

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ダイナミックレンジブースト] ➡ [ON]

- 撮影画面に[ ]が表示されます。
- [ダイナミックレンジブースト]使用中は、ISO感度の下限が800([フォトスタイル]の[V-Log]／[ハイブリッドログガンマ]設定時:下限2000)までになります。
- [ダイナミックレンジブースト]設定時は、以下の機能は使用できません。
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  - フレームレートが60 fpsを超える[バリアブルフレームレート]

音声の設定

- 録音レベル表示: 340
- 音声入力ミュート: 340
- 録音ゲイン切換: 341
- 録音レベル設定: 342
- 録音音質: 343
- 録音レベルリミッター: 344
- 風音キャンセラー: 344
- レンズ動作音低減: 345
- オーディオ情報表示: 346

iA P A S M

録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [録音レベル表示]を選ぶ

ON	録音レベルを撮影画面に表示します。	
OFF	—	
設定	録音レベルの表示サイズを設定します。	
	表示サイズ	**[大]／[小]**

- [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

音声入力ミュート

音声入力をミュートにします。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [音声入力ミュート]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

- 撮影画面に[🔇]が表示されます。

録音ゲイン切換

音声入力のゲインを切り換えます。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [録音ゲイン切換] を選ぶ

標準

標準の入力ゲイン設定です。(0 dB)

低

音量が大きい環境で、音声入力を抑えて記録します。(–12 dB)

- [4ch マイク入力] を [ON] に設定しているときは、CH3 ／ CH4の録音ゲインを調整できます。(➔4ch マイク入力: 352)
- [マイク端子] を [LINE] にして、外部音声機器を接続しているときは、[録音ゲイン切換] は使用できません。

録音レベル設定

録音レベルを手動で調整します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [録音レベル設定] を選ぶ

- ◀▶で録音レベルを調整し、MENU/SET または 🎙 を押す。

設定：[MUTE]／[–18 dB]～[+12 dB]

- 1 dBごとに調整できます。
- 動画記録中にも設定できます。
- 表示されるdB値は目安です。
- [MUTE]に設定すると、撮影画面に[🔇]が表示されます。
- [4chマイク入力]を[ON]に設定しているときは、CH3／CH4の録音レベルを調整できます。(➔4chマイク入力: 352)

録音音質

[記録ファイル方式]が[MOV]または[Apple ProRes]のときの動画の音質を設定します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [録音音質]を選ぶ

96kHz/24bit

96kHz/24bitのハイレゾ音声で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)や、ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時に設定できます。(➔XLRマイクロホンアダプター(別売):350、外部マイク(別売):347)

48kHz/24bit

48kHz/24bitの高音質な音声で記録します。

- 以下の場合は、[48kHz/16bit]に固定されます。
  – [記録ファイル方式]を[MP4]に設定時

録音レベルリミッター

録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [録音レベルリミッター]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]

風音キャンセラー

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [風音キャンセラー]を選ぶ

強
強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。

標準
音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。

OFF
機能をオフにします。

- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- [風音キャンセラー]は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(➔ 風雑音の低減: 349)

レンズ動作音低減

パワーズーム対応のレンズを使用しているとき、動画撮影中に記録されるズーム動作音を低減します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [レンズ動作音低減]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

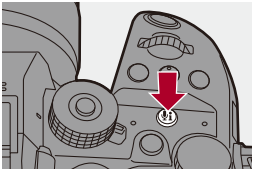
オーディオ情報表示

音声の設定や記録状況をまとめて確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

- オーディオ情報表示画面の操作は、コントロールパネルの操作と同じです。(➔ コントロールパネル: 97)

[🎙i]ボタンを押す

- コントロールパネル(クリエイティブ動画モード)の音声表示エリアをタッチしても表示できます。
- 画面表示について(➔ オーディオ情報表示: 672)



外部マイク(別売)

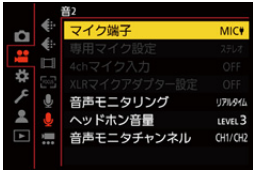
- 収音範囲の設定(別売:DMW-MS2):349
- 風雑音の低減:349

iA P A S M

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質なハイレゾ音声を記録できます。

1 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [マイク端子]



MIC マイク入力(Plug-in Power)
カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき

MIC マイク入力
カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき

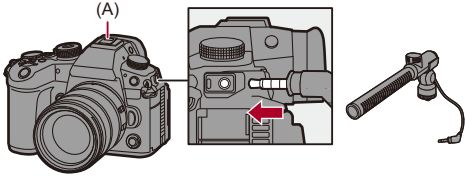
LINE ライン入力
ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[MIC]に固定されます。
- [MIC]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

2 電源スイッチを[OFF]にする

3 カメラに外部マイクをつなぎ、カメラの電源を入れる

- 外部マイクをカメラのホットシュー(A)に取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(➔ ホットシューカバーの取り外し: 304)



4 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する(➔ 録音音質: 343)

- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- 外部マイク接続中は、画面に[EXT.]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

収音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの収音範囲を設定できます。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [専用マイク設定]を選ぶ

ステレオ
広い範囲の音を収音します。

ガン
周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音します。

風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [風音低減]を選ぶ

設定:[強]/[中]/[弱]/[OFF]

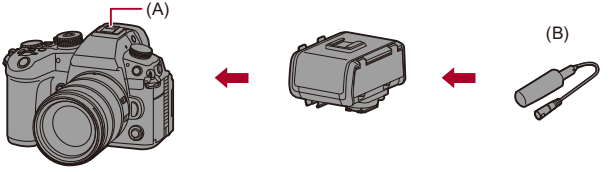
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

XLRマイクロホンアダプター(別売)

● 4chマイク入力: 352

iA P A S M

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)を装着すると、市販のXLRマイクを使用して高音質なハイレゾ音声や4チャンネルの音声が記録できます。(➔4chマイク入力: 352)



(A) ホットシュー
(B) 市販のXLRマイク

準備:
- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(➔ ホットシューカバーの取り外し: 304)

1 ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付け、カメラの電源を入れる

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [XLRマイクアダプター設定]
  - XLRマイクロホンアダプターを装着すると、[XLRマイクアダプター設定]が自動で[ON]になります。

ON

XLRマイクの音声を記録します。

OFF

カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

2 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する(➔ 録音音質: 343)

- XLRマイクロホンアダプター装着時は、画面に[XLR]が表示されます。
- [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chマイク入力]が[OFF]のとき、以下の設定が固定されます。
  - [録音レベルリミッター]:[OFF]
  - [風音キャンセラー]:[OFF]
  - [音声モニタリング]:[記録音]
- [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chマイク入力]が[OFF]のとき、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。

4chマイク入力

市販のXLRマイクを接続したXLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)と内蔵マイクを使って、4チャンネルの音声を記録できます。内蔵マイクの代わりにステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、96kHz/24bitのハイレゾ音声での4チャンネル記録も可能です。(➔ 外部マイク(別売):347)

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [4chマイク入力]を選ぶ

設定:[ON]/[OFF]

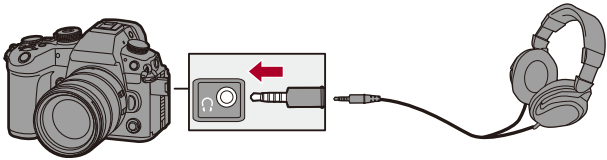
- [4chマイク入力]を[ON]に設定しているときは、画面に[4ch]と表示されます。
- XLRマイクの音声はCH1/CH2に、内蔵マイクや外部マイクの音声はCH3/CH4に記録されます。
- [4chマイク入力]を[ON]に設定しているとき、HDMI接続した外部機器には4チャンネルの音声を出力します。
- [記録ファイル方式]が[MP4]のときは設定できません。
- [XLRマイクアダプター設定]が[OFF]のときは設定できません。

ヘッドホン

● 音声モニタチャンネル: 354

iA P A S M

カメラに市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。

❖ 音声の出力方法の切り換え

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [音声モニタリング]を選ぶ

リアルタイム
遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。

記録音
動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。

- 以下の場合は、[記録音]に固定されます。
  - XLR マイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)使用時(4chマイク入力を[OFF]に設定時)

❖ ヘッドホンの音量の調整

ヘッドホン接続中に ◎ を回す

(◎:音量を下げる
◎):音量を上げる

メニューで調整する場合:

1 [ヘッドホン音量]を選ぶ
- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [ヘッドホン音量]

2 ▲▼でヘッドホン音量を調整し、MENU/SET または ◎ を押す
- 0～LEVEL15の範囲で調整できます。

音声モニタチャンネル

撮影時、ヘッドホンに出力する音声のチャンネルを設定できます。
再生時の音声チャンネル設定について(➔ 音声モニタチャンネル(再生時) : 551)

MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎙] ➡ [音声モニタチャンネル]を選ぶ

[CH1/CH2]
CH1(L)／CH2(R)を出力します。

[CH3/CH4]
CH3(L)／CH4(R)を出力します。

[CH1+CH2/CH3+CH4]
CH1+CH2(L)／CH3+CH4(R)を出力します。

[CH1]
CH1を出力します。

[CH2]
CH2を出力します。

[CH3]
CH3を出力します。

[CH4]
CH4を出力します。

[CH1+CH2]
CH1とCH2をミックスして出力します。

[CH3+CH4]
CH3とCH4をミックスして出力します。

[CH1+CH2+CH3+CH4]
CH1、CH2、CH3、CH4をミックスして出力します。

- 動画記録中にも設定できます。

タイムコード

● タイムコードを設定する: 356

iA P A S M

[記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、動画撮影時にタイムコードが自動で記録されます。[MP4]では、タイムコードは記録されません。

タイムコードを設定する

タイムコードの記録や表示、出力を設定します。

1 [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式] ➡ [MOV]／[Apple ProRes]

2 [タイムコード設定]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [タイムコード設定]

タイムコード表示

撮影画面／再生画面にタイムコードを表示します。

- 以下の機能を使用して動画撮影中は、撮影画面にタイムコードのカウントは表示されません。
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
- 以下の機能を使用中は、撮影画面にタイムコードのカウントは表示されません。
  - HDMI出力
  - スマートフォンとのWi-Fi接続
  - テザー撮影

カウントアップ方式

[レックラン]：動画記録中だけタイムコードをカウントします。

[フリーラン]：動画記録停止中や電源OFF中もタイムコードをカウントします。

- 以下の機能を使用中は、[カウントアップ方式]は[レックラン]に固定されます。
  - [バリアブルフレームレート]

タイムコード値設定

[リセット]：00:00:00:00（時：分：秒：フレーム）に設定します。

[手動入力]：時：分：秒：フレームを手動で入力します。

[現時刻]：時：分：秒を現在の時刻に設定し、フレームを00に設定します。

タイムコードモード

[DF]:ドロップフレーム。記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。

- 秒とフレームの間が"."で表示されます。
  例)00:00:00.00

[NDF]:ノンドロップフレーム。ドロップフレームせずにタイムコードを記録します。

- 秒とフレームの間が":"で表示されます。
  例)00:00:00:00
- 以下の機能を使用中は、[タイムコードモード]は[NDF]に固定されます。
  – [システム周波数]の[50.00Hz(PAL)]、[24.00Hz(CINEMA)]
  – 47.95p、23.98pの[動画画質]

HDMIタイムコード出力

[🎥M]モードで撮影中に、HDMI出力する映像にタイムコードの情報を付け加えて出力します。

- 再生中も、モードダイヤルを[🎥M]に合わせるとタイムコードをHDMI出力できます。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。(➔ 出力解像度(再生時):553)
- 接続する機器によっては機器の画面が黒くなる場合があります。

外部タイムコード設定

タイムコードの入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。(➔ 外部機器とタイムコードを同期する:359)

[タイムコード同期]:タイムコード信号の入力、出力を選びます。
[タイムコード出力基準]:タイムコード信号を出力するタイミングを設定します。

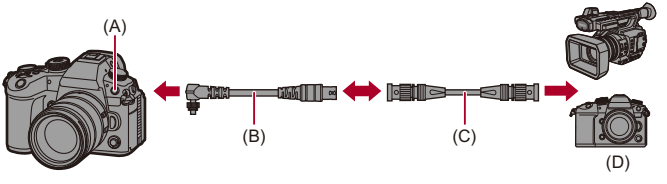
- 以下の機能を使用しているときは、カメラ内の処理に負荷がかかるため、画面の情報表示の更新が遅くなる場合がありますが、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。
  – 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  – HDMI出力
  – スマートフォンとのWi-Fi接続
  – テザー撮影

外部機器とタイムコードを同期する

- タイムコード同期の準備: 360
- 本機のタイムコードに外部機器を同期させる（TC OUT）: 362
- 外部機器のタイムコードに本機を同期させる（TC IN）: 364

iA P A S M

タイムコード信号の入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。



(A) フラッシュシンクロ端子
(B) BNC変換ケーブル（TC IN/OUT専用）（付属）
(C) BNCケーブル（市販）
(D) 外部機器

タイムコード同期の準備

[🎥M]モードで[カウントアップ方式]を[フリーラン]にしたときに、外部機器とタイムコードの初期値を同期できます。

1 撮影モードを[🎥M]にする

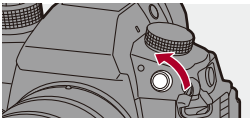
- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [カウントアップ方式]を[フリーラン]に設定する

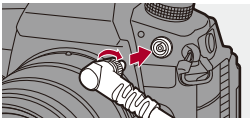
- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [⏱] ➡ [タイムコード設定] ➡ [カウントアップ方式] ➡ [フリーラン]

3 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す

- フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。



4 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)を差し込み、矢印の方向にロックねじを回して取り付ける



5 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)と外部機器をBNCケーブルで接続する

- 付属のBNC変換ケーブル（TC IN/OUT専用）以外は使用しないでください。
- BNCケーブルは2.8 m未満のものを使用してください。
- BNC ケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをお勧めします。

本機のタイムコードに外部機器を同期させる（TC OUT）

本機のタイムコード信号（LTC信号）に合わせて、外部機器のタイムコードの初期値を同期させます。

1 タイムコード同期の準備をする（➔ タイムコード同期の準備：360）

2 [タイムコード出力基準] を選ぶ

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎞] ➡ [タイムコード設定] ➡ [外部タイムコード設定] ➡ [タイムコード出力基準]

撮影基準

撮影する映像に合わせて、タイムコード信号を出力します。

HDMI基準

外部機器（外部レコーダーなど）とHDMI接続しているときに、HDMIの映像に合わせてタイムコード信号を少し遅らせて出力します。

3 [タイムコード同期]を[TC出力]に設定する

- MENU ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [タイムコード設定] ➡ [外部タイムコード設定] ➡ [タイムコード同期] ➡ [TC出力]
- [動画画質]の記録フレームレートと[タイムコードモード](DF/NDF)の設定に合わせて、タイムコード信号を出力します。

4 外部機器でタイムコードを同期させる

❖ タイムコード信号の再出力

以下のように設定しておくと、BNCケーブルで外部機器と接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)を出力できます。

- [ ]モード
- [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]
- [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]:[TC出力]

外部機器のタイムコードに本機を同期させる（TC IN）

外部機器のタイムコード信号（LTC 信号）に合わせて、本機のタイムコードの初期値を同期させます。

- 事前に[システム周波数]（➔ システム周波数: 132）、[動画画質]（➔ 動画画質: 135）、[タイムコードモード]（➔ タイムコードモード: 358）を外部機器に合わせてください。

1 タイムコード同期の準備をする（➔ タイムコード同期の準備: 360）

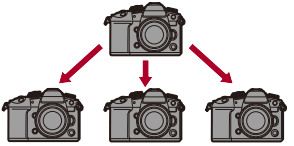
2 [タイムコード同期]を[TC入力]に設定する

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [ ] ➡ [タイムコード設定] ➡ [外部タイムコード設定] ➡ [タイムコード同期] ➡ [TC入力]

3 外部機器でタイムコード信号を出力する

- 外部機器のタイムコードのカウント方法をフリーランに設定し、出力します。
- 外部機器のタイムコードに同期すると、本機がスレーブ状態になり、画面に表示されるタイムコードの[TC]が[TC]に切り換わります。

- 複数の本機を同期させると、タイムコードと露光タイミングを同期し、カメラ間の露光開始タイミングを合わせることができます。



- 露光タイミングが同期できるのは、[タイムコード同期]を [TC入力]にしたあとの初回だけです。

❖ スレーブ状態の維持／解除／復帰

BNCケーブルを取り外しても、本機のスレーブ状態は維持されます。

- 以下の操作をすると、スレーブ状態が解除されます。
  - 電源スイッチの操作
  - 撮影モードの切り換え
  - [システム周波数]の変更
  - [バリアブルフレームレート]の設定
  - 記録フレームレートが239.76p／119.88p／59.94p／59.94i／29.97pの[動画画質]とそれ以外の[動画画質]の間で変更
  - [タイムコード設定]の以下の設定項目を変更
    [カウントアップ方式]、[タイムコード値設定]、[タイムコードモード]、[タイムコード同期]
- スレーブ状態に復帰するには、以下のように設定した状態で、BNCケーブルで外部機器と接続し直してください。
  接続するだけでタイムコード信号（LTC信号）の入力ができます。
  - [🎥M]モード
  - [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]：[フリーラン]
  - [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]：[TC入力]

- 本機と外部機器のシステム周波数が異なる場合でも、タイムコードの初期値が同期することがあります。カウントアップするごとにタイムコードがずれるため、お気をつけください。

主なアシスト機能

- フリッカー軽減（動画）: 368
- SS/ゲイン操作: 369
- WFM/ ベクトルスコープ表示: 371
- スポット輝度メーター: 375
- ゼブラパターン表示: 376
- フレーム表示: 378
- カラーバー／テストトーン: 380

- カスタムメニュー（モニター/表示（動画））には、センターマーカーやセーフティーゾーンマーカーなどの表示アシスト機能があります。
（➔ カスタムメニュー（モニター/表示（動画））: 528）

フリッカー軽減(動画)

iA P A S M

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [フリッカー軽減(動画)]を選ぶ

1/50 ／ 1/60 ／ 1/100 ／ 1/120

OFF

- [P/A/S/M動画の露出自動制御]が[ON]のときに設定できます。(➔ P/A/S/M動画の露出自動制御: 503)

SS/ゲイン操作

iA P A S M

シャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [SS/ゲイン操作]を選ぶ

秒/ISO

シャッタースピードを秒、ゲインをISOの単位で設定します。

角度/ISO

シャッタースピードを角度、ゲインをISOの単位で設定します。

- 11°～357°の範囲で角度を設定できます。([シンクロスキャン]を[OFF]に設定時)
- [バリアブルフレームレート]で撮影するときは、フレームレートの設定によって、以下の範囲で角度を設定できます。
  - 1 fps:11°～45°
  - 2 fps:11°～90°
  - 12 fps以上:11°～355°

秒/dB

シャッタースピードを秒、ゲインをdBの単位で設定します。

- ゲイン(感度)の設定項目は以下になります。
  - 通常:AUTO、0 dB～42 dB
  - [拡張ゲイン設定]設定時:–6 dB ～42 dB
  - [ダイナミックレンジブースト]設定時:0 dB ～24 dB
- ゲイン(感度)の0 dBは以下のISO感度に相当します。
  - 通常:ISO100([ダイナミックレンジブースト]設定時:ISO800)
  - [フォトスタイル]の[V-Log]／[ハイブリッドログガンマ]設定時:ISO250([ダイナミックレンジブースト]設定時:ISO2000)

- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
  - [ISO感度設定(動画)] ➡ [ゲイン設定]
  - [ISOオート下限設定] ➡ [オートゲイン下限設定]
  - [ISOオート上限設定] ➡ [オートゲイン上限設定]
  - [拡張ISO感度] ➡ [拡張ゲイン設定]
  - [ISO感度画面の操作] ➡ [ゲイン設定画面の操作]

WFM/ ベクトルスコープ表示

iA P A S M

撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。ウェーブフォームは、表示サイズを変更できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [WFM/ ベクトルスコープ表示]を設定する

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [WFM/ ベクトルスコープ表示]

WAVE:
ウェーブフォームを表示します。

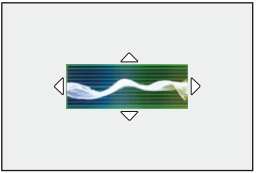
VECTOR:
ベクトルスコープを表示します。

OFF

3 表示する位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、MENU/SET または ⊛ を押します。

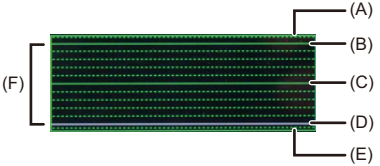
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- タッチ操作でも移動できます。
- ☚ を回すと、ウェーブフォームの大きさを変更できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。ウェーブフォームの場合は、もう一度 [DISP.] ボタンを押すと大きさを初期設定に戻すことができます。



❖ 画面の表示

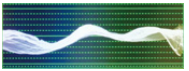
ウェーブフォーム

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。
  0 % (IRE*) = 輝度値 16 (8 bit)
  100 % (IRE*) = 輝度値 235 (8 bit)
  * IRE：Institute of Radio Engineers

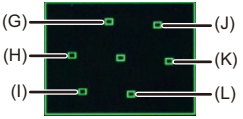


(A) 109 % (IRE)（点線）
(B) 100 % (IRE)
(C) 50 % (IRE)
(D) 0 % (IRE)
(E) –4 % (IRE)（点線）
(F) 0 %～100 %の間は、10 %ごとに点線を表示

表示例：



ベクトルスコープ



(G) R（レッド）
(H) YL（イエロー）
(I) G（グリーン）
(J) MG（マゼンタ）
(K) B（ブルー）
(L) CY（シアン）

表示例：

- 撮影画面上でドラッグしても位置を移動できます。
- ウェーブフォームとベクトルスコープは、HDMI 出力されません。

スポット輝度メーター

iA P A S M

被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

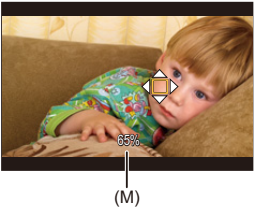
1 [スポット輝度メーター]を設定する

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [スポット輝度メーター] ➡ [ON]

2 輝度を測る位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、MENU/SET または ◎ を押します。

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。



(M) 輝度値

❖ 測定範囲

–7 %～109 %(IRE)の範囲を測定できます。

- [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、Stopの単位で測定します。(0 Stop=42 %(IRE)で換算します)

ゼブラパターン表示

iA P A S M

基準値より明るい部分をしま模様で表示します。
また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示することもできます。

ゼブラ 1

ゼブラ 2

ゼブラ 1+2

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [ゼブラパターン表示]を選ぶ

ゼブラ1	基準値より明るい部分をゼブラ1のしま模様で表示します。	
ゼブラ2	基準値より明るい部分をゼブラ2のしま模様で表示します。	
ゼブラ1+2	[ゼブラ1]、[ゼブラ2]の両方を表示します。	
OFF	—	
設定	基準の明るさを設定します。	
	ゼブラ1	**[50%]～[105%]／[基準/幅]**
	ゼブラ2	**[50%]～[105%]／[基準/幅]**

❖ [設定]で[基準/幅]を選択したとき

[基準]で設定した明るさを中心に、[幅]で設定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示します。

- [基準]は0 %～109 %(IRE)の範囲で設定できます。
- [幅]は±1 %～±10 %(IRE)の範囲で設定できます。

• [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、Stopの単位で設定します。(0 Stop=42 %(IRE)で換算します)

• [基準/幅]設定時は、[ゼブラ1+2]は選択できません。

フレーム表示

iA P A S M

設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。
後工程でトリミング(クロップ)するときの画角をイメージしながら撮影できます。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ **[フレーム表示]を選ぶ**

ON	撮影画面に枠を表示します。	
OFF	—	
設定	**フレーム横縦比**	枠の横縦比を設定します。 **[2.39:1]**／**[2.35:1]**／**[2.00:1]**／**[1.85:1]**／**[16:9]**／**[4:3]**／**[5:4]**／**[1:1]**／**[4:5]**／**[9:16]**／**[カスタム]**
	フレーム色	枠の色を設定します。
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 **[100%]**／**[75%]**／**[50%]**／**[25%]**／**[OFF]**

❖ [設定]の[フレーム横縦比]で[カスタム]を選択したとき

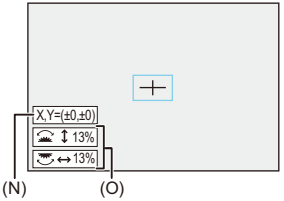
フレームの横縦比を自由に設定できます。

● ▲▼◀▶ で中心の位置を移動します。

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。

● [ ]で枠の高さ、[ ]で枠の幅を設定します。

- フレームをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。



(N) 中心の座標（画面中央を0とする）
(O) 枠の高さと幅

- 横縦比は1 %～100 %の範囲で設定できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

カラーバー／テストトーン

iA P A S M

撮影画面にカラーバーを表示します。カラーバー表示中は、テストトーンが出力されます。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [カラーバー]を選ぶ

設定：[SMPTE]／[EBU]／[ARIB]

- 表示を終了するには、MENU/SET を押してください。

SMPTE

EBU

ARIB

❖ テストトーンの調整

テストトーンのレベルは、4段階（–12 dB、–18 dB、–20 dB、MUTE）から選択できます。

、 または を回してテストトーンのレベルを選択する

- カラーバーの表示中に動画の記録を開始すると、カラーバーとテストトーンが動画に記録されます。
- 本機のモニター／ファインダーに表示される明るさや色合いは、外部モニターと異なる場合があります。

特殊な動画撮影

本章では、スローモーション／クイックモーション動画やLog撮影など、応用的な動画撮影について説明しています。

- バリアブルフレームレート: 383
- ハイフレームレート動画: 388
- フォーカストランジション: 392
- Log撮影する: 396
- HLG動画: 400
- アナモフィック撮影: 403
- シンクロスキャン: 407
- ループ記録（動画）: 409
- 動画分割記録: 411
- 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 412

バリアブルフレームレート

iA P A S M

記録フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。

スローモーション動画（オーバークランク撮影）
フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより多く設定してください。
例）24.00pの[動画画質]に設定しているときに48 fpsで撮影すると、1/2倍速になります。

クイックモーション動画（アンダークランク撮影）
フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより少なく設定してください。
例）24.00pの[動画画質]に設定しているときに12 fpsで撮影すると、2倍速になります。

- 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリアブルフレームレート動画は、SDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。

1 撮影モードを[🎥M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎞] ➡ [記録ファイル方式] ➡ [MOV]

3 [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質を選ぶ

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎞] ➡ [動画画質]

- [バリアブルフレームレート]を使用できる項目には、[VFR可能]と表示されます。
- [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質(➔ 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 412)

4 [バリアブルフレームレート]を設定する

- MENU/SET ➡ [🎥] ➡ [🎞] ➡ [バリアブルフレームレート] ➡ [ON]
- ◀▶で[ON]／[OFF]を切り換えます。

5 フレームレートを設定する

- 、 または ⊛ を回して数値を選び、MENU/SET または ⊛ を押します。

❖ フレームレートの設定可能範囲

[動画画質]の設定によって、設定できるフレームレートが異なります。

動画画質	フレームレート
映像圧縮方式がLong GOPのC4K/4K動画	1 fps～120 fps
5.7K動画／映像圧縮方式がALL-IntraのC4K/4K動画	1 fps～60 fps
映像圧縮方式がLong GOPのFHD動画	1 fps～300 fps
映像圧縮方式がALL-IntraのFHD動画	1 fps～240 fps

❖ バリアブルフレームレート動画撮影時のシャッタースピード

バリアブルフレームレート動画撮影時は、設定したフレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

フレームレート	シャッタースピードの下限
1 fps～2 fps	1/8秒
12 fps	1/13秒
15 fps	1/15秒
20 fps	1/20秒
21 fps～25 fps	1/25秒
26 fps～30 fps	1/30秒
32 fps～37 fps	1/40秒
45 fps～50 fps	1/50秒
52 fps～60 fps	1/60秒
62 fps～75 fps	1/80秒
84 fps～100 fps	1/100秒
105 fps～125 fps	1/125秒
132 fps～156 fps	1/160秒
165 fps～200 fps	1/200秒
204 fps～240 fps	1/250秒
250 fps～300 fps	1/320秒

- [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質に絞り込むことができます。
（➔ 絞り込み: 146）
- [バリアブルフレームレート]で撮影するときは、三脚の使用をお勧めします。

- フォーカスモードはMFに切り換わります。
（フォーカスリングがない交換レンズ装着時、MFでのピント合わせができません）
- 撮影開始前だけ、[AF ON] ボタンを押すと自動でピントを合わせます。
- バリアブルフレームレート撮影中は、音声は記録されません。
- 60 fpsを超えるフレームレートに設定すると、画質が劣化する場合があります。
- [ダイナミックレンジブースト]を[ON]に設定しているときは、60 fpsを超えるフレームレートに設定できません。
- [動画撮影範囲]を[PIXEL/PIXEL]に設定しているときは、120 fpsを超えるフレームレートに設定できません。
- [シンクロスキャン]を[ON]に設定しているときは、240 fpsを超えるフレームレートに設定できません。
- 以下の機能を使用中は、[バリアブルフレームレート]は使用できません。
– [フィルター設定]

ハイフレームレート動画

iA P A S M

高フレームレートのMOV動画をカードに記録できます。対応したソフトウェアでフレームレートを変換することで、スローモーション動画に仕上げることができます。[バリアブルフレームレート]ではできない、AF撮影や音声記録が可能です。

1 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式] ➡ [MOV]

2 ハイフレームレート動画用の動画画質を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画画質]

- 以下の動画画質は[M]モード時に設定できます：
  - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
  - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
- [動画画質]をフレームレートで絞り込むと、条件に合ったフレームレートの動画画質だけを表示できます。(➔ 絞り込み: 146)

❖ ハイフレームレート動画用の動画画質

システム周波数	動画画質	記録フレームレート
59.94Hz(NTSC)	[5.7K/48p/420/10-L] [4.4K/48p/420/10-L] [C4K/48p/422/10-I(H)] [C4K/48p/422/10-I(L)] [C4K/48p/422/10-L] [C4K/48p/420/10-L] [4K/48p/422/10-I(H)] [4K/48p/422/10-I(L)] [4K/48p/422/10-L] [4K/48p/420/10-L] [FHD/48p/422/10-I] [FHD/48p/422/10-L] [FHD/48p/420/10-L]	47.95p
	[C4K/120p/420/10-L] [4K/120p/420/10-L] [FHD/120p/422/10-I] [FHD/120p/422/10-L] [FHD/120p/420/10-L]	119.88p
	[FHD/240p/422/10-I] [FHD/240p/422/10-L] [FHD/240p/420/10-L]	239.76p
50.00Hz(PAL)	[C4K/100p/420/10-L] [4K/100p/420/10-L] [FHD/100p/422/10-I] [FHD/100p/422/10-L] [FHD/100p/420/10-L]	100.00p
	[FHD/200p/422/10-I] [FHD/200p/422/10-L] [FHD/200p/420/10-L]	200.00p

24.00Hz(CINEMA)	[5.7K/48p/420/10-L] [4.4K/48p/420/10-L]	48.00p
	[C4K/120p/420/10-L] [4K/120p/420/10-L] [FHD/120p/422/10-I] [FHD/120p/422/10-L] [FHD/120p/420/10-L]	120.00p

❖ ハイフレームレート動画撮影時のシャッタースピード

ハイフレームレート動画撮影時は、動画の記録フレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

動画の記録フレームレート	シャッタースピードの下限	
	AFS／AFC	**MF**
47.95p	1/30秒	1/8秒*
48.00p	1/25秒	
100.00p	1/100秒	
119.88p／120.00p	1/125秒	
200.00p	1/200秒	
239.76p	1/250秒	

* [M]モード（[P/A/S/M動画の露出自動制御]を[OFF]に設定時）または[🎥M]モード（[動画露出設定]を[M]に設定時）のときに設定可能

- HDMI出力時は、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。(➔ ダウンコンバート設定: 427)
- [ダイナミックレンジブースト]を[ON]に設定しているときは、記録フレームレートが60.00pを超える[動画画質]は設定できません。

ハイフレームレート動画撮影時のAFについてのお知らせ

- 記録フレームレートが200.00p以上の[動画画質]に設定したときは、AFができるレンズが制限されます。
  対応レンズについては、「動作確認情報」の「動画撮影中のオートフォーカス」の項目をご覧ください。
  https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html
- 記録フレームレートが200.00p以上の[動画画質]に設定したときは、AFの動作は以下のようになります。
  – AFモードは[■]に固定されます。シャッターボタンを半押しする、または[AF ON]ボタンを押すと、[■]のAFエリアでピントを合わせます。
  – 自動認識は使用できません。
  – [AF連続動作]は使用できません。
  – [クイックAF]は使用できません。
  – [アイセンサーAF]は使用できません。

フォーカストランジション

iA P A S M

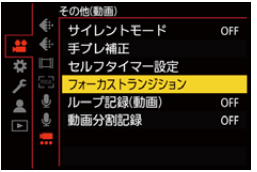
フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

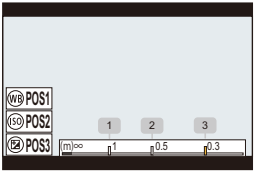
2 [フォーカストランジション]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [フォーカストランジション]
- [フォーカス位置を設定してください]のメッセージが表示されたら、MENU/SET または を押してください。



3 フォーカス位置の設定をする

- MF（➔MFで撮る: 191）と同じ操作でピントを確認し、[WB]、[ISO]、[ ]を押してフォーカス位置を設定してください。
- [POS1]～[POS3]をタッチしても設定できます。



4 フォーカス位置を登録する

- MENU/SET または を押してフォーカス位置を登録します。

5 撮影を開始する

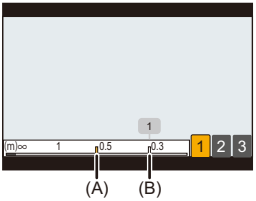
- 動画記録ボタンを押します。

- 撮影前に[DISP.]ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。（➔ 設定項目（フォーカストランジション）: 394）
- [フォーカストランジションレック]を設定したときは、撮影開始と同時に、フォーカストランジションを開始します。

6 フォーカストランジションを開始する

- ◀▶で[1]、[2]または[3]を選び、MENU/SET または を押します。

- [フォーカストランジションウエイト]を設定したときは、設定した時間が経過したあと、フォーカストランジションを開始します。



(A) 現在のフォーカス位置
(B) 登録したフォーカス位置

7 フォーカストランジションを終了する

- [Q]ボタンを押します。

8 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。

❖ 設定項目(フォーカストランジション)

フォーカス位置設定
フォーカス位置を登録します。

フォーカストランジション速度
フォーカス位置を移動する速さを設定します。
- 移動速度:[SH] (速い)～[SL] (遅い)

フォーカストランジションレック
撮影開始と同時にフォーカストランジションを開始します。
- [フォーカス位置設定]で登録した位置を選んでください。

フォーカストランジションウエイト
フォーカストランジションを開始するまでの時間を設定します。

- [↩]ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。

- フォーカス位置の設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。
- フォーカス位置が移動する速さは、使用するレンズによって異なります。
- レンズの最短撮影距離付近、または無限遠付近では、フォーカス位置が移動する速さが低下します。
- [フォーカストランジション]使用中は、登録したフォーカス位置以外にピントを合わせられません。
- 以下の操作をすると、フォーカス位置の登録が解除されます。
  - 電源スイッチの操作
  - ズーム操作
  - フォーカスモードの切り換え
  - 撮影モードの切り換え
  - レンズの交換
- 以下の機能を使用中は、[フォーカストランジション]は使用できません。
  - [バリアブルフレームレート]
- フォーカスモードの[AFC]に対応していない交換レンズを装着しているときは、[フォーカストランジション]は使用できません。

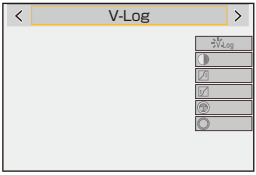
Log撮影する

● V-Logビューアシスト: 398

iA P A S M

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [フォトスタイル] ➡ [V-Log]を選ぶ



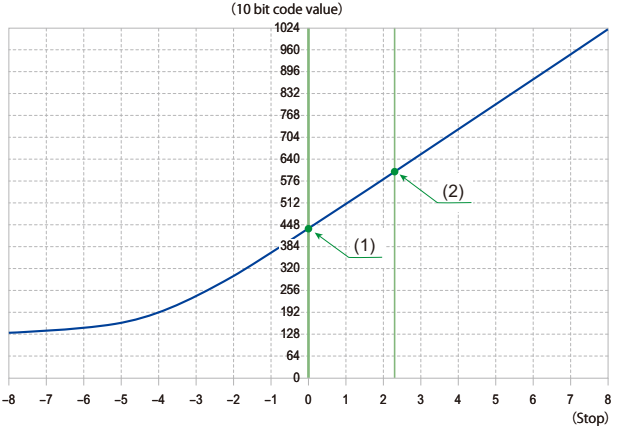
- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。
  LUTデータは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
  https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html

❖ [V-Log]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は250([拡張ISO感度]設定時:125、[ダイナミックレンジブースト]設定時:2000)までになります。

❖ [V-Log]設定時の露出

[V-Log]のカーブ特性は、「V-Log/V-Gamut REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠しています。[V-Log]に設定した場合は、反射率18 %のグレーを撮像したときの標準露出が、IREで42 %になります。



		[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時			
	反射率(%)	IRE(%)	Stop	10 bit code value	12 bit code value
	0	7.3	—	128	512
(1)	18	42	0.0	433	1732
(2)	90	61	2.3	602	2408

• Stopの単位で輝度を表示する場合、本機はIRE 42 %を0 Stopに換算します。

- [ダイナミックレンジブースト]を[ON]に設定したときのラチチュードは13+ Stop、[OFF]に設定したときのラチチュードは12+ Stopになります。

- Stopの単位で輝度を確認できます：
（➔ スポット輝度メーター: 375、ゼブラパターン表示: 376）

V-Logビューアシスト

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、撮影画面やHDMI出力された映像は暗く表示されます。[V-Logビューアシスト]を使用すると、LUTデータを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [V-Logビューアシスト]を選ぶ

LUTファイル読み込み
LUTデータをカードから読み込みます。

LUT選択
プリセット（[Vlog_709]）または登録したLUTデータから適用するLUTデータを選びます。

LUTビューアシスト（モニター）
LUTデータを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。

LUTビューアシスト（HDMI）
LUTデータを適用した映像をHDMI出力します。

- LUTデータを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- LUTデータは、4ファイルまで登録できます。

❖ LUTファイル読み込み

- 使用できるLUTデータ：
  – 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
  – 「.cube」形式
- 「.cube」形式のLUTファイルは、17ポイント、33ポイントの3D LUTに対応しています。
- ファイル名に使用できる文字数は、カードのファイルシステムによって異なります。（ファイル名は半角英数字をお使いください）
  FAT32（SDカード／SDHCカード）：8文字まで（拡張子を除く）
  exFAT（CFexpressカード／SDXCカード）：255文字まで（拡張子を含む）
- LUTデータは、カードのルートディレクトリー（パソコンでカードを開いたときのフォルダー）に、拡張子を「.vlt」または「.cube」にして保存してください。

1 LUTデータを保存したカードをカメラに入れる

2 [LUTファイル読み込み]を選ぶ
- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [V-Logビューアシスト] ➡ [LUTファイル読み込み] ➡ [スロット1(CFexpress)]／[スロット2(SD)]

3 ▲▼で読み込むLUTデータを選び、MENU/SET または ◎ を押す

4 ▲▼で登録先を選び、MENU/SET または ◎ を押す
- 登録済みの項目を選択すると、上書きします。

HLG動画

● HLGビューアシスト: 402

HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。
撮影した動画は、HLG方式に対応した機器（テレビなど）にHDMI出力したり、対応した機器で直接再生したりすることで観賞できます。

- 「HLG（ハイブリッドログガンマ）」とは、HDRに関する国際標準規格（ITU-R BT.2100）の方式です。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。（➔ 撮影モードの選択: 82）

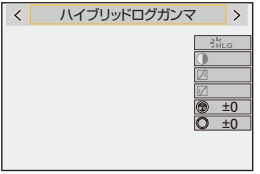
2 HLG動画を撮影できる動画画質を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画画質]

- HLG動画を撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- HLG動画を撮影できる動画画質（➔ 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 412）

3 [フォトスタイル]を[ハイブリッドログガンマ]に設定する

- MENU/ASP ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [フォトスタイル] ➡ [ハイブリッドログガンマ]



- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式の表示に対応していません。カスタムメニュー（モニター/表示（動画））の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認用に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。（➔ HLGビューアシスト：402）

- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。カスタムメニュー（モニター/表示（動画））の[HLGビューアシスト]の[HDMI]で、確認用に表示する映像の変換方法を設定できます。（➔ HLGビューアシスト：402）

❖ [ハイブリッドログガンマ]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は250（[ダイナミックレンジブースト]設定時：2000）までになります。

HLGビューアシスト

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [HLGビューアシスト] ➡ [モニター]／[HDMI]を選ぶ

AUTO*

HDR（HLG方式）非対応の機器に接続したときだけ、[MODE2]の設定でHDMI出力する映像を変換します。

MODE1

空などの明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に[MODE1]が表示されます。

MODE2

主要な被写体の明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に[MODE2]が表示されます。

OFF

色域と明るさを変換せずに表示します。

- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。

* [HDMI]選択中にだけ設定できます。

アナモフィック撮影

● アナモフィック デスクイーズ表示: 405

iA P A S M

本機は、横縦比4:3のアナモフィック撮影に対応した、5.8K／4.4K解像度の動画（アナモフィック（4:3）動画）を記録できます。多様な映像フォーマット（動画画質）から、アナモフィック撮影に応じた動画画質を選択できます。アナモフィック撮影時に、デスクイーズした映像の表示や、デスクイーズ編集後にクロップする画角の表示ができます。アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることもできます。

• アナモフィック撮影に適した手ブレ補正について（➔ アナモフィック（動画）: 249）

1 [記録ファイル方式]を設定する

● MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式]

• アナモフィック（4:3）動画を撮影する場合は、[MOV]に設定してください。

2 アナモフィック撮影に応じた動画画質を選ぶ

● MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画画質]

• 以下の動画画質は[M]モード時に設定できます：
  – 解像度がC4Kを超える[動画画質]
  – 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
• [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、[動画画質]を画素数で絞り込むと、条件に合った解像度と横縦比の動画画質だけを表示できます。
（➔ 絞り込み: 146）

- アナモフィック(4:3)動画は、[動画画質]の設定画面に[ANAMOR]と表示されます。

- 横縦比4:3でアナモフィック撮影用の動画画質(➔ 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 412)

- 本機は、アナモフィック撮影で記録した動画のデスクイーズ編集に対応していません。対応したソフトウェアをお使いください。

アナモフィック デスクイーズ表示

iA P A S M

アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。[フレーム表示]を使って、デスクイーズ編集後にクロップする画角の枠を重ねて表示することもできます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [アナモフィック デスクイーズ表示]を設定する

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [アナモフィック デスクイーズ表示]

[2.0×](2.0×)
[1.8×](1.8×)
[1.5×](1.5×)
[1.33×](1.33×)
[1.30×](1.30×)
[OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。

3 [フレーム表示]を設定する

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [フレーム表示]（➔ フレーム表示：378）

• HDMI出力する映像はデスクイーズされません。

シンクロスキャン

iA P A S M

シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しまを軽減します。
シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 撮影モードを[M]にする

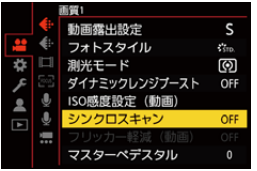
- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 露出モードを[S]または[M]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画露出設定] ➡ [S]／[M]

3 [シンクロスキャン]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [シンクロスキャン] ➡ [ON]



4 シャッタースピードを設定する

- 、 または を回して数値を選び、 または を押します。

- [DISP.] ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。

- [シンクロスキャン] 設定時、設定できるシャッタースピードの範囲が狭くなります。

ループ記録(動画)

iA P A S M

動画を短い時間で分割しながら、カード容量いっぱいになるまで記録します。カード容量がいっぱいになったら、古いデータを消去しながら記録を続けます。カード容量を超えるような長時間の撮影時に便利です。

- 記録と削除を同時に行うため、撮影する動画画質のビットレートの2倍に相当する書き込み速度のカードが必要です。カード側の書き込み速度が足りない場合、記録が停止されることがあります。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

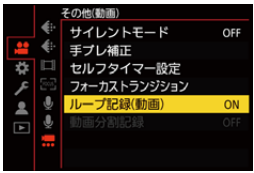
2 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式] ➡ [MOV]

3 [ループ記録(動画)]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ループ記録(動画)] ➡ [ON]

- 撮影画面に[ ]が表示されます。
- カードの容量いっぱいまで記録するとループ記録を開始し、動画記録時間が非表示になります。



- 撮影中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録を開始できません。
- 記録時間が12時間を超えた場合は、記録開始時点から順にデータを消去しながら記録を続けます。
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、フォルダー数とファイル数が上限に達すると記録を停止します。長時間ループ記録を行う場合は、[動画ファイル名]を[写真と同じ（DCF準拠）]に設定しておくことをお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、[ループ記録（動画）]は使用できません。
  – ビットレートが400 Mbps以上の[動画画質]
  – [バリアブルフレームレート]

動画分割記録

iA P A S M

予期しない電源供給の停止による動画の消失を避けるため、撮影した動画を設定した時間ごとに分割しながら記録します。

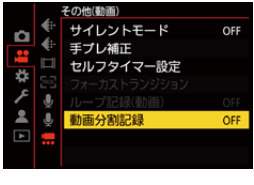
- 分割した動画は1つのグループ画像として保存されます。(➔ グループ画像: 451)

1 [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [記録ファイル方式] ➡ [MOV]／[Apple ProRes]

2 [動画分割記録]を設定する

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [動画分割記録] ➡ [10分]／[5分]／[3分]／[1分]



- 以下の機能を使用中は、[動画分割記録]は使用できません。
  – [ループ記録(動画)]

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

VFR :[バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質

HFR :ハイフレームレート動画用の動画画質

HLG :HLG動画を撮影できる動画画質

ANAMOR 4:3 :横縦比4:3でアナモフィック撮影用の動画画質

❖ 記録ファイル方式:[MP4]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
4K/10bit/100M/60p			✓	
4K/10bit/72M/30p			✓	
4K/8bit/100M/30p				
4K/10bit/72M/24p			✓	
4K/8bit/100M/24p				
FHD/8bit/28M/60p				
FHD/8bit/20M/30p				
FHD/8bit/24M/24p				

システム周波数:50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
4K/10bit/100M/50p			✓	
4K/10bit/72M/25p			✓	
4K/8bit/100M/25p				
FHD/8bit/28M/50p				
FHD/8bit/20M/25p				

❖ 記録ファイル方式：[MOV]

システム周波数：59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.8K/30p/420/10-L			✓	✓
5.8K/24p/420/10-L			✓	✓
5.7K/60p/420/10-L			✓	
5.7K/48p/420/10-L		✓	✓	
5.7K/30p/420/10-L	✓		✓	
5.7K/24p/420/10-L	✓		✓	
4.4K/60p/420/10-L			✓	✓
4.4K/48p/420/10-L		✓	✓	✓
C4K/120p/420/10-L		✓	✓	
C4K/60p/422/10-I(H)			✓	
C4K/60p/422/10-I(L)			✓	
C4K/60p/422/10-L			✓	
C4K/60p/420/10-L	✓		✓	
C4K/48p/422/10-I(H)		✓	✓	
C4K/48p/422/10-I(L)		✓	✓	
C4K/48p/422/10-L		✓	✓	
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	
C4K/30p/422/10-I	✓		✓	
C4K/30p/422/10-L			✓	
C4K/30p/420/10-L	✓		✓	
C4K/24p/422/10-I	✓		✓	
C4K/24p/422/10-L			✓	
C4K/24p/420/10-L	✓		✓	
4K/120p/420/10-L		✓	✓	
4K/60p/422/10-I(H)			✓	
4K/60p/422/10-I(L)			✓	

4K/60p/422/10-L			✓	
4K/60p/420/10-L	✓		✓	
4K/48p/422/10-I(H)		✓	✓	
4K/48p/422/10-I(L)		✓	✓	
4K/48p/422/10-L		✓	✓	
4K/48p/420/10-L		✓	✓	
4K/30p/422/10-I	✓		✓	
4K/30p/422/10-L			✓	
4K/30p/420/10-L	✓		✓	
4K/24p/422/10-I	✓		✓	
4K/24p/422/10-L			✓	
4K/24p/420/10-L	✓		✓	
FHD/240p/422/10-I		✓	✓	
FHD/240p/422/10-L		✓	✓	
FHD/240p/420/10-L		✓	✓	
FHD/120p/422/10-I		✓	✓	
FHD/120p/422/10-L		✓	✓	
FHD/120p/420/10-L		✓	✓	
FHD/60p/422/10-I	✓		✓	
FHD/60p/422/10-L			✓	
FHD/60p/420/10-L	✓		✓	
FHD/60i/422/10-I			✓	
FHD/60i/422/10-L			✓	
FHD/48p/422/10-I		✓	✓	
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	
FHD/48p/420/10-L		✓	✓	
FHD/30p/422/10-I	✓		✓	
FHD/30p/422/10-L			✓	
FHD/30p/420/10-L	✓		✓	
FHD/24p/422/10-I	✓		✓	

FHD/24p/422/10-L			✓	
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	

システム周波数：50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.8K/25p/420/10-L			✓	✓
5.7K/50p/420/10-L			✓	
5.7K/25p/420/10-L	✓		✓	
4.4K/50p/420/10-L			✓	✓
C4K/100p/420/10-L		✓	✓	
C4K/50p/422/10-I(H)			✓	
C4K/50p/422/10-I(L)			✓	
C4K/50p/422/10-L			✓	
C4K/50p/420/10-L	✓		✓	
C4K/25p/422/10-I	✓		✓	
C4K/25p/422/10-L			✓	
C4K/25p/420/10-L	✓		✓	
4K/100p/420/10-L		✓	✓	
4K/50p/422/10-I(H)			✓	
4K/50p/422/10-I(L)			✓	
4K/50p/422/10-L			✓	
4K/50p/420/10-L	✓		✓	
4K/25p/422/10-I	✓		✓	
4K/25p/422/10-L			✓	
4K/25p/420/10-L	✓		✓	
FHD/200p/422/10-I		✓	✓	
FHD/200p/422/10-L		✓	✓	
FHD/200p/420/10-L		✓	✓	
FHD/100p/422/10-I		✓	✓	
FHD/100p/422/10-L		✓	✓	
FHD/100p/420/10-L		✓	✓	
FHD/50p/422/10-I	✓		✓	
FHD/50p/422/10-L			✓	

FHD/50p/420/10-L	✓		✓	
FHD/50i/422/10-I			✓	
FHD/50i/422/10-L			✓	
FHD/25p/422/10-I	✓		✓	
FHD/25p/422/10-L			✓	
FHD/25p/420/10-L	✓		✓	

システム周波数：24.00Hz(CINEMA)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.8K/24p/420/10-L			✓	✓
5.7K/48p/420/10-L		✓	✓	
5.7K/24p/420/10-L	✓		✓	
4.4K/48p/420/10-L		✓	✓	✓
C4K/120p/420/10-L		✓	✓	
C4K/24p/422/10-I	✓		✓	
C4K/24p/422/10-L			✓	
C4K/24p/420/10-L	✓		✓	
4K/120p/420/10-L		✓	✓	
4K/24p/422/10-I	✓		✓	
4K/24p/422/10-L			✓	
4K/24p/420/10-L	✓		✓	
FHD/120p/422/10-I		✓	✓	
FHD/120p/422/10-L		✓	✓	
FHD/120p/420/10-L		✓	✓	
FHD/24p/422/10-I	✓		✓	
FHD/24p/422/10-L			✓	
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	

❖ 記録ファイル方式：[Apple ProRes]

システム周波数：59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.7K/30p/422 HQ			✓	
5.7K/30p/422			✓	
5.7K/24p/422 HQ			✓	
5.7K/24p/422			✓	

システム周波数：50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.7K/25p/422 HQ			✓	
5.7K/25p/422			✓	

システム周波数：24.00Hz(CINEMA)

動画画質	VFR	HFR	HLG	ANAMOR 4:3
5.7K/24p/422 HQ			✓	
5.7K/24p/422			✓	

HDMI出力(動画)

HDMIケーブルで接続した外部モニターや外部レコーダーに、カメラの映像を出力しながら撮影できます。

- HDMI出力制御は撮影時と再生時で異なります。再生時のHDMI出力の設定について(➔HDMI接続設定:553)

- HDMI機器と接続する:421
- HDMI出力の画質:425
- HDMI出力の設定:432

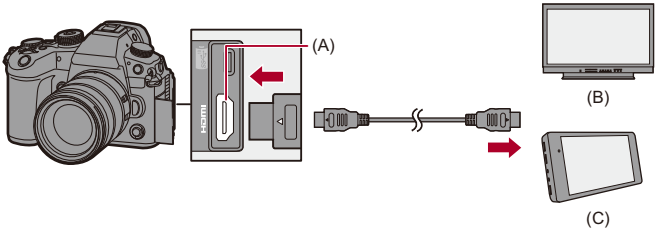
HDMI機器と接続する

● ケーブルホルダーを取り付ける: 422

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

準備:
- カメラと外部モニター/外部レコーダーの電源を切る

市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターや外部レコーダーをつなぐ



(A) HDMI端子(Type A)
(B) 外部モニター
(C) 外部レコーダー

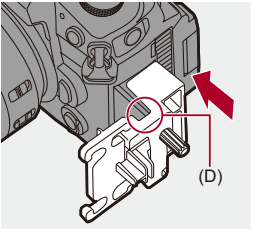
- ウルトラハイスピードHDMI ケーブル(Type A—Type A プラグ、1.5 mまで)をお使いください。

ケーブルホルダーを取り付ける

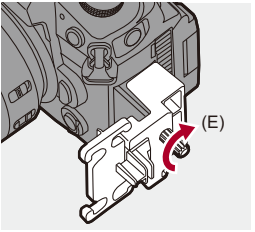
付属のケーブルホルダーを使用すると、ケーブルの脱落や端子の破損を防ぐことができます。

- カメラを安定したところに置いて作業してください。

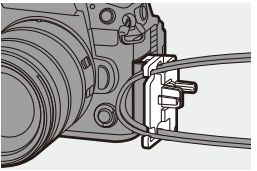
1 端子部の扉を開き、(D)の部分に扉を差し込む



2 ケーブルホルダーをカメラの取り付け部に合わせて仮固定し、矢印の方向にねじを回して取り付ける(E)

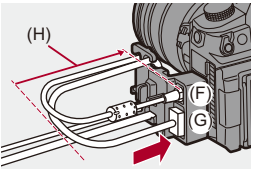


3 USB接続ケーブルとHDMIケーブルをケーブルホルダーのクランプ部に取り付ける



4 USB接続ケーブルをUSB端子(F)に接続する

5 HDMIケーブルをHDMI端子(G)に接続する



(H) 10 cm以上たるませる

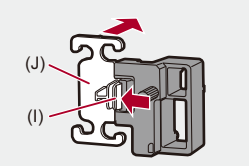
取り外すとき

取り付けるときと逆の順番で外してください。

❖ クランプ部を取り外す

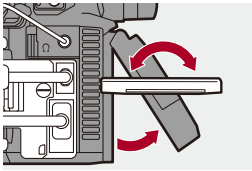
ケーブルホルダーのクランプ部は取り外すことができます。

(I)を押しながらケーブルホルダーのクランプ部(J)をスライドさせて取り外す



❖ モニターの角度を調整する

モニターをチルトした状態(➔ チルト: 75)で回転すると、接続したケーブルに干渉することなく、モニターの角度を調整できます。



- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
- HDMIケーブルの太さは直径6.5 mm以下のものを推奨します。
- HDMIケーブルの形状によっては、取り付けることができない場合があります。

HDMI出力の画質

● HDMI出力する映像: 425
● ダウンコンバート設定: 427

iA P A S M

HDMI出力する映像

撮影時にHDMI出力する映像は、撮影モードによって異なります。

❖ [M]モード

横縦比、解像度、およびフレームレートは、動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。解像度とフレームレートは、用途に合わせてダウンコンバートして出力できます。
YUVおよびビット数は、下記のようにYUVを4:2:2にして出力します。
接続する機器が出力方式に対応していない場合は、接続する機器に合わせて出力します。

カード記録	HDMI出力
4:2:2 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 8 bit	4:2:2 8 bit

解像度、フレームレート

- 以下のメニューの組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。
  – 動画メニュー(記録)の[動画画質]
  – カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]の[ダウンコンバート]
- 解像度4Kを超える動画は、C4K／4K解像度で出力します。

- ハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- 詳しくは(➔HDMI出力時の画質: 428)

- 16:9と17:9以外の[動画画質]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。

❖ [iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モード

動画撮影中は、[🎥M]モードと同様に出力します。
撮影待機中は、横縦比は16:9で出力します。解像度、フレームレート、YUVおよびビット数は接続する機器に合わせて出力します。

- 16:9以外の[画像横縦比]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。

❖ HDMI出力についてのお知らせ

- 出力方法が切り換わるとき、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影中、HDMI出力画像が遅れて表示されることがあります。
- HDMI出力中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音声を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- 一部の設定画面はHDMI出力されません。
- **高温表示について(➔高温表示について: 130)**

ダウンコンバート設定

[🎥M]モード時、HDMI出力する解像度のダウンコンバート設定をします。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📶] ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [ダウンコンバート] を選ぶ

AUTO

接続する機器に合わせてダウンコンバートして出力します。

C4K/4K

解像度をC4K/4Kにダウンコンバートして出力します。

1080p

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、プログレッシブ方式で出力します。

1080i

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、インターレース方式で出力します。

OFF

[動画画質]の解像度、記録フレームレートで出力します。

- [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。
- 解像度4K以上のハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- ダウンコンバートしている場合、通常よりAFでのピント合わせに時間がかかったり、連続したピント合わせの追従性が低下したりすることがあります。

❖ HDMI出力時の画質

[動画画質]と[ダウンコンバート]設定の組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。

- [ダウンコンバート]を[AUTO]に設定しているときは、接続する機器に合わせて出力します。[AUTO]設定時に出力される最大解像度とフレームレートは、[OFF]を選択しているときと同じになります。
- 以下の表で[—]となっている組み合わせを設定しているときは、HDMI出力しません。

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.8K/29.97p 4K/29.97p	**5.8K/23.98p 4.4K/47.95p 4K/47.95p 4K/23.98p**	**4.4K/59.94p 4K/59.94p**	**5.7K/59.94p C4K/59.94p**
C4K/4K	4K/29.97p	4K/23.98p	4K/59.94p*2	C4K/59.94p*2, 4
1080p	1080/29.97p*1	1080/23.98p	1080/59.94p*2	1080/59.94p*2
1080i	1080/59.94i	—	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	4K/29.97p	4K/23.98p	4K/59.94p	C4K/59.94p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.7K/47.95p 5.7K/23.98p C4K/47.95p C4K/23.98p	**5.7K/29.97p C4K/29.97p**	**C4K/119.88p**	**4K/119.88p**
C4K/4K	C4K/23.98p*4	C4K/29.97p*4		
1080p	1080/23.98p	1080/29.97p*1	1080/59.94p*2	1080/59.94p*2
1080i	—	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	C4K/23.98p	C4K/29.97p	1080/59.94p	1080/59.94p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/239.76p 1080/119.88p	**1080/59.94p**	**1080/59.94i**
C4K/4K	—	—	—
1080p	1080/119.88p*3	1080/59.94p*2	—
1080i	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	1080/119.88p	1080/59.94p	1080/59.94i

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
	1080/47.95p 1080/23.98p	**1080/29.97p**
C4K/4K	—	—
1080p	1080/23.98p	1080/29.97p*1
1080i	—	1080/59.94i
OFF	1080/23.98p	1080/29.97p

*1 接続先が29.97pに対応していない場合は、59.94pで出力します。
*2 接続先が59.94pに対応していない場合は、29.97pで出力します。
*3 接続先が119.88pに対応していない場合は、59.94pまたは29.97pで出力します。
*4 接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.8K/25.00p 4K/25.00p	**4.4K/50.00p 4K/50.00p**	**5.7K/50.00p C4K/50.00p**	**5.7K/25.00p C4K/25.00p**
C4K/4K	4K/25.00p	4K/50.00p*2	C4K/50.00p*2, 4	C4K/25.00p*4
1080p	1080/25.00p*1	1080/50.00p*2	1080/50.00p*2	1080/25.00p*1
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	4K/25.00p	4K/50.00p	C4K/50.00p	C4K/25.00p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	C4K/100.00p	**4K/100.00p**	**1080/200.00p 1080/100.00p**
C4K/4K			—
1080p	1080/50.00p*2	1080/50.00p*2	1080/100.00p*3
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/50.00p	1080/50.00p	1080/100.00p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/50.00p	**1080/50.00i**	**1080/25.00p**
C4K/4K	—	—	—
1080p	1080/50.00p*2	—	1080/25.00p*1
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/50.00p	1080/50.00i	1080/25.00p

*1　接続先が25.00pに対応していない場合は、50.00p で出力します。
*2　接続先が50.00pに対応していない場合は、25.00p で出力します。
*3　接続先が100.00pに対応していない場合は、50.00pまたは25.00pで出力します。
*4　接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

システム周波数：[24.00Hz(CINEMA)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	5.8K/24.00p 4.4K/48.00p	**5.7K/48.00p 5.7K/24.00p C4K/24.00p**	**C4K/120.00p**
C4K/4K	4K/24.00p	C4K/24.00p*1	
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	4K/24.00p	C4K/24.00p	1080/24.00p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
	4K/120.00p	**4K/24.00p**
C4K/4K		4K/24.00p
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	1080/24.00p	4K/24.00p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
	1080/120.00p	**1080/24.00p**
C4K/4K	—	—
1080p	1080/120.00p*2	1080/24.00p
OFF	1080/120.00p	1080/24.00p

*1　接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

*2　接続先が120.00pに対応していない場合は、24.00pで出力します。

HDMI出力の設定

- カメラの情報表示をHDMI出力する: 432
- 外部レコーダーに制御情報を出力する: 433
- 音声をHDMI 出力する: 434
- HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 434

iA P A S M

カメラの情報表示をHDMI出力する

HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力します。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📶] ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [情報表示]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [情報表示]を[ON]に設定してHDMI接続中は、以下の制限がかかります。
  - カメラの撮影画面には情報が表示されません。
  - [タッチタブ]は使用できません。
- [情報表示]を[ON]に設定してHDMI接続中に、スマートフォンとのWi-Fi接続やテザー撮影を行うと、以下の制限がかかります。
  - カメラの撮影画面には情報が表示されません。
  - 外部機器に出力されている撮影画面には情報の一部が表示されません。
  - [録音レベル表示] / [タッチタブ] / [ヒストグラム表示] / [スポット輝度メーター] / [WFM/ ベクトルスコープ表示]は使用できません。

外部レコーダーに制御情報を出力する

HDMI 接続した外部レコーダーに、記録開始、停止の制御情報を出力します。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📶] ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [HDMI記録制御] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [🎥M] モードで、[HDMIタイムコード出力] が [ON] の場合に設定できます。(➔ HDMIタイムコード出力: 358)
- 動画が記録できない状態(本機にカードが入っていない場合など)でも、動画記録ボタンやシャッターボタンを押すことで、制御情報を出力できます。
- 対応した外部機器だけ制御できます。

音声をHDMI 出力する

HDMI 接続した外部機器に、音声を出力します。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📶] ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [HDMI音声出力]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示

[MFアシスト]または[動画ライブビュー拡大表示]の拡大画面を、HDMI接続した外部機器に出力します。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📶] ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [ライブビュー拡大表示]を選ぶ

MODE1

動画撮影待機中だけライブビュー拡大表示を出力します。

- [ダウンコンバート]で設定した解像度、フレームレートで出力します。

MODE2

動画撮影待機中と動画撮影中にライブビュー拡大表示を出力します。

- HDMI出力される動画の解像度、フレームレートはFHD/60p以下になります。
- [ダウンコンバート]を[C4K/4K]または[OFF]に設定しているときは、[MODE2]は使用できません。

OFF

ライブビュー拡大表示を出力しません。

- 本機のモニター/ファインダーで拡大表示をしているときは、カメラの情報表示はHDMI出力されません。

画像の再生／編集

本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。

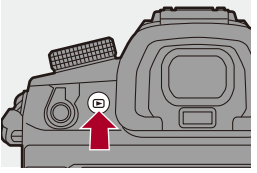
- 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

- 写真の再生: 436
- 動画の再生: 438
- 表示方法の切り換え: 446
- グループ画像: 451
- 画像の消去: 453
- RAW現像: 455
- 再生メニュー: 461

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶]ボタンを押します。



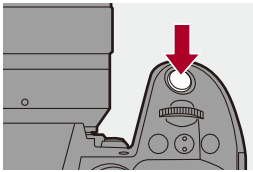
2 写真を選ぶ

- ◀▶で写真を選びます。
- ◀▶を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ⚡ または ⊛ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。

(A) カードスロット

3 再生を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [▶]ボタンを押しても再生を終了できます。



❖ 表示するカードの切り換え

再生時に[ ]ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。

- [スロット切換]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)

1 [ ]ボタンを押す

2 ▲▼で[スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選び、MENU/SET または を押す

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)によって制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。Exifとは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。

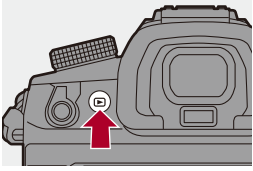
- 撮影画面／再生画面の切り換えをFnボタンに登録できます:
(➔ 撮影/再生切換: 481、撮影/再生切換: 483)

動画の再生

- 動画のリピート再生: 441
- 写真の切り出し: 443
- 動画分割: 444

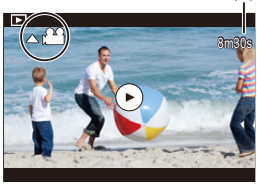
1 再生画面を表示する

- [▶]ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

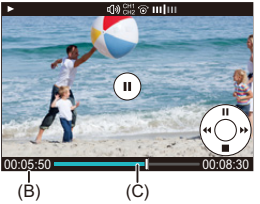
- 画像の選び方について（➔ 写真の再生: 436）
- 動画には動画アイコン[🎥]が表示されます。
- 画面に動画の記録時間が表示されます。
  例）8分30秒のとき：8m30s
- hは「hour（時間）」、mは「minute（分）」、sは「second（秒）」を省略した表示です。



(A) 動画の記録時間

3 動画を再生する

- ▲を押します。
- 画面中央の[▶]をタッチしても再生できます。



(B) 再生経過時間

(C) 再生バー

4 再生を終了する

- ▼を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶／⏸	再生／一時停止
▼	—	停止
◀	—	早戻し再生 • もう一度◀を押すと、早戻し速度が速くなります。
		コマ戻し（一時停止中）
▶	—	早送り再生 • もう一度▶を押すと、早送り速度が速くなります。
		コマ送り（一時停止中）
—		表示するコマの選択
MENU/SET／	保存	写真の切り出し（一時停止中）（➔ 写真の切り出し: 443）
	—	音量を下げる
		音量を上げる

- 本機で再生できる動画のファイル形式はMP4、MOVおよびApple ProResです。
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]にして撮影したPRIVATEフォルダー内の動画も再生されます。
- 現在の設定と異なる[システム周波数]で記録した動画は再生できません。
- カード側の読み出し速度が遅いと、再生が一時停止したり、滑らかに再生できなかったりする場合があります。

- 動画の再生終了後の動作を設定できます：
（➔ 動画再生後の動作: 465）
- 撮影画面／再生画面の切り換えをFnボタンに登録できます：
（➔ 撮影/再生切換: 481、撮影/再生切換: 483）

動画のリピート再生

動画の一部の区間を繰り返し再生できます。

1 リピート区間設定画面を表示する

- 一時停止中に[Q]ボタンを押します。
- 一時停止中に[リピート再生]をタッチしても、リピート区間設定画面が表示されます。

2 リピート区間開始位置を設定する

- ◀▶で開始位置を選び、MENU/SET または を押します。
- 、 または を回しても選択できます。
- 再生バーをタッチしても開始位置を選択できます。

3 リピート区間終了位置を設定する

- **2**と同じ手順で設定します。

- 開始位置と終了位置が近すぎる場合は設定できません。

4 再生を開始する

- リピート再生中の操作は「動画再生中の操作」と同じです。(➔ 動画再生中の操作：440)
- ▼を押して再生を停止するか、一時停止中に[Q]ボタンを押すと、リピート再生を終了します。

- 記録時間が短い場合はリピート再生できません。
- リピート区間の設定位置は、動画の一時停止位置からずれが生じることがあります。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶（コマ戻し、コマ送り）をお使いください。

2 写真を保存する

- MENU または を押します。
- [保存]をタッチしても写真を保存できます。

- 動画から作成された写真は、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは[動画画質]の解像度に応じたサイズで保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に[ ]が表示されます。
- [記録ファイル方式]が[Apple ProRes]で撮影された動画から写真を保存することはできません。

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。

- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [▶] ➡ [✂] ➡ [動画分割]

2 画像を選び、再生する

- ◀▶ で画像を選び、MENU/SET または ◎ を押します。

3 分割する位置で再生を一時停止する

- ▲を押します。

- 細かい位置調整には、◀▶（コマ戻し、コマ送り）をお使いください。

4 動画を分割する

- MENU/SET または を押します。
- [分割]をタッチしても動画を分割できます。

- [記録ファイル方式]が[Apple ProRes]で撮影された動画は分割できません。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。
- [動画分割記録]を使用して撮影した画像には、[動画分割]は使用できません。

表示方法の切り換え

- 拡大表示: 446
- サムネイル表示: 448
- カレンダー表示: 450

撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示（マルチ再生）に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示

再生画像を拡大表示（再生ズーム）できます。

再生画面を拡大する

- を右側に回します。
- 2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍の順で拡大表示します。

- を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- FHD動画や、FHD動画から切り出した写真は16倍で拡大表示できません。

❖ 拡大表示中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
／	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る

- AFでピントの合った位置を表示できます。その位置から拡大表示できます：
（➔ AF位置から拡大：464）

サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

- を左側に回します。
- 12画面⇨30画面の順に表示が切り換わります。

- 30画面表示中に を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。
  （➔ カレンダー表示：450）
- を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。
  [ ]：1画面
  [ ]：12画面
  [ ]：30画面
  [CAL]：カレンダー（➔ カレンダー表示：450）

(A) カードスロット

2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶で画像を選び、MENU/SET または を押します。

- サムネイル表示中に[ ]ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。
- サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。

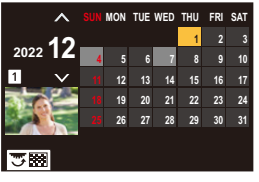
- [ ]と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

- を左側に回します。
- サムネイル表示（12画面）⇨サムネイル表示（30画面）⇨カレンダー表示の順に表示が切り換わります。

- を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶で日付を選び、MENU/SET または を押します。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶で画像を選び、MENU/SET または を押します。

- を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。

- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）
また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像

SH連写で撮影したグループ画像

フォーカスブラケット撮影したグループ画像

インターバル撮影したグループ画像

コマ撮り撮影したグループ画像

[動画分割記録]で撮影したグループ画像

❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

1 再生状態でグループ画像を選ぶ（➔ 写真の再生：436）

2 ▼を押してグループ内の画像を表示する

- グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。

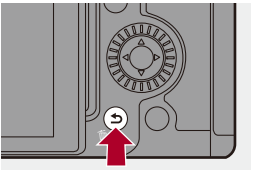
3 ◀▶で画像を選ぶ

- 通常の再生画面に戻るには、もう一度▼を押す、または[▼▶]をタッチしてください。

画像の消去

- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 選択しているカードスロットの画像だけ消去できます。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

1 再生状態で[🗑]を押す



2 ▲▼で消去方法を選び、MENU/SET または を押す

1枚消去

選択中の画像を消去します。

複数消去

複数枚の画像を選んで消去します。

1 ▲▼◀▶で消去する画像を選び、MENU/SET または を押す
- 選択した画像に[ ]が表示されます。
- もう一度 MENU/SET または を押すと、選択が解除されます。
- 画像は100枚まで選択できます。

2 [DISP.]ボタンを押して選択した画像を消去する

- 画像を消去するカードを切り換えるには、[ ]ボタンを押してカードスロットを選択してください。

- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

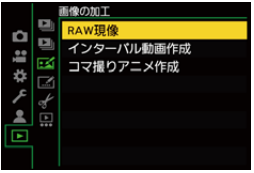
- 消去時の確認画面で、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
（➔ 消去確認画面：471）
- カード内のすべての画像を消去できます。
（➔ 全画像消去：471）

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。

1 [RAW現像]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [▶] ➡ [ ] ➡ [RAW現像]



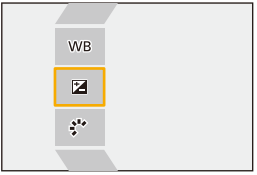
2 RAW画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、MENU/SET または を押します。

- グループ画像を選んだ場合は、▼を押してから、グループ内の画像を選択してください。
  もう一度▼を押すと、通常の選択画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。

3 設定項目を選ぶ

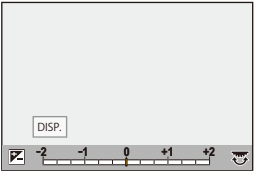
- ▲▼で項目を選び、MENU/SET または を押します。



4 設定を変更する

- 、 または を回します。

• 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

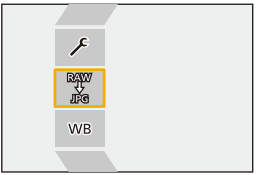


5 設定内容を決定する

- MENU/SET または を押します。
- 手順 **3** の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順 **3** から **5** を繰り返してください。

6 画像を保存する

- ▲▼で[RAW現像実行]を選び、MENU/SET または を押します。



❖ 設定項目（RAW現像）

RAW現像実行

画像を保存します。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを選んで調整できます。[📷]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。

- [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。（➔ ホワイトバランスの調整：288）
- [K1]～[K4]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。（➔ 色温度設定：287）

明るさ補正

明るさの補正ができます。

- [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。

フォトスタイル（➔ フォトスタイル：290）

フォトスタイルを選択できます。

- [709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、ニー設定画面が表示されます。（➔ 白飛びを抑えて撮影する（ニー）：335）
- [V-Log]で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log]以外で撮影した画像では、[V-Log]を選択できません。
- [シネライク D2]、[シネライク V2]で撮影した画像は、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルを選択できません。[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルで撮影した画像では、[シネライク D2]、[シネライク V2]を選択できません。

コントラスト

コントラストを調整できます。

ハイライト

明るい部分の明るさを調整できます。

シャドウ
暗い部分の明るさを調整できます。

彩度／色調
彩度または色調を調整できます。

色相
色相を調整できます。

フィルター効果
フィルター効果を選択できます。

粒状
粒状感の設定を選択できます。
- ハイレゾモードで撮影した画像には設定できません。

色ノイズ
粒状感に色味を追加します。

NR ノイズリダクション
ノイズを軽減する設定ができます。

シャープネス
解像感を調整できます。

詳細設定
[調整前に戻す]：撮影時の設定に戻すことができます。
[色空間]：色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます。（➔ 色空間：503）
[画像サイズ]：保存時の画像サイズを選択できます。
[保存先スロット]：RAW現像した画像を保存するカードスロットを選択できます。
[AUTO]を選択すると、現像するRAW形式の画像と同じカードスロットに保存します。

• 選択した[フォトスタイル]により、調整できる項目は変わります。

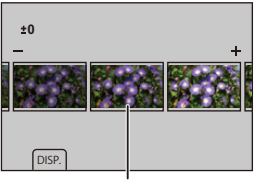
	STD. VIVD NAT FLAT LAND PORT CNED2 CNEV2	L.CLASN	MONO L.MONO L.MONOD L.MONOS	709L	V-Log
WB	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
（彩度）	✓	✓		✓	
（色調）			✓		
	✓	✓		✓	
			✓		
		✓	✓		
		✓*			
NR	✓	✓	✓	✓	✓
S	✓	✓	✓	✓	✓

* [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

1 手順 **4** の画面で、[DISP.] ボタンを押す
- 現在の設定の画像(A)が中央に表示されます。
- 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[↩]をタッチすると元の表示に戻ります。
- [ノイズリダクション]、[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。



(A)

2 、 または を回して設定を変更する

3 MENU/SET または を押して決定する

- 比較画面の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機で撮影したRAW画像は常に[4:3]の[L]サイズで記録されます。(ただし、ハイレゾモードで撮影したRAW画像は[4:3]の[XL]サイズで記録されます)
- 本機能では撮影時の画像横縦比や[EXテレコン(写真)]の画角で現像されます。
- 本機能では、[写真画質]は[FINE]で現像されます。
- 本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」のRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 以下の機能を使用中は、RAW現像はできません。
  – HDMI出力

再生メニュー

- 再生メニューでの画像の選び方: 461
- 再生メニュー（表示方法）: 463
- 再生メニュー（画像の加工）: 466
- 再生メニュー（情報の付与·削除）: 467
- 再生メニュー（画像の編集）: 468
- 再生メニュー（その他）: 471

再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

- カードスロットごとに表示されます。
- 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

❖ [1枚設定]選択中

1 ◀▶ で画像を選ぶ

2 MENU/SET または ⊛ を押す

- 画面右下に[設定 / 解除]と表示される場合、もう一度 MENU/SET または ⊛ を押すと設定が解除されます。

❖ [複数設定]選択中

[⊞]ボタンを押すと、表示するカードが切り換わります。

1 ▲▼◀▶で画像を選び、MENU/SET または ⊛ を押す（繰り返す）
- 設定を解除するには、もう一度 MENU/SET または ⊛ を押してください。

2 [DISP.]ボタンを押して実行する

[プロテクト]を選んだとき

▲▼◀▶で画像を選び、MENU/SET または ⊛ で設定する（繰り返す）
- 設定を解除するには、もう一度 MENU/SET または ⊛ を押してください。

再生メニュー（表示方法）

▶：初期設定

再生モード

▶通常再生／写真のみ／動画のみ／レーティング

再生する画像の種類を絞り込みます。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.] ボタンを押してください。

スライドショー

全画像／写真のみ／動画のみ／レーティング

画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.] ボタンを押してください。

開始：スライドショー再生を開始します。
再生間隔：画像を再生する間隔を選びます。
リピート：リピート再生を設定します。

スライドショー中の操作
▲：再生／一時停止（[▶]／[⏸]をタッチしても同じ操作ができます）
◀：前の画像へ
▶：次の画像へ
▼：スライドショーを終了する
◎：音量の調整

- [動画のみ]を設定したときは、[再生間隔]は使用できません。

縦位置自動回転

▶ON／OFF
カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

画像表示順

ファイル名／▶撮影日時
本機で画像を再生するときの表示順を設定します。 **ファイル名**：フォルダー名／ファイル名の順番で表示します。 **撮影日時**：画像が撮影された日時の順番で表示します。 • 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

AF位置から拡大

ON／▶OFF
AFでピントの合った位置を表示します。画像を拡大するときにAFでピントの合った位置を中心に拡大します。 • ハイレゾモードで撮影したRAW画像や、ピントが合っていない場合は、画像の中央を拡大します。

LUTビューアシスト（モニター）

ON／▶OFF
[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した画像を再生するときに、LUTデータを適用した映像をモニター／ファインダーに表示します。 • カスタムメニュー（モニター/表示（動画））の[V-Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト（モニター）]と連動しています。 （➔V-Logビューアシスト：398）

HLGビューアシスト（モニター）

MODE1／▶MODE2／OFF

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。

- カスタムメニュー（モニター/表示（動画））の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。
（➔HLGビューアシスト：402）

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x／1.8x／1.5x／1.33x／1.30x／▶OFF

アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。

- カスタムメニュー（モニター/表示（動画））の[アナモフィック デスクイーズ表示]と連動しています。
（➔アナモフィック デスクイーズ表示：405）

動画再生後の動作

▶再生終了／最終フレームで一時停止

動画の再生終了後の動作を設定できます。

再生終了：動画再生を終了して画像選択画面に戻ります。
最終フレームで一時停止：動画再生を終了せずに、最後のフレームで一時停止します。動画再生を終了するには▼を押してください。

再生メニュー（画像の加工）

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。
（➔ RAW現像：455）

インターバル動画作成

[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

1 ◀▶ で[インターバル撮影]のグループを選び、MENU/SET または を押す
2 動画の作成方法を選び、動画化する
（➔ インターバル／コマ撮りアニメの動画：225）

- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[インターバル動画作成]は使用できません。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

1 ◀▶ でコマ撮りグループを選び、MENU/SET または を押す
2 動画の作成方法を選び、動画化する
（➔ インターバル／コマ撮りアニメの動画：225）

- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。

再生メニュー（情報の付与・削除）

プロテクト

1枚設定／複数設定／全解除
誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。 • 画像の選び方について（➔ 再生メニューでの画像の選び方: 461） • [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。

レーティング

1枚設定／複数設定／全解除
画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。 • レーティングを設定した画像以外を消去する。 • Windows 10、Windows 8.1、Windows 8などのファイルの詳細表示で、レーティングのレベルを確認する。（JPEG画像のみ） **1** 画像を選ぶ（➔ 再生メニューでの画像の選び方: 461） **2** ◀▶ でレーティングのレベル（1～5）を選び、MENU または を押す • [複数設定] を選択したときは、手順 **1**、**2** を繰り返してください。 • 設定を解除するには、レーティングのレベルを [OFF] にしてください。

再生メニュー（画像の編集）

▶：初期設定

リサイズ（縮小）

1枚設定／複数設定
ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、JPEG画像の容量（画像サイズ）を小さくして、別の画像として保存します。 • 画像の選び方について（➔ 再生メニューでの画像の選び方：461） – [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで MENU/SET または を押してください。 – [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで MENU/SET または を押してください。 • [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。 • リサイズ（縮小）すると画質が粗くなります。 • 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ（縮小）]は使用できません。 – 動画撮影 – グループ画像 – [写真画質]の[RAW] – C4K動画から作成した写真 – [画像サイズ]の[S]

画像回転

画像を手動で90°ずつ回転させます。

:時計回りに90°回転します。
:反時計回りに90°回転します。

- 画像の選び方について（➔ 再生メニューでの画像の選び方: 461）
- [縦位置自動回転]が[OFF]のときは、[画像回転]は使用できません。

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。
（➔ 動画分割: 444）

画像コピー

コピー方向	▶1→2／2→1
画像選択コピー／フォルダー内全画像コピー／カード内全画像コピー	

カード内の画像をもう一方のカードにコピーできます。
- コピーするときは、新しいフォルダーを作成し保存します。

画像選択コピー：画像を選んでコピーします。

1 コピー元のフォルダー（DCIMフォルダー／PRIVATEフォルダー（シネスタイル））を選ぶ
2 コピーする画像の入ったフォルダーを選ぶ
3 画像を選ぶ（➔ 再生メニューでの画像の選び方: 461）

フォルダー内全画像コピー：フォルダー内のすべての画像をコピーします。

1 コピー元のフォルダー（DCIMフォルダー／PRIVATEフォルダー（シネスタイル））を選ぶ
2 コピーするフォルダーを選ぶ
3 コピーする画像を確認し、MENU/SET または を押して実行する

カード内全画像コピー：カード内のすべての画像をコピーします。
- DCIMフォルダー内の画像はコピー先のDCIMフォルダーに、PRIVATEフォルダー内の画像はコピー先のPRIVATEフォルダーにそれぞれ保存されます。

Fnボタンで画像をコピーする

1枚再生中に[画像コピー]を登録したFnボタンを押すと、再生中の画像をもう一方のカードにコピーします。(➔Fnボタン: 473)

- 以下の選択肢からコピー先のフォルダーを選んでください。グループ画像の場合は[新規作成]が自動で選ばれます。
  コピー元と同じフォルダー番号:コピーする画像と同じ名前のフォルダーにコピーします。
  新規作成:フォルダー番号を繰り上げて新規フォルダーを作成し、コピーします。
  フォルダー選択:保存するフォルダーを選んでコピーします。
- コピー元がPRIVATEフォルダーの場合は、[新規作成]だけ選択できます。
- [画像選択コピー]で一度に設定できるのは100枚までです。
- [プロテクト]の設定内容はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のコピーはできません。
  – CFexpressカードからSD／SDHCメモリーカードへのコピー

再生メニュー（その他）

▶：初期設定

消去確認画面

「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

「はい」がはじめ：最初に[はい]が選ばれます。
「いいえ」がはじめ：最初に[いいえ]が選ばれます。

全画像消去

▶スロット1（CFexpress）／スロット2（SD）

カード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。
- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。

カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。
カメラの操作や画面表示の詳細な設定ができるカスタムメニューや、カメラの基本的な設定ができるセットアップメニューについても説明しています。

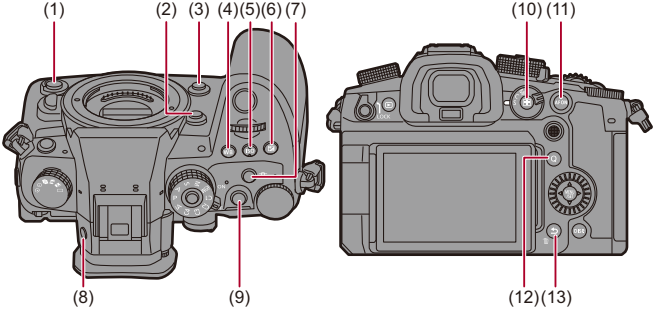
- Fnボタン: 473
- ダイヤル動作切換: 486
- クイックメニューのカスタマイズ: 489
- カスタムモード: 495
- カスタムメニュー: 500
- セットアップメニュー: 537
- マイメニュー: 560

Fnボタン

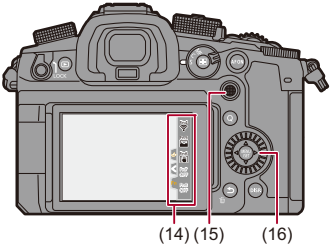
- Fnボタンへの機能の登録：476
- Fnボタンを使う：485

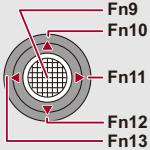
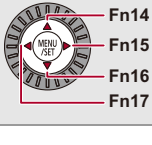
Fn（ファンクション）ボタンに機能を登録できます。また、[WB]ボタンなどの専用機能ボタンにも、Fnボタンと同じように、別の機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fnボタンの初期設定



Fnボタン		撮影時設定	再生時設定
(1)	**サブ動画記録ボタン**	動画撮影	動画撮影
(2)	**Fn2**	動画ライブビュー拡大表示	設定なし
(3)	**Fn3**	プレビュー	設定なし
(4)	**WB**	ホワイトバランス	設定なし
(5)	**ISO**	ISO感度	設定なし
(6)		露出補正	設定なし
(7)	**オーディオ情報表示ボタン**	オーディオ情報表示	設定なし
(8)	**LVF**	LVF/モニター切換	LVF/モニター切換
(9)	**動画記録ボタン**	動画撮影	動画撮影
(10)		AFモード	スロット切換
(11)	**AF ON**	AF-ON	レーティング★3
(12)	**Q**	Q.MENU	スマートフォンに画像を送る
(13)	**Fn1**／／	水準器表示	• 再生時はFnボタンとして使用できません。



Fnボタン		撮影時設定	再生時設定
(14)	**Fn4**	Wi-Fi	• 再生時はFnボタンとして使用できません。
	Fn5	ヒストグラム表示	
	Fn6	手ブレ補正ブースト(動画)	
	Fn7	設定なし	
	Fn8	設定なし	
(15) 		設定なし	
(16) 		設定なし	

Fnボタンへの機能の登録

- 初期設定ではジョイスティックの[Fn9]～[Fn13]が使用できません。機能を使用する場合は、カスタムメニュー（操作）の[ジョイスティック設定]を[Fn]に設定してください。（➔ ジョイスティック設定：517）

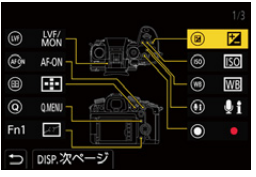
1 [Fnボタン設定]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [〰] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定]／[再生時設定]

2 ボタンを選ぶ

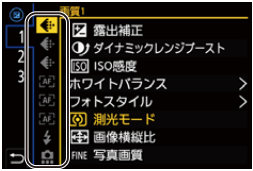
- ▲▼でボタンを選び、MENU/SET または ◎ を押します。
- 〰 または ◎ を回しても選択できます。

- ページを切り換えるには、[DISP.]ボタンを押してください。



3 登録する機能を探す

- を回して、登録する機能が分類されているサブタブ（➔ 設定項目（Fnボタン設定／撮影時設定）: 478、設定項目（Fnボタン設定／再生時設定）: 483）を選び、MENU/SET または を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから▲▼を押す、または を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、MENU/SET または を押します。
- または を回しても選択できます。

- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。

- コントロールパネル（➔ コントロールパネル: 666）で[Fn]をタッチしても、手順**2**の画面を表示できます。
- Fnボタンの長押し（2秒）でも、手順**4**の画面を表示できます。（登録した機能やボタンの種類によっては表示されません）

- 交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録できます：（➔ レンズFnボタン設定: 534）

❖ 設定項目（Fnボタン設定／撮影時設定）

[1]タブ

画質

- 露出補正（➔露出補正: 270）
- ダイナミックレンジブースト（➔ダイナミックレンジブースト: 338）
- ISO感度（➔ISO感度: 277）
- ホワイトバランス（➔ホワイトバランス（WB）: 283）
- フォトスタイル（➔フォトスタイル: 290）
- 測光モード（➔測光モード: 252）
- 画像横縦比（➔画像横縦比: 120）
- 写真画質（➔写真画質: 123）
- 画像サイズ（➔画像サイズ: 121）
- ワンショット スポット測光
  – 1回だけ測光モードを[⊙]（スポット）にして撮影します。（➔測光モード: 252）
- 長秒ノイズ除去（➔長秒ノイズ除去: 242）
- 下限シャッター速度（➔下限シャッター速度: 243）
- ワンショット RAW+JPG
  – 1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影します。（➔写真画質: 123）
- フィルター効果（➔フィルター設定: 297）
- ワンプッシュAE
  – 絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた標準露出に合う設定にします。（➔露出補正: 270）
- タッチAE（➔タッチAE: 115）
- 動画露出設定（➔クリエイティブ動画で撮る: 324）
- シンクロスキャン（➔シンクロスキャン: 407）

AF フォーカス/レリーズ

- AFモード(➔AFモードの選択: 164)
- 自動認識設定(➔自動認識: 167)
- 自動認識の対象(➔自動認識: 167)
- AFカスタム設定(写真)(➔AFカスタム設定(写真): 158)
- AFカスタム設定(動画)(➔AFカスタム設定(動画): 330)
- フォーカスリミッター(➔フォーカスリミッター: 160)
- フォーカスリミッター範囲設定(➔フォーカスリミッター: 160)
- ピーキング(➔ピーキング: 197)
- ピーキング感度(➔ピーキング: 197)
- 1点AF枠の移動速度(➔1点AF枠の移動速度: 163)
- フォーカスリングロック(➔フォーカスリングロック: 507)
- AE LOCK(➔ピントや露出の固定(AF/AEロック): 275)
- AF LOCK(➔ピントや露出の固定(AF/AEロック): 275)
- AF/AE LOCK(➔ピントや露出の固定(AF/AEロック): 275)
- AF-ON(➔[AF ON]ボタン: 156)
- AF-ON:近側
  – 近くの被写体を優先してAFが働きます。(➔AFを使う: 154)
- AF-ON:遠側
  – 遠くの被写体を優先してAFが働きます。(➔AFを使う: 154)
- フォーカスエリア選択
  – AFエリア/MFアシストの移動画面を表示します。(➔AFエリアの移動操作: 183、MFアシスト画面での操作: 194)
- 動画ライブビュー拡大表示(➔動画ライブビュー拡大表示: 331)

フラッシュ

- フラッシュモード(➔フラッシュモード: 308)
- フラッシュ光量調整(➔フラッシュ光量調整: 312)
- ワイヤレスフラッシュ設定(➔ワイヤレスフラッシュ撮影: 315)

その他(写真)

- ドライブモード設定(➔ ドライブモードの選択: 203)
- ブラケット(➔ ブラケット撮影: 230)
- サイレントモード(➔ サイレントモード: 237)
- 手ブレ補正(➔ 動作設定: 248)
- シャッター方式(➔ シャッター方式: 239)
- EXテレコン(写真)(➔ EXテレコン(写真): 200)

[2] タブ

記録

- 記録ファイル方式(➔ 記録ファイル方式: 134)
- 動画画質(➔ 動画画質: 135)
- 動画画質(マイリスト)(➔ マイリストから設定する、消去する: 147)
- バリアブルフレームレート(➔ バリアブルフレームレート: 383)
- タイムコード表示(➔ タイムコード: 356)

音

- オーディオ情報表示(➔ オーディオ情報表示: 346)
- 録音レベル表示(➔ 録音レベル表示: 340)
- 音声入力ミュート(➔ 音声入力ミュート: 340)
- 録音レベル設定(➔ 録音レベル設定: 342)
- 録音音質(➔ 録音音質: 343)
- 録音レベルリミッター(➔ 録音レベルリミッター: 344)
- 4chマイク入力(➔4chマイク入力: 352)
- XLRマイクアダプター設定(➔XLRマイクロホンアダプター(別売): 350)
- 音声モニタチャンネル(➔ 音声モニタチャンネル: 354)

その他(動画)

- 手ブレ補正(➔ 動作設定: 248)
- 電子補正(動画)(➔ 電子補正(動画): 247)
- 手ブレ補正ブースト(動画)(➔ 手ブレ補正ブースト(動画): 247)
- 動画撮影範囲(➔ 動画撮影範囲: 149)
- フォーカストランジション(➔ フォーカストランジション: 392)

操作

- Q.MENU（➔ クイックメニュー: 95）
- 撮影/再生切換
  – 再生画面に切り換えます。（➔ 写真の再生: 436、動画の再生: 438）
- 動画撮影（➔ 動画を撮る: 126）
- 動画撮影（クリエイティブ動画時）
  – [🎥M]モード時にだけ、動画撮影を開始／停止します。（➔ クリエイティブ動画で撮る: 324）
- LVF/モニター切換（➔ モニターとファインダーの切り換え: 90）
- ダイヤル動作切換（➔ ダイヤルの動作を一時的に変更する: 488）

モニター/表示

- プレビュー（➔ プレビューモード: 268）
- プレビュー（絞りのみ）
  – Fnボタンを押している間、絞り効果を確認できます。（➔ プレビューモード: 268）
- 常時プレビュー（➔ 常時プレビュー: 518）
- 水準器表示（➔ 水準器表示: 526）
- ヒストグラム表示（➔ ヒストグラム表示: 519）
- スポット輝度メーター（➔ スポット輝度メーター: 375）
- フレーム表示（➔ フレーム表示: 378）
- 写真グリッドライン表示（➔ 写真グリッドライン表示: 520）
- ライブビューブースト（➔ ライブビューブースト: 520）
- モノクロライブビュー（➔ モノクロライブビュー: 529）
- ナイトモード（➔ ナイトモード: 521）
- LVF/モニター表示設定
  – 表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。（➔ LVF/モニター表示設定: 522）
- 動画優先表示（➔ 動画優先表示: 531）
- ゼブラパターン表示（➔ ゼブラパターン表示: 376）
- LUTビューアシスト（モニター）（➔ LUTビューアシスト（モニター）: 398）
- LUTビューアシスト（HDMI）（➔ LUTビューアシスト（HDMI）: 398）
- LUT選択（➔ LUT選択: 398）
- HLGビューアシスト（モニター）（➔ HLGビューアシスト: 402）
- HLGビューアシスト（HDMI）（➔ HLGビューアシスト: 402）
- オーバーレイ表示（➔ オーバーレイ表示: 525）
- 手ブレ状態スコープ（➔ 手ブレ状態スコープ: 525）

- WFM/ ベクトルスコープ表示（➔ WFM/ ベクトルスコープ表示: 371）
- アナモフィック デスクイーズ表示（➔ アナモフィック デスクイーズ表示: 405）
- カラーバー（➔ カラーバー／テストトーン: 380）

[3] タブ

レンズ/その他

- フォーカスリング制御（➔ フォーカスリング制御: 535）
- ズーム操作（➔ パワーズーム（電動式ズーム）に対応した交換レンズ: 199）
- ステップズーム（➔ ステップズーム: 201）
- ズーム速度（➔ ズーム速度: 201）
- レンズ情報（➔ レンズ情報: 250）

カード/ファイル

- 記録先スロット
  – 優先して記録するカードを変更します。[ダブルスロット機能]（➔ ダブルスロット機能: 539）を[リレー記録]にすると使用できます。

IN/OUT

- Wi-Fi（➔Wi-Fi／Bluetooth: 576）
- ファン動作モード（➔ ファン動作モード: 533）

設定

- カスタムモード登録（➔ インスタントカスタム登録: 496）

その他

- 設定なし
  – Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし（長押し無効）
  – Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し（2秒）しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
  – Fnボタンを初期設定に戻します。（➔Fnボタンの初期設定: 473）

❖ 設定項目（Fnボタン設定／再生時設定）

[1]タブ

表示方法
- AF位置から拡大（➔ AF位置から拡大：464）
- LUTビューアシスト（モニター）（➔ LUTビューアシスト（モニター）：464）
- HLGビューアシスト（モニター）（➔ HLGビューアシスト（モニター）：465）
- アナモフィック デスクイーズ表示（➔ アナモフィック デスクイーズ表示：405）

画像の加工
- RAW現像（➔ RAW現像：455）

情報の付与・削除
- 1枚消去（➔ 画像の消去：453）
- プロテクト（➔ プロテクト：467）
- レーティング★1（➔ レーティング：467）
- レーティング★2（➔ レーティング：467）
- レーティング★3（➔ レーティング：467）
- レーティング★4（➔ レーティング：467）
- レーティング★5（➔ レーティング：467）

画像の編集
- 画像コピー（➔ 画像コピー：469）

操作
- 撮影/再生切換
  – 撮影画面に切り換えます。（➔ 写真を撮る：118、動画を撮る：126）
- LVF/モニター切換（➔ モニターとファインダーの切り換え：90）
- 動画撮影（➔ 動画を撮る：126）
- 動画撮影（クリエイティブ動画時）
  – [M]モード時にだけ、動画撮影を開始／停止します。（➔ クリエイティブ動画で撮る：324）

モニター/表示
- ナイトモード（➔ナイトモード: 521）

カード/ファイル
- スロット切換（➔表示するカードの切り換え: 437）

IN/OUT
- 音声モニタチャンネル（再生時）
- Wi-Fi（➔Wi-Fi／Bluetooth: 576）
- ファン動作モード（➔ファン動作モード: 533）
- スマートフォンに画像を送る（➔カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 590）
- LUTビューアシスト（HDMI）（➔V-Logビューアシスト: 398）
- HLGビューアシスト（HDMI）（➔HLGビューアシスト: 402）

[2] タブ

その他
- 設定なし
  – Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし（長押し無効）
  – Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し（2秒）しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
  – Fnボタンを初期設定に戻します。（➔Fnボタンの初期設定: 473）

Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、撮影時は[撮影時設定]で登録した機能を、再生時は[再生時設定]で登録した機能を使うことができます。

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- ◀▶で設定項目を選び、MENU/SET または を押します。
- 、 または を回しても選択できます。

• 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。

❖ [Fn4]～[Fn8]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。

• 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(➔タッチ設定: 511)

1 [Fn]をタッチする

2 [Fn4]～[Fn8]のいずれかをタッチする

ダイヤル動作切換

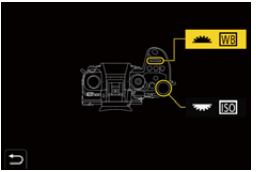
● ダイヤルへの機能の登録: 486
● ダイヤルの動作を一時的に変更する: 488

（前ダイヤル）と （後ダイヤル）で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

● MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [ダイヤル設定] ➡ [ダイヤル動作切換設定] ➡ [ ]／[ ]



2 機能を登録する

● ▲▼で機能を選び、MENU/SET または を押します。

❖ 登録できる機能

- 露出補正（➔ 露出補正：270）
- ISO感度*1（➔ISO感度：277）
- ホワイトバランス*2（➔ ホワイトバランス（WB）：283）
- フォトスタイル（➔ フォトスタイル：290）
- 画像横縦比（➔ 画像横縦比：120）
- フィルター効果（➔ フィルター設定：297）
- AFモード（➔AFモードの選択：164）
- フラッシュモード（➔ フラッシュモード：308）
- フラッシュ光量調整（➔ フラッシュ光量調整：312）

*1 の初期設定

*2 の初期設定

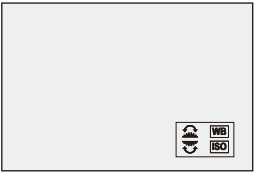
ダイヤルの動作を一時的に変更する

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する(➔Fnボタン:473)

2 ダイヤルの動作を切り換える

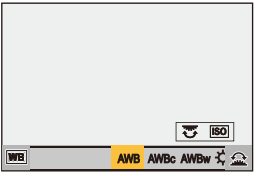
- 手順**1**で設定したFnボタンを押します。
- と に登録した機能のガイドが表示されます。

• 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、 または を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

クイックメニューのカスタマイズ

● クイックメニューへの登録: 489

撮影モードによってクイックメニューの項目を変えることができます。
また、クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。
クイックメニューの操作方法について（➔ クイックメニュー: 95）

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。
[🎥M] モード（動画）とそれ以外の撮影モード（写真）で別々に設定できます。

1 [Q.MENU設定] を選ぶ

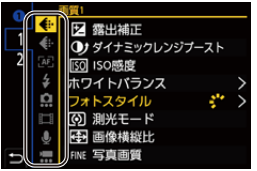
- MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [〰] ➡ [Q.MENU設定] ➡ [表示項目カスタマイズ（写真）] ／ [表示項目カスタマイズ（動画）]

2 項目の位置（1～12）を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、MENU/SET または 🔍 を押します。
- ◎ を回しても選択できます。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。

3 登録する機能を探す

- を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(➔ 登録できるメニュー項目: 491)を選び、MENU/SET または を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから▲▼を押す、または を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[2]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼で項目を選び、MENU/SET または を押します。
- または を回しても選択できます。

• [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。

❖ 登録できるメニュー項目

[1]タブ

画質

- 露出補正（➔露出補正：270）
- ダイナミックレンジブースト（➔ダイナミックレンジブースト：338）
- ISO感度（➔ISO感度：277）
- ホワイトバランス（➔ホワイトバランス（WB）：283）
- フォトスタイル（➔フォトスタイル：290）
- 測光モード（➔測光モード：252）
- 画像横縦比（➔画像横縦比：120）
- 写真画質（➔写真画質：123）
- 画像サイズ（➔画像サイズ：121）
- 長秒ノイズ除去（➔長秒ノイズ除去：242）
- 下限シャッター速度（➔下限シャッター速度：243）
- フィルター効果（➔フィルター設定：297）
- 動画露出設定（➔クリエイティブ動画で撮る：324）
- シンクロスキャン（➔シンクロスキャン：407）

フォーカス/レリーズ

- AFモード（➔AFモードの選択：164）
- 自動認識設定（➔自動認識：167）
- 自動認識の対象（➔自動認識：167）
- AFカスタム設定（写真）（➔AFカスタム設定（写真）：158）
- AFカスタム設定（動画）（➔AFカスタム設定（動画）：330）
- ピーキング（➔ピーキング：197）
- ピーキング感度（➔ピーキング：197）
- 1点AF枠の移動速度（➔1点AF枠の移動速度：163）

フラッシュ

- フラッシュモード（➔フラッシュモード：308）
- フラッシュ光量調整（➔フラッシュ光量調整：312）
- ワイヤレスフラッシュ設定（➔ワイヤレスフラッシュ撮影：315）

その他(写真)

- ドライブモード設定(➔ ドライブモードの選択: 203)
- ブラケット(➔ ブラケット撮影: 230)
- サイレントモード(➔ サイレントモード: 237)
- 手ブレ補正(➔ 動作設定: 248)
- シャッター方式(➔ シャッター方式: 239)
- EXテレコン(写真)(➔ EXテレコン(写真): 200)

記録

- 記録ファイル方式(➔ 記録ファイル方式: 134)
- 動画画質(➔ 動画画質: 135)
- 動画画質(マイリスト)(➔ マイリスト登録: 147)
- バリアブルフレームレート(➔ バリアブルフレームレート: 383)
- タイムコード表示(➔ タイムコード: 356)

音

- オーディオ情報表示(➔ オーディオ情報表示: 346)
- 録音レベル表示(➔ 録音レベル表示: 340)
- 録音レベル設定(➔ 録音レベル設定: 342)
- 録音音質(➔ 録音音質: 343)
- 録音レベルリミッター(➔ 録音レベルリミッター: 344)
- 4chマイク入力(➔4chマイク入力: 352)
- XLRマイクアダプター設定(➔XLRマイクロホンアダプター(別売): 350)
- 音声モニタチャンネル(➔ 音声モニタチャンネル: 354)

その他(動画)

- 手ブレ補正(➔ 動作設定: 248)
- 電子補正(動画)(➔ 電子補正(動画): 247)
- 手ブレ補正ブースト(動画)(➔ 手ブレ補正ブースト(動画): 247)
- 動画撮影範囲(➔ 動画撮影範囲: 149)
- フォーカストランジション(➔ フォーカストランジション: 392)

[2] タブ

モニター/表示

- 常時プレビュー（➔ 常時プレビュー: 518）
- 水準器表示（➔ 水準器表示: 526）
- ヒストグラム表示（➔ ヒストグラム表示: 519）
- スポット輝度メーター（➔ スポット輝度メーター: 375）
- フレーム表示（➔ フレーム表示: 378）
- 写真グリッドライン表示（➔ 写真グリッドライン表示: 520）
- ライブビューブースト（➔ ライブビューブースト: 520）
- モノクロライブビュー（➔ モノクロライブビュー: 529）
- ナイトモード（➔ ナイトモード: 521）
- LVF/モニター表示設定（➔ LVF/モニター表示設定: 522）
- 動画優先表示（➔ 動画優先表示: 531）
- ゼブラパターン表示（➔ ゼブラパターン表示: 376）
- LUTビューアシスト（モニター）（➔ LUTビューアシスト（モニター）: 398）
- LUTビューアシスト（HDMI）（➔ LUTビューアシスト（HDMI）: 398）
- HLGビューアシスト（モニター）（➔ HLGビューアシスト: 402）
- HLGビューアシスト（HDMI）（➔ HLGビューアシスト: 402）
- オーバーレイ表示（➔ オーバーレイ表示: 525）
- 手ブレ状態スコープ（➔ 手ブレ状態スコープ: 525）
- WFM/ ベクトルスコープ表示（➔ WFM/ ベクトルスコープ表示: 371）
- アナモフィック デスクイーズ表示（➔ アナモフィック デスクイーズ表示: 405）
- カラーバー（➔ カラーバー／テストトーン: 380）

レンズ/その他

- フォーカスリング制御（➔ フォーカスリング制御: 535）
- ステップズーム（➔ ステップズーム: 201）
- ズーム速度（➔ ズーム速度: 201）
- レンズ情報（➔ レンズ情報: 250）

カード/ファイル

- 記録先スロット（➔ 表示するカードの切り換え: 437）

IN/OUT

- Wi-Fi（➔Wi-Fi／Bluetooth: 576）
- ファン動作モード（➔ファン動作モード: 533）

その他

- 設定なし
  – 使用しないときに設定します。

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更や、メニュー表示中の の動作の変更ができます。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Q.MENU設定] を選ぶ

表示スタイル

クイックメニューの見た目を変更します。

[MODE1]：ライブビューとメニューを同時に表示します。

[MODE2]：メニューを画面全体に表示します。

前ダイヤルの割当

クイックメニューでの の動作を変更します。

[項目]：メニュー項目の選択をします。

[設定値]：設定値の選択をします。

表示項目カスタマイズ（写真）

モードダイヤルを[iA]／[P]／[A]／[S]／[M]に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

表示項目カスタマイズ（動画）

モードダイヤルを[M]に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

- カスタムモードへの登録: 495
- カスタムモードを使う: 498
- 設定内容の呼び出し: 499

C1 C2 C3 C4

お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C4]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

現在のカメラの設定内容を登録できます。
お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。

1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

2 [カスタムモード登録]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [⚙] ➡ [カスタムモード登録]

3 登録する

- 登録先の番号を選び、MENU/SET または ⏻ を押します。
  - 確認画面が表示されます。[DISP.]ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
    文字の入力方法(➔ 文字の入力: 105)

❖ インスタントカスタム登録

撮影待機画面で、[カスタムモード登録]を登録したFnボタンを押すと、現在の撮影設定を素早くカスタムモードに登録できます。(➔Fnボタン:473)

- [iA]モードはカスタムモードに登録できません。

- カスタムモードに登録できる設定の一覧(➔初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧:719)

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [⚙] ➡ [カスタムモード設定] を選ぶ

カスタムモード表示の制限

[C4] に登録できるカスタムモードの数を設定します。
最大10セットを登録できますが、初期設定では3セットです。

名称変更

カスタムモードの名前を変更します。
入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

登録内容の呼出タイミング

カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。

[撮影モードの変更時]／**[スリープモード解除時]**／**[電源ON時]**

カスタムモードの呼出範囲

[カスタムモード内容の呼出] で呼び出す設定内容の範囲を設定します。

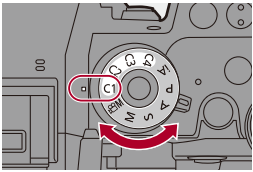
[絞り値/SS/ISO感度]：絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。

[ホワイトバランス]：ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。

カスタムモードを使う

撮影モードを[C1]～[C4]にする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)
- [C4]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。

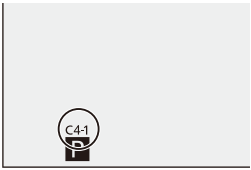


❖ [C4]のカスタムモードの選択

1 撮影モードを[C4]にする

2 MENU/SET を押す
- カスタムモードの選択メニューが表示されます。

3 ▲▼でカスタムモードを選び、MENU/SET または を押す
- 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C4]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録]で登録内容を上書きしてください。

設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

1 使用する撮影モードにする

- モードダイヤルを合わせます。(➔ 撮影モードの選択: 82)

2 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [⚙] ➡ [カスタムモード内容の呼出]

3 呼び出すカスタムモードを選ぶ

- カスタムモードを選び、MENU/SET または ⊛ を押します。

- [P]／[A]／[S]／[M]モードから作成したカスタムモードと、[C1M]モードから作成したカスタムモードの間では、カスタムモードの呼び出しができません。

カスタムメニュー

- カスタムメニュー（画質）: 501
- カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）: 505
- カスタムメニュー（操作）: 511
- カスタムメニュー（モニター/表示（写真））: 518
- カスタムメニュー（モニター/表示（動画））: 528
- カスタムメニュー（IN/OUT）: 532
- カスタムメニュー（レンズ/その他）: 534

カスタムメニュー（画質）

▶：初期設定

フォトスタイル設定

フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド／ナチュラル／L.クラシックネオ／フラット／風景／人物／L.モノクローム／L.モノクローム D／L.モノクローム S／シネライク D2／シネライク V2／709 ライク／V-Log／ハイブリッドログガンマ／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10
メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。	
マイフォトスタイル設定	調整項目の追加
	登録された設定の呼出
マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。 **調整項目の追加**：画質調整で［ISO 感度］や［ホワイトバランス］の設定を可能にします。 **登録された設定の呼出**：マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。	
フォトスタイルのリセット	
［フォトスタイル］と［フォトスタイル設定］で変更した内容を、初期設定に戻します。	

ISO感度ステップ

▶1/3 EV／1 EV
ISO感度の調整値の刻みを変更します。

拡張ISO感度

ON／▶OFF
ISO感度を最小[ISO50]まで設定できるようになります。

基準露出レベル調節

マルチ測光	–1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
中央重点	–1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
スポット	–1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
ハイライト重点	–1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
[測光モード]の設定項目ごとに、標準露出の基準となる露出レベルを調整します。露出補正値(➔ 露出補正: 270)に本機能の調整値を加えて記録します。 • 動画撮影の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。	

マルチ測光時の顔優先

▶ON／OFF
[測光モード]を[◎]に設定しているとき、自動露出の測光範囲を顔･瞳優先にします。 [OFF]に設定すると、[顔･瞳]の自動認識機能によって露出が変化することを防ぎます。

色空間

▶sRGB／AdobeRGB

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。

sRGB：パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB：AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。
  - 動画撮影
  - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]
  - [フィルター設定]

露出補正リセット

ON／▶OFF

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正値をリセットします。

P/A/S/M動画の露出自動制御

▶ON／OFF

[P]／[A]／[S]／[M]モードで動画を撮影するときの絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。

ON：カメラが自動で設定した値で撮影します。
OFF：[P]／[A]／[S]／[M]モードで設定した値で撮影します。

クリエイティブ動画の設定値

絞り値/SS/ISO/露出補正	▶ 📷 ／ 🎥
ホワイトバランス	▶ 📷 ／ 🎥
フォトスタイル	▶ 📷 ／ 🎥
測光モード	▶ 📷 ／ 🎥
AFモード	▶ 📷 ／ 🎥
[🎥M]モードで設定した内容を、写真撮影時と分けることができます。 (➔ クリエイティブ動画の設定値: 327)	

カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）

▶：初期設定

フォーカス/レリーズ優先

AFS	▶フォーカス／バランス／レリーズ
AFC	フォーカス／▶バランス／レリーズ

AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。

フォーカス：ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス：ピント合わせとレリーズタイミングのバランスをとり撮影します。
レリーズ：ピントが合っていなくても撮影できます。

縦/横位置フォーカス切換

ON／▶OFF

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置（MF時はMFアシストの位置）を別々に記憶します。
（➔ 縦/横位置フォーカス切換：190）

AF/AEロック維持

ON／▶OFF

AF／AEロック時のボタン動作を設定します。[ON]にすると、ボタンを離したあと、もう一度押すまでロックを維持します。

AF+MF

ON／▶OFF
フォーカスモードを[AFS]にしたとき、AFロック中に手動でピントを微調整できます。 • シャッターボタンを半押ししたとき • [AF ON]ボタンを押したとき • Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき

MFアシスト

フォーカスリング （フォーカスリングがある交換レンズ装着時）	▶ON／OFF
AFモード	▶ON／OFF
ジョイスティックを押す	ON／▶OFF
MFアシスト表示	全画面／▶PIP

MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。

フォーカスリング：レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。
AFモード：[⊞]ボタンを押すと拡大表示されます。
ジョイスティックを押す：ジョイスティックを押すと拡大表示されます。（[ジョイスティック設定]を[ダイレクトフォーカス]に設定したとき）（➔ ジョイスティック設定: 517）
MFアシスト表示：MFアシスト（拡大画面）の表示方法（画面全体／画面の一部）を設定します。

MFガイド

▶ m ／ ft. ／OFF
MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。

フォーカスリングロック

ON／▶OFF
MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。 • フォーカスリングのロック中は、撮影画面に[MFL]が表示されます。

AFモード表示の制限

追尾	▶ON／OFF
フルエリア	▶ON／OFF
ゾーン(横・縦)	▶ON／OFF
ゾーン	▶ON／OFF
1点+補助	▶ON／OFF
ピンポイント	▶ON／OFF
AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。	

ピンポイントAF設定

ピンポイントAF時間	LONG／▶MID／SHORT
ピンポイントAF表示	全画面／▶PIP

AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。

ピンポイントAF時間：シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。
ピンポイントAF表示：拡大画面の表示方法（画面全体／画面の一部）を設定します。

シャッター半押しAF

▶ON／OFF

シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。

合焦時の瞳認識表示

▶ON／OFF

[OFF]にすると、シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、瞳・顔認識の十字線を非表示にできます。

シャッター半押しレリーズ

ON／▶OFF

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

シャッター全押し動画記録

▶ON／OFF

[🎥M]モード時、動画記録の開始／終了操作にシャッターボタンを使用します。
[OFF]にすると、シャッターボタンを使用した記録開始／終了操作を無効にできます。

クイックAF

ON／▶OFF
カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。 • バッテリーの消費が早くなる場合があります。 • 以下の場合、[クイックAF]は働きません。 – プレビューモード時 – 低照度時

アイセンサーAF

ON／▶OFF
ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。 • 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

フォーカス枠のループ移動

ON／▶OFF
AFエリアやMFアシスト、動画ライブビュー拡大表示移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。

動画ライブビュー拡大表示設定

拡大表示維持	▶ON／OFF
PIP表示	全画面／▶PIP

動画ライブビュー拡大表示機能（➔動画ライブビュー拡大表示: 331）の動作を設定します。

拡大表示維持
[ON]：Fnボタンを離したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。
[OFF]：Fnボタンを押している間だけ拡大表示します。

PIP表示
拡大画面の表示方法（画面全体／画面の一部）を設定します。

カスタムメニュー(操作)

▶:初期設定

Q.MENU設定

表示スタイル	▶MODE1/MODE2
前ダイヤルの割当	項目/▶設定値
表示項目カスタマイズ(写真)	
表示項目カスタマイズ(動画)	
クイックメニューのカスタマイズができます。 (➔ クイックメニューのカスタマイズ: 489)	

タッチ設定

タッチパネル	▶ON/OFF
タッチタブ	ON/▶OFF
タッチAF	▶AF/AF+AE
タッチパッドAF	絶対位置/相対位置1～相対位置7/▶OFF
モニター画面のタッチ操作を有効にします。 **タッチパネル**:すべてのタッチ操作。 **タッチタブ**:画面右に表示される[<]などのタブ操作。 **タッチAF**:タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。(➔ タッチでのAFエリアの移動操作: 186) **タッチパッドAF**:ファインダー表示中のタッチパッド操作。(➔ タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 188)	

ロックレバー設定

[AF ON]ボタン	🔒／▶🔓
ジョイスティック	▶🔒／🔓
[Q]ボタン	🔒／▶🔓
カーソルボタン／[MENU/SET]ボタン	▶🔒／🔓
コントロールダイヤル	▶🔒／🔓
[ ]（AFモード）ボタン	🔒／▶🔓
[ ]（再生）ボタン	🔒／▶🔓
タッチパネル	▶🔒／🔓
[ ]（戻る）ボタン／[ ]（消去）ボタン／Fnボタン（Fn1）	🔒／▶🔓
[DISP.]ボタン	▶🔒／🔓
[ ]（露出補正）ボタン	🔒／▶🔓
[ISO]ボタン	🔒／▶🔓
[ ]（オーディオ情報表示）ボタン	🔒／▶🔓
後ダイヤル	▶🔒／🔓
動画記録ボタン	🔒／▶🔓
前ダイヤル	▶🔒／🔓
[WB]ボタン	🔒／▶🔓
[LVF]ボタン	🔒／▶🔓
シャッターボタン	🔒／▶🔓
サブ動画記録ボタン	🔒／▶🔓
レンズ	🔒／▶🔓
動画ライブビュー拡大表示ボタン／Fnボタン（Fn2）	🔒／▶🔓
プレビューボタン／Fnボタン（Fn3）	🔒／▶🔓

操作ロックレバーで操作を無効にする操作部を設定します。（撮影画面のみ）

- MENU/SET を押すごとにロック／ロック解除が切り換わります。
- ページを切り換えるには[DISP.]ボタンを押してください。
- [Q]ボタンを押すと初期設定に戻ります。
- ロック中にロックされた操作部を操作すると、画面に[ ]が表示されます。
- 「レンズ」でロックされる操作部はレンズによって異なります。レンズのスイッチはロックされません。
- 「レンズ」のロック中にレンズを操作しても、画面に[ ]は表示されません。
  「レンズ」のロック設定後は、実際に操作してロック状態を確認してください。

Fnボタン設定

撮影時設定
再生時設定
Fnボタンに機能を登録できます。 (➔Fnボタンへの機能の登録: 476)

WB/ISO/露出補正ボタン

押している間／押した後1／▶押した後2
[WB](ホワイトバランス)ボタン、[ISO](ISO感度)ボタン、および[±̲](露出補正)ボタンを押したときの動作を設定します。 **押している間**:ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。 **押した後1**:ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。 **押した後2**:ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。(露出補正を除く)決定して撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

ISO感度画面の操作

前/後ダイヤルの割当	▶ISO/ISO／ISO LIMIT/ISO／OFF/ISO／ISO/ISO LIMIT／ISO/OFF
ISO感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。 [ISO LIMIT]を割り当てると、[ISOオート上限設定]を変更できます。	

露出補正画面の操作

上/下ボタンの割当	／▶OFF
露出補正画面での▼▲ボタン動作を設定します。 [ ]を割り当てると、露出ブラケットの設定ができます。	
前/後ダイヤルの割当	▶ / ／ / ／OFF/ ／ / / ／ /OFF
露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 [ ]を割り当てると、フラッシュ発光量を調整できます。	

ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当	▶設定1／設定2／設定3／設定4／設定5
[P]／[A]／[S]／[M]モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。 P↗：プログラムシフト、F：絞り値、SS：シャッタースピード	

		P	A	S	M
設定1		P↗	F	SS	F
		P↗	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P↗	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P↗	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P↗	F	SS	SS
設定5		P↗	F	SS	F
		—	—	—	SS

F/SSダイヤルの回転	▶ ／
絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。	

コントロールダイヤルの割当	▶🎧（ヘッドホン音量）／ ±/Ⓕ（露出補正/絞り）／ ±（露出補正）／ ISO（ISO感度）／ ⌖（フォーカス枠サイズ）
撮影画面で ⚙ に割り当てる機能を設定します。 ±/Ⓕ：[M]モード時は、絞り値を調整する操作を割り当てます。[M]モード以外の場合は、露出補正の操作を割り当てます。	
露出補正のダイヤル割当	☀ ／ ☀ ／▶OFF
露出補正の操作を ☀ または ☀ に割り当てます。([M]モード時を除く) • [F/SSダイヤルの割当]の設定が優先されます。	
ダイヤル動作切換設定	☀
	☀
Fnボタンの[ダイヤル動作切換]で、☀ または ☀ に一時的に登録する機能を設定します。(➔ ダイヤルへの機能の登録：486)	
メニュー操作のダイヤル回転	▶ ／ ／ ／ ／
メニューを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。	

ジョイスティック設定

▶ダイレクトフォーカス／Fn／MENU／OFF

撮影画面でのジョイスティックの動作を設定します。

ダイレクトフォーカス：AFエリアやMFアシストを移動します。（➔AFエリアの移動操作：183、MFで撮る：191）
Fn：Fnボタンとして動作します。
MENU：MENU/SET として動作します。傾ける操作は無効になります。
OFF：ジョイスティックの操作を無効にします。

リモコンの動画ボタン

シャッターリモコン（別売）の動画ボタンにお好みの機能を登録できます。
（➔シャッターリモコン（別売）：652）

- 初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

カスタムメニュー(モニター/表示(写真))

▶:初期設定

オートレビュー

時間(写真)	ホールド/5秒～0.5秒/▶OFF
再生操作優先	ON/▶OFF

写真撮影後に撮影画像を表示します。

時間(写真):写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。
再生操作優先:[ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。
- 以下の機能を使用中は、[オートレビュー]は使用できません。
  – SH連写

常時プレビュー

ON/▶OFF	
設定	効果
	MFアシスト中のプレビュー

[A]/[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます。[M]モード時は同時にシャッタースピードも確認できます。

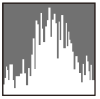
- [効果]で絞り効果、シャッタースピード効果の組み合わせを設定できます。
- [MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。
- フラッシュ使用時はシャッタースピード効果のプレビューが働きません。

ヒストグラム表示

ON／▶OFF

ヒストグラムを表示します。
[ON] にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。▲▼◀▶ で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

- 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。



(A) ← → (B)

(A) 暗い
(B) 明るい

- 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
  – 露出補正時
  – フラッシュが発光するとき
  – 低照度時など標準露出にならないとき
- 以下の機能を使用中は、[ヒストグラム表示] は働きません。
  – [WFM/ ベクトルスコープ表示]
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

写真グリッドライン表示

⊞／⊠／⊞／▶OFF
撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。 [⊞]にすると、▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。 • [⊞]は、撮影画面上でグリッドラインの[■]をドラッグしても位置を移動できます。

ライブビューブースト

MODE1／MODE2／▶OFF	
設定	P/A/S/M／▶M
暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。 **MODE1**：明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。 **MODE2**：明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。 • [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。 • 記録される画像に影響はありません。 • 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。 • 以下の場合、[ライブビューブースト]は働きません。 – 露出を合わせるとき（シャッターボタンを半押ししたときなど） – 動画撮影中 – [フィルター設定]使用中 – [常時プレビュー]のシャッタースピード効果を表示中	

ナイトモード

モニター	ON／▶OFF
LVF	ON／▶OFF

モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度の設定もできます。

1 ▲▼◀▶でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ

2 [DISP.]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する

- モニターを調整するときはモニターを、ファインダーを調整するときはファインダーを表示してください。

3 ◀▶で輝度を調整し、MENU/SET または を押す

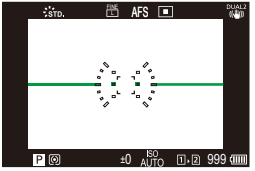
- HDMI出力する映像には、反映されません。

LVF/モニター表示設定

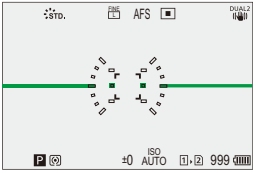
LVF表示設定	／▶
モニター表示設定	／▶

ライブビューを情報表示と重ならないように表示するか、全画面に表示するかを選択できます。

[ ]：適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。



[ ]：画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。



- 現在表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換える機能をFnボタンに登録できます。（➔ LVF/モニター表示設定：481）

モニター左右反転表示	▶AUTO／ON／OFF
モニター上下反転表示	▶AUTO／ON／OFF

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます。

モニター左右反転表示

[AUTO]：モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。
[ON]：常に左右を反転して表示します。
[OFF]：反転表示を行いません。

モニター上下反転表示

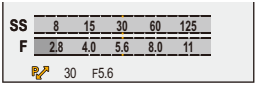
[AUTO]：モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。
[ON]：常に上下を反転して表示します。
[OFF]：反転表示を行いません。

- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。

露出メーター

ON／▶OFF

露出メーターを表示します。



- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 一定時間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。

焦点距離

▶ON／OFF

ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。

ハイライト表示

ON／▶OFF

オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

- 再生画面で[DISP.]ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(➔ 再生画面: 94)

オーバーレイ表示

ON／▶OFF	
設定	透過度
	画像選択
	電源OFF時解除
	シャッター操作時の表示

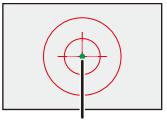
撮影済みの写真を撮影画面に重ねて表示します。

- [画像選択]で表示する写真を選んでください。◀▶で写真を選び、MENU/SET または ⊛ を押して決定します。
- [シャッター操作時の表示]を[OFF]にすると、シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、[オーバーレイ表示]を解除します。
- 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は働きません。
  – 動画撮影

手ブレ状態スコープ

ON／▶OFF

手ブレ状態を確認できるように、撮影画面に目安となる基準点(C)を表示します。



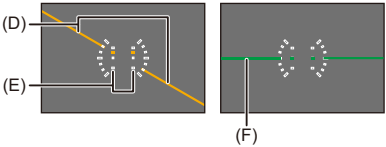
(C)

- 以下の場合は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
  – [手ブレ補正]の[動作設定]を[OFF]に設定時
  – レンズのO.I.S.スイッチが[OFF]のとき
- 以下の機能を使用中は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
  – 動画撮影
  – ハイレゾモード([手持ち撮影]を[OFF]に設定時)

水準器表示

▶ON／OFF

カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。



(D) 水平方向
(E) 垂直方向
(F) 緑色（傾きなし）

- 傾きが補正された状態でも、±1°程度の誤差が生じることがあります。
- カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。
- セットアップメニュー（モニター/表示）の[水準器調整]で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。（➔ 水準器調整: 549）

スポット輝度メーター

ON／▶OFF

被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。
（➔ スポット輝度メーター: 375）

ライブビュー境界線表示

ON／▶OFF

ライブビューの境界線を表示します。

撮影画面の遷移（モニター）

コントロールパネル	▶ON／OFF
消灯画面	▶ON／OFF
[DISP.] ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。 （➔ 撮影画面: 92）	

カスタムメニュー（モニター/表示（動画））

▶：初期設定

V-Logビューアシスト

LUTファイル読み込み	
LUT選択	
LUTビューアシスト（モニター）	ON／▶OFF
LUTビューアシスト（HDMI）	ON／▶OFF
LUTデータを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。 （➔V-Logビューアシスト：398）	

HLGビューアシスト

モニター	MODE1／▶MODE2／OFF
HDMI	▶AUTO／MODE1／MODE2／OFF
HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。 （➔HLGビューアシスト：402）	

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x／1.8x／1.5x／1.33x／1.30x／▶OFF
アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。 （➔アナモフィック デスクイーズ表示：405）

モノクロライブビュー

ON／▶OFF
撮影画面を白黒で表示できます。 • 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。 • [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。

センターマーカー表示

┼／┼／┼／┼／▶OFF
撮影画面の中心を示す[+]を表示します。マーカーの形状を変更できます。

セーフティーゾーンマーカー表示

□／[ ]／▶OFF		
設定	サイズ	95%
		90%
		80%
家庭用テレビで受像できる範囲の目安となる、セーフティーゾーンを撮影画面に表示します。		

フレーム表示

ON／▶OFF	
設定	フレーム横縦比
	フレーム色
	フレームマスク
設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。[フレーム横縦比]はカスタマイズもできます。 (➔ フレーム表示: 378)	

ゼブラパターン表示

ゼブラ 1／ゼブラ 2／ゼブラ 1+2／▶OFF	
設定	ゼブラ1
	ゼブラ2
基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 （➔ ゼブラパターン表示: 376）	

WFM/ ベクトルスコープ表示

WAVE／VECTOR／▶OFF
撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。 （➔ WFM/ ベクトルスコープ表示: 371）

カラーバー

SMPTE／EBU／ARIB
撮影画面にカラーバーを表示します。 （➔ カラーバー／テストトーン: 380）

動画優先表示

ON／▶OFF
[iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モード時に、撮影画面やコントロールパネルを、[🎥M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えます。再生画面も動画を優先した表示に切り換わります。 • 動画撮影できない設定にしているときは、[動画優先表示]が[OFF]に固定されます。 • 以下の機能を使用中は、[動画優先表示]は動画撮影中だけ働きます。 – インターバル撮影 – コマ撮りアニメ

動画記録中の赤枠表示

ON／▶OFF
撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

カスタムメニュー（IN/OUT）

▶：初期設定

撮影時HDMI出力

情報表示（➔カメラの情報表示をHDMI出力する：432）	ON／▶OFF
ダウンコンバート（➔HDMI出力の画質：425）	▶AUTO／C4K/4K／1080p／1080i／OFF
HDMI記録制御（➔外部レコーダーに制御情報を出力する：433）	ON／▶OFF
HDMI音声出力（➔音声をHDMI 出力する：434）	▶ON／OFF
ライブビュー拡大表示（➔HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示：434）	MODE1／MODE2／▶OFF
撮影中のHDMI出力を設定します。	

ファン動作モード

AUTO1／▶AUTO2／高速／標準／低速／OFF
ファンの動作を設定します。 **AUTO1**：カメラの温度に応じて、[低速]／[標準]を自動で切り換えます。カメラの温度上昇を抑えることを優先します。 **AUTO2**：カメラの温度に応じて、[OFF]／[低速]／[標準]を自動で切り換えます。 **高速**：高速で、常にファンが動作します。 **標準**：標準的な速度で、常にファンが動作します。 **低速**：低速で、常にファンが動作します。 **OFF**：ファンが動作しません。 • [OFF]は[iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モード時に設定できます。 • 以下の機能を使用中は、[低速]は設定できません。[低速]設定中に以下の機能を使用した場合は、[AUTO1]に切り換わります。 – 解像度がC4Kを超える[動画画質] – 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質] – フレームレートが60 fpsを超える[バリアブルフレームレート]

タリーランプ

前方タリーランプ	▶H／L／OFF
後方タリーランプ	H／▶L／OFF
動画撮影時のタリーランプの点灯方法と明るさを設定します。	

カスタムメニュー(レンズ/その他)

▶:初期設定

レンズ位置メモリー

ON/▶OFF
電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズーム対応の交換レンズを使用しているときは、ズーム位置も記憶します。

パワーズームレンズ

ステップズーム	ON/▶OFF
ズーム速度	写真:H/▶M/L
	動画:H/▶M/L
ズームリング操作	▶ON/OFF
パワーズーム(電動式ズーム)対応レンズ使用時のズーム動作を設定します。 (➔パワーズームレンズ:201)	

レンズFnボタン設定

▶フォーカスストップ/AFモード/自動認識設定/自動認識の対象/フォーカスリングロック/AE LOCK/AF LOCK/AF/AE LOCK/AF-ON/AF-ON:近側/AF-ON:遠側/フォーカスエリア選択/動画ライブビュー拡大表示/手ブレ補正/プレビュー/プレビュー(絞りのみ)/設定なし/設定なし(長押し無効)/デフォルトに戻す
交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録します。 • [フォーカスストップ]を設定したときは、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。

絞りリング設定

SMOOTH／▶1/3EV
絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます。 **SMOOTH**：絞り値を細かく設定できます。 **1/3EV**：絞り値を1/3 EV 刻みで設定できます。 • クリックレスの絞りリングに対応したレンズ（別売：H-X1025／H-X2550）を装着したときに使用できます。（2022年1月現在） • 写真撮影時に、絞りリングの位置を[A] 以外に合わせた場合に働きます。 • 絞りリングの位置を[A]に合わせた場合は、カメラ側の絞り値が有効になり、[1/3EV]と同じ設定になります。 • 動画撮影中は[SMOOTH] と同じ細かな設定になります。 • [SMOOTH] で設定するときは、絞り値の端数は画面に表示されません。

フォーカスリング制御

▶ノンリニア／リニア	
設定	90度～1080度（▶300度）／最大
フォーカスリングによるピントの移動量を設定します。（対応レンズ使用時） **ノンリニア**：フォーカスリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。 **リニア**：フォーカスリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。 • フォーカスクラッチ機構搭載のレンズ使用時は、レンズはAFに、カメラはMFに設定してください。 **設定**：[リニア]選択時、フォーカスリングの回転角度を設定します。 • 装着中のレンズで設定できない角度は表示されません。 • フォーカスリング制御に対応したレンズについての情報は、下記サポートサイトをご覧ください。 https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html	

レンズ情報

Lens1～Lens12（▶Lens1）
本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズ情報を登録します。 • 写真メニュー（その他（写真））の[手ブレ補正]の[レンズ情報]と連動しています。（➔ レンズ情報: 250）

レンズ情報確認表示

▶ON／OFF
本機との通信機能がないレンズを取り付けてカメラの電源を入れると、レンズ情報の確認メッセージを表示します。

動画の縦位置情報

▶ON／OFF
動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます。 **ON**：縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。 **OFF**：縦位置情報を記録しません。 • カメラの再生画面では、サムネイル表示でだけ縦向きに再生します。

セットアップメニュー

- セットアップメニュー（カード/ファイル）: 537
- セットアップメニュー（モニター/表示）: 546
- セットアップメニュー（IN/OUT）: 550
- セットアップメニュー（設定）: 555
- セットアップメニュー（その他）: 557

セットアップメニュー（カード/ファイル）

▶: 初期設定

フォーマット

スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)
カードをフォーマット(初期化)します。使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。 **CFexpressカードの物理フォーマット** CFexpressカードのフォーマット時に、物理フォーマットを行うか選択できます。カードの書き込み速度が低下してきた場合は、物理フォーマットの実行をお勧めします。 **1** [スロット1(CFexpress)]を選ぶ **2** [DISP.]ボタンを押して、[物理フォーマット]にチェックマークを入れる **3** [はい]を選ぶ • **フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。** • フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。 • フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。 • パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。 • カードに保存したカメラの設定情報を残してカードをフォーマットできます。(➔カメラ設定の保存/読み込み:556) • フォーマット時、[動画ファイル名]の設定によって、カードのボリュームラベルが変更されます。(➔動画ファイル名:540) – [写真と同じ(DCF準拠)]のとき:「LUMIX」 – [シネスタイル]のとき:[シネスタイルファイル設定]で設定したボリュームラベル

ダブルスロット機能

記録方法	▶ / /

カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。

(リレー記録):優先して記録するカードスロットを選択します。
[記録先スロット]:[1→2]/[2→1]
カードの容量がいっぱいになったら、もう一方のカードスロットのカードに続けて記録します。

- 優先して記録するカードを変更する機能をFnボタンに登録できます。(➔ 記録先スロット:482)

(バックアップ記録):2枚のカードに同じ画像を記録します。

(振り分け記録):画像の種類ごとに、記録するカードスロットを指定できます。
[JPEG記録先]/[RAW記録先]/[動画記録先]

- SDカードに記録できない[記録ファイル方式]または[動画画質]を設定しているときは、ダブルスロット機能は働きません。

リレー記録について

- 以下の動画は、別のカードに続けて記録できません。
  – [ループ記録(動画)]

バックアップ記録について

- 容量が同じカードを使用することをお勧めします。
  動画撮影時にカードのスピードクラスや容量が不足した場合は、両方のカード記録が停止します。
- 以下の動画は、バックアップ記録ができません。1枚のカードにだけ記録されます。
  – [ループ記録(動画)]
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のバックアップ記録はできません。
  – SD/SDHCメモリーカードとCFexpressカード

動画ファイル名

▶写真と同じ（DCF準拠）／シネスタイル

カードに動画を保存するときのフォルダー名とファイル名をシネスタイルに切り換えます。

写真と同じ（DCF準拠）：写真と同じ命名規則で動画ファイルを保存します。保存先はDCIMフォルダー内です。
シネスタイル：動画ファイルの命名規則をシネスタイルに切り換えます。保存先はPRIVATEフォルダー内になります。

[シネスタイル]に設定したときの命名規則
フォルダー名

001A A P A M
(1) (2)(3)(4)(5)(6)

(1) フォルダー番号（3桁、001～999）
(2) 「A」固定
(3) フレームレート
A：59.94p／B：50.00p／C：29.97p/59.94i／D：25.00p/50.00i／E：24.00p／F：23.98p／G：48.00p／H：47.95p／J：239.76p／K：200.00p／L：120.00p／M：119.88p／N：100.00p
(4) ビデオフォーマット
J：インターレース記録（MOV、LPCM）／P：プログレッシブ記録（MP4、AAC）／Q：プログレッシブ記録（MOV、LPCM）／Y：プログレッシブ記録（Apple ProRes、LPCM）
(5) 「A」固定
(6) 記録設定
リレー記録／振り分け記録時：
M：カードスロット1／M：カードスロット2
バックアップ記録時：
M：カードスロット1／T：カードスロット2

ファイル名

A001C001_221201_E125.MOV

(7) (8) (9) (10) (11) (12)

(7) カメラインデックス（1桁、A~Z）
(8) カード番号（3桁、001~999）
(9) クリップ番号（4桁、C001~C999）
(10) 年月日（YYMMDD）
(11) ハッシュ値（4桁）
(12) 拡張子

- [シネスタイル]に設定するには、容量が48 GB以上のカードを使用してください。
- 1つのフォルダーに999ファイルまで保存できます。
- クリップ番号は撮影順にC001～C999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、クリップ番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
  – クリップ番号が999に達したとき
  – 上記（3）、（4）、（6）の設定が変更されたとき
- フォルダー番号が999に達したときは、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- 以下のファイルは[シネスタイル]を選択しても、DCIMフォルダー内に保存されます。
  – [インターバル撮影]／[コマ撮りアニメ]から作成した動画
  – 動画から切り出した写真

シネスタイルファイル設定

▶カメラインデックス／次のカード番号

[動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、カードのボリュームラベルを設定できます。ボリュームラベルは、下記で設定した[カメラインデックス]+[次のカード番号]になります。

カメラインデックス：ボリュームラベルのカメラインデックスをA～Zの範囲で設定できます。
次のカード番号：ボリュームラベルのカード番号を001~999の範囲で設定できます。

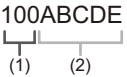
- ボリュームラベルは以下のタイミングで変更されます。
  - カードをフォーマットしたとき
  - 動画を撮影したとき
- 文字の入力方法（➔ 文字の入力：105）

フォルダー/ファイル設定

フォルダー選択／新規フォルダー作成／ファイル名設定

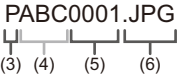
DCIMフォルダー内の画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名



(1) フォルダー番号（3桁、100～999）
(2) 任意の5桁

ファイル名



(3) 色空間（[P]：sRGB、[_]：AdobeRGB）
(4) 任意の3桁
(5) ファイル番号（4桁、0001～9999）
(6) 拡張子

フォルダー選択：画像を保存するフォルダーを選択します。

新規フォルダー作成：フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。
- カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。

[OK]：
任意の5桁（上記(2)）は変更せずに、フォルダー番号を繰り上げます。
[フォルダー名変更]：
任意の5桁（上記(2)）を変更します。フォルダー番号も繰り上がります。

ファイル名設定

[フォルダー番号連動]:
任意の3桁(上記(4))をフォルダー番号(上記(1))にします。

[ユーザー設定]:
任意の3桁(上記(4))を変更します。

- 文字の入力画面が表示されたら、「文字の入力」の手順に従って文字入力してください。(➔ 文字の入力: 105)
  設定可能な文字:英字(大文字)、数字、[_]
- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
  – フォルダー内のファイル数が1000に達したとき
  – ファイル番号が9999に達したとき
- フォルダー番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- [ダブルスロット機能]の[バックアップ記録]を使用中は、[フォルダー選択]を設定できません。

ファイル番号リセット

スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)
DCIMフォルダー内のフォルダー番号を更新し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号が999になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。 • **フォルダー番号を100にリセットするには：** **1** [フォーマット]を実行し、カードをフォーマットする（➔ フォーマット: 538） **2** [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする **3** フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ • PRIVATEフォルダー内のフォルダー番号とファイル番号を001にリセットするには、カードをフォーマットしてください。（➔ フォーマット: 538）

著作権情報

撮影者	ON／▶OFF／設定
著作権者	ON／▶OFF／設定
著作権情報の表示	
登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。 • [撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105） • 入力できる文字数は最大63文字です。 • 登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。	

セットアップメニュー（モニター/表示）

▶：初期設定

エコモード

スリープモード	10分／▶5分／2分／1分／OFF
スリープモード（Wi-Fi）	▶ON／OFF
LVF/モニター自動OFF	▶5分／2分／1分／OFF
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間
	動作する条件
一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ（省電力）状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。 （➔ エコモード：63）	

動画撮影時の制限緩和

動画記録停止温度	高／▶標準

動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定します。[高]に設定すると、カメラの温度が上昇しても撮影を続けます。

動画記録停止温度

[高]:カメラの温度上昇により、撮影を停止する温度を高めに設定します。

- より長時間の撮影が可能になりますが、カメラ本体が熱くなります。長時間、直接触れていると低温やけどの原因になるため、三脚などをご使用ください。

[標準]:カメラの温度が上がると撮影を停止します。

- 手持ち撮影のときは、[標準]に設定してください。

モニター表示速度

30fps／▶60fps

写真撮影時におけるモニターのライブビュー表示速度を設定します。

30fps：電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps：動きを滑らかに表示できます。

- 以下の機能を使用中は、[モニター表示速度]は働きません。
  – HDMI出力

モニター調整／LVF調整

明るさ／コントラスト／彩度／赤み／青み

モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。

1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する
2 MENU/SET または を押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。

モニター輝度／LVF輝度

▶AUTO／–3～+3

モニター／ファインダーの輝度を調整します。

AUTO：周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。

- モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。
- [AUTO]または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。
- [ナイトモード]使用中は、[モニター輝度]／[LVF輝度]は使用できません。

アイセンサー

感度	▶強／弱
アイセンサーの感度を設定します。	
LVF/モニター切換	▶LVF/MON AUTO（ファインダー/モニター自動切換）／LVF（ファインダー表示）／MON（モニター表示）
ファインダー表示／モニター表示の切り換えを設定します。 • [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。	

水準器調整

調整
カメラを水平な状態にし、MENU/SET または を押してください。水準器が調整されます。
調整値リセット
水準器の調整値を初期設定に戻します。

セットアップメニュー（IN/OUT）

▶：初期設定

電子音

電子音音量	（大）／▶（小）／（OFF）
合焦音音量	（大）／▶（小）／（OFF）
合焦音音色	▶❶（パターン1）／❷（パターン2）／❸（パターン3）
電子シャッター音音量	（大）／▶（小）／（OFF）
電子シャッター音音色	▶❶（パターン1）／❷（パターン2）／❸（パターン3）
電子音や合焦音、電子シャッター音を設定します。	

ヘッドホン音量

0～LEVEL15（▶LEVEL3）
ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。 （➔ヘッドホンの音量の調整：354） • 動画メニュー（音）の[ヘッドホン音量]と連動します。

音声モニタチャンネル(再生時)

▶撮影連動／CH1/CH2／CH3/CH4／CH1+CH2/CH3+CH4／CH1／CH2／CH3／CH4／CH1+CH2／CH3+CH4／CH1+CH2+CH3+CH4
動画再生時に本体スピーカーやヘッドホンに出力する音声チャンネルを選択します。 出力される音声について(➔ 音声モニタチャンネル: 354) **撮影連動**:動画メニュー(音)の[音声モニタチャンネル]と同じ設定で音声を出力します。 • 動画再生中は設定を変更できません。 • カメラのスピーカーからはLチャンネルとRチャンネルをミックスした音声を出力します。

Wi-Fi

Wi-Fi機能(➔ スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続): 585、Wi-Fi接続: 615)
Wi-Fi設定(➔Wi-Fi設定メニュー: 625)

Bluetooth

Bluetooth（➔ スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）: 580）
スマートフォンに画像を送る（➔ メニュー操作で簡単に転送する: 591）
リモート起動（➔ リモート起動: 605）
スリープモードからの復帰動作（➔[スリープモード]からの復帰時間を短くする: 598）
自動画像転送（➔ 自動画像転送: 601）
位置情報記録（➔ 位置情報記録: 604）
自動時刻合わせ（➔ 自動時刻合わせ: 606）
Wi-Fiネットワーク設定
Wi-Fiネットワーク設定：Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。Wi-Fi接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。

USB

USBモード	▶接続時に選択／PC(Storage)／PC(Tether)／PictBridge(PTP)
USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。 **接続時に選択**：機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。（➔USB端子: 629） **PC(Storage)**：パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。（➔ パソコンに画像を取り込む: 634） **PC(Tether)**：「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。（➔ テザー撮影: 641） **PictBridge(PTP)**：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。（➔ プリントする: 644）	
USB給電	▶ON／OFF
USB接続ケーブルから給電します。 • ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。	

HDMI接続設定

出力解像度(再生時)	▶AUTO／C4K/120p／C4K/100p／C4K/60p／C4K/50p／ C4K/30p／C4K/25p／C4K/24p／4K/120p／4K/100p／4K/60p／4K/50p／4K/30p／4K/25p／4K/24p／1080/120p／1080/100p／1080p／1080i／720p／576p／480p
再生時のHDMI出力解像度を設定します。 **AUTO**:接続した外部機器に合わせた解像度で出力します。写真再生時は最大8Kの解像度で出力します。 • [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。 • [AUTO]に設定して映像が外部機器に出ない場合は、外部機器が表示できる[AUTO]以外の設定に切り換えてください。(外部機器の取扱説明書もお読みください) • 接続する外部機器によっては、動画が再生できない場合があります。	
LUTビューアシスト(HDMI)	ON／▶OFF
[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した動画を再生するときに、LUT(ルックアップテーブル)データを適用した映像をHDMI出力します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[V-Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(HDMI)]と連動しています。 (➔V-Logビューアシスト:398)	
HLGビューアシスト(HDMI)	▶AUTO／MODE1／MODE2／OFF
HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]と連動しています。 (➔HLGビューアシスト:402)	
ビエラリンク	ON／▶OFF
HDMIケーブルを使ってカメラをビエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 (➔ビエラリンク(HDMI)を使う:632)	

画像背景色(再生時)	■／▶■
外部機器に出力する際に画像の上下や左右に付く帯の色を設定します。 • 出力先画面の焼き付き防止のため、[■]に設定することをお勧めします。	
写真出力輝度レベル	0-255／▶16-255
外部機器に写真を出力するときの輝度レベルを設定します。	

電源／NETWORKランプ

▶ON／OFF
電源表示ランプとNETWORK接続ランプを点灯します。

セットアップメニュー（設定）

カスタムモード登録

C1／C2／C3／C4-1～C4-10
現在のカメラの設定内容を登録できます。 （➔ カスタムモードへの登録：495）

カスタムモード内容の呼出

C1／C2／C3／C4-1～C4-10
登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。 （➔ 設定内容の呼び出し：499）

カスタムモード設定

カスタムモード表示の制限
名称変更
登録内容の呼出タイミング
カスタムモードの呼出範囲
カスタムモードの使いやすさの設定をします。 （➔ カスタムモードの詳細な設定：497）

カメラ設定の保存/読み込み

保存／読み込み／消去／カードフォーマット時に保持

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。

保存：カメラの設定情報をカードに保存します。
- 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。
- [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。

[OK]：
画面に表示されたファイル名で保存します。
[ファイル名変更]：
ファイル名を変更して保存します。
- 設定可能な文字：英字（大文字）、数字、8文字まで
- 文字の入力方法（➔ 文字の入力：105）

読み込み：カード内の設定情報を読み込んで、カメラにコピーします。

消去：カード内の設定情報を消去します。

カードフォーマット時に保持：カードをフォーマットする際に、カードに保存したカメラの設定情報を残してフォーマットできます。

- 設定情報を読み込むことができるのは、同じ機種だけです。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。
- 設定情報の保存が可能な機能の一覧（➔ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧：719）

設定リセット

カメラの設定を初期設定に戻します。（➔ 設定リセット：104）

セットアップメニュー(その他)

▶:初期設定

時計設定

日付や時刻を設定します。(➔ 時計の設定 (初めて電源を入れるとき): 76)

タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

◀▶ でタイムゾーンを選び、MENU/SET または を押して決定してください。

(A) 現在日時
(B) GMT(グリニッジ標準時)との時差

- サマータイム[▲☀]](夏時間)を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲ を押してください。

システム周波数

▶59.94Hz(NTSC) ／ 50.00Hz(PAL) ／ 24.00Hz(CINEMA)

本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。
(➔ システム周波数: 132)

ピクセルリフレッシュ

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体にない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

センサークリーニング

撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- 特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

言語設定

▶[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、[ ]のアイコンが付くメニューを選び、言語を設定し直してください。

バージョン表示

ファームウェアアップデート／ソフト情報
カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。 **ファームウェアアップデート**：アップデートを実行します。 **1** 「カメラ／レンズのファームウェアについて」のサイトからファームウェアをダウンロードする（➔ カメラ／レンズのファームウェアについて：26） **2** カードのルートディレクトリー（パソコンでカードを開いたときのフォルダー）にファームウェアを保存し、カメラに挿入する **3** [ファームウェアアップデート]を選んで MENU/SET または を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する **ソフト情報**：カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。 • XLRマイクロホンアダプターなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。

CLUB Panasonic登録

URL表示／QRコード表示
CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。 （➔「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします：768）

認証情報

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

マイメニュー

- マイメニューへの登録: 560
- マイメニューの編集: 561

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。
登録したメニューは[1]～[3]から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

1 [登録]を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [登録]

2 登録する

- 登録するメニューを選び、MENU/SET または を押します。

❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

MENU/SET ➡ [👤] ➡ [👤1] ／ [👤2] ／ [👤3] ➡ 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

MENU/SET ➡ [👤] ➡ [✎] を選ぶ

登録
マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。

並べ換え
マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。

消去
マイメニューに登録したメニューを消去します。
[項目消去]：メニューを選び、消去します。
[全消去]：マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。

マイメニューから表示
メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。
[ON]：マイメニューを表示します。
[OFF]：最後に使ったメニューを表示します。

メニュー一覧

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。本章では、メニューの全項目を一覧形式で紹介しています。

- メニューの操作方法について（➔ メニューの操作方法: 99）
- 以下の一覧資料は、「資料」の章をお読みください。
  - 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 719
  - 各撮影モードで設定できる機能一覧: 741

- 写真メニュー: 563
- 動画メニュー: 565
- カスタムメニュー: 568
- セットアップメニュー: 572
- マイメニュー: 574
- 再生メニュー: 575

写真メニュー

:写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

画質

- フォトスタイル（➔ フォトスタイル: 290）
- 測光モード（➔ 測光モード: 252）
- 画像横縦比（➔ 画像横縦比: 120）
- 写真画質（➔ 写真画質: 123）
- 画像サイズ（➔ 画像サイズ: 121）
- ハイレゾモード設定（➔ ハイレゾモード: 211）
- 長秒ノイズ除去（➔ 長秒ノイズ除去: 242）
- ISO感度設定（写真）（➔ ISO感度設定（写真）: 281）
- 下限シャッター速度（➔ 下限シャッター速度: 243）
- 周辺光量補正（➔ 周辺光量補正: 273）
- 回折補正（➔ 回折補正: 274）
- フィルター設定（➔ フィルター設定: 297）

フォーカス

- 自動認識設定（➔ 自動認識: 167）
- 自動認識の対象（➔ 自動認識: 167）
- AFカスタム設定（写真）（➔ AFカスタム設定（写真）: 158）
- フォーカスリミッター（➔ フォーカスリミッター: 160）
- AF補助光（➔ AF補助光: 162）
- ピーキング（➔ ピーキング: 197）
- 1点AF枠の移動速度（➔ 1点AF枠の移動速度: 163）

フラッシュ

- フラッシュモード（➔ フラッシュモード: 308）
- 発光モード（➔ 発光モード、マニュアル発光量設定: 310）
- フラッシュ光量調整（➔ フラッシュ光量調整: 312）
- フラッシュシンクロ（➔ フラッシュシンクロ: 313）
- マニュアル発光量設定（➔ 発光モード、マニュアル発光量設定: 310）
- 露出補正連動（➔ 露出補正連動: 314）
- ワイヤレスモード（➔ ワイヤレスフラッシュ撮影: 315）
- ワイヤレスチャンネル（➔ ワイヤレスフラッシュ撮影: 315）
- ワイヤレスFP（➔ ワイヤレスFP: 320）
- ワイヤレス通信光量（➔ ワイヤレス通信光量: 320）
- ワイヤレス設定（➔ 設定項目（ワイヤレス設定）: 319）

その他（写真）

- ブラケット（➔ ブラケット撮影: 230）
- サイレントモード（➔ サイレントモード: 237）
- 手ブレ補正（➔ 手ブレ補正: 245）
- 連写設定（➔ 連写する: 205）
- シャッター方式（➔ シャッター方式: 239）
- シャッターディレイ（➔ シャッターディレイ: 244）
- EXテレコン（写真）（➔ EXテレコン（写真）: 200）
- インターバル / コマ撮り撮影（➔ インターバル撮影: 216／コマ撮りアニメ撮影: 222）
- セルフタイマー（➔ セルフタイマー撮影: 227）

動画メニュー

:写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

画質

- 動画露出設定（➔ クリエイティブ動画で撮る: 324）
- フォトスタイル（➔ フォトスタイル: 290）
- 測光モード（➔ 測光モード: 252）
- ダイナミックレンジブースト（➔ ダイナミックレンジブースト: 338）
- ISO感度設定（動画）（➔ ISO感度設定（動画）: 337）
- シンクロスキャン（➔ シンクロスキャン: 407）
- フリッカー軽減（動画）（➔ フリッカー軽減（動画）: 368）
- マスターペデスタル（➔ マスターペデスタル: 334）
- SS/ゲイン操作（➔ SS/ゲイン操作: 369）
- 周辺光量補正（➔ 周辺光量補正: 273）
- 回折補正（➔ 回折補正: 274）
- フィルター設定（➔ フィルター設定: 297）

記録

- 記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式: 134）
- 動画撮影範囲（➔ 動画撮影範囲: 149）
- 動画画質（➔ 動画画質: 135）
- 動画画質（マイリスト）（➔ マイリスト登録: 147）
- バリアブルフレームレート（➔ バリアブルフレームレート: 383）
- タイムコード設定（➔ タイムコードを設定する: 356）
- 輝度レベル設定（➔ 輝度レベル設定: 333）

FOCUS フォーカス

- 自動認識設定（➔ 自動認識: 167）
- 自動認識の対象（➔ 自動認識: 167）
- AFカスタム設定（動画）（➔ AFカスタム設定（動画）: 330）
- フォーカスリミッター（➔ フォーカスリミッター: 160）
- AF連続動作（➔ AF連続動作: 328）
- AF補助光（➔ AF補助光: 162）
- ピーキング（➔ ピーキング: 197）
- 1点AF枠の移動速度（➔ 1点AF枠の移動速度: 163）

音

- 録音レベル表示（➔ 録音レベル表示: 340）
- 音声入力ミュート（➔ 音声入力ミュート: 340）
- 録音ゲイン切換（➔ 録音ゲイン切換: 341）
- 録音レベル設定（➔ 録音レベル設定: 342）
- 録音音質（➔ 録音音質: 343）
- 録音レベルリミッター（➔ 録音レベルリミッター: 344）
- 風音キャンセラー（➔ 風音キャンセラー: 344）
- 風音低減（➔ 風雑音の低減: 349）
- レンズ動作音低減（➔ レンズ動作音低減: 345）
- マイク端子（➔ 外部マイク（別売）: 347）
- 専用マイク設定（➔ 収音範囲の設定（別売：DMW-MS2）: 349）
- 4chマイク入力（➔4chマイク入力: 352）
- XLRマイクアダプター設定（➔XLRマイクロホンアダプター（別売）: 350）
- 音声モニタリング（➔ 音声の出力方法の切り換え: 353）
- ヘッドホン音量（➔ ヘッドホンの音量の調整: 354）
- 音声モニタチャンネル（➔ 音声モニタチャンネル: 354）

その他（動画）

- サイレントモード（➔ サイレントモード: 237）
- 手ブレ補正（➔ 手ブレ補正: 245）
- セルフタイマー設定（➔ セルフタイマー撮影: 227）
- フォーカストランジション（➔ フォーカストランジション: 392）
- ループ記録（動画）（➔ ループ記録（動画）: 409）
- 動画分割記録（➔ 動画分割記録: 411）

カスタムメニュー

画質（➔ カスタムメニュー（画質）: 501）

- フォトスタイル設定（➔ フォトスタイル設定: 501）
- ISO感度ステップ（➔ ISO感度ステップ: 502）
- 拡張ISO感度（➔ 拡張ISO感度: 502）
- 基準露出レベル調節（➔ 基準露出レベル調節: 502）
- マルチ測光時の顔優先（➔ マルチ測光時の顔優先: 502）
- 色空間（➔ 色空間: 503）
- 露出補正リセット（➔ 露出補正リセット: 503）
- P/A/S/M動画の露出自動制御（➔ P/A/S/M動画の露出自動制御: 503）
- クリエイティブ動画の設定値（➔ クリエイティブ動画の設定値: 504）

AF フォーカス/レリーズ（➔ カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）: 505）

- フォーカス/レリーズ優先（➔ フォーカス/レリーズ優先: 505）
- 縦/横位置フォーカス切換（➔ 縦/横位置フォーカス切換: 505）
- AF/AEロック維持（➔ AF/AEロック維持: 505）
- AF+MF（➔ AF+MF: 506）
- MFアシスト（➔ MFアシスト: 506）
- MFガイド（➔ MFガイド: 507）
- フォーカスリングロック（➔ フォーカスリングロック: 507）
- AFモード表示の制限（➔ AFモード表示の制限: 507）
- ピンポイントAF設定（➔ ピンポイントAF設定: 508）
- シャッター半押しAF（➔ シャッター半押しAF: 508）
- 合焦時の瞳認識表示（➔ 合焦時の瞳認識表示: 508）
- シャッター半押しレリーズ（➔ シャッター半押しレリーズ: 508）
- シャッター全押し動画記録（➔ シャッター全押し動画記録: 508）
- クイックAF（➔ クイックAF: 509）
- アイセンサーAF（➔ アイセンサーAF: 509）
- フォーカス枠のループ移動（➔ フォーカス枠のループ移動: 509）
- 動画ライブビュー拡大表示設定（➔ 動画ライブビュー拡大表示設定: 510）

操作（➔ カスタムメニュー（操作）: 511）

- Q.MENU設定（➔ Q.MENU設定: 511）
- タッチ設定（➔ タッチ設定: 511）
- ロックレバー設定（➔ ロックレバー設定: 512）
- Fnボタン設定（➔ Fnボタン設定: 514）
- WB/ISO/露出補正ボタン（➔ WB/ISO/露出補正ボタン: 514）
- ISO感度画面の操作（➔ ISO感度画面の操作: 514）
- 露出補正画面の操作（➔ 露出補正画面の操作: 515）
- ダイヤル設定（➔ ダイヤル設定: 515）
- ジョイスティック設定（➔ ジョイスティック設定: 517）
- リモコンの動画ボタン（➔ リモコンの動画ボタン: 517）

モニター/表示（写真）（➔ カスタムメニュー（モニター/表示（写真））: 518）

- オートレビュー（➔ オートレビュー: 518）
- 常時プレビュー（➔ 常時プレビュー: 518）
- ヒストグラム表示（➔ ヒストグラム表示: 519）
- 写真グリッドライン表示（➔ 写真グリッドライン表示: 520）
- ライブビューブースト（➔ ライブビューブースト: 520）
- ナイトモード（➔ ナイトモード: 521）
- LVF/モニター表示設定（➔ LVF/モニター表示設定: 522）
- 露出メーター（➔ 露出メーター: 524）
- 焦点距離（➔ 焦点距離: 524）
- ハイライト表示（➔ ハイライト表示: 524）
- オーバーレイ表示（➔ オーバーレイ表示: 525）
- 手ブレ状態スコープ（➔ 手ブレ状態スコープ: 525）
- 水準器表示（➔ 水準器表示: 526）
- スポット輝度メーター（➔ スポット輝度メーター: 526）
- ライブビュー境界線表示（➔ ライブビュー境界線表示: 526）
- 撮影画面の遷移（モニター）（➔ 撮影画面の遷移（モニター）: 527）

モニター/表示(動画)(➔カスタムメニュー(モニター/表示(動画)):528)

- V-Logビューアシスト(➔V-Logビューアシスト:528)
- HLGビューアシスト(➔HLGビューアシスト:528)
- アナモフィック デスクイーズ表示(➔アナモフィック デスクイーズ表示:528)
- モノクロライブビュー(➔モノクロライブビュー:529)
- センターマーカー表示(➔センターマーカー表示:529)
- セーフティーゾーンマーカー表示(➔セーフティーゾーンマーカー表示:529)
- フレーム表示(➔フレーム表示:529)
- ゼブラパターン表示(➔ゼブラパターン表示:530)
- WFM/ ベクトルスコープ表示(➔WFM/ ベクトルスコープ表示:530)
- カラーバー(➔カラーバー:530)
- 動画優先表示(➔動画優先表示:531)
- 動画記録中の赤枠表示(➔動画記録中の赤枠表示:531)

IN/OUT(➔カスタムメニュー(IN/OUT):532)

- 撮影時HDMI出力(➔撮影時HDMI出力:532)
- ファン動作モード(➔ファン動作モード:533)
- タリーランプ(➔タリーランプ:533)

レンズ/その他(➔カスタムメニュー(レンズ/その他):534)

- レンズ位置メモリー(➔レンズ位置メモリー:534)
- パワーズームレンズ(➔パワーズームレンズ:534)
- レンズFnボタン設定(➔レンズFnボタン設定:534)
- 絞りリング設定(➔絞りリング設定:535)
- フォーカスリング制御(➔フォーカスリング制御:535)
- レンズ情報(➔レンズ情報:536)
- レンズ情報確認表示(➔レンズ情報確認表示:536)
- 動画の縦位置情報(➔動画の縦位置情報:536)

セットアップメニュー

カード/ファイル（➔ セットアップメニュー（カード/ファイル）: 537）

- フォーマット（➔ フォーマット: 538）
- ダブルスロット機能（➔ ダブルスロット機能: 539）
- 動画ファイル名（➔ 動画ファイル名: 540）
- シネスタイルファイル設定（➔ シネスタイルファイル設定: 542）
- フォルダー/ファイル設定（➔ フォルダー/ファイル設定: 543）
- ファイル番号リセット（➔ ファイル番号リセット: 545）
- 著作権情報（➔ 著作権情報: 545）

モニター/表示（➔ セットアップメニュー（モニター/表示）: 546）

- エコモード（➔ エコモード: 546）
- 動画撮影時の制限緩和（➔ 動画撮影時の制限緩和: 547）
- モニター表示速度（➔ モニター表示速度: 548）
- モニター調整／LVF調整（➔ モニター調整／LVF調整: 548）
- モニター輝度／LVF輝度（➔ モニター輝度／LVF輝度: 548）
- アイセンサー（➔ アイセンサー: 549）
- 水準器調整（➔ 水準器調整: 549）

IN/OUT（➔ セットアップメニュー（IN/OUT）: 550）

- 電子音（➔ 電子音: 550）
- ヘッドホン音量（➔ ヘッドホン音量: 550）
- 音声モニタチャンネル（再生時）（➔ 音声モニタチャンネル（再生時）: 551）
- Wi-Fi（➔ Wi-Fi: 551）
- Bluetooth（➔ Bluetooth: 552）
- USB（➔ USB: 552）
- HDMI接続設定（➔ HDMI接続設定: 553）
- 電源／NETWORKランプ（➔ 電源／NETWORKランプ: 554）

設定（➔ セットアップメニュー（設定）: 555）

- カスタムモード登録（➔ カスタムモード登録: 555）
- カスタムモード内容の呼出（➔ カスタムモード内容の呼出: 555）
- カスタムモード設定（➔ カスタムモード設定: 555）
- カメラ設定の保存/読み込み（➔ カメラ設定の保存/読み込み: 556）
- 設定リセット（➔ 設定リセット: 556）

その他（➔ セットアップメニュー（その他）: 557）

- 時計設定（➔ 時計設定: 557）
- タイムゾーン（➔ タイムゾーン: 557）
- システム周波数（➔ システム周波数: 557）
- ピクセルリフレッシュ（➔ ピクセルリフレッシュ: 558）
- センサークリーニング（➔ センサークリーニング: 558）
- 言語設定（➔ 言語設定: 558）
- バージョン表示（➔ バージョン表示: 559）
- CLUB Panasonic登録（➔ CLUB Panasonic登録: 559）
- 認証情報（➔ 認証情報: 559）

マイメニュー

1 ページ 1（➔ マイメニュー: 560）

2 ページ 2（➔ マイメニュー: 560）

3 ページ 3（➔ マイメニュー: 560）

マイメニュー編集（➔ マイメニューの編集: 561）

- 登録
- 並べ換え
- 消去
- マイメニューから表示

再生メニュー

表示方法（➔ 再生メニュー（表示方法）: 463）

- 再生モード（➔ 再生モード: 463）
- スライドショー（➔ スライドショー: 463）
- 縦位置自動回転（➔ 縦位置自動回転: 464）
- 画像表示順（➔ 画像表示順: 464）
- AF位置から拡大（➔ AF位置から拡大: 464）
- LUTビューアシスト（モニター）（➔ LUTビューアシスト（モニター）: 464）
- HLGビューアシスト（モニター）（➔ HLGビューアシスト（モニター）: 465）
- アナモフィック デスクイーズ表示（➔ アナモフィック デスクイーズ表示: 465）
- 動画再生後の動作（➔ 動画再生後の動作: 465）

画像の加工（➔ 再生メニュー（画像の加工）: 466）

- RAW現像（➔ RAW現像: 466）
- インターバル動画作成（➔ インターバル動画作成: 466）
- コマ撮りアニメ作成（➔ コマ撮りアニメ作成: 466）

情報の付与・削除（➔ 再生メニュー（情報の付与・削除）: 467）

- プロテクト（➔ プロテクト: 467）
- レーティング（➔ レーティング: 467）

画像の編集（➔ 再生メニュー（画像の編集）: 468）

- リサイズ（縮小）（➔ リサイズ（縮小）: 468）
- 画像回転（➔ 画像回転: 469）
- 動画分割（➔ 動画分割: 469）
- 画像コピー（➔ 画像コピー: 469）

その他（➔ 再生メニュー（その他）: 471）

- 消去確認画面（➔ 消去確認画面: 471）
- 全画像消去（➔ 全画像消去: 471）

Wi-Fi／Bluetooth

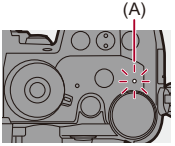
本章では、カメラのWi-Fi®／Bluetooth®機能について説明します。

- 本書ではスマートフォンとタブレットを併せて**スマートフォン**と表記します。

- スマートフォンと接続する: 578
- スマートフォンでカメラを操作する: 592
- カメラから画像を送る: 608
- Wi-Fi接続: 615
- 送信設定、画像の選択: 623
- Wi-Fi設定メニュー: 625

❖ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認

ランプ(青色)	モニター	動作
点灯		Wi-Fi機能をオンに設定しているとき、または接続中
		Bluetooth機能をオンに設定しているとき、または接続中
点滅		カメラ操作による画像データ送信時



(A) NETWORK接続ランプ

- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

- NETWORK接続ランプが点灯しないように設定できます:
(➔ 電源／NETWORKランプ: 554)

スマートフォンと接続する

- 「LUMIX Sync」のインストール: 579
- スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）: 580
- スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続）: 585
- カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 590

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」（以降は「LUMIX Sync」と表記）をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。

「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社が提供するスマートフォン用アプリケーションです。

対応OS
Android™：Android 7以上
iOS：iOS 12以上

1 スマートフォンをネットワークに接続する

2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ

3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix sync」と入力する

4 「Panasonic LUMIX Sync」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2022年1月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/dsc/

スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）

簡単な接続設定（ペアリング）で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定をすると、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
  2回目以降の接続について（➔ ペアリング済みスマートフォンとの接続: 583）

対応スマートフォン

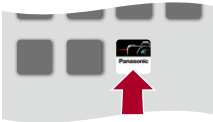
Android™：Android 7以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載（Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く）

iOS：iOS 12以上

- **あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。**

1 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 機器（カメラ）登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。



- メッセージを閉じた場合は、[?]を選び、[カメラの登録（ペアリング）]からカメラを登録してください。

2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

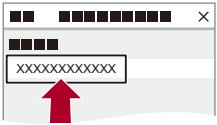
3 カメラをBluetoothのペアリング待機状態にする

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth] ➡ [設定] ➡ [ペアリング]
- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名(A)が表示されます。

(A)

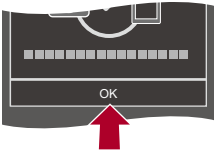
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK]を選ぶ

- カメラとスマートフォンがBluetooth接続されます。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[ ]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[ ]が半透明で表示されます。
- スマートフォンは16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth] ➡ [OFF]を選ぶ

- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリング済みスマートフォンとの接続

ペアリング済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

1 カメラのBluetooth機能を有効にする
- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth] ➡ [ON]

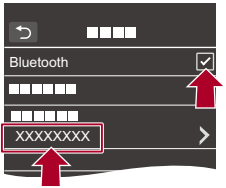
2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する
- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

3 [ ]を選ぶ

4 [Bluetooth設定]を選ぶ

5 Bluetoothをオンにする

6 [登録済みカメラ]の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

❖ ペアリングの解除

1 カメラのペアリング設定を解除する

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth] ➡ [設定] ➡ [解除]

2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ

- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー（設定）の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続）

スマートフォンをWi-Fiで接続します。初期設定では、パスワードを入力せずに、簡単にスマートフォンと接続できます。パスワード認証を使って、セキュリティーを強化して接続することもできます。

1 カメラをWi-Fiの接続待機状態にする

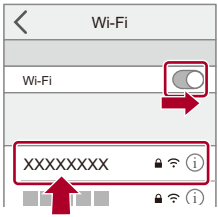
- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [ ] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [新規に接続する] ➡ [スマートフォンとつないで使う]
- 画面にカメラのSSID(B)が表示されます。

• [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。（➔Fnボタン: 473）

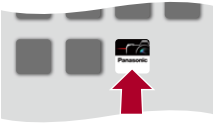
(B)

2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をオンにする

3 カメラに表示されたSSIDを選ぶ



4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する



5 （初回接続時）カメラに表示される機器名称を確認して［はい］を選ぶ

- 実際に接続したい機器とは別の機器が表示されている場合でも、［はい］を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別のWi-Fi接続機器がある場合などは、QRコードまたは手動入力によるパスワード認証での接続をお勧めします。（➔ パスワード認証を使って接続する：587）

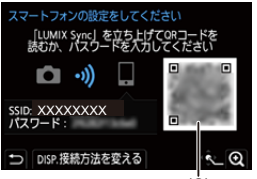
❖ パスワード認証を使って接続する

QRコードまたは手動入力によるパスワード認証を使うと、Wi-Fi接続のセキュリティーを強化できます。

QRコードを読み取って接続する

1 カメラの[Wi-Fiパスワード]を[ON]にする
- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi設定] ➡ [Wi-Fiパスワード] ➡ [ON]

2 QRコード(C)を表示する
- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [新規に接続する] ➡ [スマートフォンとつないで使う]
- [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)
- MENU/SET または を押すと、QRコードが拡大表示されます。



(C)

3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する
- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

4 [ ]を選ぶ

5 [Wi-Fi接続]を選ぶ

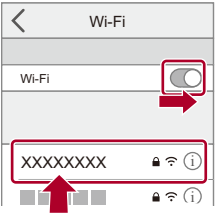
6 [QRコード]を選ぶ

7 カメラの画面に表示されているQRコードを「LUMIX Sync」で読み取る
- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

パスワードを手動入力して接続する

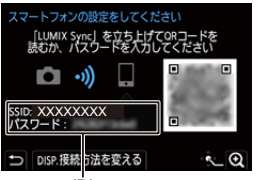
1 「QRコードを読み取って接続する」手順**2**の画面を表示する（➔QRコードを読み取って接続する：587）

2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする



3 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSID(D)を選ぶ

4 （初回接続時）カメラに表示されたパスワード(D)を入力する



(D)

5 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ 初期設定以外の接続方法

[ネットワーク経由]や[直接接続]の[WPS接続]で接続する場合は、以下の操作をしてください。

1 カメラの接続方法の設定画面を表示する
- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [新規に接続する] ➡ [スマートフォンとつないで使う]

2 [DISP.]ボタンを押す

ネットワーク経由で接続する

1 [ネットワーク経由]を選び、MENU/SET または 🎥 を押す
- 「ネットワーク経由」の接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。(➔ ネットワーク経由: 616)

2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする

3 カメラが接続している無線アクセスポイントに、スマートフォンを接続する

4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

直接接続で接続する

1 [直接接続]を選び、MENU/SET または 🎥 を押す
- [WPS接続]を選び、「直接接続」の接続方法に従って、カメラをスマートフォンに接続してください。(➔ 直接接続: 620)

2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ Wi-Fi接続を終了する

カメラとスマートフォンのWi-Fi接続を終了するには、以下の操作をしてください。

1 シャッターボタンを半押しして、カメラを撮影モードにする
2 Wi-Fi接続を終了する
- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [はい]
- [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)

3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に[Q]ボタンを押すだけで、Bluetooth接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。
- [スマートフォンに画像を送る]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(➔Fnボタン: 473)

準備:
- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(➔「LUMIX Sync」のインストール: 579)
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 580)
- カメラの[▶]ボタンを押して再生画面を表示する

写真を1枚送る

1 ◀▶ で画像を選ぶ
2 [Q]ボタンを押す
3 [1枚選択]を選ぶ
- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(➔画像の送信設定: 623)

4 スマートフォンで[はい](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ
- Wi-Fi接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

1 [Q]ボタンを押す

2 [複数選択]を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(➔ 画像の送信設定: 623)

3 画像を選び、転送する

◀▶ :画像の選択

MENU/SET または ◎ :設定／解除

[DISP.]:転送の実行

4 スマートフォンで[はい](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ

- Wi-Fi接続を自動で行います。

- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、本機能が使用できません。

❖ メニュー操作で簡単に転送する

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Bluetooth] ➡ [スマートフォンに画像を送る]

設定: [1枚選択]／[複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶で画像を選び、MENU/SET または ◎ を押して実行します。
- [複数選択]のときは、「複数枚の写真を送る」の場合と同じ操作で実行できます。(➔ 複数枚の写真を送る: 591)

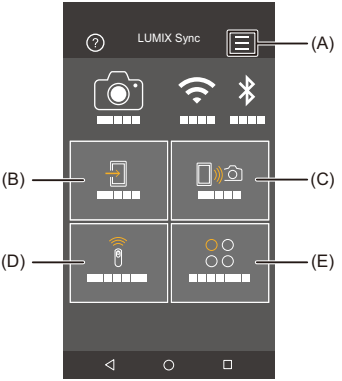
スマートフォンでカメラを操作する

- リモート撮影: 594
- シャッターリモコン: 596
- 画像取り込み: 599
- 自動画像転送: 601
- 位置情報記録: 604
- リモート起動: 605
- 自動時刻合わせ: 606
- カメラ設定コピー: 607

スマートフォンからカメラを操作する機能について説明します。本書で Bluetooth の記号を付けて説明している機能は、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンが必要です。

❖ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



(A) ☰：アプリ設定（➔ペアリング済みスマートフォンとの接続：583、パスワード認証を使って接続する：587、リモート起動：605）
接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などをします。

(B) ：画像取り込み（➔画像取り込み：599）

(C) ：リモート撮影（➔リモート撮影：594）

(D) ：シャッターリモコン（➔シャッターリモコン：596）

(E) ：ツール（カメラ設定コピー）（➔カメラ設定コピー：607）

リモート撮影

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

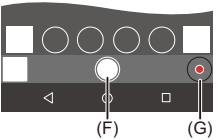
準備:
- カメラとスマートフォンを接続する(➔ スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 580、スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続): 585)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[ ](リモート撮影)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。



(F) 写真撮影
(G) 動画撮影開始／終了

- [自動画像転送]と組み合わせて使用すると、リモート撮影した画像をスマートフォンに自動で転送できます。(➔ 自動画像転送: 601)

- 設定など一部利用できないものがあります。

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi設定] ➡ [リモート優先操作設定] を選ぶ

カメラ

カメラとスマートフォンの両方で操作できます。

- ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できません。

スマートフォン

スマートフォンでだけ操作できます。

- ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。
- リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

- 初期設定は [カメラ] に設定されています。

- 接続中は、設定を変更できません。

シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 580)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[ ]（シャッターリモコン）を選ぶ

2 撮影する

動画撮影開始／終了

写真撮影
- バルブ撮影: 597

❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備：
- カメラを[M]モードにする（➔ マニュアル露出モード：264）
- カメラのシャッタースピードをB（バルブ）に設定する（➔B（バルブ）：267）

1 [◯]をタッチして、撮影を開始する（タッチしたまま、指を離さない）

2 [◯]から指を離して、撮影を終了する
- [◯]をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。（[◯]を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します）
- B（バルブ）撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

❖ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

[シャッターリモコン]を使ってカメラが[スリープモード]から復帰するときにかかる時間を短くできます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続):580)
- [Bluetooth]の[リモート起動]を[ON]に設定する(➔リモート起動:605)

MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Bluetooth] ➡ [スリープモードからの復帰動作]を選ぶ

画像取り込み/リモート撮影優先

[画像取り込み]や[リモート撮影]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

シャッターリモコン優先

[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

- [シャッターリモコン]を使ってカメラの[スリープモード]を解除するには、セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]で下記のとおり設定してから、Bluetooth接続してください。
  - [リモート起動]:[ON](➔リモート起動:605)
  - [自動画像転送]:[OFF](➔自動画像転送:601)
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。

画像取り込み

カードに保存した画像をWi-Fi接続したスマートフォンに転送します。

準備:
- カメラとスマートフォンを接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 580、スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続): 585)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[ ](画像取り込み)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ

- (H)をタッチすると、表示するカードを切り換えることができます。

3 画像を転送する

- [ ]を選びます。
- 動画の場合、画面中央の[▶]をタッチすると再生できます。

- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
  – [MOV]の動画、[Apple ProRes]の動画

自動画像転送

Bluetooth

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続):580)

1 カメラの[自動画像転送]を有効にする

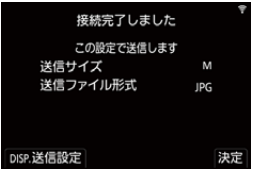
- MENU ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [自動画像転送] ➡ [ON]
  - カメラにWi-Fi接続の終了確認画面が表示されたら、[はい]を選んで終了してください。

2 スマートフォンで[はい](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ

- Wi-Fi接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、MENU/SET または を押す

- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(➔ 画像の送信設定: 623)
- カメラの撮影画面に[ ]が表示されると、自動画像転送ができます。



4 カメラで撮影する

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[ ]が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [自動画像転送] ➡ [OFF]を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。

- カメラの[Bluetooth]と[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi／Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動して、カメラと接続してください。

- [リモート撮影]でカメラの撮影画面をスマートフォンに表示しているときは、画像は転送されません。
- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
  - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
  - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
  - 動画撮影

位置情報記録

Bluetooth

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:
- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続):580)

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする

- MENU ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Bluetooth] ➡ [位置情報記録] ➡ [ON]
  - 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。

2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。

リモート起動

Bluetooth

カメラの電源を切っていても、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備：

1 スマートフォンとBluetooth接続する（➔ スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）：580）
2 カメラの[リモート起動]を有効にする
   - MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Bluetooth] ➡ [リモート起動] ➡ [ON]
3 カメラの電源スイッチを[OFF]にする
4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で[リモート撮影]を選ぶ

- （iOS機器）接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続を行います。

❖ カメラの電源を切る

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で[ ]を選ぶ
2 [電源OFF操作]を選ぶ
3 [電源を切る]を選ぶ

- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、リモート起動中に撮影した画像はスマートフォンに自動で転送されます。未送信の画像が残った状態で[電源を切る]を選んだ場合は、次にカメラの電源を入れたときに送信を再開します。
- [リモート起動]を設定しているときは、カメラの電源スイッチを[OFF]にしてもBluetooth機能が働くため、バッテリーを消費します。

自動時刻合わせ

Bluetooth

カメラの時刻とタイムゾーン(時間帯)の設定をスマートフォンに合わせます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔スマートフォンとの接続(Bluetooth接続):580)

カメラの[自動時刻合わせ]を有効にする

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Bluetooth] ➡ [自動時刻合わせ] ➡ [ON]

カメラ設定コピー

Bluetooth

カメラの設定情報をスマートフォンに保存します。保存した設定情報をカメラに読み込んで、複数のカメラを同じ設定にできます。

準備：

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する（➔スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）：580）

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で［ ］（ツール）➡［ ］（カメラ設定コピー）を選ぶ

2 設定情報の保存、読み込みをする

- 「LUMIX Sync」の操作について詳しくは、「LUMIX Sync」の「ヘルプ」をお読みください。

- 設定情報の読み込みができるのは、同じ機種だけです。
- 設定情報を転送するときに、Wi-Fi接続を自動で行います。（iOS機器）接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、［接続］を選んでください。
- セットアップメニュー（設定）の［カメラ設定の保存/読み込み］と同じ項目の設定情報を保存、読み込みできます。（➔初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧：719）

カメラから画像を送る

- パソコン: 611
- プリンター: 614

カメラを操作して、Wi-Fi接続した機器に撮影画像を送信します。
共通の操作については、下記のページをお読みください。

- Wi-Fi接続：ネットワーク経由（➔ ネットワーク経由: 616）／直接接続（➔ 直接接続: 620）
- 送信設定の変更（➔ 画像の送信設定: 623）
- 画像の選択（➔ 画像の選択: 624）

- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

❖ 送信できる画像

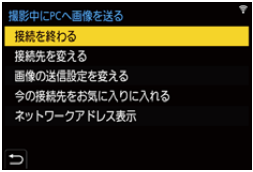
送信できる画像は送信先機器によって異なります。

送信先機器	送信できる画像	
	撮影中にPCへ画像を送る	カメラ内の画像を送る
PC（➔ パソコン：611）	JPEG／RAW	JPEG／RAW／MP4／MOV／Apple ProRes
プリンター（➔ プリンター：614）	—	JPEG

- OSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- お使いの機器によっては送信できない場合があります。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集･加工した画像は送信できない場合があります。

❖ [Wi-Fi]を登録したFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を登録したFnボタンを押すと、以下の操作ができます。(➔Fnボタン: 473)



接続を終わる

Wi-Fi接続を終了します。

接続先を変える

Wi-Fi接続を終了し、別のWi-Fi接続先を選択します。

画像の送信設定を変える

画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(➔画像の送信設定: 623)

今の接続先をお気に入りに入れる

現在の接続先や接続方法を登録すると、次回以降、同じ接続設定で接続できます。

ネットワークアドレス表示

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(➔ネットワークアドレス表示: 626)

- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

パソコン

Wi-Fi接続したパソコンに撮影画像を送信します。

対応OS
Windows：Windows 10
Mac：macOS 10.13、10.14、10.15.3～10.15.7、11.0～11.4

準備：
- パソコンの電源を入れる
- 画像を受信するフォルダーを作成する
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合は、[PC接続設定]でカメラの設定も変更する（➔ PC接続設定：625）

❖ 画像を受信するフォルダーを作成する

Windowsをお使いの場合（Windows 10の例）

1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする
2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

Macをお使いの場合（macOS 10.14の例）

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」➡「情報を見る」
2 フォルダーに共有の設定をする

- パソコンのアカウント名（254文字以内）とパスワード（32文字以内）は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- コンピューター名（Macの場合はNetBIOS名）にスペース（空白文字）などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15文字以内の英数字だけに変更することをお勧めします。
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [新規に接続する] ➡ [撮影中にPCへ画像を送る]／[カメラ内の画像を送る]

2 （[カメラ内の画像を送る]選択時）送信先を[PC]に設定する

3 カメラとパソコンをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由]（➔ ネットワーク経由: 616）または[直接接続]（➔ 直接接続: 620）を選び、接続してください。

4 接続したいパソコンのコンピューター名（Macの場合はNetBIOS名）を入力する

- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

5 画像を保存するフォルダーを選ぶ

- 選択したフォルダーの中に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。

6 送信設定を確認し、MENU/SET または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。（➔ 画像の送信設定: 623）

7 （[撮影中にPCへ画像を送る]選択時）写真を撮る

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[ ]が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
  MENU/SET ➡ [ ] ➡ [ ] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [はい]

（[カメラ内の画像を送る]選択時）画像を選ぶ

- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。

- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- OSおよびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

プリンター

Wi-Fi接続したPictBridge（ワイヤレスLAN）*対応プリンターに画像を送信して印刷できます。

* DPS over IP規格準拠

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [新規に接続する] ➡ [カメラ内の画像を送る]

2 送信先を[プリンター]に設定する

3 カメラとプリンターをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由]（➔ ネットワーク経由: 616）または[直接接続]（➔ 直接接続: 620）を選び、接続してください。

4 送信先のプリンターを選ぶ

5 画像を選んでプリントする

- 画像の選び方はUSB接続ケーブルで接続する場合と同じです。（➔ プリントする: 644）
- 接続を終了するには、[↩]ボタンを押してください。

- PictBridge（ワイヤレスLAN）対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

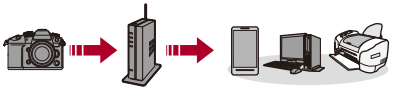
Wi-Fi接続

- ネットワーク経由: 616
- 直接接続: 620
- 以前と同じ設定でWi-Fi接続する: 621

セットアップメニュー（IN/OUT）の[Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]で[新規に接続する]を選んだ場合、接続方法を[ネットワーク経由]と[直接接続]から選んで接続します。
[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]の場合、以前と同じ設定で接続します。

ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ

設定：[WPS（プッシュボタン）]／[WPS（PINコード）]／[一覧から選ぶ]
（➔WPS（プッシュボタン）：617、WPS（PINコード）：617、一覧から選ぶ：618）

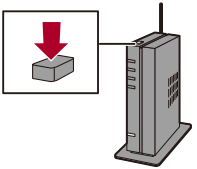
- 2回目以降に[ネットワーク経由]を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続先を変更してください。
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。

❖ WPS（プッシュボタン）

無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。

無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

（例）



❖ WPS（PINコード）

無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。

1. カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
2. カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
3. カメラの MENU/SET または を押す

❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。

- 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は「マニュアル入力で接続する」をお読みください。(➔ マニュアル入力で接続する: 619)

2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する
- 文字の入力方法(➔ 文字の入力: 105)

❖ マニュアル入力で接続する

- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 「一覧から選ぶ」手順**1**の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ（➔ 一覧から選ぶ: 618）

2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

3 ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA3-SAE／WPA2-PSK／WPA2/WPA-PSK
対応する暗号化方式：TKIP、AES

暗号化なし

4 （[暗号化なし]以外選択時）暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ

直接接続

カメラと送信先機器を直接接続します。

送信先機器との接続方法を選ぶ

WPS接続

WPS（プッシュボタン）：送信先機器のWPSボタンを押して接続します。

- カメラの[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。

WPS（PINコード）：カメラにPINコードを入力して接続します。

手動接続

送信先機器でカメラを検索して接続します。

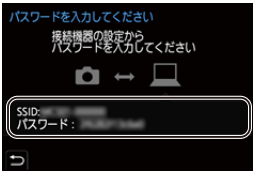
1 ネットワークの認証方式を選ぶ

[WPA3]／[WPA3/WPA2]

- [Wi-Fi設定]の[Wi-Fiパスワード]が[OFF]で、接続先が[スマートフォン]の場合は表示されません。

2 カメラに表示されているSSIDとパスワードを、機器に入力する

- [Wi-Fi設定]の[Wi-Fiパスワード]が[OFF]で、接続先が[スマートフォン]の場合は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。（➔スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続）: 585）



- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fiの接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [履歴から接続する]／[お気に入りから接続する]

2 接続する履歴を選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。

❖ お気に入り登録

Wi-Fiの接続履歴をお気に入りに登録できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する
- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [履歴から接続する]

2 登録する履歴を選び、▶ を押す

3 登録名を入力して[決定]を選ぶ
- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

1 お気に入り登録した履歴を表示する
- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi機能] ➡ [お気に入りから接続する]

2 編集する履歴を選び、▶ を押す

お気に入りを消す

お気に入りの順番を変える

移動先を選び、表示する順番を変更します。

登録名を変える

文字を入力し、登録名を変更します。
- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- セットアップメニュー（設定）の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- PCなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。（➔ カメラから画像を送る: 608）
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する]で接続してください。

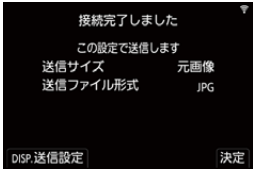
送信設定、画像の選択

- 画像の送信設定: 623
- 画像の選択: 624

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

1 Wi-Fi接続後に送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.] ボタンを押す



2 送信設定を変更する

送信サイズ

送信する画像のサイズを変更します。

[元画像]／[変更]([L]、[M]、[S]または[VGA])

送信ファイル形式

送信する画像のファイル形式を設定します。

[JPG]／[RAW+JPG]／[RAW]

- 送信先が本機からのRAW画像転送に対応している場合に設定できます。
  (➔ 送信できる画像: 609)

画像の選択

[カメラ内の画像を送る]で送信するときは、以下の手順で画像を選択してください。

1 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

2 画像を選ぶ

[1枚選択]を選択したとき

1 ◀▶で画像を選ぶ

2 MENU/SET または を押す

[複数選択]を選択したとき

1 ▲▼◀▶で画像を選び、MENU/SET または を押す(繰り返す)

- 設定を解除するには、もう一度 MENU/SET または を押してください。
- カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[ ]ボタンを押してください。
- 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

2 [DISP.]ボタンを押して実行する

Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定ができます。Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

Wi-Fi設定メニューを表示する

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi設定]

リモート優先操作設定

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(➔ リモート撮影中の操作方法: 595)

Wi-Fiパスワード

パスワードを利用して接続することで、セキュリティーをより強化できます。(➔ パスワード認証を使って接続する: 587)

PC接続設定

ワークグループ名を設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。
(初期設定では「WORKGROUP」に設定されています)

- ワークグループ名を変更するには、MENU/SET または を押してからワークグループ名を入力してください。
  文字の入力方法(➔ 文字の入力: 105)
- 初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

機器名称/パスワード

カメラの名前（SSID）とパスワードを変更できます。

- 機器名称、パスワードを変更するには、[DISP.]ボタンを押してください。
  文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）
- 入力できる文字数は、機器名称は最大32文字、パスワードは最大63文字です。

Wi-Fi機能ロック

誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護します。

[設定]：数字4桁で任意のパスワードを設定します。

- 文字の入力方法（➔ 文字の入力: 105）

[解除]：パスワードを解除します。

- パスワードを設定すると、Wi-Fi機能を使用する際にパスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー（設定）の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。

ネットワークアドレス表示

カメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。

他機器との接続

本章では、テレビなどのHDMI機器やパソコンなど、他機器との接続について説明します。
接続にはカメラのHDMI端子またはUSB端子を使用します。

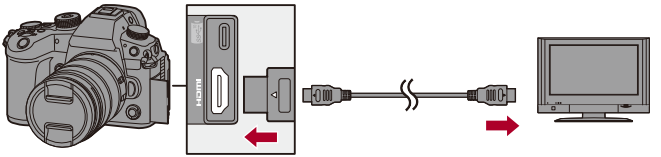
- 接続する: 628
- テレビで見る: 630
- パソコンに画像を取り込む: 634
- レコーダーにダビングする: 640
- テザー撮影: 641
- プリントする: 644

接続する

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります）
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI端子

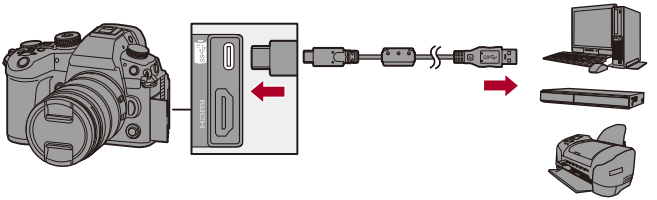
市販のHDMIケーブルでカメラとHDMI機器（テレビなど）をつなぐ



- ウルトラハイスピードHDMI ケーブル（Type A—Type A プラグ、1.5 mまで）をお使いください。

USB端子

USB接続ケーブルでカメラとパソコン、レコーダー、またはプリンターをつなぐ



- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。

テレビで見る

カメラをテレビや外部モニターに接続して、撮影した写真や動画を見ることができます。

準備:
- カメラとテレビの電源を切る

1 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ(➔HDMI端子:628)

2 テレビの電源を入れる

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源を入れる

5 再生画面を表示する

- [▶]ボタンを押します。
- 撮影した画像がカメラとテレビに表示されます。

- 初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[出力解像度(再生時)]で出力解像度の変更もできます。(➔ 出力解像度(再生時): 553)
- 画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(➔ 画像背景色(再生時): 554)
- [USBモード]を[PC(Storage)]または[PictBridge(PTP)]に設定しているときは、USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI出力できません。
- [4chマイク入力]を[ON]に設定して撮影した動画の音声は、HDMI接続した外部機器が、4チャンネルの音声やハイレゾ音声に対応していない場合は出力されません。
- 画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは、カメラとHDMIケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動で連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)

- ビエラリンク(HDMI)を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

1 市販のHDMIケーブルで、カメラとビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(➔HDMI端子:628)
2 カメラの電源を入れる
3 ビエラリンクをオンにする
   - MENU/ASF ➡ [🔧] ➡ [📶] ➡ [HDMI接続設定] ➡ [ビエラリンク] ➡ [ON]
4 再生画面を表示する
   - [▶]ボタンを押します。
   - 撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)
5 テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切換

カメラの電源を入れ、[▶]ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)

- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI）Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

パソコンに画像を取り込む

● パソコンに画像をコピーする: 635
● ソフトウェアのインストール: 639

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。
パソコンで動画の再生や編集をするには、記録した動画形式に対応したソフトウェアをご使用ください。
また、RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをご利用いただけます。(➔ ソフトウェアのインストール: 639)

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。

- マスストレージデバイス（大容量記憶装置）が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

  対応OS

  Windows：Windows 10

  Mac：macOS 10.13、10.14、10.15.3～10.15.7、11.0～11.4
- Mac：

  「Final Cut Pro X」に対応しています。

  「Final Cut Pro X」の詳細は、Appleにお問い合わせください。

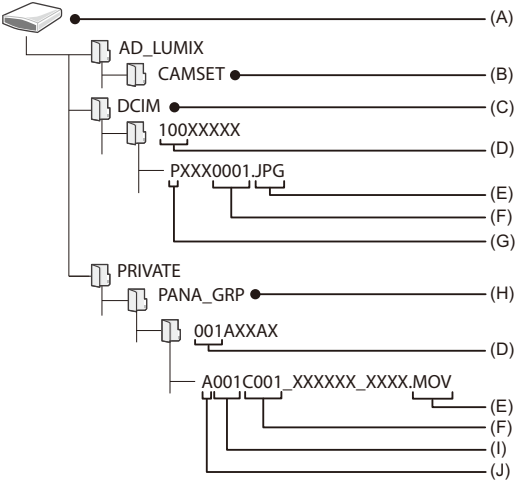
準備:
- カメラとパソコンの電源を入れる

1 USB接続ケーブルでカメラとパソコンをつなぐ(➔USB端子:629)

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、MENU/SET または を押す
- Windows:「PC」にドライブ(「LUMIX」または[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル)が表示されます。
- Mac:デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」または[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル)が表示されます。

3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

❖ カード内のフォルダー構造



(A) ボリュームラベル
[動画ファイル名]を[写真と同じ(DCF準拠)]に設定しているとき:LUMIX
[動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき:[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル
(B) カメラの設定情報
(C) 画像
(D) フォルダー番号
(E) JPG:JPEG形式の写真
RW2:RAW形式の写真
MP4:MP4動画
MOV:MOV動画/Apple ProRes動画
(F) ファイル番号

(G) 色空間
P：sRGB
_：AdobeRGB
(H) シネスタイル動画
(I) カード番号
(J) カメラインデックス

- セットアップメニュー（IN/OUT）の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。（➔ USBモード：552）

- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをインストールします。

- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 対応OSは2022年1月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFFなど）で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/

動作環境

● **対応OS**
Windows：Windows 10、Windows 8.1（64 bit推奨）
Mac：macOS 10.13～10.15、11

- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをお読みください。

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:
- カメラとレコーダーの電源を入れる
- カードスロット1にカードを入れる

1 USB接続ケーブルでカメラとレコーダーをつなぐ(➔USB端子: 629)

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、MENU/SET または を押す

3 レコーダーを操作してダビングする

- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(➔USBモード: 552)

- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

テザー撮影

● ソフトウェアのインストール: 641
● パソコンからカメラを操作する: 643

パソコンにカメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether」をインストールすると、USB接続したパソコンからカメラを制御し、パソコンの画面でライブビューを確認しながら撮影できます（テザー撮影）。また、テザー撮影中に別の外部モニターやテレビにHDMI出力することもできます。

ソフトウェアのインストール

❖ LUMIX Tether

カメラをパソコンから制御するためのソフトウェアです。各種設定の変更やリモート撮影ができ、リモート撮影後に画像をパソコンに保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

動作環境

- **対応OS**
  Windows：Windows 10（64 bit）
  Mac：macOS 10.13、10.14、10.15.3～10.15.7、11.0～11.4
- **インターフェース**
  USB端子（SuperSpeed USB（USB3.1））

- 対応OSは2022年1月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 操作方法については、「LUMIX Tether」の「操作ガイド」をお読みください。

パソコンからカメラを操作する

準備:
- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

1 USB接続ケーブルでカメラとパソコンをつなぐ(➔USB端子: 629)

2 ▲▼で[PC(Tether)]を選び、MENU/SET または を押す
- カメラの画面に[ ]が表示されます。

3 「LUMIX Tether」を使ってパソコンからカメラを操作する

- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Tether)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(➔USBモード: 552)

- [PC(Tether)]でパソコンと接続しているときは、Wi-Fi/Bluetooth機能は使用できません。

プリントする

PictBridge対応のプリンターに接続すると、カメラのモニターで写真を選択してプリントできます。

準備:
- カメラとプリンターの電源を入れる
- プリンター側で印刷品質などを設定する

1 プリントする写真の入ったカードを再生する

- [▶]ボタンを押します。
- [ ]ボタンを押したあと、▲▼で[スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選び、MENU/SET または を押します。

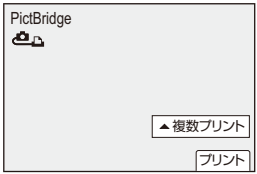
- プリンター接続後は、プリントするカードを切り換えることはできません。

2 USB接続ケーブルでカメラとプリンターをつなぐ(➔USB端子:629)

3 ▲▼で[PictBridge(PTP)]を選び、MENU/SET または を押す

4 ◀▶ で写真を選び、MENU/SET または ⊛ を押す

- 複数枚の写真をプリントするには、▲ を押したあと、写真の選択方法を設定して写真を選んでください。



複数選択

プリントする写真を選びます。

1 ▲▼◀▶ で写真を選び、MENU/SET または ⊛ を押す
- 設定を解除するには、もう一度 MENU/SET または ⊛ を押してください。

2 [DISP.] ボタンを押して選択を終了する

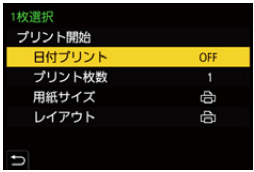
全画像

保存されているすべての写真をプリントします。

レーティング

[★1]～[★5] に [レーティング] 設定されたすべての写真をプリントします。

5 プリント設定をする



6 プリントを開始する

- [プリント開始]を選び、MENU/SET または を押します。

❖ 設定項目(プリント設定)

プリント開始

プリントを開始します。

日付プリント

日付プリントを設定します。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。

プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定します。

用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

レイアウト

縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。

- セットアップメニュー（IN/OUT）の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でプリンターと接続します。（➔ USBモード: 552）

- プリント中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- プリンターと接続できないときは、[USB給電]を[OFF]にし、再度接続してください。（➔ USB給電: 552）
- [ ]（ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- カメラが対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには、[用紙サイズ]および[レイアウト]の設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください）
- 黄色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多いと、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW画像はプリントできません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、プリントできません。
  – 動画撮影

資料

本章では、困ったときの対処方法や、参考となる仕様情報について説明しています。

- 別売品のご紹介：649
- 別売品を使う：651
- 海外旅行先で使う：655
- モニター／ファインダーの表示：658
- メッセージ表示：678
- Q&A　故障かな？と思ったら：682
- 使用上のお願い：695
- 無線LAN使用上のお願い：705
- バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間：708
- カードの写真撮影枚数、動画記録時間：712
- 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧：719
- 各撮影モードで設定できる機能一覧：741
- 仕様：747
- 商標、ライセンス：759
- 保証とアフターサービス（よくお読みください）：764

別売品のご紹介

（品番は2022年1月現在）

バッテリーパック	DMW-BLK22
バッテリーチャージャー*1	DMW-BTC15
ACアダプター*2	DMW-AC10
DCカプラー*2	DMW-DCC17
フラッシュライト	DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L
LEDビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
XLRマイクロホンアダプター	DMW-XLR1
シャッターリモコン	DMW-RS2
トライポッドグリップ	DMW-SHGR1
三脚アダプター*3	DMW-TA1
ライカレンズ用Mマウントアダプター	DMW-MA2M
ボディキャップ	DMW-BDC1
ショルダーストラップ	DMW-SSTG9

*1 ACアダプター、電源コード、USB接続ケーブル付き

*2 ACアダプター（DMW-AC10）は、必ずDCカプラー（DMW-DCC17）とセットでお買い求めください。

*3 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
- レンズの最新情報やレンズに対応する別売品については、カタログ／ホームページをご覧ください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
https://ec-plus.panasonic.jp/

別売品を使う

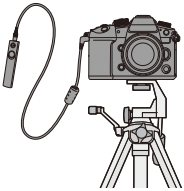
- シャッターリモコン（別売）: 652
- トライポッドグリップ（別売）: 653
- ACアダプター（別売）／DCカプラー（別売）: 654

- 外部フラッシュについて（➔外部フラッシュ（別売）を使う : 303）
- 外部マイクについて（➔外部マイク（別売）: 347）
- XLRマイクロホンアダプターについて（➔XLRマイクロホンアダプター（別売）: 350）

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラにつないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始/終了する
- シャッターリモコンの動画ボタンに登録した機能を使う



❖ 動画ボタンへの機能の登録

シャッターリモコンの動画ボタンにお好みの機能を登録できます。登録できる機能はFnボタンの撮影時設定(➔ 設定項目(Fnボタン設定/撮影時設定): 478)と同じです。初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

MENU/SET ➡ [⚙] ➡ [📷] ➡ [リモコンの動画ボタン]を選ぶ

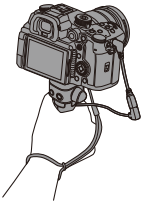
- [Fnボタン設定]と同じ操作で機能を登録します。(➔Fnボタンへの機能の登録: 476)

- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

トライポッドグリップ(別売)

トライポッドグリップ(別売:DMW-SHGR1)を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- カメラの[REMOTE]端子にグリップのケーブルを差し込んでください。



- [リモコンの動画ボタン]メニューは、トライポッドグリップには働きません。
- カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC17)を使うと、バッテリー残量を気にせずに撮影や再生ができます。

- ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴がカメラ内部に付着、侵入しないようにしてください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。

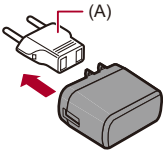
海外旅行先で使う

ACアダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、ACアダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

❖ 変換プラグの付け方

図の向きに差し込む



(A) 変換プラグの一例

❖ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	BF, B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2), SE	オランダ	C(C2), SE
ギリシャ	A, B, B3, C(C2), SE	スイス	A, B, C(C2), SE	スウェーデン	B, C(C2), SE	スペイン	A, C(C2), SE
デンマーク	C(C2)	ドイツ	A, C(C2), SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B, C(C2)	フランス	A, C(C2), SE	ベルギー	B, C(C2), SE	ロシア	A, C(C2), SE
アジア							
インド	B, BF, B3, C(C2)	インドネシア	B, B3, C(C2), SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C(C2)
大韓民国	A, C(C2), SE	台湾	A, C(C2), O	中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O
ベトナム	A, BF, C(C2), SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C(C2)	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C(C2)	マレーシア	B, BF, B3, C(C2)
オセアニア							
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C(C2), O				
中南米							
アルゼンチン	BF, C(C2), SE	プエルトリコ	A, BF, C(C2)	ブラジル	A, C(C2), SE	メキシコ	A, C(C2), SE
中東･アフリカ							
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF, B3, C(C2), SE	クウェート	B, B3, C(C2)	トルコ	A, B, C(C2), SE
南アフリカ共和国	B, BF, B3, C(C2)	モロッコ	A, C(C2), SE				

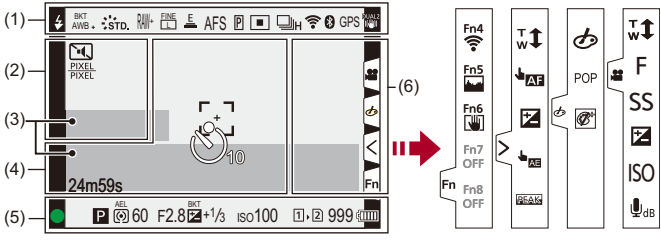
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

モニター／ファインダーの表示

- 撮影画面: 658
- 再生画面: 673

• 画面は[LVF/モニター表示設定]を[ ]にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



(1)

	フラッシュモード(➔ フラッシュモード: 308)
2nd WL	フラッシュ設定(➔ フラッシュシンクロ: 313、ワイヤレスフラッシュ撮影: 315)
AWBc AWBw 2500K	ホワイトバランス(➔ ホワイトバランス(WB): 283)／色温度(➔ 色温度設定: 287)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(➔ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット): 236)

AWB+ AWB-	ホワイトバランス調整（➔ ホワイトバランスの調整：288）
STD.	フォトスタイル（➔ フォトスタイル：290）
*POP	フィルター設定（➔ フィルター設定：297）／ フィルター効果調整（➔ フィルター効果の調整：298）
MON LUT HDMI V-Log	LUTビューアシスト（➔ V-Logビューアシスト：398）
MON MODE2 HDMI HLG	HLGビューアシスト（➔ HLGビューアシスト：402）
RAW+ FINE L STD. M	写真画質（➔ 写真画質：123）、画像サイズ（➔ 画像サイズ：121）
EXM	EXテレコン（写真）（➔ EXテレコン（写真）：200）
MOV 422/10-L FHD 60p	記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式：134）／ 動画画質（➔ 動画画質：135）
MOV FHD 422/10-L	記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式：134）／ 動画画質（➔ 動画画質：135）
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート（➔ 動画画質：135）／ バリアブルフレームレート（➔ バリアブルフレームレート：383）
E	電子シャッター（➔ シャッター方式：239）
AFS AFC MF	フォーカスモード（➔ フォーカスモードの選択：152、MFで撮る：191）
AFS AFC	フォーカスリミッター（➔ フォーカスリミッター：160）
BKT AFS	フォーカスブラケット（➔ 詳細設定（フォーカスブラケット）：235）
AFL	AFロック（➔ ピントや露出の固定（AF／AEロック）：275）
MFL	フォーカスリングロック（➔ フォーカスリングロック：507）
P	ピーキング（➔ ピーキング：197）

FULL PIXEL PIXEL	動画撮影範囲（➔動画撮影範囲: 149）
	AF モード（➔AF モードの選択: 164）
	自動認識設定（➔自動認識: 167）
	ドライブモード（➔ドライブモードの選択: 203）
	Wi-Fi 接続状態（➔Wi-Fi ／ Bluetooth 機能の動作確認: 577）
	Bluetooth 接続状態（➔スマートフォンとの接続（Bluetooth 接続）: 580）
GPS	位置情報記録（➔位置情報記録: 604）
DUAL2 DUAL2 OFF	手ブレ補正（➔手ブレ補正: 245）
	手ブレ警告（➔手ブレ補正を使う: 246）

(2)

10	セルフタイマー（➔ セルフタイマー撮影: 227）
	サイレントモード（➔ サイレントモード: 237）
PIXEL PIXEL	動画撮影範囲（➔ 動画撮影範囲: 149）
2.0x	アナモフィック デスクイーズ表示（➔ アナモフィック デスクイーズ表示: 405）
	オーバーレイ表示（➔ オーバーレイ表示: 525）
MON LUT HDMI V-Log	LUTビューアシスト（➔ V-Logビューアシスト: 398）
	ループ記録（➔ ループ記録（動画）: 409）
	ダイナミックレンジブースト（➔ ダイナミックレンジブースト: 338）

(3)

INT. EXT. 96kHz/24bit XLR 4ch/96kHz/24bit	内蔵マイク、外部マイク（➔ 録音レベル表示: 340、外部マイク（別売）: 347） 録音音質／XLRマイクアダプター設定（➔ 録音音質: 343、XLRマイクロホンアダプター（別売）: 350） 4chマイク入力（➔4chマイク入力: 352）
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター（➔ 録音レベルリミッター: 344）
	ミュート（➔ 音声入力ミュート: 340）
録音レベル（➔ 録音レベル表示: 340）	
露出メーター（➔ 露出メーター: 524）	

(4)

	ヒストグラム（➔ヒストグラム表示: 519）
	AF エリア（➔AF エリアの移動操作: 183）
+	スポット測光ターゲット（➔測光モード: 252）
+	センターマーカー（➔センターマーカー表示: 529）
10	セルフタイマー（➔セルフタイマー撮影: 227）
	ロックレバー（➔操作ロックレバー: 88）
XXmXXs	記録経過時間（➔動画を撮る: 126）
TC 00:00:00:00	タイムコード（➔タイムコード: 356）
	画像送信中（➔自動画像転送: 601）

(5)

●	フォーカス（緑点灯）（➔写真を撮る: 118）／ 記録動作表示（赤点灯）（➔ハイレゾモード: 211、動画を撮る: 126）
LOW ●	フォーカス（低照度 AF 時）（➔低照度 AF: 156）
STAR ●	フォーカス（星空 AF 時）（➔星空 AF: 156）
	フラッシュ光量調整（➔フラッシュ光量調整: 312）
iA P A S M P C4-1 P	撮影モード（➔撮影モードの選択: 82）
P	プログラムシフト（➔プログラムシフト: 256）

	測光モード（➔ 測光モード：252）
AEL	AEロック（➔ ピントや露出の固定（AF／AEロック）：275）
60	シャッタースピード（➔ 写真を撮る：118）
F2.8	絞り値（➔ 写真を撮る：118）
BKT F2.8	絞りブラケット（➔ 詳細設定（絞りブラケット）：234）
BKT +1/3	露出補正値（➔ 露出補正：270）
	露出ブラケット（➔ 詳細設定（露出ブラケット）：234）
MM +1	マニュアル露出アシスト（➔ マニュアル露出アシスト：265）
ISO100	ISO感度（➔ ISO感度：277）
1 2	カードアクセス表示（赤点灯）（➔ 動画を撮る：126）
1▸2	カードスロット（➔ カード（別売）の挿入：65）／ ダブルスロット機能（➔ ダブルスロット機能：539）
1 2	カードなし
1 FULL 2 FULL	カード残量なし
999	写真撮影枚数（➔ カードの写真撮影枚数、動画記録時間：712）
r20	連続撮影可能枚数（➔ 連続撮影可能枚数：208）
XXmXXs	動画記録時間（➔ 動画記録時間（h：時間、m：分、s：秒）：713）
	バッテリー残量（➔ 電源に関する表示：61）
	給電（➔ 電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電）：59）

(6)

	温度上昇警告アイコン(➔ 撮影: 684)
	ファン異常アイコン(➔ その他: 694)
A001C001	動画ファイル名([シネスタイル]設定時)(➔ 動画ファイル名: 540)

タッチタブ(➔ タッチ設定: 511)

Fn	
Fn4	Fn ボタン(➔ [Fn4]～[Fn8] ボタンを使う(タッチアイコン): 485)
T W	タッチズーム(➔ 動画撮影中の操作: 325)
AF	タッチ AF、タッチシャッター(➔ タッチ AF ／タッチシャッター: 113)
	露出補正(➔ 露出補正: 270)
AE	タッチ AE(➔ タッチ AE: 115)
PEAK	ピーキング(➔ ピーキング: 197)

(➔ タッチ操作でフィルターを設定する: 299)／ (➔ 動画撮影中の操作: 325)	
	フィルター効果調整(➔ フィルター効果の調整: 298)
	フィルターの入／切(➔ タッチ操作でフィルターを設定する: 299)
POP	フィルター設定(➔ フィルター設定: 297)
T W	ズーム(➔ 動画撮影中の操作: 325)
F	絞り値(➔ 動画撮影中の操作: 325)
SS	シャッタースピード(➔ 動画撮影中の操作: 325)
	露出補正(➔ 動画撮影中の操作: 325)
ISO	ISO感度(➔ 動画撮影中の操作: 325)
dB	録音レベル設定(➔ 動画撮影中の操作: 325)

❖ コントロールパネル

(1)

P	撮影モード（➔ 撮影モードの選択：82）
1/60	シャッタースピード（➔ 写真を撮る：118）
F2.8	絞り値（➔ 写真を撮る：118）
	バッテリー残量（➔ 電源に関する表示：61）／ 給電（➔ 電力の供給（給電）：58）

(2)

ISO 100	ISO感度（➔ISO感度：277）
±0	露出補正値（➔ 露出補正：270）／ マニュアル露出アシスト（➔ マニュアル露出アシスト：265）
±0	フラッシュ設定（➔ フラッシュ光量調整：312、フラッシュシンクロ：313、ワイヤレスフラッシュ撮影：315）／ フラッシュモード（➔ フラッシュモード：308）

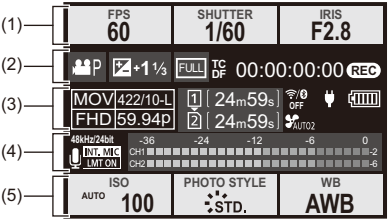
(3)

□	ドライブモード(➔ ドライブモードの選択: 203)
AFS	フォーカスモード(➔ フォーカスモードの選択: 152、MFで撮る: 191)
■	AFモード(➔AFモードの選択: 164)
FINE	写真画質(➔ 写真画質: 123)
PIXEL PIXEL MOV 422/10-L FHD 60P	動画撮影範囲(➔ 動画撮影範囲: 149)／ 記録ファイル方式(➔ 記録ファイル方式: 134)／ 動画画質(➔ 動画画質: 135)
4:3 L	画像サイズ／画像横縦比(➔ 画像サイズ: 121)
	Wi-Fi／Bluetooth接続状態(➔Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 577)
Fn	Fnボタン設定(➔Fnボタン: 473)

(4)

STD.	フォトスタイル（➔ フォトスタイル: 290）
AWB	ホワイトバランス（➔ ホワイトバランス（WB）: 283）
	測光モード（➔ 測光モード: 252）
1 2	カードスロット（➔ カード（別売）の挿入: 65）／ ダブルスロット機能（➔ ダブルスロット機能: 539）
1 2	カードなし
1 FULL 2 FULL	カード残量なし
999	写真撮影枚数（➔ カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 712）
r20	連続撮影可能枚数（➔ 連続撮影可能枚数: 208）
残XXmXXs	動画記録時間（➔ 動画記録時間（h:時間、m:分、s:秒）: 713）
----	カードなし

❖ コントロールパネル（クリエイティブ動画モード）



(1)

FPS 60	記録フレームレート（➔ 動画画質: 135）／ バリアブルフレームレート（➔ バリアブルフレームレート: 383）
SHUTTER 1/60	シャッタースピード（➔ シャッター優先AEモード: 261）
IRIS F2.8	絞り値（➔ 絞り優先AEモード: 258）

(2)

P	動画露出設定（➔ クリエイティブ動画で撮る: 324）
+1 1/3 MM +1	露出補正値（➔ 露出補正: 270）／ マニュアル露出アシスト（➔ マニュアル露出アシスト: 265）
FULL	動画撮影範囲（➔ 動画撮影範囲: 149）
TC DF 00:00:00:00	タイムコード（➔ タイムコード: 356）
REC	記録動作表示（➔ 動画撮影中の画面表示: 127）

(3)

MOV 422/10-L FHD 59.94p	記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式：134）／ 動画画質（➔ 動画画質：135）
1 2	カードスロット（➔ カード（別売）の挿入：65）／ ダブルスロット機能（➔ ダブルスロット機能：539）
24m59s	動画記録時間（➔ 動画記録時間（h：時間、m：分、s：秒）：713）
	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態（➔ Wi-Fi／Bluetooth 機能の動作確認：577）
A001 C001	動画ファイル名（[シネスタイル] 設定時）（➔ 動画ファイル名：540）
AUTO2	ファン動作モード（➔ ファン動作モード：533）
	バッテリー残量（➔ 電源に関する表示：61）／ 給電（➔ 電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電）：59）

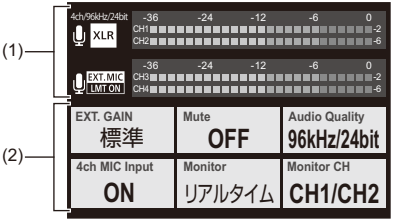
(4)

INT. MIC EXT. MIC	内蔵マイク、外部マイク（➔ 録音レベル表示：340、外部マイク（別売）：347）
96kHz/24bit XLR 4ch/96kHz/24bit	録音音質／XLR マイクアダプター設定（➔ 録音音質：343、XLR マイクロホンアダプター（別売）：350） 4ch マイク入力（➔ 4ch マイク入力：352）
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター（➔ 録音レベルリミッター：344）
	ミュート（➔ 音声入力ミュート：340）
録音レベル（➔ 録音レベル表示：340）	

(5)

ISO AUTO 100	ISO感度（➔ISO感度：277）
PHOTO STYLE STD. MON LUT HDMI V-Log MON MODE2 HDMI HLG	フォトスタイル（➔フォトスタイル：290）／ LUTビューアシスト（➔V-Logビューアシスト：398）／ HLGビューアシスト（➔HLGビューアシスト：402）
WB AWB	ホワイトバランス（➔ホワイトバランス（WB）：283）

❖ オーディオ情報表示



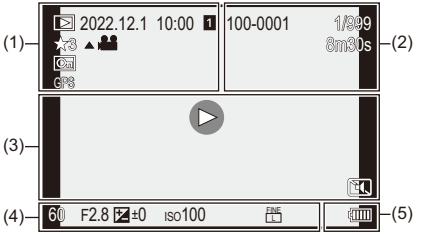
(1)

INT. MIC EXT.MIC	内蔵マイク、外部マイク（➔ 録音レベル表示：340、外部マイク（別売）：347）
96kHz/24bit XLR	録音音質／XLRマイクアダプター設定（➔ 録音音質：343、XLRマイクロホンアダプター（別売）：350）
4ch/96kHz/24bit	4chマイク入力（➔4chマイク入力：352）
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター（➔ 録音レベルリミッター：344）
🎙	ミュート（➔ 音声入力ミュート：340）
録音レベル（➔ 録音レベル表示：340）	

(2)

EXT.GAIN 標準	録音ゲイン切換（➔ 録音ゲイン切換：341）
Mute OFF	音声入力ミュート（➔ 音声入力ミュート：340）
Audio Quality 96kHz/24bit	録音音質（➔ 録音音質：343）
4ch MIC Input ON	4chマイク入力（➔4chマイク入力：352）
Monitor リアルタイム	音声モニタリング（➔ ヘッドホン：353）
Monitor CH CH1/CH2	音声モニタチャンネル（➔ 音声モニタチャンネル：354）

再生画面



(1)

▷	再生モード（➔ 再生モード：463）
2022.12. 1 10:00	撮影日時（➔ 時計の設定（初めて電源を入れるとき）：76）
1 2	カードスロット（➔ 表示するカードの切り換え：437）
★3	レーティング（➔ レーティング：467）
▲🎥	動画再生（➔ 動画の再生：438）
On	プロテクト（➔ プロテクト：467）
GPS	位置情報記録（➔ 位置情報記録：604）
▬	情報取得中
	ケーブル切断禁止アイコン（➔ プリントする：644）

(2)

100-0001 A001C001	フォルダー･ファイル番号（➔ フォルダー/ファイル設定：543）／ 動画ファイル名（[シネスタイル] 設定時）（➔ 動画ファイル名：540）
1/999	画像番号／トータル枚数
9枚 9ファイル	グループ画像枚数／ ファイル数
XXmXXs	動画記録時間（➔ 動画の再生：438）
▶ XXmXXs XXs	バリアブルフレームレート（➔ バリアブルフレームレート：383）
XXmXXs	ループ記録（➔ ループ記録（動画）：409）
MON MODE2	HLGビューアシスト（➔ HLGビューアシスト：402）
MON LUT	LUTビューアシスト（➔ V-Logビューアシスト：398）

(3)

▶	再生（動画）（➔ 動画の再生：438）
	グループ画像（➔ グループ画像：451）
TC 00:00:00:00	タイムコード（➔ タイムコード：356）
96kHz/24bit	録音音質（➔ 録音音質：343）
MOV FHD 422/10-L	記録ファイル方式（➔ 記録ファイル方式：134）／ 動画画質（➔ 動画画質：135）
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート（➔ 動画画質：135）／ バリアブルフレームレート（➔ バリアブルフレームレート：383）
FULL PIXEL PIXEL	動画撮影範囲（➔ 動画撮影範囲：149）
	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態（➔ Wi-Fi／Bluetooth 機能の動作確認：577）
	サイレントモード（➔ サイレントモード：237）

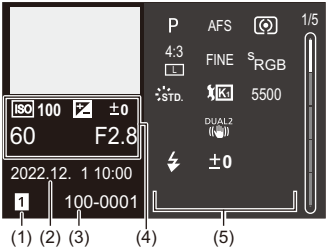
(4)

XXmXXs	再生経過時間（➔ 動画の再生：438）
撮影情報	

(5)

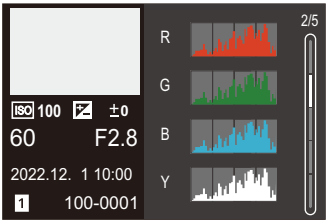
	バッテリー残量（➔ 電源に関する表示：61）
	給電（➔ 電力を供給しながらカメラを使う（給電／充電）：59）

詳細情報表示

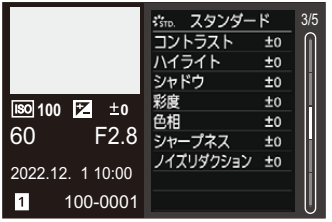


(1) カードスロット（➔ カード（別売）の挿入：65）
(2) 撮影日時（➔ 時計の設定（初めて電源を入れるとき）：76）
(3) フォルダー・ファイル番号（➔ フォルダー/ファイル設定：543）／動画ファイル名（[シネスタイル] 設定時）（➔ 動画ファイル名：540）
(4) 撮影情報（基本）
(5) 撮影情報（詳細）

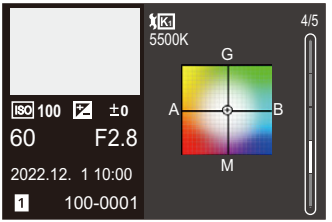
ヒストグラム表示



フォトスタイル表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。（➔ フォーマット：538）

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。（➔ 使用できるメモリーカード：34）

カードを入れ直してください／別のカードでお試しください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書込み速度不足のため記録を終了しました

- カードが撮影に必要な書き込み速度を満たしていません。動画画質によって使用できるカードが異なります。ご使用のカードが、撮影に必要な条件を満たしているか確認してください。(➔ 本機で使用できるSDカード: 35)
  * カードの仕様については、各カードメーカーにご確認ください。
- 撮影に必要な条件を満たしたカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードの書き込み速度が低下している可能性があります。データのバックアップを取り、カードのフォーマット(SDカード)または物理フォーマット(CFexpressカード)を実行してください。(➔ フォーマット: 538)
- CFexpressカードをご使用の場合、カードの温度が上昇すると書き込み速度が低下することがあります。カードの温度が下がるまでお待ちください。

書込み中です。

- カード書き込み中に、カード扉を開くと表示されます。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってから取り出してください。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(➔ レンズの取り付け: 69)
  電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

バッテリーの寿命です。このバッテリーのご使用をお控えください。

- バッテリーが劣化しています。該当バッテリーのご使用はお控えください。

❖ その他

消去できない画像があります／この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(➔ フォーマット: 538)

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。

  [動画ファイル名]を[写真と同じ(DCF準拠)]に設定時:
  カードをフォーマットしたあと、セットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行してください。(➔ ファイル番号リセット: 545)

  [動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定時:
  カードをフォーマットしてください。(➔ フォーマット: 538)

電源を入れ直してください／システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ファンが正常に動作していません。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

Q&A　故障かな？と思ったら

- 電源、バッテリー: 683
- 撮影: 684
- 動画: 687
- 再生: 688
- モニター／ファインダー: 689
- フラッシュ: 690
- Wi-Fi機能: 691
- テレビ、パソコン、プリンター: 693
- その他: 694

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2**、**3**、**4** の順にお試しください。

1　本項目（Q&A）の内容を試す

- 電源、バッテリー: 683
- 撮影: 684
- 動画: 687
- 再生: 688
- モニター／ファインダー: 689
- フラッシュ: 690
- Wi-Fi機能: 691
- テレビ、パソコン、プリンター: 693
- その他: 694

2　カメラを初期設定に戻す

- MENU/SET ➡ [🔧] ➡ [⚙] ➡ [設定リセット]

3 パナソニックのサポートサイトを確認する

https://panasonic.jp/support/dsc/

- 最新のサポート情報を掲載しています。

4 ご相談窓口に問い合わせる

- 本書の「保証とアフターサービス（よくお読みください）」をお読みください。（➔ 保証とアフターサービス（よくお読みください）: 764）

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード] が働いています。（➔ エコモード: 63）

バッテリーの消費が早い。

- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード]（➔ エコモード: 63）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、高精細な動画撮影、高速での連写、HDMI出力などを連続して使用しているときは、カメラやカードの温度が上昇しやすくなります。カメラやカードの温度が上がると、画面に[ ]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力が停止します。カメラやカードの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
  * 三脚などに設置して撮影する場合、撮影を停止する温度を高めに設定できます。（➔ 動画撮影時の制限緩和: 547）

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。（➔ フォーカス/レリーズ優先: 505）

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなることがあります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
  撮像素子のお手入れについて（➔ 撮像素子のごみの付着について: 697）

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。（➔ ピントや露出の固定（AF／AEロック）: 275）

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[I]（連写1）または[II]（連写2）に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。（➔ ドライブモードの選択: 203）
- [ブラケット]を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。（➔ ブラケット撮影: 230）

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
  - ピントが合う範囲から外れていないか。
  - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(➔ シャッター半押しAF: 508)
  - [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていないか。(➔ フォーカス/レリーズ優先: 505)
  - 不適切な状態でAFロック(➔ ピントや露出の固定(AF／AEロック): 275)がかかっていないか。
  - [フォーカスリミッター]が[ON]になっていないか。(➔ フォーカスリミッター: 160)

レンズでピント合わせやズームができない。

- 以下の内容を確認してください。
  - [ロックレバー設定]の「レンズ」が[🔒]になっていないか。(➔ ロックレバー設定: 512)
  - [フォーカスリングロック]が[ON]になっていないか。(➔ フォーカスリングロック: 507)

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
  - ISO感度を低くする(➔ISO感度: 277)
  - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(➔ 画質調整: 293)
  - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(➔ 長秒ノイズ除去: 242)
- カメラを連続して使用しているときは、カメラ内部の温度が上昇し、画質が低下する場合があります。撮影時以外はこまめに電源を切ることをお勧めします。

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
  – 電子シャッター
  – 動画撮影
  これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター（➔ シャッター方式: 239）使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減（動画）]（➔ フリッカー軽減（動画）: 368）を設定するか、[🎥M]モード（➔ クリエイティブ動画モード: 322）でシャッタースピードを固定してください。

ISO感度が高いとき、横しまが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しまが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。（➔ISO感度: 277）

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

被写体にない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ]（➔ ピクセルリフレッシュ: 558）を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- [システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試しください。
- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
- SDカードには記録できない[記録ファイル方式]や[動画画質]があります。CFexpressカードを使用してください。（➔ 使用できるメモリーカード: 34）

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作]（➔ AF連続動作: 328）で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[🎥M]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。（➔ 動画撮影中の操作: 325）

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。
- [再生モード]を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生]に設定してください。（➔ 再生モード: 463）
- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。[システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。（➔ システム周波数: 132）

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF]（➔ LVF/モニター自動OFF: 63）が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

画面の情報表示の更新が遅い場合がある。

- カメラ内の処理に負荷がかかる機能を使用しているときに、画面の情報表示の更新が遅くなる場合がありますが、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。

  カメラ内の処理に負荷がかかる機能
  – 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
  – HDMI出力
  – スマートフォンとのWi-Fi接続
  – テザー撮影

  更新が遅くなることがある情報表示
  – タイムコード表示
  – 録音レベル表示
  – AFエリア（被写体をロック中、被写体を追尾中）
  – 水準器
  – スポット輝度メーター　など

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能を使用中は、フラッシュは発光しません。
  – 動画撮影
  – 電子シャッター、[サイレントモード]
  – ハイレゾモード
  – [フィルター設定]

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
  - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
  - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
  - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
  - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
  - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(➔ マニュアル入力で接続する: 619)
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

無線アクセスポイントに接続できない。

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。（➔ マニュアル入力で接続する：619）
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

iOS機器でWi-Fi接続に失敗する。

- 表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選択して接続してください。SSIDが表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度Bluetooth接続の設定をしてください。

スマートフォンとWi-Fi接続できない。

- スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

パソコンとWi-Fi接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント／Microsoftアカウント）があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。（➔ PC接続設定：625）
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きくずれていると、OSによっては接続できないことがあります。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
  – [送信サイズ]（➔ 送信サイズ: 623）で画像サイズを小さくして送信してください。
  – [動画分割]（➔ 動画分割: 444）で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。（➔ 送信できる画像: 609）

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー（設定）の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。（➔ 設定リセット: 104）ただし、[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

テレビ、パソコン、プリンター

テレビの画像にグレーの帯が付いて表示される。

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右にグレーの帯が付いて表示されることがあります。セットアップメニュー（IN/OUT）の[HDMI接続設定]の[画像背景色（再生時）]で帯の色を変更できます。（➔ 画像背景色（再生時）: 554）

パソコンに接続しても画像を取り込むことができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。（➔ USBモード: 552）
- カメラの電源を入れ直してください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
- カメラの[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。（➔ USBモード: 552）

その他

画面に[ ]が表示される。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

カード扉を開くと警告音が鳴る。

- カード書き込み中に扉を開くと、警告音が鳴る場合があります。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってからカードを取り出してください。

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラの電源を入/切したとき、またはカメラを振ったときに、レンズから「カタカタ」音がする。撮影するときに、レンズから音がする。

- これはレンズ移動や絞り動作の音です。故障ではありません。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使用してください。

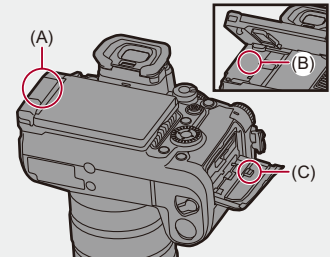
- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使用しないでください。

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

磁石部(A)、(B)、(C)に磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。



殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ 寒冷地や低温下でのご使用について

- **寒冷地(スキー場などの0 ℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。**
- –10 ℃～0 ℃の環境では、一時的にバッテリーの性能(撮影可能枚数／時間)が低下します。バッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- 0 ℃未満ではバッテリーを充電できません。充電できないときは、チャージャーまたはカメラ本体にエラー表示が出ます。
  – チャージャーで充電時:50 %の充電ランプが速く点滅します。
  – カメラ本体で充電時:充電ランプが赤色で点滅します。
- 寒冷地で使用する場合、雪や水滴が付いたまま放置しないでください。放置すると、電源スイッチ、スピーカーやマイクの隙間などの雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなったりする場合があります。これは故障ではありません。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。特にごみが気になる場合は、セットアップメニュー（その他）の[センサークリーニング]を実行してください。（➔ センサークリーニング：558）

撮像素子のごみの除去

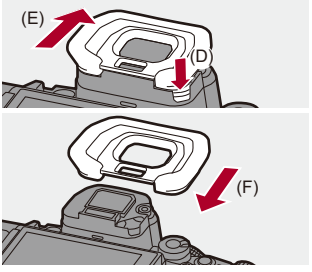
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のブロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、アイカップを取り外してお手入れできます。アイカップロックレバーを押しながら(D)、アイカップを矢印の方向に押し上げて取り外します(E)。市販のブロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

- お手入れ後は、アイカップを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押して取り付けてください(F)。
- アイカップの紛失にお気をつけください。

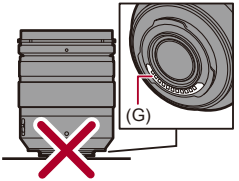


❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズ

- **レンズを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。レンズおよびデジタルカメラの故障や破損の原因になります。**
- 太陽や強い光源にレンズを向けないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レンズ表面のほこり、ごみ、汚れ（水、油、指紋など）が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、ブロワーでレンズの表面に付いたほこりやごみを吹き飛ばしたあと、乾いた柔らかい布で汚れを軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点(G)を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
  – レンズの接点に触れる
  – レンズの接点を汚す
  – レンズ取り付け部を下にして置く



- 交換レンズ（H-ES12060）は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
  – デジタルカメラのマウント部にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
  – レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

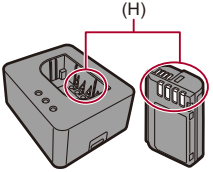
- ホームページ
  http://www.jbrc.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ チャージャー、ACアダプター

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中にACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。（接続したままにすると、最大約0.1 Wの電力を消費します）
- チャージャーやバッテリーの端子部(H)を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。
カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fiパスワードや Wi-Fi機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。(➔Wi-Fi設定メニュー: 625)

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット](➔設定リセット: 104)を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(➔設定リセット: 104)
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15 ℃～25 ℃、推奨湿度: 40 %RH～60 %RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター(別売:DMW-TA1)を取り付けてから三脚に装着することをお勧めします。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください。

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。
無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています。

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください。

Wi-Fi使用時は、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[MENU] ボタン ➡ [セットアップ] ➡ [その他]の[認証情報]で確認できます。
本機の無線LAN機能/Bluetooth機能（2.4 GHz帯）が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4：2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。
DS/OF/XX：変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。
1：想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。
4：想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線LAN/Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX（ルミックス）・ムービーご相談窓口

フリーダイヤル 携帯OK **0120-878-638**（パナは　ロクサンハチ）
受付時間 9:00～18:00（年中無休）

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

■ 5 GHz帯使用時の注意事項

5150 MHz～5350 MHzの周波数帯域は電波法により屋外での使用は禁じられています。5 GHz帯対応の無線アクセスポイントを屋外で使用する場合、無線アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください。詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

1 [セットアップ]メニューの [その他]タブを選ぶ

2 [認証情報]を選んで決定する

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。
- Lexar製CFexpress Type Bカード使用。
- 当社製SDXCメモリーカード使用。
- 交換レンズ（H-ES12060）使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録（モニター使用時）

使用カード	撮影可能枚数
CFexpressカード	**330枚**
SDXCメモリーカード	**360枚**

❖ 写真記録（ファインダー使用時）

使用カード	撮影可能枚数
CFexpressカード	**330（750）枚**
SDXCメモリーカード	**360（850）枚**

- （　）内は[省電力ファインダー撮影]の[スリープするまでの時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。（CIPA規格をベースにした当社測定条件による）

❖ 動画撮影（モニター使用時）

(A) CFexpressカード使用時
(B) SDXCメモリーカード使用時

記録方式	動画画質	使用カード	連続撮影可能時間（分）	実撮影可能時間（分）
			動画撮影範囲	動画撮影範囲
			FULL	FULL
MP4	4K/10bit/100M/60p 4K/10bit/100M/50p	(A)	80	40
		(B)	90	45
	4K/8bit/100M/30p 4K/8bit/100M/25p	(A)	80	40
		(B)	100	50
	FHD/8bit/28M/60p FHD/8bit/28M/50p	(A)	90	45
		(B)	100	50

MOV	5.7K/60p/420/10-L 5.7K/50p/420/10-L	**(A)**	60	30
		(B)	60	30
	C4K/120p/420/10-L C4K/100p/420/10-L	**(A)**	50	25
		(B)	50	25
	C4K/60p/422/10-I(H) C4K/50p/422/10-I(H)	**(A)**	80	40
		(B)		
	C4K/60p/422/10-I(L) C4K/50p/422/10-I(L)	**(A)**	80	40
		(B)	90	45
	C4K/60p/420/10-L C4K/50p/420/10-L	**(A)**	80	40
		(B)	90	45
	C4K/30p/420/10-L C4K/25p/420/10-L	**(A)**	80	40
		(B)	90	45
	C4K/24p/420/10-L	**(A)**	90	45
		(B)	100	50
	FHD/240p/422/10-I FHD/200p/422/10-I	**(A)**	80	40
		(B)		
	FHD/240p/420/10-L FHD/200p/420/10-L	**(A)**	80	40
		(B)	90	45
	FHD/60p/422/10-I FHD/50p/422/10-I	**(A)**	80	40
		(B)	100	50
	FHD/60p/420/10-L FHD/50p/420/10-L	**(A)**	80	40
		(B)	100	50
	FHD/24p/420/10-L	**(A)**	90	45
		(B)	110	55

Apple ProRes	5.7K/30p/422 HQ	(A)	60	30
		(B)		
	5.7K/30p/422	(A)	60	30
		(B)		
	5.7K/25p/422 HQ	(A)	70	35
		(B)		
	5.7K/25p/422	(A)	70	35
		(B)		
	5.7K/24p/422 HQ	(A)	70	35
		(B)		
	5.7K/24p/422	(A)	70	35
		(B)		

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]／[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生（モニター使用時）

再生使用時間：240分

- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。例えば、以下の場合は減少します。
  – スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

カードの写真撮影枚数、動画記録時間

カードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真撮影枚数（枚）

• 画像横縦比[4:3]、写真画質[FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
L（25M）	9470	18770	37550	4790	9490	18180
M（12.5M）	17430	33660	67340	8820	17470	32590
S（6.5M）	29580	57430	114870	14970	29640	55600

• 画像横縦比[4:3]、写真画質[RAW+FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
L（25M）	1960	3900	7810	990	1960	3780
M（12.5M）	2160	4300	8600	1090	2170	4160
S（6.5M）	2280	4540	9080	1150	2290	4390

❖ 動画記録時間（h:時間、m:分、s:秒）

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

• 記録ファイル方式 [MP4] の場合

システム周波数：[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
[4K/10bit/100M/60p]／[4K/8bit/100M/30p]／[4K/8bit/100M/24p]	2h45m	5h40m	11h20m	1h25m	2h45m	5h25m
[4K/10bit/72M/30p]／[4K/10bit/72M/24p]	3h55m	7h50m	15h45m	1h55m	3h55m	7h35m
[FHD/8bit/28M/60p]	9h55m	19h55m	39h55m	4h55m	9h45m	19h30m
[FHD/8bit/24M/24p]	11h35m	23h15m	46h35m	5h40m	11h25m	22h45m
[FHD/8bit/20M/30p]	13h15m	26h35m	53h15m	6h30m	13h00m	26h00m

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
[4K/10bit/100M/50p]／[4K/8bit/100M/25p]	2h45m	5h40m	11h20m	1h25m	2h45m	5h25m
[4K/10bit/72M/25p]	3h55m	7h50m	15h45m	1h55m	3h55m	7h35m
[FHD/8bit/28M/50p]	9h55m	19h55m	39h55m	4h55m	9h45m	19h30m
[FHD/8bit/20M/25p]	13h15m	26h35m	53h15m	6h30m	13h00m	26h00m

• **記録ファイル方式[MOV]の場合**

システム周波数：[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
[C4K/60p/422/10-I(H)]／[C4K/48p/422/10-I(H)]／[4K/60p/422/10-I(H)]／[4K/48p/422/10-I(H)]／[FHD/240p/422/10-I]	21m00s	42m00s	1h25m			
[C4K/60p/422/10-I(L)]／[C4K/48p/422/10-I(L)]／[4K/60p/422/10-I(L)]／[4K/48p/422/10-I(L)]	28m00s	56m00s	1h50m	14m00s	28m00s	54m00s
[C4K/30p/422/10-I]／[C4K/24p/422/10-I]／[4K/30p/422/10-I]／[4K/24p/422/10-I]／[FHD/120p/422/10-I]	42m00s	1h20m	2h50m	21m00s	42m00s	1h20m
[5.7K/60p/420/10-L]／[5.7K/48p/420/10-L]／[4.4K/60p/420/10-L]／[4.4K/48p/420/10-L]／[C4K/120p/420/10-L]／[4K/120p/420/10-L]	56m00s	1h50m	3h45m	28m00s	56m00s	1h45m

[5.8K/30p/420/10-L]／[5.8K/24p/420/10-L]／[5.7K/30p/420/10-L]／[5.7K/24p/420/10-L]／[C4K/60p/422/10-L]／[C4K/60p/420/10-L]／[C4K/48p/422/10-L]／[C4K/48p/420/10-L]／[4K/60p/422/10-L]／[4K/60p/420/10-L]／[4K/48p/422/10-L]／[4K/48p/420/10-L]／[FHD/240p/422/10-L]／[FHD/240p/420/10-L]／[FHD/60p/422/10-I]／[FHD/48p/422/10-I]／[FHD/30p/422/10-I]／[FHD/24p/422/10-I]	1h20m	2h50m	5h40m	42m00s	1h20m	2h40m
[C4K/30p/422/10-L]／[C4K/30p/420/10-L]／[C4K/24p/422/10-L]／[C4K/24p/420/10-L]／[4K/30p/422/10-L]／[4K/30p/420/10-L]／[4K/24p/422/10-L]／[4K/24p/420/10-L]／[FHD/120p/422/10-L]／[FHD/120p/420/10-L]	1h50m	3h45m	7h30m	56m00s	1h50m	3h35m
[FHD/60p/422/10-L]／[FHD/60p/420/10-L]／[FHD/60i/422/10-I]／[FHD/48p/422/10-L]／[FHD/48p/420/10-L]／[FHD/30p/422/10-L]／[FHD/30p/420/10-L]／[FHD/24p/422/10-L]／[FHD/24p/420/10-L]	2h45m	5h40m	11h20m	1h25m	2h45m	5h25m
[FHD/60i/422/10-L]	5h35m	11h15m	22h40m	2h50m	5h35m	10h55m

システム周波数：[50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
[C4K/50p/422/10-I(H)]／[4K/50p/422/10-I(H)]／[FHD/200p/422/10-I]	21m00s	42m00s	1h25m			
[C4K/50p/422/10-I(L)]／[4K/50p/422/10-I(L)]	28m00s	56m00s	1h50m	14m00s	28m00s	54m00s
[C4K/25p/422/10-I]／[4K/25p/422/10-I]／[FHD/100p/422/10-I]	42m00s	1h20m	2h50m	21m00s	42m00s	1h20m
[5.7K/50p/420/10-L]／[4.4K/50p/420/10-L]／[C4K/100p/420/10-L]／[4K/100p/420/10-L]	56m00s	1h50m	3h45m	28m00s	56m00s	1h45m
[5.8K/25p/420/10-L]／[5.7K/25p/420/10-L]／[C4K/50p/422/10-L]／[C4K/50p/420/10-L]／[4K/50p/422/10-L]／[4K/50p/420/10-L]／[FHD/200p/422/10-L]／[FHD/200p/420/10-L]／[FHD/50p/422/10-I]／[FHD/25p/422/10-I]	1h20m	2h50m	5h40m	42m00s	1h20m	2h40m
[C4K/25p/422/10-L]／[C4K/25p/420/10-L]／[4K/25p/422/10-L]／[4K/25p/420/10-L]／[FHD/100p/422/10-L]／[FHD/100p/420/10-L]	1h50m	3h45m	7h30m	56m00s	1h50m	3h35m
[FHD/50p/422/10-L]／[FHD/50p/420/10-L]／[FHD/50i/422/10-I]／[FHD/25p/422/10-L]／[FHD/25p/420/10-L]	2h45m	5h40m	11h20m	1h25m	2h45m	5h25m
[FHD/50i/422/10-L]	5h35m	11h15m	22h40m	2h50m	5h35m	10h55m

システム周波数：[24.00Hz(CINEMA)]						
動画画質	CFexpressカードの容量			SDカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB	64 GB	128 GB	256 GB
[C4K/24p/422/10-I]／[4K/24p/422/10-I]／[FHD/120p/422/10-I]	42m00s	1h20m	2h50m	21m00s	42m00s	1h20m
[5.7K/48p/420/10-L]／[4.4K/48p/420/10-L]／[C4K/120p/420/10-L]／[4K/120p/420/10-L]	56m00s	1h50m	3h45m	28m00s	56m00s	1h45m
[5.8K/24p/420/10-L]／[5.7K/24p/420/10-L]／[FHD/24p/422/10-I]	1h20m	2h50m	5h40m	42m00s	1h20m	2h40m
[C4K/24p/422/10-L]／[C4K/24p/420/10-L]／[4K/24p/422/10-L]／[4K/24p/420/10-L]／[FHD/120p/422/10-L]／[FHD/120p/420/10-L]	1h50m	3h45m	7h30m	56m00s	1h50m	3h35m
[FHD/24p/422/10-L]／[FHD/24p/420/10-L]	2h45m	5h40m	11h20m	1h25m	2h45m	5h25m

• 記録ファイル方式[Apple ProRes]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]			
動画画質	CFexpressカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB
5.7K/30p/422 HQ	8m00s	17m00s	35m00s
5.7K/30p/422	13m00s	26m00s	53m00s
5.7K/24p/422 HQ	11m00s	22m00s	44m00s
5.7K/24p/422	16m00s	33m00s	1h05m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]			
動画画質	CFexpressカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB
5.7K/25p/422 HQ	10m00s	21m00s	42m00s
5.7K/25p/422	15m00s	32m00s	1h00m

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]			
動画画質	CFexpressカードの容量		
	128 GB	256 GB	512 GB
5.7K/24p/422 HQ	11m00s	22m00s	44m00s
5.7K/24p/422	16m00s	33m00s	1h05m

- 動画分割記録、ループ記録設定時、SDカードによっては記録可能時間が短くなります。
- 撮影条件、カードの種類により写真撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 写真撮影枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面に[9999+]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

R:[設定リセット]で、初期設定に戻る機能
C:[カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能
:[カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定	R	C	
写真: 画質					
フォトスタイル		STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		4:3	✓	✓	✓
写真画質		FINE	✓	✓	✓
画像サイズ		L 25M	✓	✓	✓
ハイレゾモード設定	手持ち撮影	OFF	✓	✓	✓
	写真画質	連動	✓	✓	✓
	画像サイズ	XL	✓	✓	✓
	通常撮影同時記録	ON	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
	被写体ブレの処理	MODE1	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
周辺光量補正		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
写真：FOCUS フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象		人物	✓	✓	✓
AFカスタム設定（写真）		設定1	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON／OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー	初期設定	R	C	
写真：⚡ フラッシュ				
フラッシュモード	⚡	✓	✓	✓
発光モード	TTL	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整	±0 EV	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ	先幕	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定	1/1	✓	✓	✓
露出補正連動	OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスモード	OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル	1CH	✓	✓	✓
ワイヤレスFP	OFF	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量	強	✓	✓	✓
ワイヤレス設定	—	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
写真：その他(写真)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	((✋))	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
連写設定	連写1設定	H	✓	✓	✓
	連写2設定	SH75	✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
EXテレコン(写真)		OFF	✓	✓	✓
インターバル / コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓
	撮影開始時のフォルダー作成	—	✓	✓	✓
セルフタイマー	10／10／2／2～10	10	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
動画：画質					
動画露出設定		P	✓	✓	✓
フォトスタイル		STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
ダイナミックレンジブースト		OFF	✓	✓	✓
ISO感度設定（動画）	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン		OFF	✓	✓	✓
フリッカー軽減（動画）		OFF	✓	✓	✓
マスターペデスタル		0	✓	✓	✓
SS/ゲイン操作		秒/ISO	✓	✓	✓
周辺光量補正		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
動画：記録					
記録ファイル方式		[システム周波数]を[59.94Hz(NTSC)]または[50.00Hz(PAL)]に設定時：MP4	✓	✓	✓
		[システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時：MOV			
動画撮影範囲		FULL	✓	✓	✓
動画画質		[システム周波数]を[59.94Hz(NTSC)]に設定時：FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	✓
		[システム周波数]を[50.00Hz(PAL)]に設定時：FHD/8bit/28M/50p			
		[システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時：FHD/24p/422/10-L			
動画画質（マイリスト）		—	✓	✓	✓
バリアブルフレームレート		OFF	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	OFF	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	レックラン	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	—			
	タイムコードモード	DF	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	OFF	✓	✓	✓
	外部タイムコード設定	—	✓	✓	✓
輝度レベル設定		16-255	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
動画：FOCUS フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象		人物	✓	✓	✓
AFカスタム設定（動画）	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF連続動作		MODE1	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON／OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
動画：音					
録音レベル表示	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
音声入力ミュート		OFF	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		標準	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓
録音音質		48kHz/24bit	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
レンズ動作音低減		ON	✓	✓	✓
マイク端子		MIC	✓	✓	✓
専用マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓
4chマイク入力		OFF	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		ON	✓	✓	✓
音声モニタリング		リアルタイム	✓	✓	✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル		CH1/CH2	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
動画：その他(動画)					
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	10	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	OFF	✓	✓	✓
フォーカストランジション	フォーカス位置設定	—			
	フォーカストランジション速度	M	✓	✓	✓
	フォーカストランジションレック	OFF	✓	✓	✓
	フォーカストランジションウエイト	OFF	✓	✓	✓
ループ記録(動画)		OFF	✓	✓	✓
動画分割記録		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	±0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	±0 EV	✓	✓	✓
	スポット	±0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	±0 EV	✓	✓	✓
マルチ測光時の顔優先		ON	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓		✓
P/A/S/M動画の露出自動制御		ON	✓	✓	✓
クリエイティブ動画の設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正	📷	✓	✓	✓
	ホワイトバランス	📷	✓	✓	✓
	フォトスタイル	📷	✓	✓	✓
	測光モード	📷	✓	✓	✓
	AFモード	📷	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：AF フォーカス/レリーズ					
フォーカス/レリーズ優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓
MFアシスト	フォーカスリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード	ON	✓	✓	✓
	ジョイスティックを押す	OFF	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
MFガイド		m	✓	✓	✓
フォーカスリングロック		OFF	✓	✓	✓
AFモード表示の制限	追尾	ON	✓	✓	✓
	フルエリア	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(横･縦)	ON	✓	✓	✓
	ゾーン	ON	✓	✓	✓
	1点+補助	ON	✓	✓	✓
	ピンポイント	ON	✓	✓	✓
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
シャッター半押しAF		ON	✓	✓	✓
合焦時の瞳認識表示		ON	✓	✓	✓
シャッター半押しレリーズ		OFF	✓	✓	✓
シャッター全押し動画記録		ON	✓	✓	✓
クイックAF		OFF	✓	✓	✓
アイセンサーAF		OFF	✓	✓	✓
フォーカス枠のループ移動		OFF	✓	✓	✓
動画ライブビュー拡大表示設定	拡大表示維持	ON	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	前ダイヤルの割当	設定値	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(写真)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(動画)	—	✓	✓	✓
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	OFF	✓	✓	✓

ロックレバー設定	[AF ON] ボタン	🔓	✓	✓	✓
	ジョイスティック	🔒	✓	✓	✓
	[Q] ボタン	🔓	✓	✓	✓
	カーソルボタン／[MENU/SET] ボタン	🔒	✓	✓	✓
	コントロールダイヤル	🔒	✓	✓	✓
	[⊞]（AF モード）ボタン	🔓	✓	✓	✓
	[▶]（再生）ボタン	🔓	✓	✓	✓
	タッチパネル	🔒	✓	✓	✓
	[↩]（戻る）ボタン／[🗑]（消去）ボタン／Fn ボタン（Fn1）	🔓	✓	✓	✓
	[DISP.] ボタン	🔒	✓	✓	✓
	[☒]（露出補正）ボタン	🔓	✓	✓	✓
	[ISO] ボタン	🔓	✓	✓	✓
	[🎙i]（オーディオ情報表示）ボタン	🔓	✓	✓	✓
	後ダイヤル	🔒	✓	✓	✓
	動画記録ボタン	🔓	✓	✓	✓
	前ダイヤル	🔒	✓	✓	✓
	[WB] ボタン	🔓	✓	✓	✓
	[LVF] ボタン	🔓	✓	✓	✓
	シャッターボタン	🔓	✓	✓	✓
	サブ動画記録ボタン	🔓	✓	✓	✓
	レンズ	🔓	✓	✓	✓
	動画ライブビュー拡大表示ボタン／Fn ボタン（Fn2）	🔓	✓	✓	✓
	プレビューボタン／Fn ボタン（Fn3）	🔓	✓	✓	✓

Fnボタン設定	撮影時設定	—	✓	✓	✓
	再生時設定	—	✓	✓	✓
WB/ISO/露出補正ボタン		押した後2	✓	✓	✓
ISO感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当	ISO/ISO	✓	✓	✓
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
	前/後ダイヤルの割当	±/±	✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転		✓	✓	✓
	コントロールダイヤルの割当		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切換設定	—	✓	✓	✓
	メニュー操作のダイヤル回転		✓	✓	✓
ジョイスティック設定		ダイレクトフォーカス	✓	✓	✓
リモコンの動画ボタン		動画撮影	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：モニター/表示（写真）					
オートレビュー	時間（写真）	OFF	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時プレビュー	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
ライブビューブースト	MODE1／MODE2／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
	モニター左右反転表示	AUTO	✓	✓	✓
	モニター上下反転表示	AUTO	✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON／OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
手ブレ状態スコープ		OFF	✓	✓	✓
水準器表示		ON	✓	✓	✓
スポット輝度メーター		OFF	✓	✓	✓
ライブビュー境界線表示		OFF	✓	✓	✓
撮影画面の遷移（モニター）	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：モニター/表示（動画）					
V-Logビューアシスト	LUTファイル読み込み	—			
	LUT選択	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト（モニター）	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト（HDMI）	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
	HDMI	AUTO	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示		OFF	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
センターマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
セーフティーゾーンマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
フレーム表示	ON／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1／ゼブラ 2／ゼブラ1+2／OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
WFM/ ベクトルスコープ表示		OFF	✓	✓	✓
カラーバー		SMPTE	✓	✓	✓
動画優先表示		OFF	✓	✓	✓
動画記録中の赤枠表示		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：IN/OUT					
撮影時HDMI出力	情報表示	OFF	✓	✓	✓
	ダウンコンバート	AUTO	✓	✓	✓
	HDMI記録制御	OFF	✓	✓	✓
	HDMI音声出力	ON	✓	✓	✓
	ライブビュー拡大表示	OFF	✓	✓	✓
ファン動作モード		AUTO2	✓	✓	✓
タリーランプ	前方タリーランプ	H	✓	✓	✓
	後方タリーランプ	L	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
カスタム：レンズ/その他					
レンズ位置メモリー		OFF	✓	✓	✓
パワーズームレンズ	ステップズーム	OFF	✓	✓	✓
	ズーム速度	—	✓	✓	✓
	ズームリング操作	ON	✓	✓	✓
レンズFnボタン設定		フォーカスストップ	✓	✓	✓
絞りリング設定		1/3 EV	✓	✓	✓
フォーカスリング制御	ノンリニア／リニア	ノンリニア	✓	✓	✓
	設定	300度	✓	✓	✓
レンズ情報		Lens1	✓		✓
レンズ情報確認表示		ON	✓	✓	✓
動画の縦位置情報		ON	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
セットアップ: カード/ファイル					
フォーマット		—			
ダブルスロット機能	記録方法		✓		✓
	記録先スロット	1→2	✓		✓
動画ファイル名		写真と同じ(DCF準拠)	✓		✓
シネスタイルファイル設定	カメラインデックス	A	✓		✓
	次のカード番号	001	✓		✓
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択	—			
	新規フォルダー作成	—			
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓		✓
ファイル番号リセット		—			
著作権情報	撮影者	OFF	✓		✓
	著作権者	OFF	✓		✓
	著作権情報の表示	—			

メニュー		初期設定	R	C	
セットアップ: モニター/表示					
エコモード	スリープモード	5分	✓		✓
	スリープモード(Wi-Fi)	ON	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	5分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
動画撮影時の制限緩和	動画記録停止温度	標準	✓		✓
モニター表示速度		60fps	✓		✓
モニター調整／LVF調整		—	✓		
モニター輝度／LVF輝度		AUTO	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			

メニュー		初期設定			
セットアップ：IN/OUT					
電子音	電子音音量		✓		✓
	合焦音音量		✓		✓
	合焦音音色		✓		✓
	電子シャッター音音量		✓		✓
	電子シャッター音音色		✓		✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル（再生時）		撮影連動	✓	✓	✓
Wi-Fi		—	✓		
Bluetooth		—	✓		
USB	USBモード	接続時に選択	✓		✓
	USB給電	ON	✓		✓
HDMI接続設定	出力解像度（再生時）	AUTO	✓		✓
	LUTビューアシスト（HDMI）	OFF	✓	✓	✓
	HLGビューアシスト（HDMI）	AUTO	✓	✓	✓
	ビエラリンク	OFF	✓		✓
	画像背景色（再生時）		✓		✓
	写真出力輝度レベル	16-255	✓		✓
電源／NETWORKランプ		ON	✓		✓

メニュー		初期設定	R	C	
セットアップ：設定					
カスタムモード登録		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	3	✓		✓
	名称変更	—	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
カメラ設定の保存/読み込み	保存	—			
	読み込み	—			
	消去	—			
	カードフォーマット時に保持	OFF	✓		✓
設定リセット		—			

メニュー	初期設定	R	C	
セットアップ：その他				
時計設定	2022. 1. 1. 0:00:00			
タイムゾーン	GMT + 9:00			✓
システム周波数	59.94Hz(NTSC)	✓		✓
ピクセルリフレッシュ	—			
センサークリーニング	—			
言語設定	日本語	✓		✓
バージョン表示	—			
CLUB Panasonic 登録	—			
認証情報	—			

メニュー	初期設定	R	C	
マイメニュー：マイメニュー編集				
登録	—	✓		✓
並べ換え	—			
消去	—			
マイメニューから表示	OFF	✓		✓

メニュー	初期設定	R	C	
再生：表示方法				
再生モード	通常再生	✓		✓
スライドショー	—	✓		✓
縦位置自動回転	ON	✓		✓
画像表示順	撮影日時	✓		✓
AF位置から拡大	OFF	✓		✓
LUTビューアシスト（モニター）	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト（モニター）	MODE2	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示	OFF	✓	✓	✓
動画再生後の動作	再生終了	✓		✓

メニュー	初期設定	R	C	
再生：画像の加工				
RAW現像	—			
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			

メニュー	初期設定	R	C	
▶ **再生**：情報の付与･削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			

メニュー	初期設定	R	C	
▶ **再生**：画像の編集				
リサイズ（縮小）	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
画像コピー	—			

メニュー	初期設定	R	C	
▶ **再生**：その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓
全画像消去	—			

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
写真：画質							
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	
測光モード			✓	✓	✓	✓	
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓	
写真画質		✓	✓	✓	✓	✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓	
ハイレゾモード設定	手持ち撮影		✓	✓	✓	✓	
	写真画質		✓	✓	✓	✓	
	画像サイズ		✓	✓	✓	✓	
	通常撮影同時記録		✓	✓	✓	✓	
	シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	
	被写体ブレの処理		✓	✓	✓	✓	
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓	
ISO感度設定（写真）	ISOオート下限設定		✓	✓	✓	✓	
	ISOオート上限設定		✓	✓	✓	✓	
下限シャッター速度			✓	✓			
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	
回折補正			✓	✓	✓	✓	
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
📷 **写真**：FOCUS フォーカス							
自動認識設定			✓	✓	✓	✓	
自動認識の対象			✓	✓	✓	✓	
AFカスタム設定（写真）			✓	✓	✓	✓	
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓	
AF補助光			✓	✓	✓	✓	
ピーキング	ON／OFF	✓	✓	✓	✓	✓	
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	
1点AF枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	

メニュー	iA	P	A	S	M	🎥M
📷 **写真**：⚡ フラッシュ						
フラッシュモード	✓	✓	✓	✓	✓	
発光モード		✓	✓	✓	✓	
フラッシュ光量調整		✓	✓	✓	✓	
フラッシュシンクロ		✓	✓	✓	✓	
マニュアル発光量設定		✓	✓	✓	✓	
露出補正連動		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスモード		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスチャンネル		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスFP		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス通信光量		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス設定		✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
📷 写真：📷 その他（写真）							
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓	
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓	
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	電子補正（動画）	✓	✓	✓	✓	✓	
	手ブレ補正ブースト（動画）	✓	✓	✓	✓	✓	
	アナモフィック（動画）	✓	✓	✓	✓	✓	
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓	
連写設定	連写1設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	連写2設定	✓	✓	✓	✓	✓	
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓	
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓	
EXテレコン（写真）		✓	✓	✓	✓	✓	
インターバル / コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
動画：画質							
動画露出設定							✓
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓	✓
ダイナミックレンジブースト							✓
ISO感度設定（動画）	ISOオート下限設定						✓
	ISOオート上限設定						✓
シンクロスキャン							✓
フリッカー軽減（動画）			✓	✓	✓	✓	
マスターペデスタル							✓
SS/ゲイン操作							✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
動画：記録							
記録ファイル方式		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質（マイリスト）		✓	✓	✓	✓	✓	✓
バリアブルフレームレート							✓
タイムコード設定	タイムコード表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコードモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力						✓
	外部タイムコード設定						✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M	🎥M
動画：FOCUS フォーカス							
自動認識設定			✓	✓	✓	✓	✓
自動認識の対象			✓	✓	✓	✓	✓
AFカスタム設定（動画）	ON／OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング	ON／OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー	iA	P	A	S	M	🎥M
動画：🎤 音						
録音レベル表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声入力ミュート	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音ゲイン切換	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音音質	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベルリミッター	✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減	✓	✓	✓	✓	✓	✓
レンズ動作音低減	✓	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓
専用マイク設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4chマイク入力	✓	✓	✓	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタリング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ヘッドホン音量	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタチャンネル	✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M	M
動画：その他(動画)							
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓	✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカストランジション							✓
ループ記録(動画)							✓
動画分割記録		✓	✓	✓	✓	✓	✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源
9.0 V⎓

消費電力
4.8 W（モニター撮影時）、3.8 W（モニター再生時）[交換レンズ（H-ES12060）使用時]

型式

- **型式**
  レンズ交換式デジタル一眼カメラ
- **記録メディア**
  カードスロット1：CFexpress Type Bカード
  カードスロット2：SDメモリーカード／SDHCメモリーカード*1／SDXCメモリーカード*1
  *1　UHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3対応、UHS-II Video Speed Class 90対応
  ダブルスロット記録機能あり
- **レンズマウント**
  マイクロフォーサーズマウント

撮像素子

- **撮像素子**
  4/3型Live MOSセンサー、総画素数2652万画素、原色カラーフィルター
- **カメラ有効画素数**
  2521万画素

ラチチュード

13+ストップ（[ダイナミックレンジブースト]を[ON]に設定時）、
12+ストップ（[ダイナミックレンジブースト]を[OFF]に設定時）（V-Log）

静止画記録形式

- **静止画ファイル形式**

JPEG（DCF準拠、Exif2.31準拠）／RAW

- **画像サイズ（画素）**

画像横縦比[4:3]設定時
L：5776×4336
M：4096×3072
S：2944×2208
ハイレゾモード（XL）：11552×8672
ハイレゾモード（LL）：8192×6144

画像横縦比[3:2]設定時
L：5776×3848
M：4096×2728
S：2944×1960
ハイレゾモード（XL）：11552×7696
ハイレゾモード（LL）：8192×5464

画像横縦比[16:9]設定時
L：5776×3248
M：4096×2304
S：2944×1656
ハイレゾモード（XL）：11552×6496
ハイレゾモード（LL）：8192×4608

画像横縦比[1:1]設定時
L：4336×4336
M：3072×3072
S：2208×2208
ハイレゾモード（XL）：8672×8672
ハイレゾモード（LL）：6144×6144

- **写真画質**

ファイン／スタンダード／RAW+ファイン／RAW+スタンダード／RAW

動画記録形式

- **動画フォーマット**
  MP4（H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC）／
  MOV（H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC、Apple ProRes）
- **音声圧縮形式**
  MP4：AAC（2ch、48 kHz/16 bit）
  MOV：LPCM（2ch、48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit）*2
  *2 XLRマイクロホンアダプター（別売：DMW-XLR1）装着時、LPCM（2ch、48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bitおよび4ch、48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit）選択可能
- **システム周波数**
  59.94 Hz／50.00 Hz／24.00 Hz
- **動画画質**
  解像度や記録フレームレートなど、動画画質については「動画画質」のページをお読みください。（➔ 動画画質：135）

ファインダー

- **形式**
  アスペクト比4:3、0.5型、約368万ドット、有機EL（OLED）ライブビューファインダー
- **視野率**
  約100 %
- **倍率**
  約1.52倍、約0.76倍（35 mmフィルムカメラ換算）、–1.0 m^{-1} 50 mm無限遠時、画像横縦比[4:3]設定時
- **アイポイント**
  約21 mm（–1.0 m^{-1}時）
- **視度調整範囲**
  –4.0～+3.0 diopter
- **アイセンサー**
  あり

モニター

- **形式**
  アスペクト比 3:2、3.0型、約184万ドットモニター、静電容量方式タッチパネル
- **視野率**
  約100 %

フォーカス

- **AF方式**
  映像検出によるTTL方式（コントラストAF）
- **フォーカスモード**
  AFS／AFC／MF
- **AFモード**
  追尾／フルエリア／ゾーン（横・縦）／ゾーン／1点+補助／1点／ピンポイント
  タッチおよびジョイスティックによるフォーカスエリア選択可能

露出制御

- **測光方式、測光モード**
  1728分割測光、マルチ測光／中央重点測光／スポット測光／ハイライト重点測光
- **測光範囲**
  EV 0～EV 18（F2.0レンズ、ISO100換算）
- **露出**
  プログラムAE（P）／絞り優先AE（A）／シャッター優先AE（S）／マニュアル露出（M）
- **露出補正**
  1/3 EVステップ、±5 EV
- **静止画時ISO感度（標準出力感度）**
  通常：オート／50[*3]／100～25600
  V-Log：オート／125[*3]／250～12800
  *3 ［拡張ISO感度］設定時
  • 1/3、1 EVステップ切り換え可能
- **動画時ISO感度（標準出力感度）**
  通常：
  ダイナミックレンジブースト
  [OFF]：オート／50[*4]／100～12800（ベース感度 ISO100）
  [ON][*5]：オート／800～12800（ベース感度 ISO800）
  V-Log：
  ダイナミックレンジブースト
  [OFF]：オート／125[*4]／250～12800（ベース感度 ISO250）
  [ON][*5]：オート／2000～12800（ベース感度 ISO2000）
  ハイブリッドログガンマ：
  ダイナミックレンジブースト
  [OFF]：オート／250～12800（ベース感度 ISO250）
  [ON][*5]：オート／2000～12800（ベース感度 ISO2000）
  *4 ［拡張ISO感度］設定時
  *5 クリエイティブ動画モード時選択可能
  • 1/3、1 EVステップ切り換え可能

手ブレ補正

● **手ブレ補正方式**
撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応

● **手ブレ補正効果**
ボディ内手ブレ補正：7.5段
[焦点距離 f=60 mm（35 mmフィルムカメラ換算 f=120 mm）、交換レンズ（H-ES12060）使用時]

Dual I.S.2：7.5段
[焦点距離 f=140 mm（35 mmフィルムカメラ換算 f=280 mm）、交換レンズ（H-FS14140）使用時]

（CIPA規格準拠、Yaw／Pitch方向）

ホワイトバランス

● **ホワイトバランスモード**
AWB／AWBc／AWBw／晴天／曇り／日陰／白熱灯／フラッシュ／セットモード1・2・3・4／色温度1・2・3・4

シャッター

● **形式**
フォーカルプレーンシャッター

● **シャッター速度**

写真：
メカシャッター：バルブ（最大約30分）、60～1/8000秒
電子先幕：バルブ（最大約30分）、60～1/2000秒
電子シャッター：バルブ（最大約60秒）、60～1/32000秒

動画：
1/25[*6]～1/25000秒
*6 クリエイティブ動画モードで[動画露出設定]を[M]、フォーカスモードを[MF]に設定時、1/8秒まで設定可能

● **フラッシュ同調速度**
1/250秒以下

連写撮影

- **メカシャッター／電子先幕**
  高速：14コマ/秒（AFS、MF）／8コマ/秒（AFC）
  中速：6コマ/秒（AFS、MF）／5コマ/秒（AFC）
  低速：2コマ/秒
- **電子シャッター**
  SH75：75コマ/秒（AFS、MF）
  SH60：60コマ/秒（AFS、MF）
  SH20：20コマ/秒（AFS、MF）
  高速：14コマ/秒（AFS、MF）／7コマ/秒（AFC）
  中速：6コマ/秒（AFS、MF）／5コマ/秒（AFC）
  低速：2コマ/秒
- **最大撮影可能コマ数（SH連写）**
  [FINE]／[STD.]／[RAW+FINE]／[RAW+STD.]／[RAW]：200コマ
- **最大撮影可能コマ数（高速、中速、低速）**
  [FINE]／[STD.]：95コマ以上*7／90コマ以上*8
  [RAW+FINE]／[RAW+STD.]：40コマ以上
  [RAW]：65コマ以上*7／50コマ以上*8
  *7 CFexpress Type Bカード使用時
  *8 UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時
  （当社測定条件による撮影時）

ズーム

- **EXテレコン（写真）**
  最大2倍（画像サイズ[S]選択時）

表示言語切り換え

[日本語]/[ENGLISH]（英語）/[简体中文]（簡体字中国語）/[繁體中文]（繁体字中国語）/[한국어]（韓国語）

マイク／スピーカー

- **マイク**
  ステレオ
- **スピーカー**
  モノラル

インターフェース

- **USB**
  USB Type-C®、SuperSpeed USB 10Gbps (USB 3.2 Gen 2)
  USB Power Delivery対応（9.0 V／3.0 A）
- **HDMI**
  HDMI Type A
- **[REMOTE]**
  ∅2.5 mmジャック
- **[MIC]**
  ∅3.5 mmステレオミニジャック
  マイク入力 Plug-in Power／マイク入力／ライン入力（メニューによる切り換え）
  入力基準レベル：–55 dBV（マイク入力）／ –10 dBV（ライン入力）
- **ヘッドホン**
  ∅3.5 mmステレオミニジャック
- **フラッシュシンクロ**
  あり
- **TC IN/OUT**
  あり（フラッシュシンクロ端子にBNC変換ケーブル（付属）を接続）
  入力：1.0 V ～ 4.0 V [p-p] 10 kΩ
  出力：2.0 V ±0.5 V [p-p] ローインピーダンス

防じん防滴

あり

外形寸法／質量

- **外形寸法**
  約 幅138.4 mm×高さ100.3 mm×奥行き99.6 mm（突起部除く）
- **質量**
  約823 g（本体、バッテリー、SDメモリーカード1枚含む）
  約739 g（本体のみ）

動作環境

- **推奨使用温度**
  –10 ℃～40 ℃
  - 低温（–10 ℃～0 ℃）では、一時的にバッテリーの性能が低下し、撮影可能枚数、撮影可能時間が減少します。
- **許容相対湿度**
  10 %RH～80 %RH

Wi-Fi

- **準拠規格**
  IEEE 802.11a/b/g/n/ac（無線LAN標準プロトコル）
- **使用周波数範囲（中心周波数）**
  2412 MHz～2472 MHz（1～13ch）
  5180 MHz～5320 MHz（36/40/44/48/52/56/60/64ch）
  5500 MHz～5720 MHz（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch）
- **暗号化方式**
  WPA™／WPA2™／WPA3™、Wi-Fi準拠
- **アクセス方式**
  インフラストラクチャーモード

Bluetooth

- **準拠規格**
  Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy（BLE）
- **使用周波数範囲（中心周波数）**
  2402 MHz～2480 MHz

専用バッテリーチャージャー：DVLC1005Z

入力
9.0 V⎓　3.0 A
5.0 V⎓　1.8 A

出力
8.4 V⎓　1.2 A
8.4 V⎓　0.85 A

使用温度
0 ℃～40 ℃

ACアダプター：VSK0815J

入力
100 V⎓240 V～　50/60 Hz　0.25 A
19 VA（100 V）　24 VA（240 V）

出力
5.0 V⎓　1.8 A

使用温度
0 ℃～40 ℃

リチウムイオンバッテリーパック：DMW-BLK22

電圧／容量
7.2 V／2200 mAh

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～	AC（交流）
⎓	DC（直流）
⧈	クラスII機器（二重絶縁構造）
♨	高温表面

交換レンズ：H-ES12060（LEICA DG VARIO-ELMARIT 12-60mm/ F2.8-4.0 ASPH./POWER O.I.S.）

- **マウント**
  マイクロフォーサーズマウント
- **焦点距離**
  f=12 mm～60 mm
  （35 mm フィルムカメラ換算：24 mm～120 mm）
- **レンズ構成**
  12群14枚（非球面レンズ4枚、EDレンズ2枚）
- **絞り形式**
  9枚羽根　円形虹彩絞り
- **開放絞り**
  F2.8（W端時）～F4.0（T端時）
- **最小絞り値**
  F22
- **画角**
  84°（W端時）～20°（T端時）
- **撮影範囲**
  0.20 m～∞（W端時）／0.24 m～∞（T端時）（撮像面から）
- **最大撮影倍率**
  0.3×（35 mm フィルムカメラ換算：0.6×）
- **手ブレ補正**
  あり
- **フィルター径**
  62 mm
- **最大径**
  ∅68.4 mm

- **全長**
  約86 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
- **質量**
  約320 g
- **防じん防滴**
  あり
- **推奨使用温度**
  －10 ℃～40 ℃
- **許容相対湿度**
  10 %RH～80 %RH

商標、ライセンス

- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはOMデジタルソリューションズ(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。

MICRO FOURTHIRDS

- Lexar、Lexarロゴ、およびその他すべてのLexarの商標はLongsys Electronics (HK) Co., Ltd.が所有しています。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。
- USB Type-C® Charging Trident ロゴは USB Implementers Forum, Inc. の登録商標です。

- SuperSpeed USB 10Gbps Trident ロゴは USB Implementers Forum, Inc. の登録商標です。

- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Inc. の商標または登録商標です。

- HDAVI Control™は商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Final Cut Pro、Mac、OS X、macOS、ProRes は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

- “Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の商標です。

- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。

- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステムズIR GmbHの登録商標です。ELMARIT/エルマリートはライカカメラ社の登録商標です。LEICA DGレンズは、ライカカメラ社の品質基準に基づき、ライカカメラ社が認定した測定機器と品質保証システムによって生産されています。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1(LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)~(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
https://panasonic.net/cns/oss/index.html

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(ⅰ)画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
(ⅱ)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
詳細についてはMPEG LA, L.L.C.ホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	( )	—	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」(➔メッセージ表示:678)「Q&A　故障かな?と思ったら」(➔Q&A　故障かな?と思ったら:682)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

製品名	**デジタルカメラ/レンズキット/ボディ**
品　番	□ **DC-GH6L** □ **DC-GH6** お買い上げの品番に記入してください。
故障の状況	**できるだけ具体的に**

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。
The warranty is valid only in Japan.
保证书承诺内容,仅限于产品在日本国内使用时有效。

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。
技術料:診断・修理・調整・点検などの費用
部品代:部品および補助材料代
出張料:技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間:8年
当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック　総合お客様サポートサイト
https://www.panasonic.com/jp/support/

LUMIX(ルミックス)・ムービー　使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル	**0120-878-638** 受付時間 9:00 ～ 18:00(年中無休) 上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187** FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan	**Tokyo (03) 3256-5444** **Osaka (06) 6645-8787** Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル	**0120-878-554** 上記電話番号がご利用いただけない場合 **03-6633-6700** FAX フリーダイヤル **0120-878-225**
便利な修理サービスサイト	https://club.panasonic.jp/repair/

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

	こんな症状はありませんか • 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が乱れたり出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体やチャージャー、AC アダプターが破損した • その他の異常や故障がある ▼ **ご使用中止** 故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら
https://club.panasonic.jp/aiyo/

- **カメラのモニターに表示されるQR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。**
  以下の操作をするとQR コードを表示できます。

  1 [MENU] ボタンを押す

  2 [セットアップ]の [その他] から [CLUB Panasonic登録] の [QRコード表示] を選ぶ